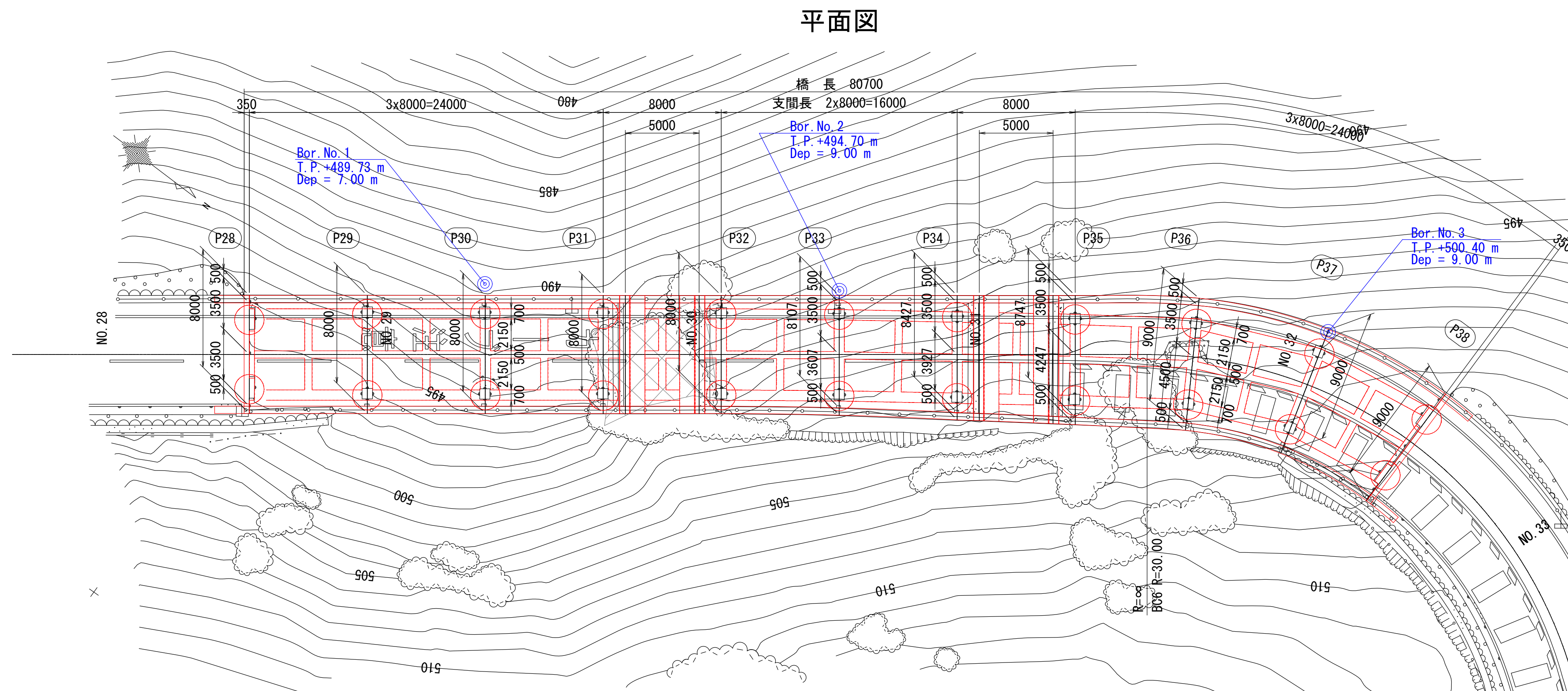
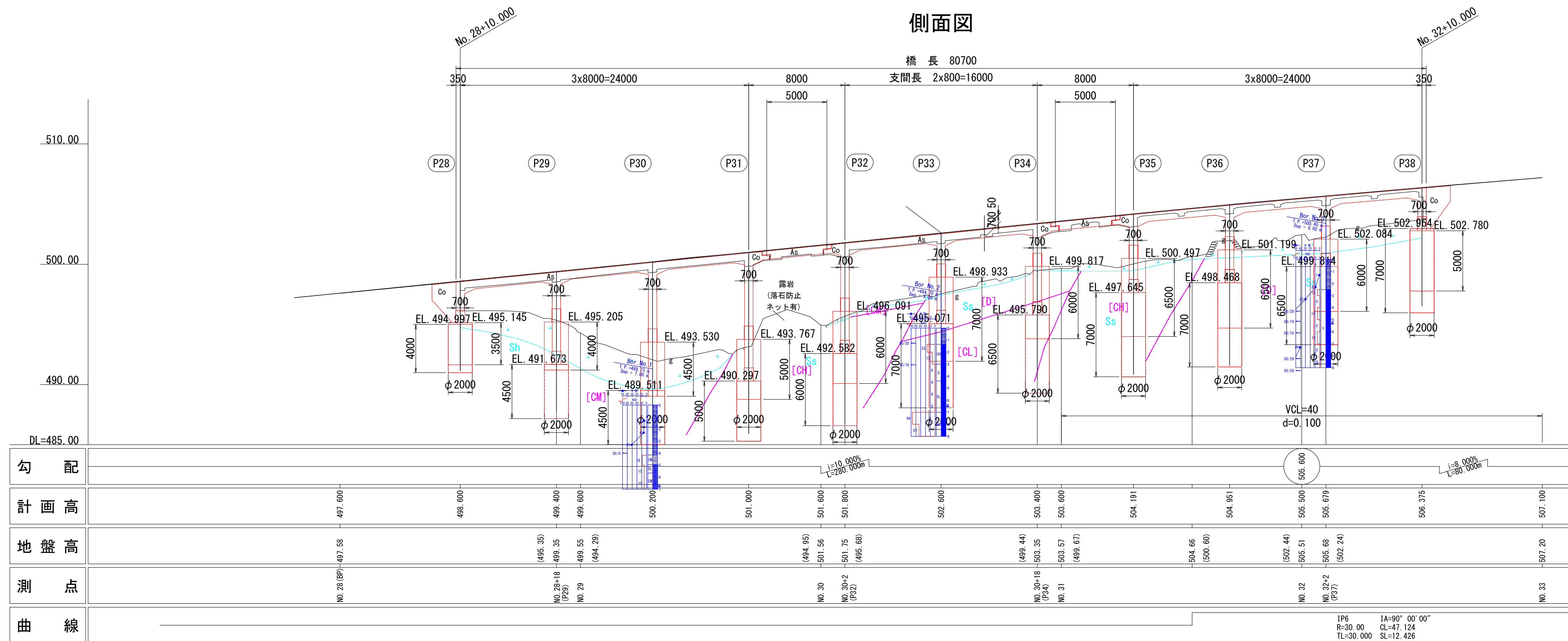


大阪北摂霊園 4 ・ 5 号橋梁補修及び耐震補強工事

設計図面目録

【設計図面】		(全94葉)
1 ～ 4	4 号橋 橋梁一般図（現況）	（その 1） ～ （その 4）
5 ～ 8	4 号橋 補修計画一般図	（その 1） ～ （その 4）
9 ～ 39	4 号橋 補修図	（その 1） ～ （その 3 1）
40	4 号橋 補修詳細図（参考図）	
41	4 号橋 舗装打換え工・橋面防水工詳細図	
42 ～ 43	5 号橋 橋梁一般図（現況）	（その 1） ～ （その 2）
44 ～ 45	5 号橋 補修計画一般図	（その 1） ～ （その 2）
46 ～ 54	5 号橋 補修図	（その 1） ～ （その 9）
55	5 号橋 補修詳細図（参考図）	
56	5 号橋 舗装打換え工・橋面防水工詳細図	
57	4 号橋 5 号橋 既設防護柵撤去図	
58 ～ 60	4 号橋 5 号橋 新設防護柵設置図	（その 1） ～ （その 3）
61	4 号橋 5 号橋 既設看板再設置詳細図	
62 ～ 65	4 号橋 耐震補強計画一般図	（その 1） ～ （その 4）
66 ～ 68	4 号橋 橋台耐震補強詳細図	（その 1） ～ （その 3）
69	4 号橋 P33橋脚補強構造一般図	
70	4 号橋 P34橋脚補強構造一般図	
71	4 号橋 P35橋脚補強構造一般図	
72	4 号橋 P36橋脚補強構造一般図	
73	4 号橋 P37橋脚補強構造一般図	
74	4 号橋 P33橋脚補強配筋図	
75	4 号橋 P34橋脚補強配筋図	
76	4 号橋 P35橋脚補強配筋図	
77	4 号橋 P36橋脚補強配筋図	
78	4 号橋 P37橋脚補強配筋図	
79 ～ 80	4 号橋 （P31～P32）ゲルバー部補強図	（その 1） ～ （その 2）
81 ～ 82	4 号橋 （P34～P35）ゲルバー部補強図	（その 1） ～ （その 2）
83 ～ 84	5 号橋 耐震補強計画一般図	（その 1） ～ （その 2）
85 ～ 86	5 号橋 橋台耐震補強詳細図	（その 1） ～ （その 2）
87 ～ 92	4 号橋 仮設計画図（参考図）	（その 1） ～ （その 6）
93 ～ 94	5 号橋 仮設計画図（参考図）	（その 1） ～ （その 2）

4号橋 橋梁一般図 (現況) (その1) S=1:200

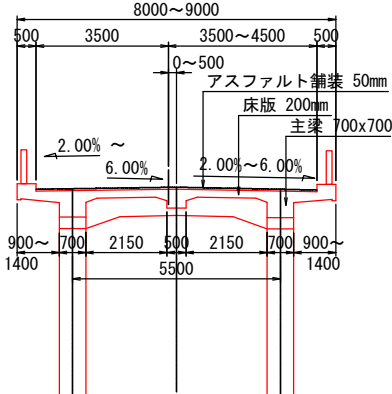


工事名	大阪北摂圏道 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 橋梁一般図（現況）（その1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	1/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

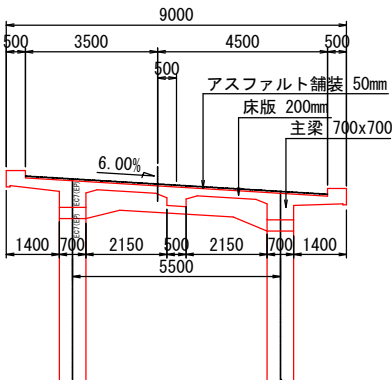
4号橋 橋梁一般図 (現況) (その2) S=1:100

標準断面図

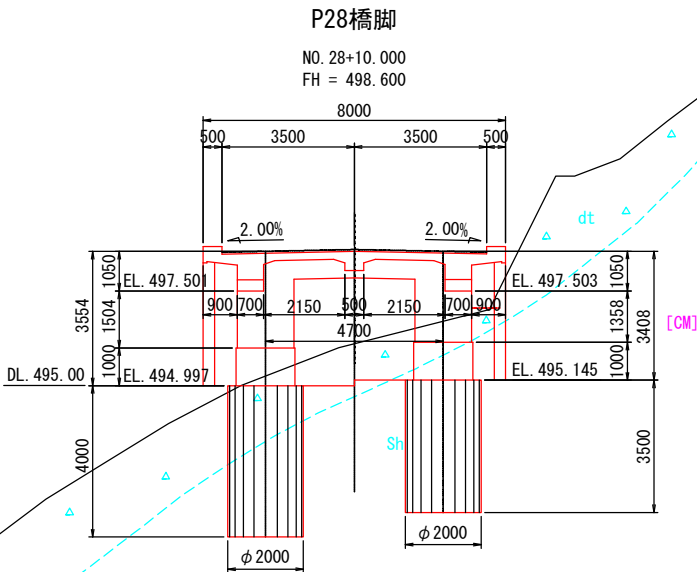
P28~P30



P36~P38

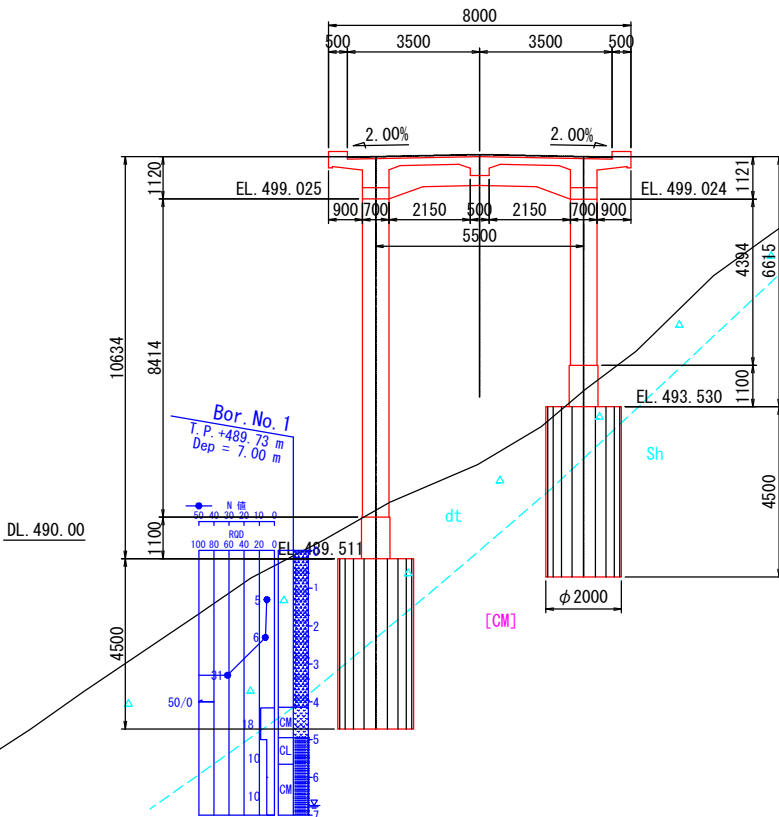


下部工断面图



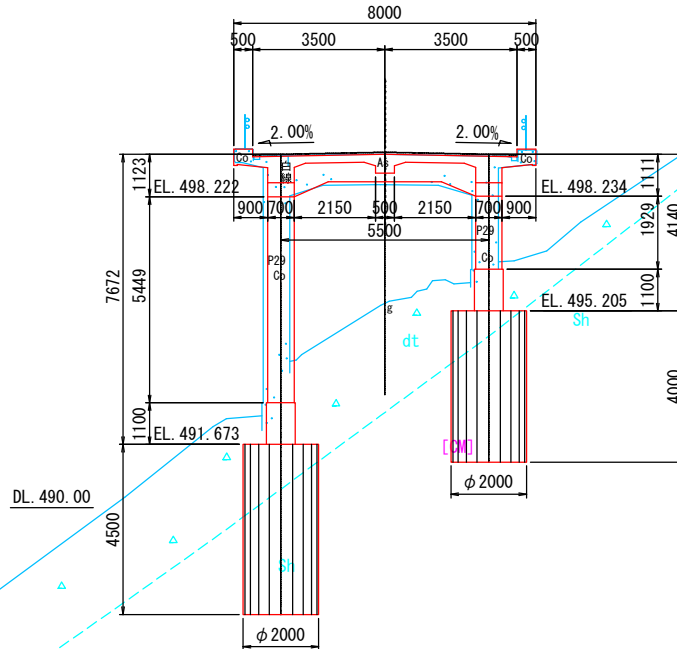
P30橋狀

NO. 29+6.00
FH = 500.20



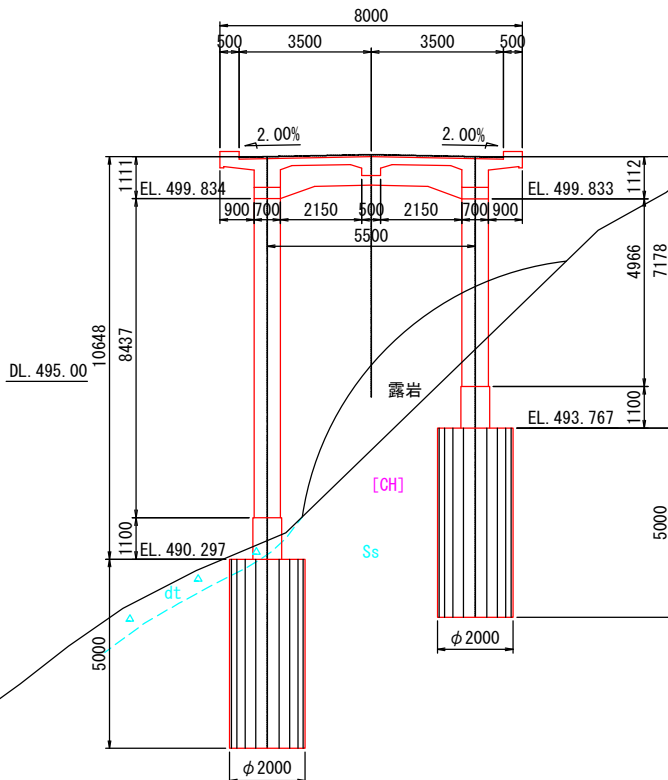
P29橋脚

NO. 28+18.000
FH = 499.400



P31橋

NO. 29+14.
FH = 501.

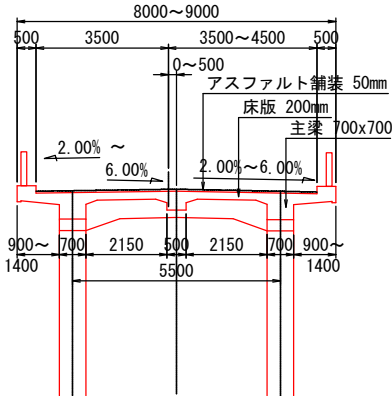


工事名	大阪北摂公園 4・5 号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4 号橋 橋梁一般図（現況）（その 2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	2/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

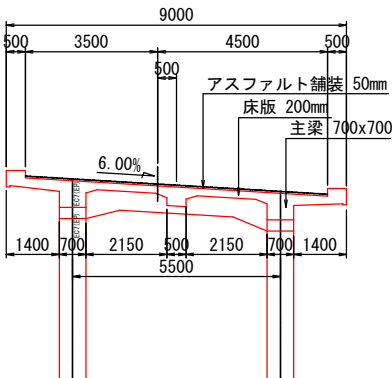
4号橋 橋梁一般図 (現況) (その3) S=1:100

標準断面図

P28~P30



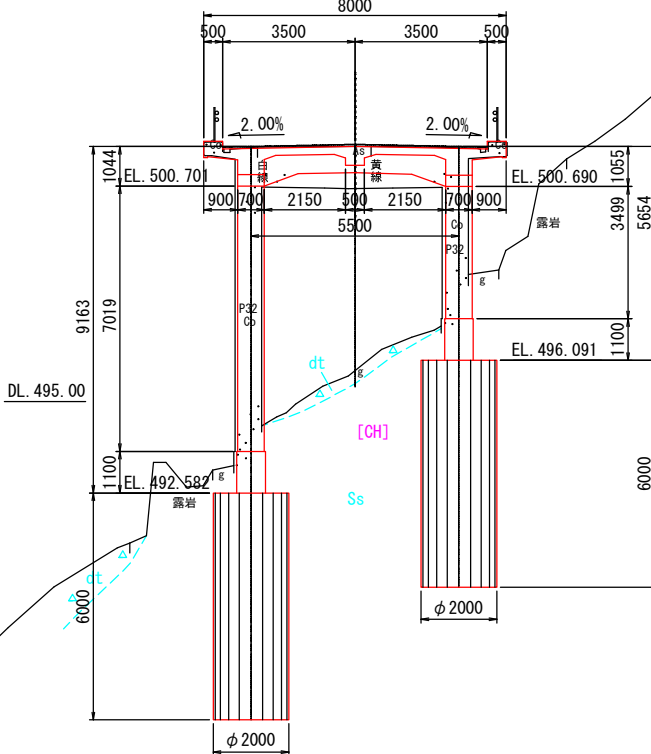
P36~P38



下部工断面图

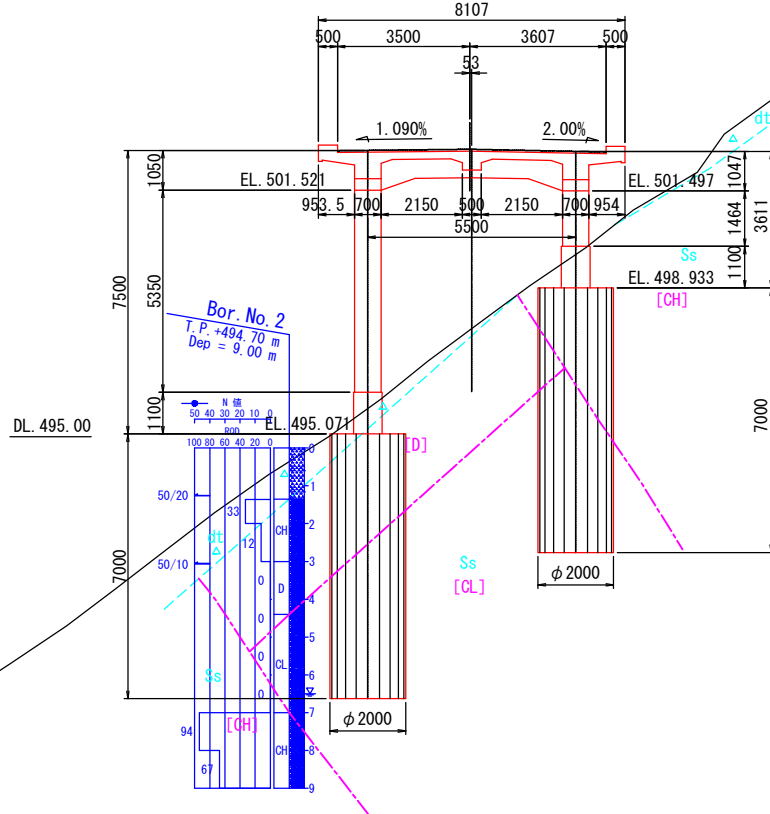
P32橋肢

NO. 30+2.00
FH = 501.8



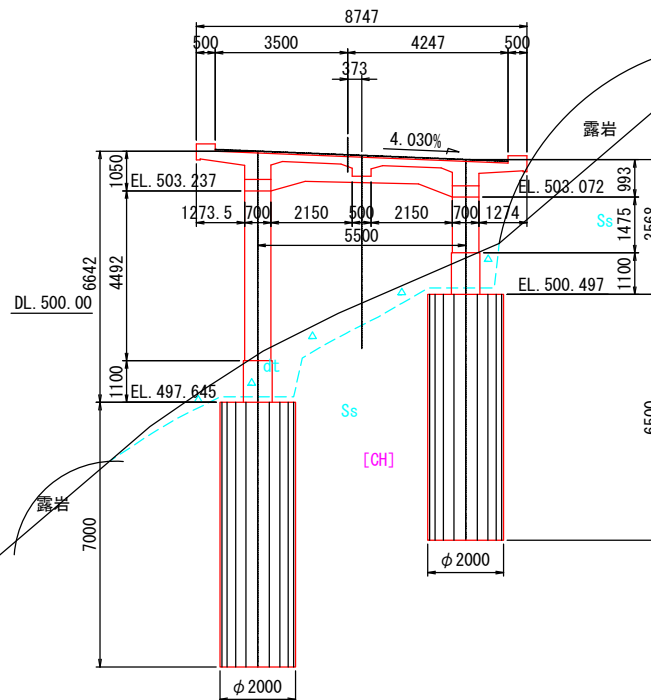
P33橋胛

NO. 30+10.0
FH = 502.6



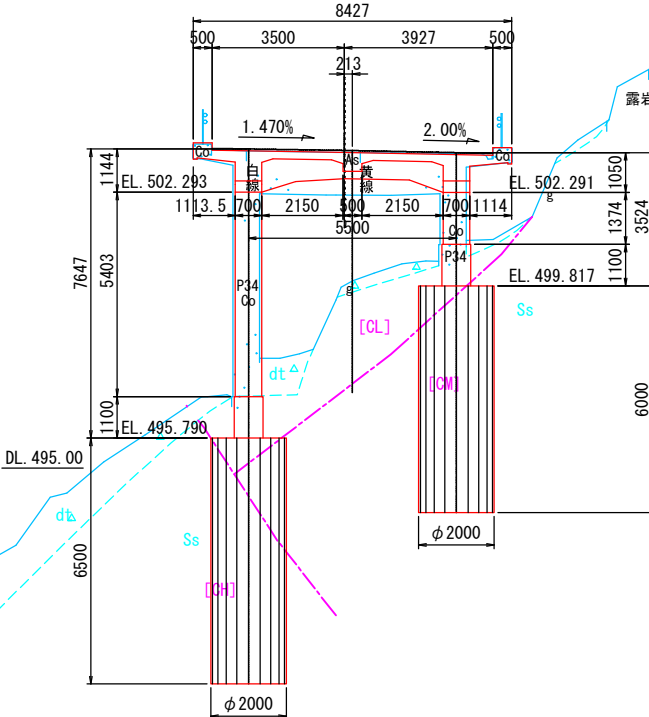
P35橋樑

NO. 31+6.0
FH = 504.0



P34橋腿

NO. 30+18.0
FH = 503.4

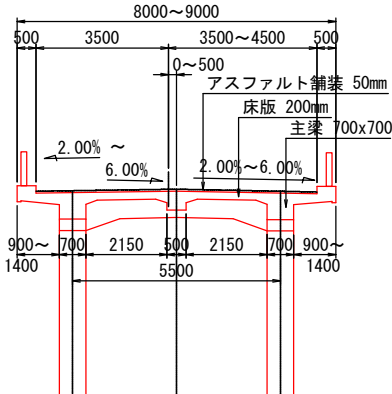


工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 橋梁一般図（現況）（その3）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	3/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

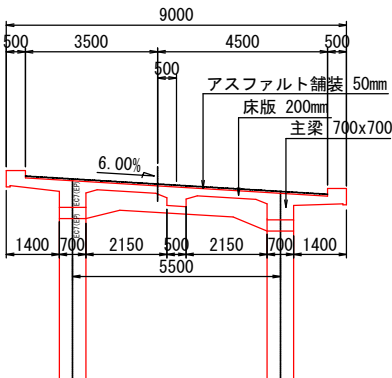
4号橋 橋梁一般図 (現況) (その4) S=1:100

標準断面図

P28~P30



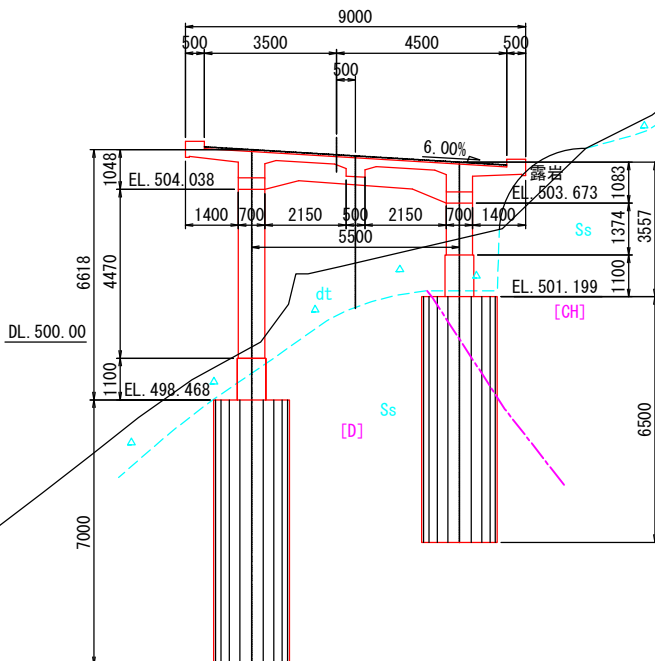
P36~P38



下部工断面图

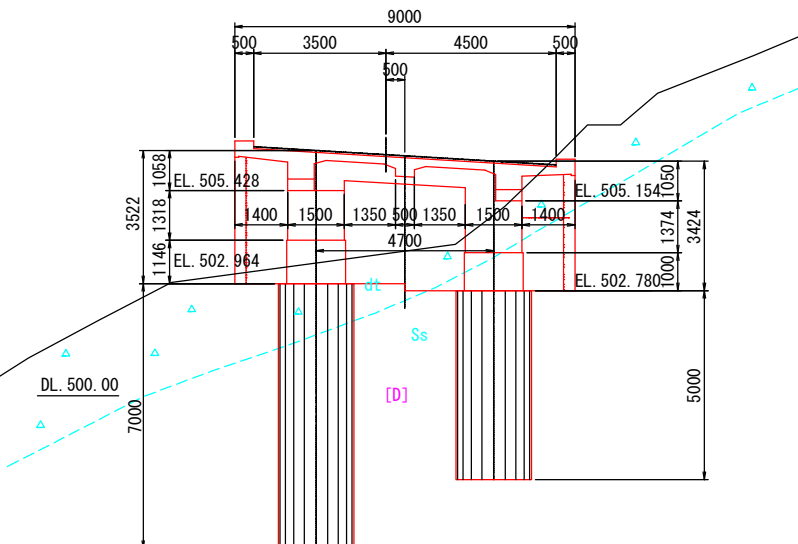
P36橋肢

NO. 31+14. 00
FH = 504. 95



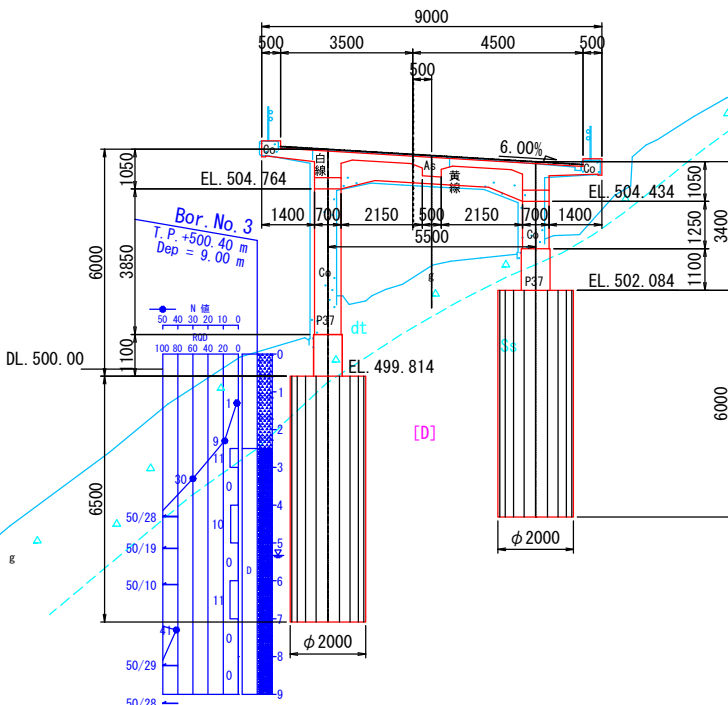
P38橋脚

NO. 32+10.00
FH = 506.37



P37橋脚

NO. 32+2.000
FH = 505.675

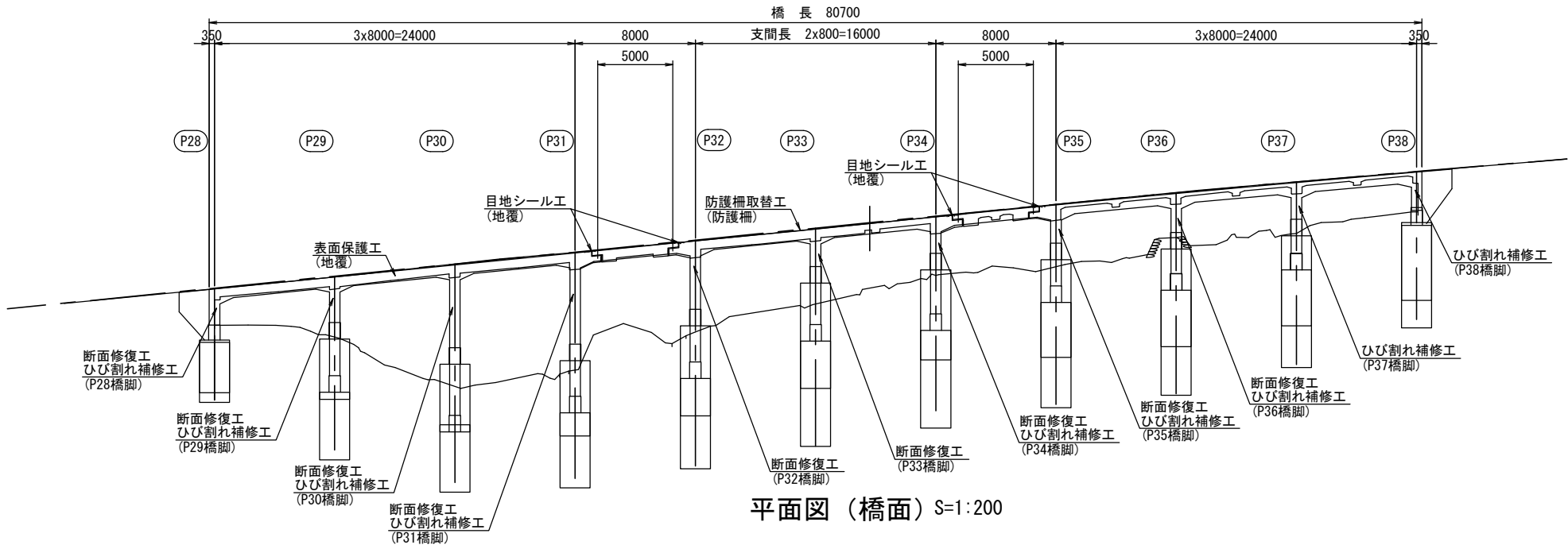


設 計 条 件	
形 式	3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋 + 単純鉄筋コンクリートT型橋 (ゲルバー桁) + 2径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋 + 単純鉄筋コンクリートT型橋 (ゲルバー桁) + 3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋
活 荷 重	TL-20
橋 長	80.7 m (道路中心線上)
支 間 長	3x8.0 m + 8.0 m (ゲルバー桁 5.0 m) + 2x8.0 m + 8.0 m (ゲルバー桁 5.0 m) + 3x8.0 m (道路中心線上)
有 効 幅 員	7.0 m ~ 8.0 m
横 断 勾 配	2.00% 2.00% ~ 6.00%
地 震 係 数	$K_h = 0.20$ $K_v = 0.10$
コンクリート	上部工 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$ 下部工 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$ 深 礎 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
鉄 筋	SD30
適用示方書	鉄筋コンクリート標準示方書 土木学会 鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 日本道路協会

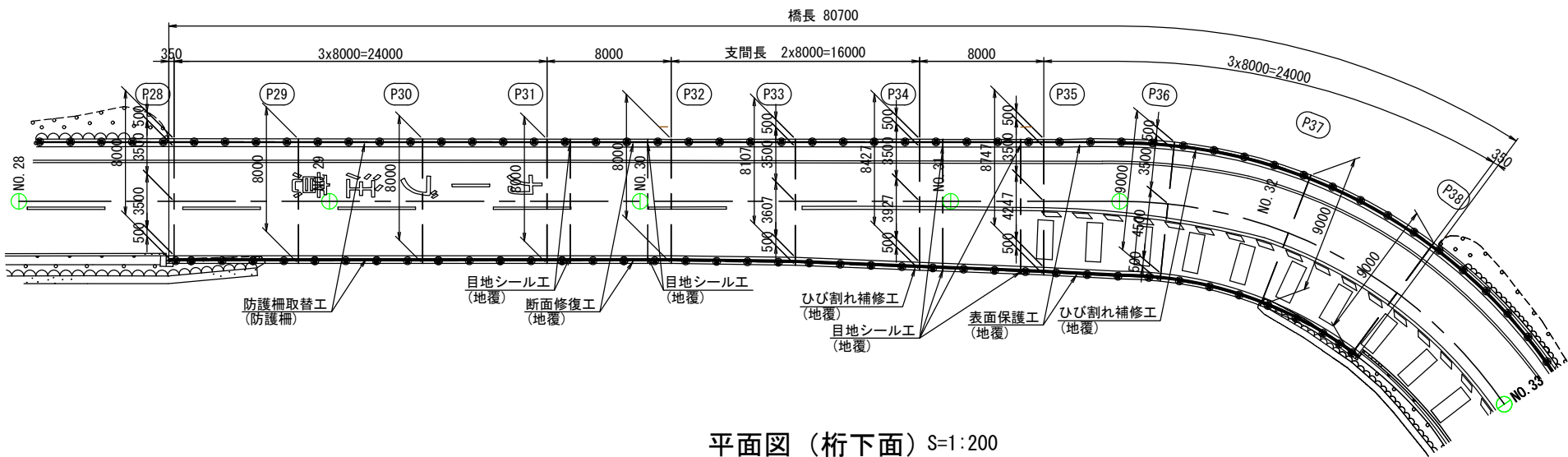
工事名	大阪北摂学園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 橋梁一般図（現況）（その4）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	4/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修計画一般図（その1）

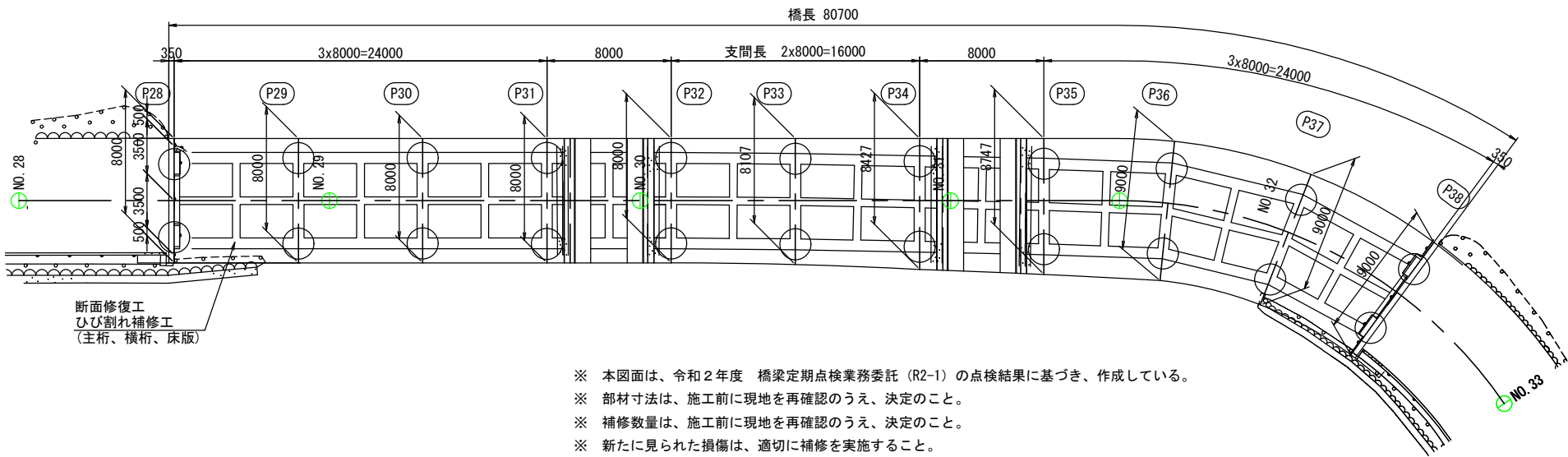
側面図 S=1:200



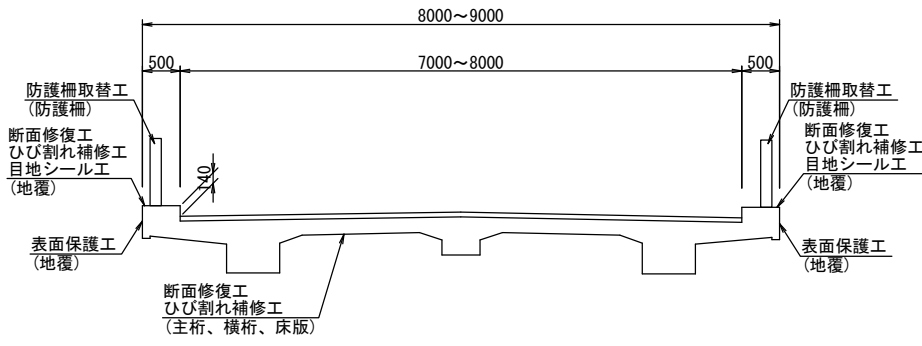
平面図（橋面）S=1:200



平面図（桁下面）S=1:200



断面図 S=1:50



橋梁補修工法一覧表

部位・部材	工 種	種 別	施工方法
上部工	ひび割れ補修工	エポキシ樹脂系	吊足場 地上
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	
	充填工	可とう性エポキシ樹脂	
下部工	ひび割れ補修工	エポキシ樹脂系	吊足場 枠組足場、地上
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	
橋面工	ひび割れ補修工	エポキシ樹脂系	地覆補修用足場 地上
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	
	表面保護工	表面含浸 シラン系	
	目地シール工	シリコン系	
	舗装打換工	アスファルト舗装	
	橋面防水工	塗膜系	
	防護柵取替工	ツインスロープ30	

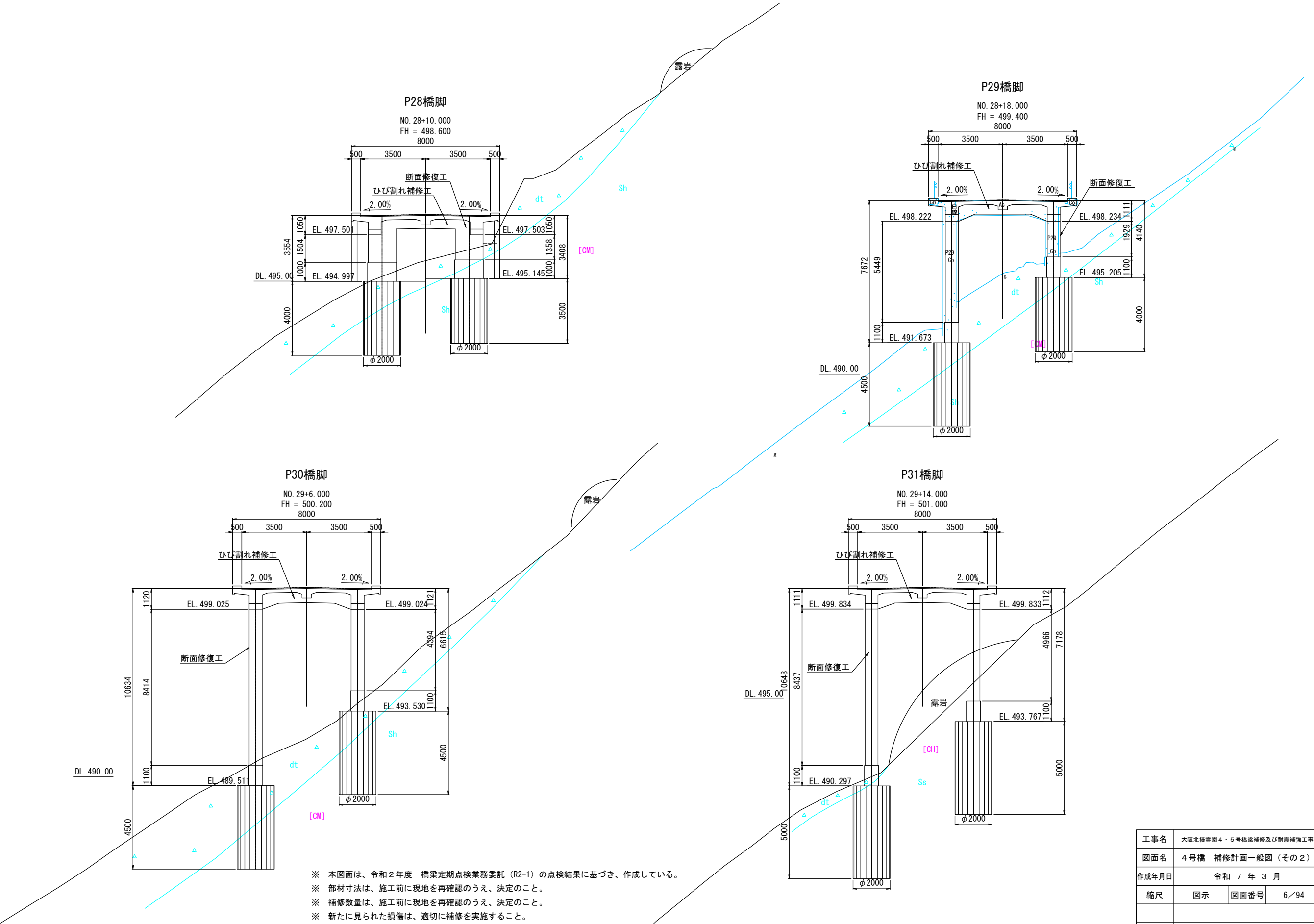
※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修計画一般図（その1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	5/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修計画一般図（その2）

S=1:100

下部工断面図



※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修計画一般図（その2）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	6/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

S=1 : 100

P32橋脚

N0. 30+2.000
FH = 501.800
8000

500 3500 3500 500

2.00% 2.00%

EL. 500.701 EL. 500.690 EL. 496.091 EL. 492.582

断面修復工

露岩

6000

6000

φ 2000

φ 2000

[CH]

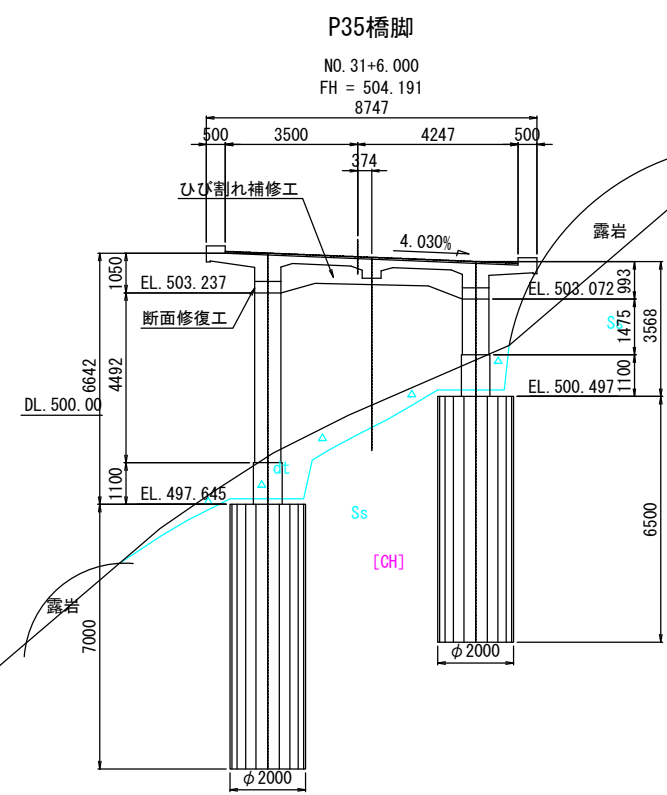
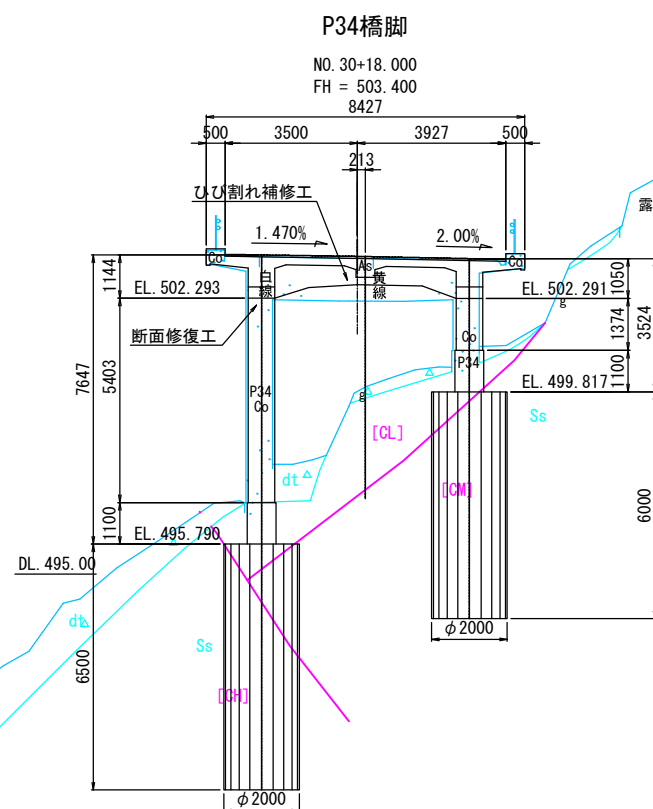
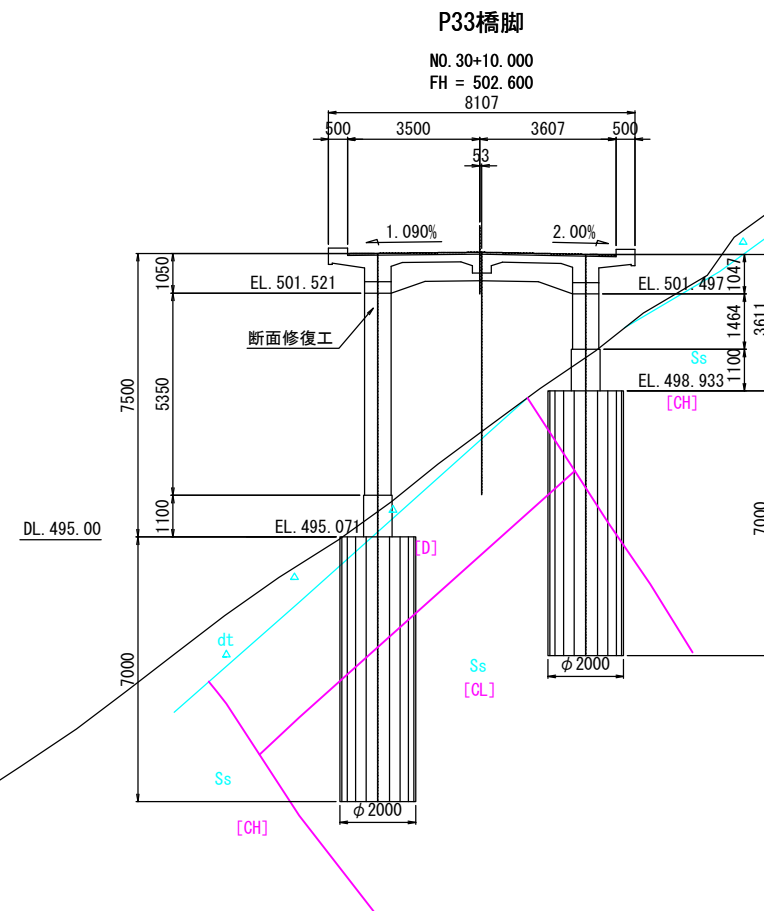
Ss

DL. 495.00

1044 7019 1100

3499 5654

6000



※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

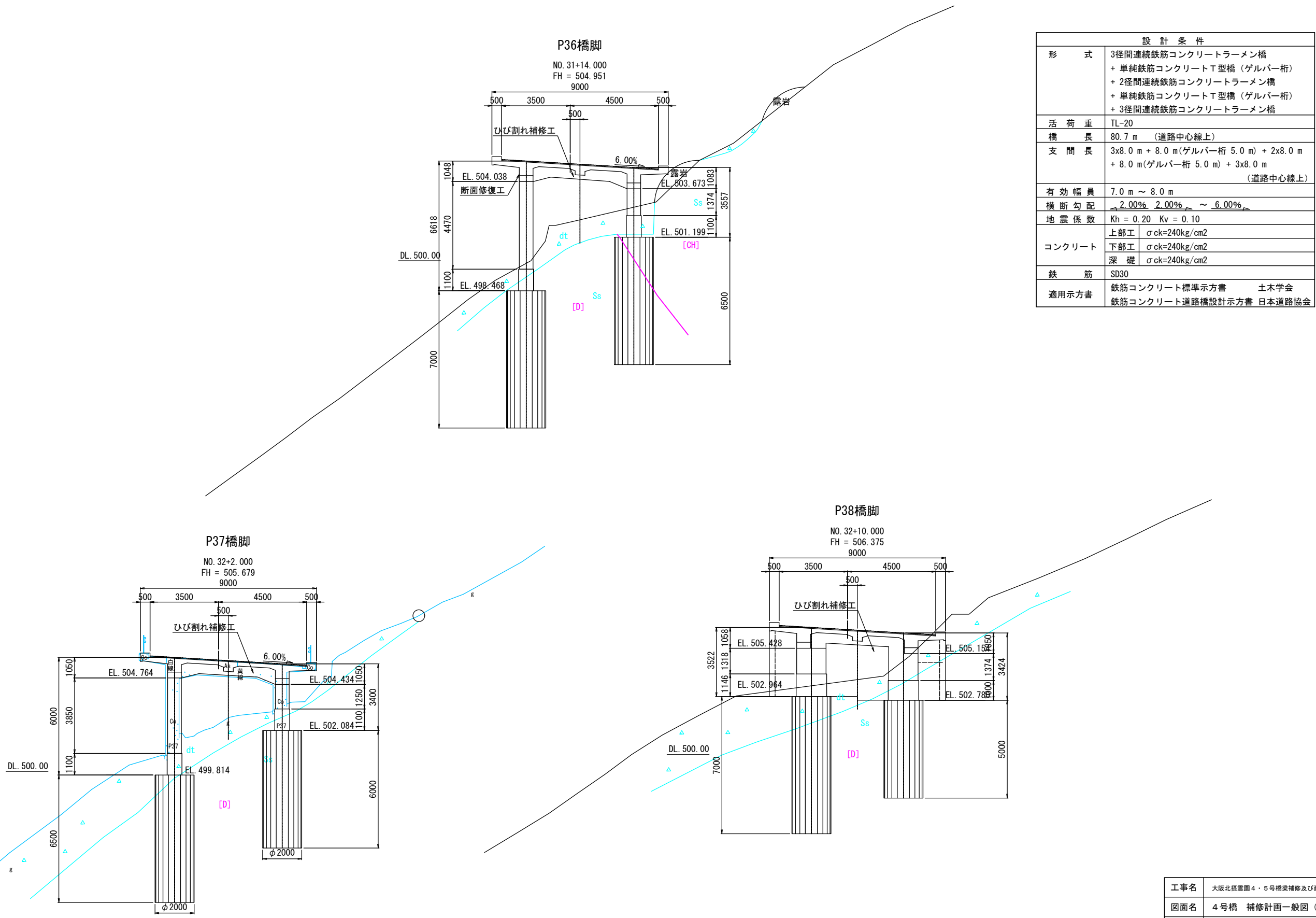
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修計画一般図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	7/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修計画一般図（その4） S=1:100

下部工断面図



設計条件	
形式	3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋 + 単純鉄筋コンクリートT型橋（ゲルバー桁） + 2径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋 + 単純鉄筋コンクリートT型橋（ゲルバー桁） + 3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋
活荷重	TL-20
橋長	80.7 m（道路中心線上）
支間長	3x8.0 m + 8.0 m（ゲルバー桁 5.0 m）+ 2x8.0 m + 8.0 m（ゲルバー桁 5.0 m）+ 3x8.0 m （道路中心線上）
有効幅員	7.0 m ~ 8.0 m
横断勾配	2.00% 2.00% ~ 6.00%
地震係数	Kh = 0.20 Kv = 0.10
コンクリート	上部工 σck=240kg/cm2
	下部工 σck=240kg/cm2
鉄筋	深礎 σck=240kg/cm2
	SD30
適用示方書	鉄筋コンクリート標準示方書 土木学会
	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 日本道路協会

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

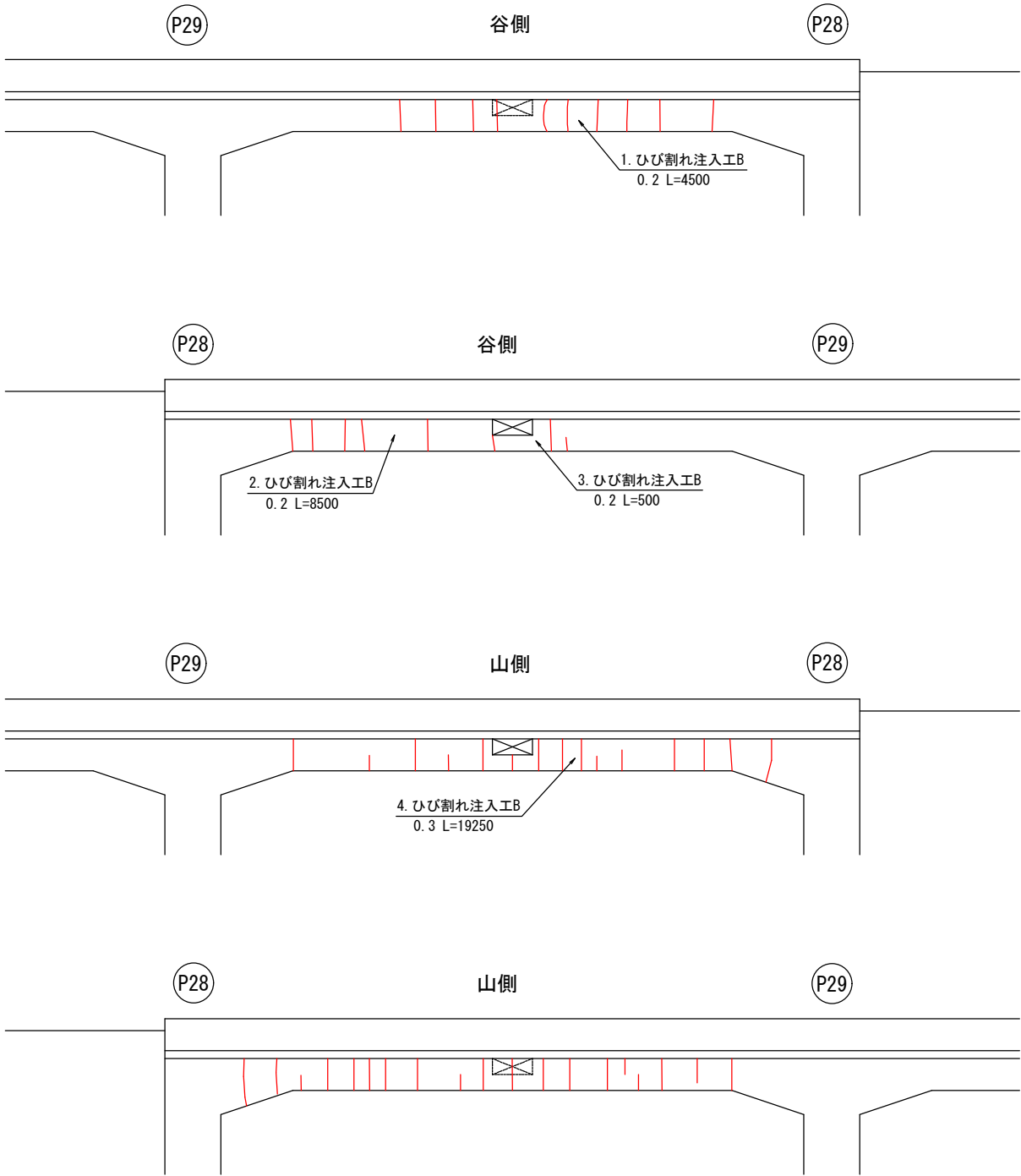
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修計画一般図（その4）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	8/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その1）

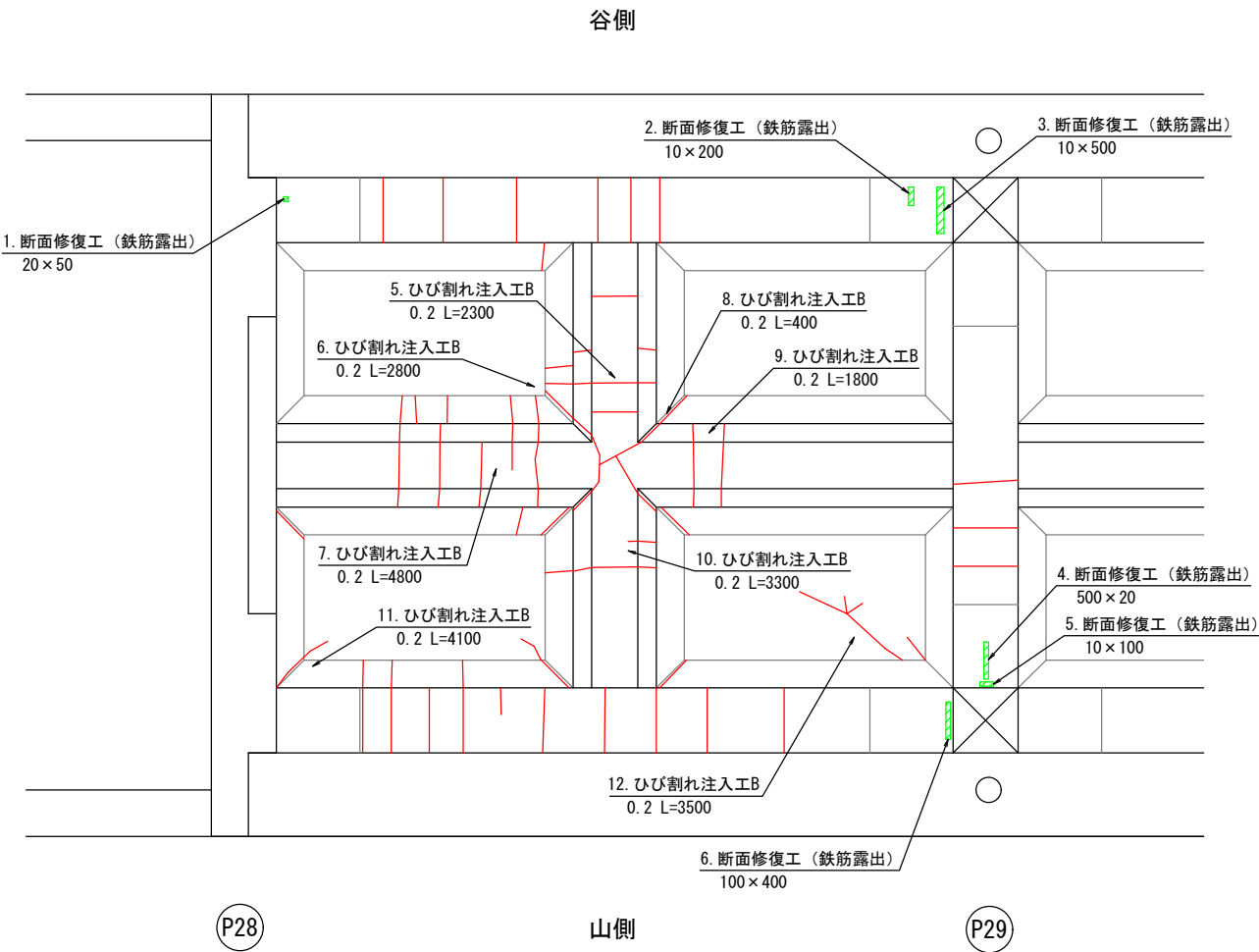
S=1:40

桁下 第1径間

側面図



平面図



補修凡例

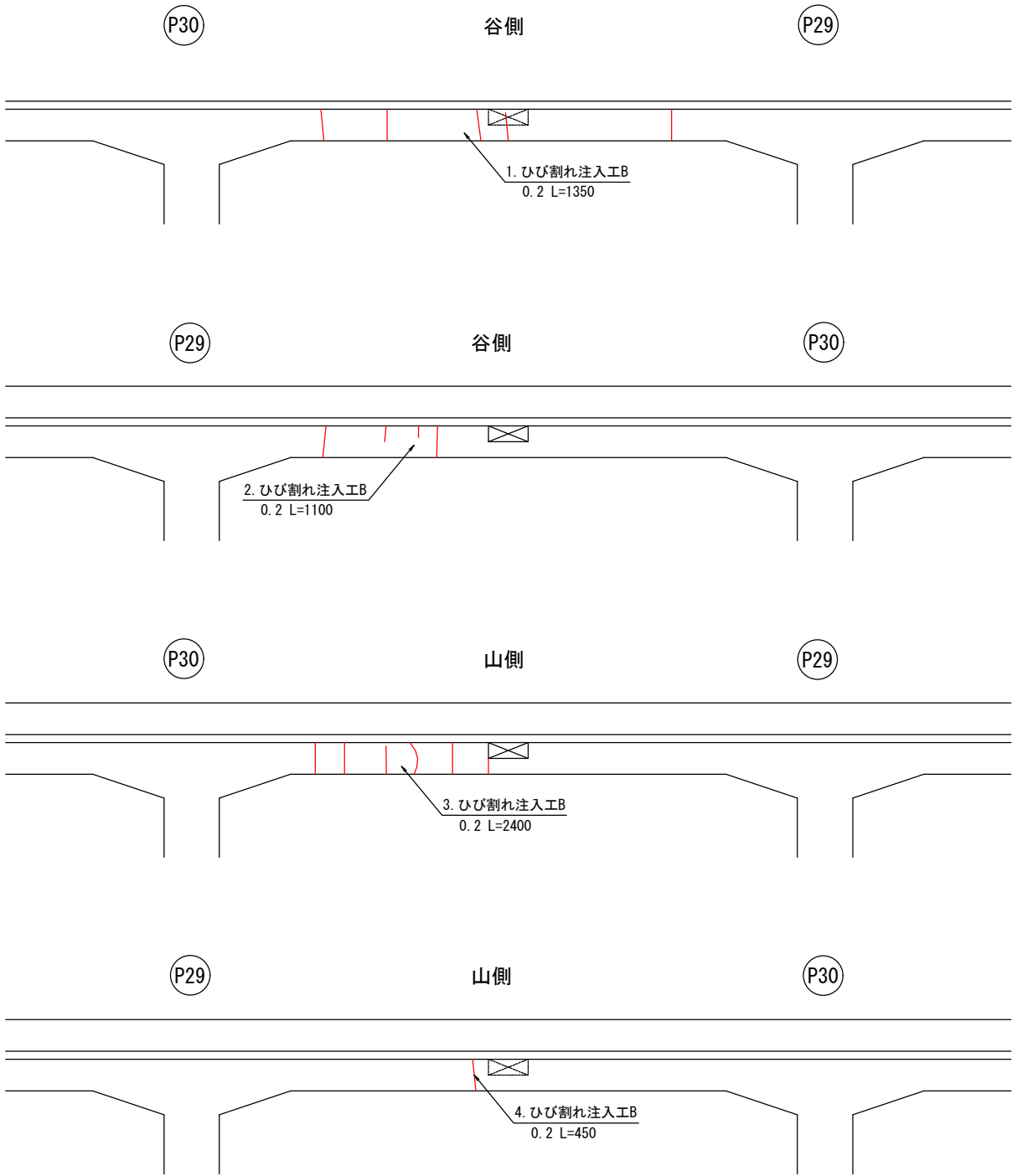
補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

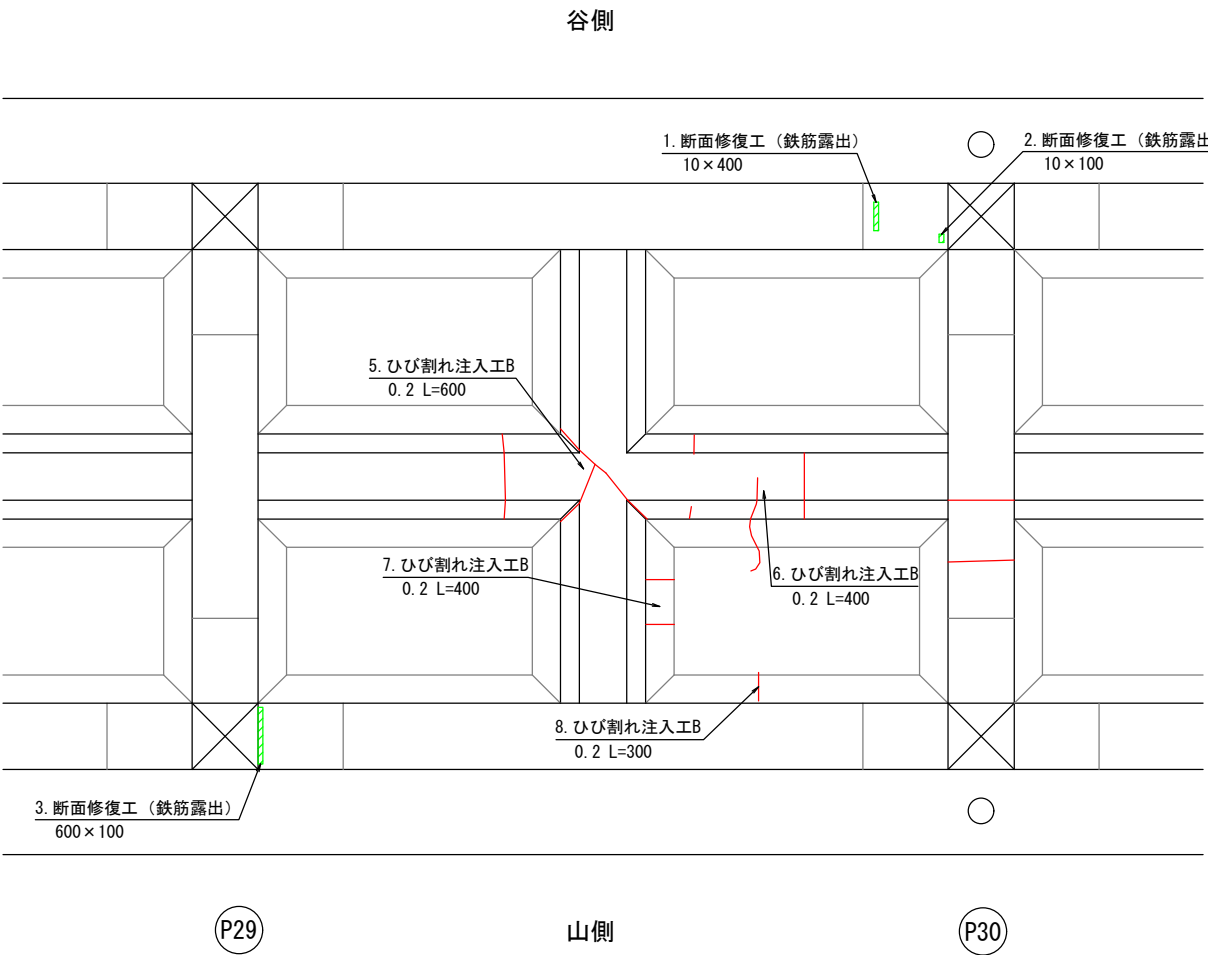
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その1）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	9/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その2） S=1:40
桁下 第2径間

側面図



平面図



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ（開口幅0.2mm以上～1.0mm未満）
ひび割れ充填工		ひびわれ（開口幅1.0mm以上）

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

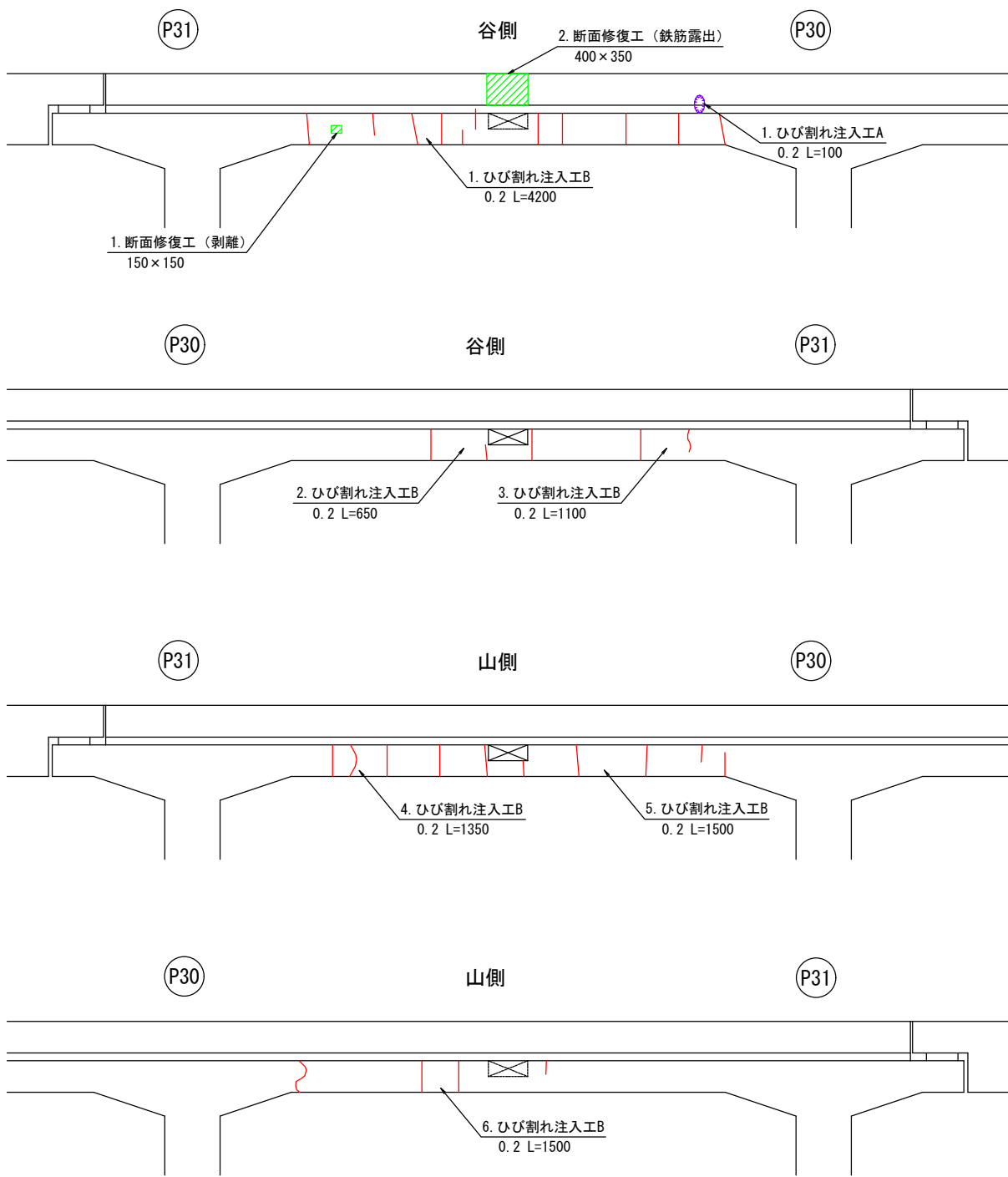
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その2）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	10/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その3）

S=1:40

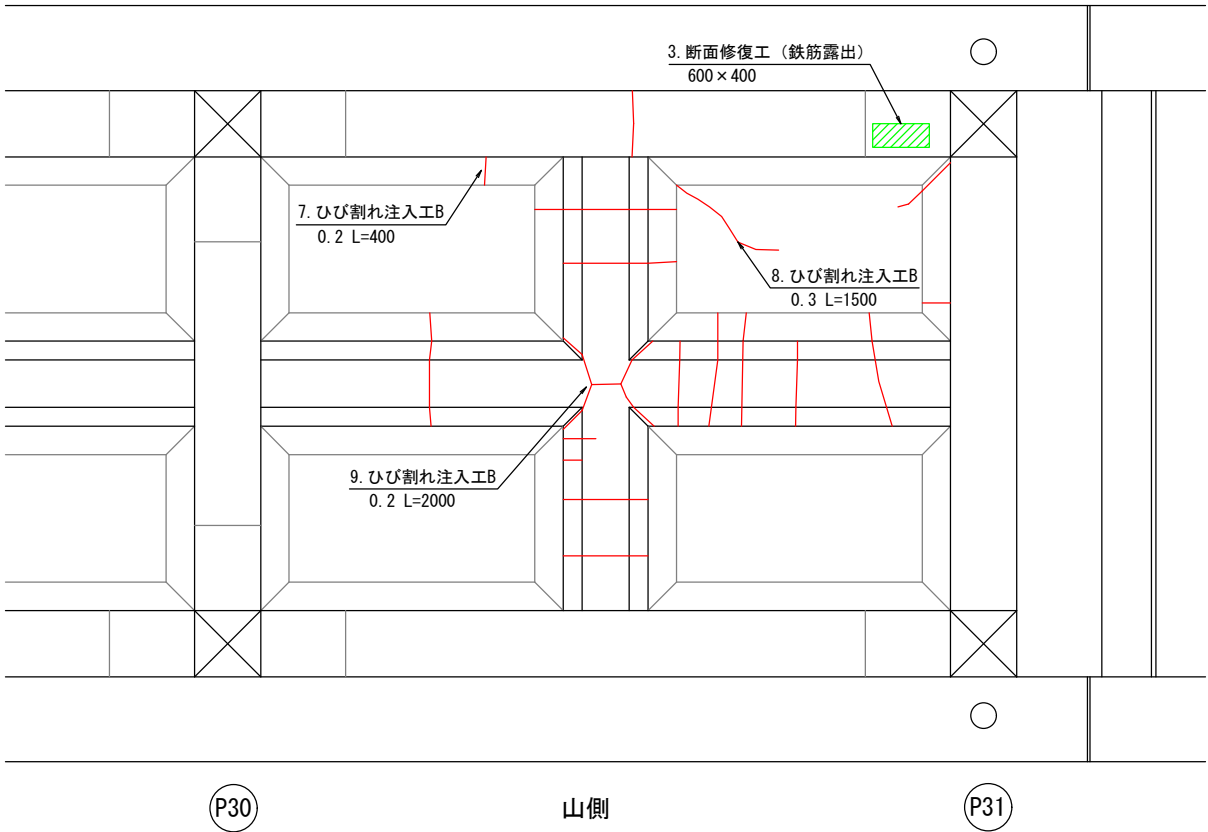
桁下 第3径間

側面図



平面図

谷側



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託(R2-1)の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

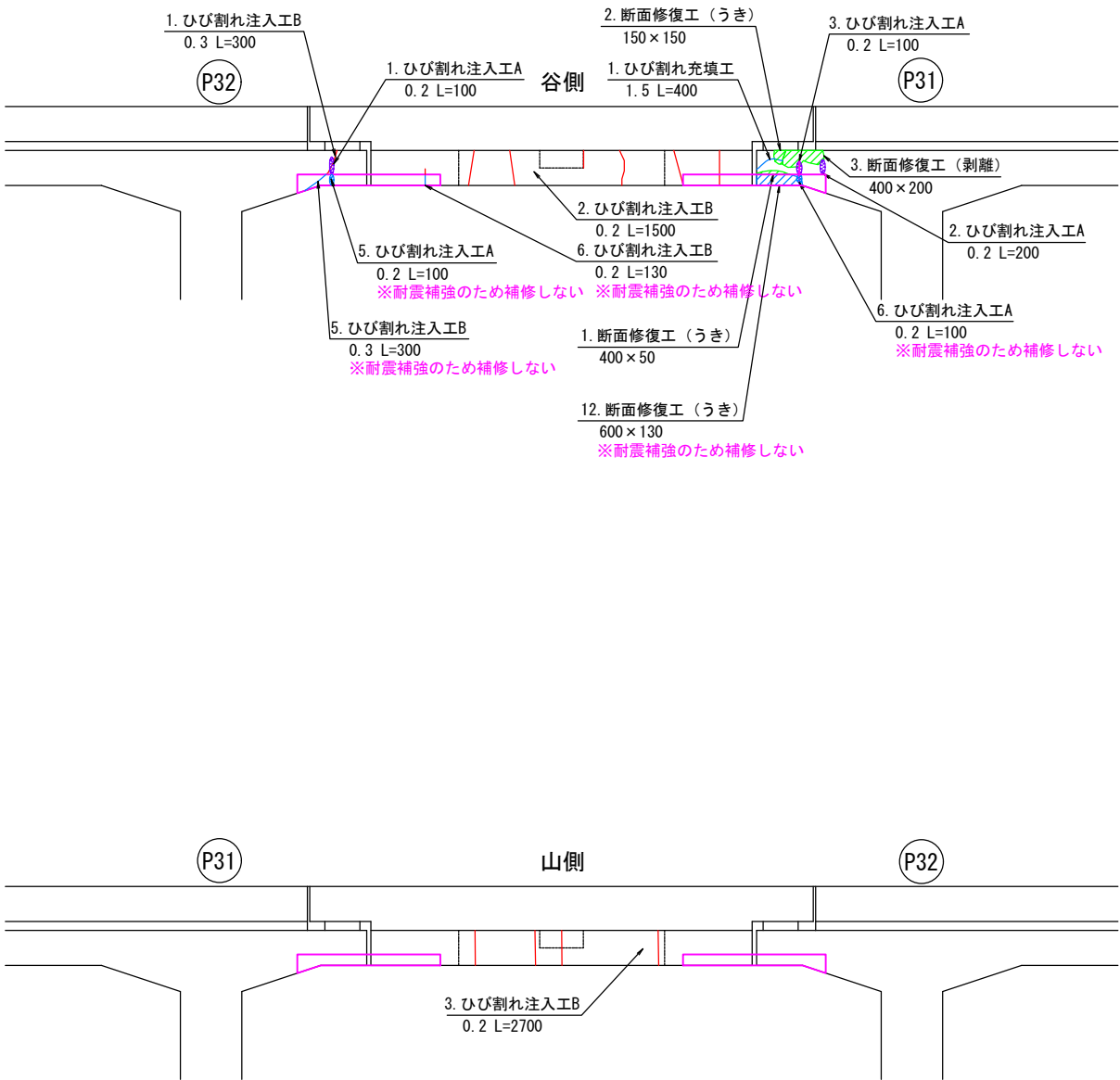
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	11/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その4）

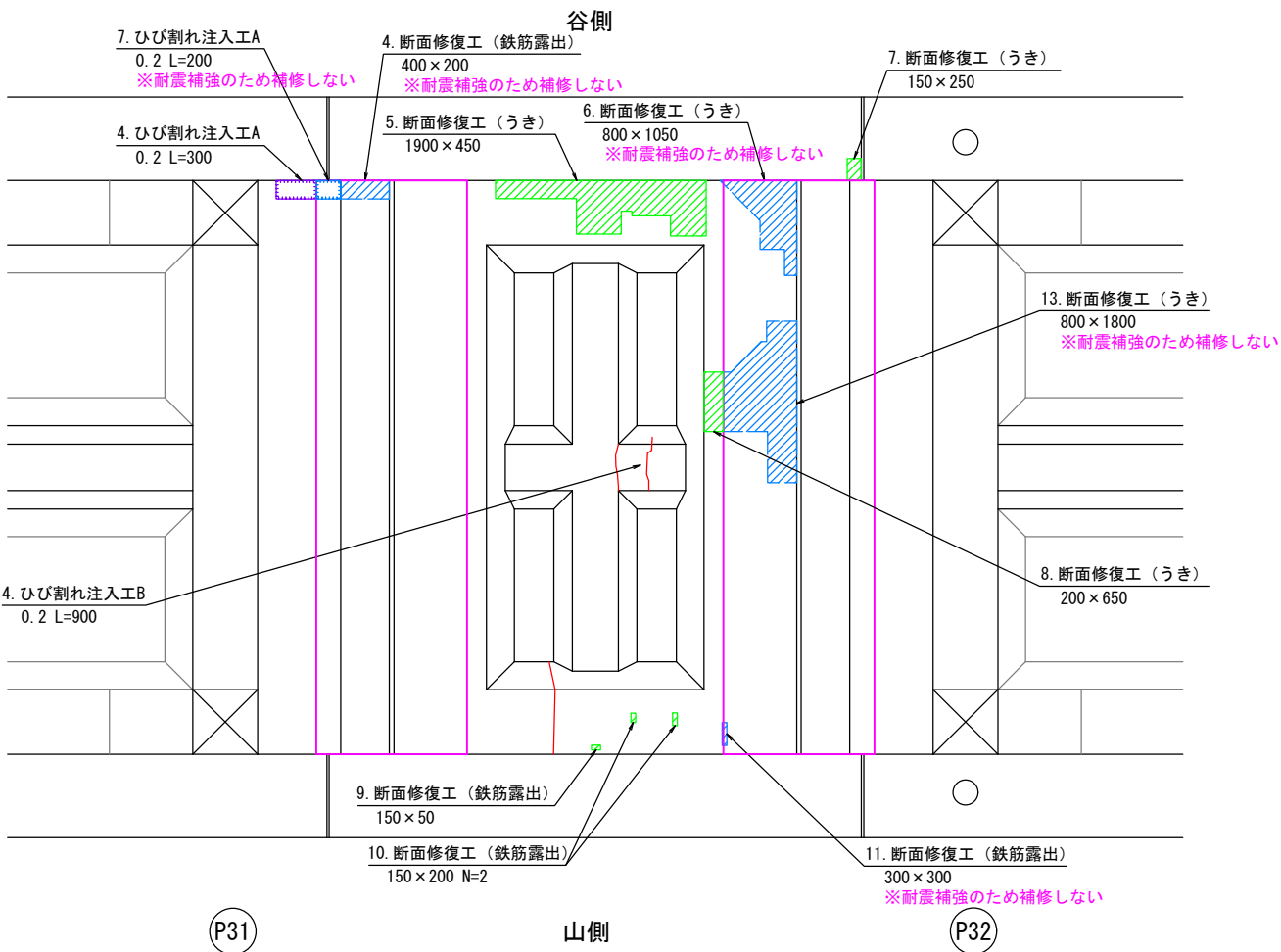
S=1:40

桁下 第4径間

側面図



平面図



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ（開口幅0.2mm以上～1.0mm未満）
ひび割れ充填工		ひびわれ（開口幅1.0mm以上）

凡例

ゲルバ一部一体化範囲	
------------	--

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

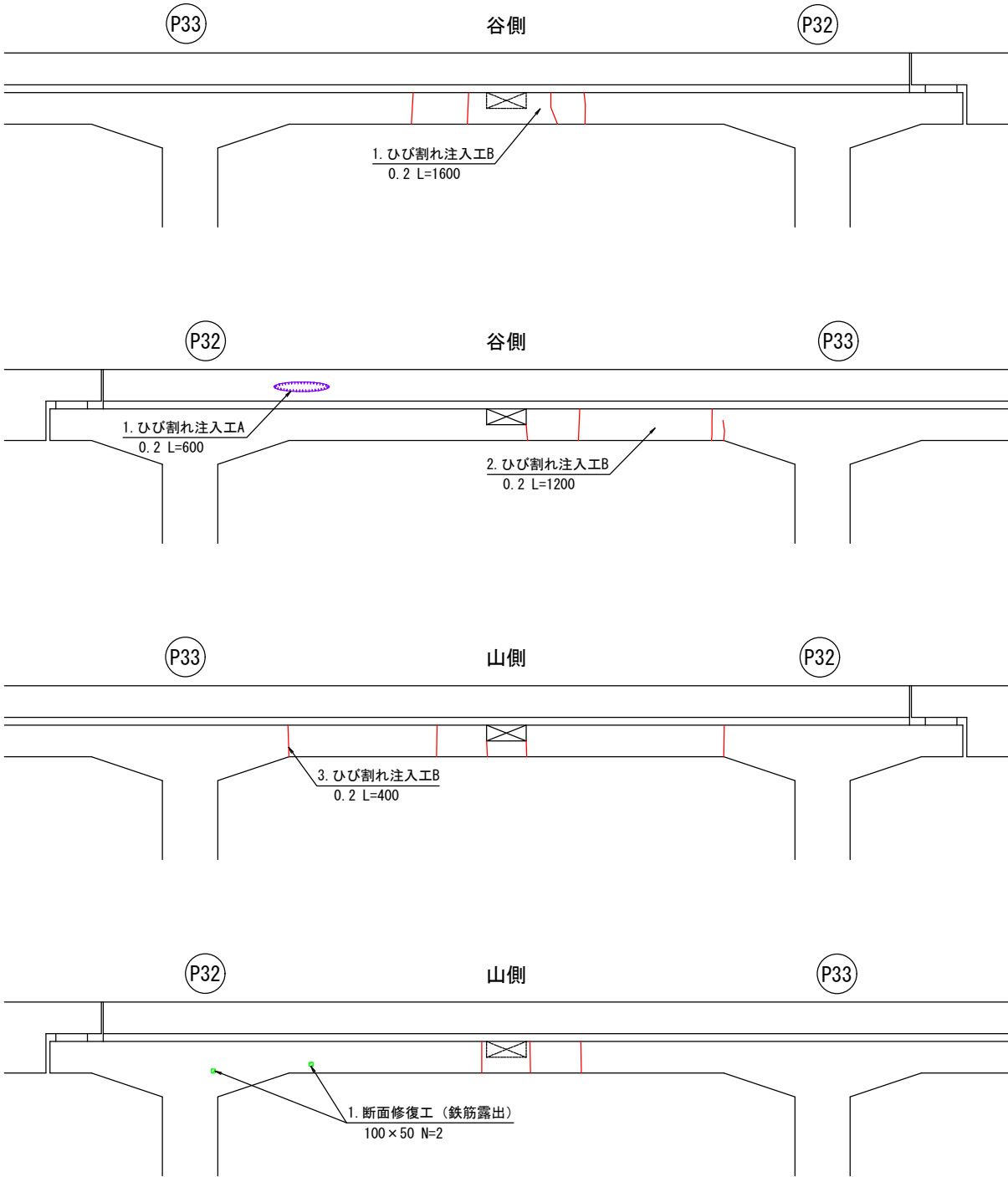
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その4）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	12/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その5）

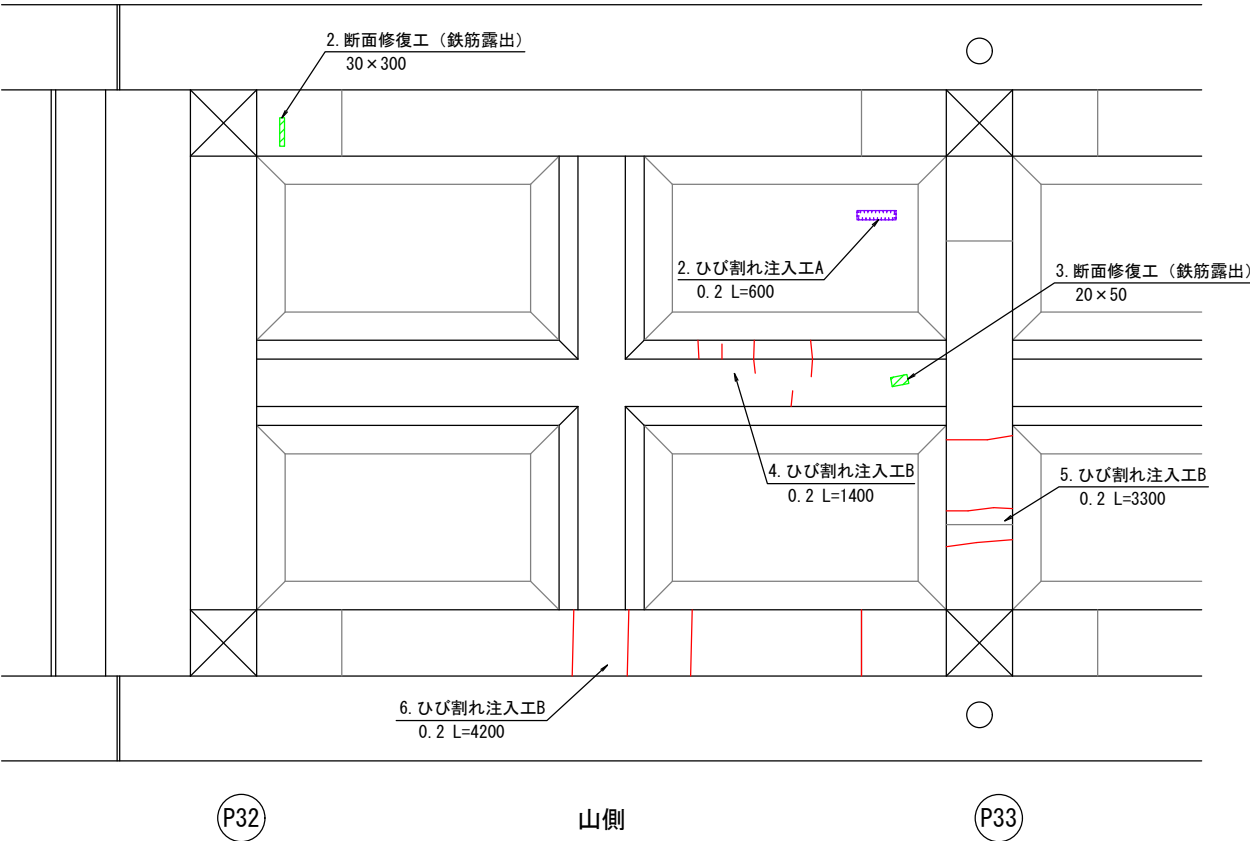
S=1:40

桁下 第5径間

側面図



平面図
谷側



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

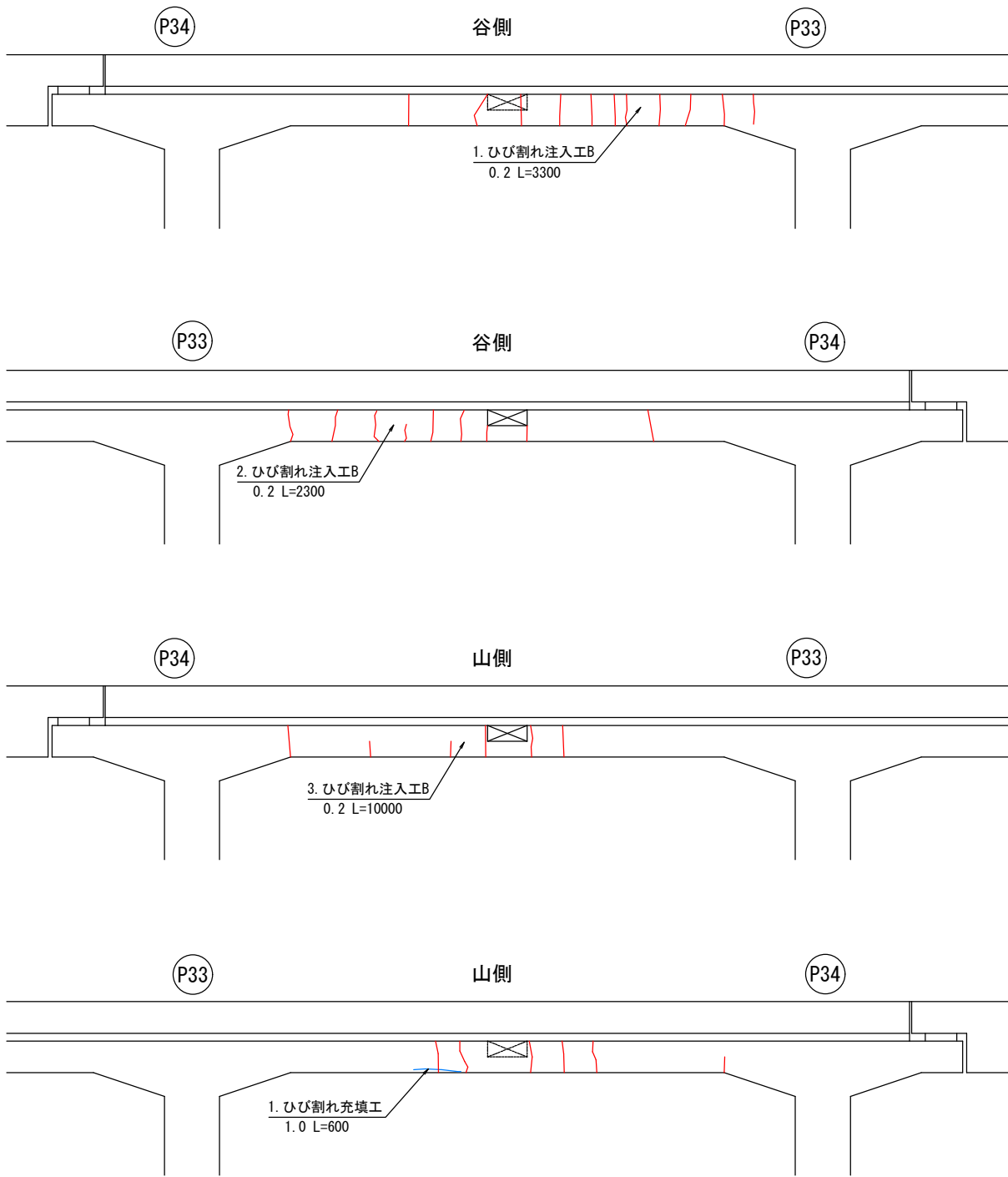
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

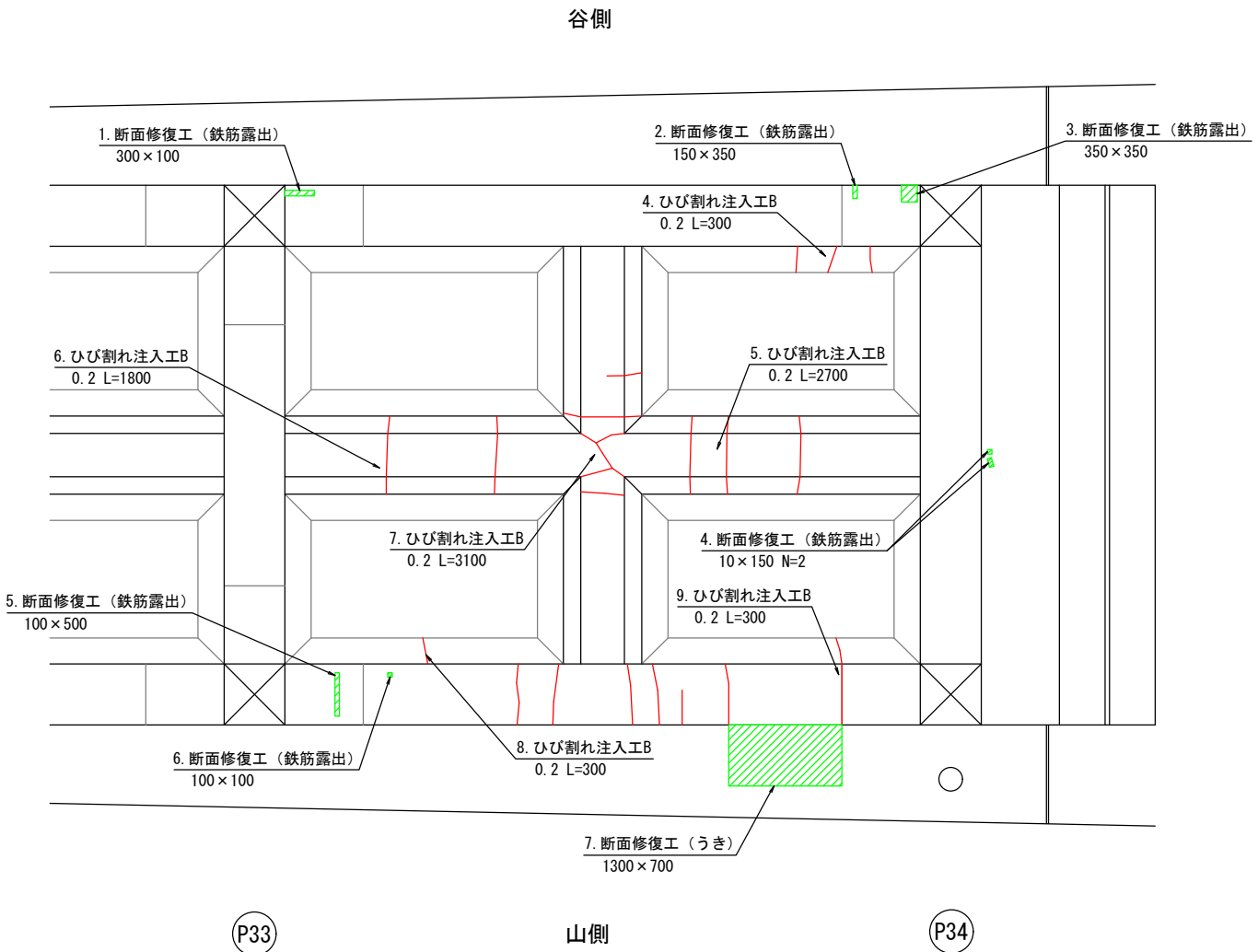
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その5）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	13/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その6） S=1:40
桁下 第6径間

側面図



平面図



補修凡例

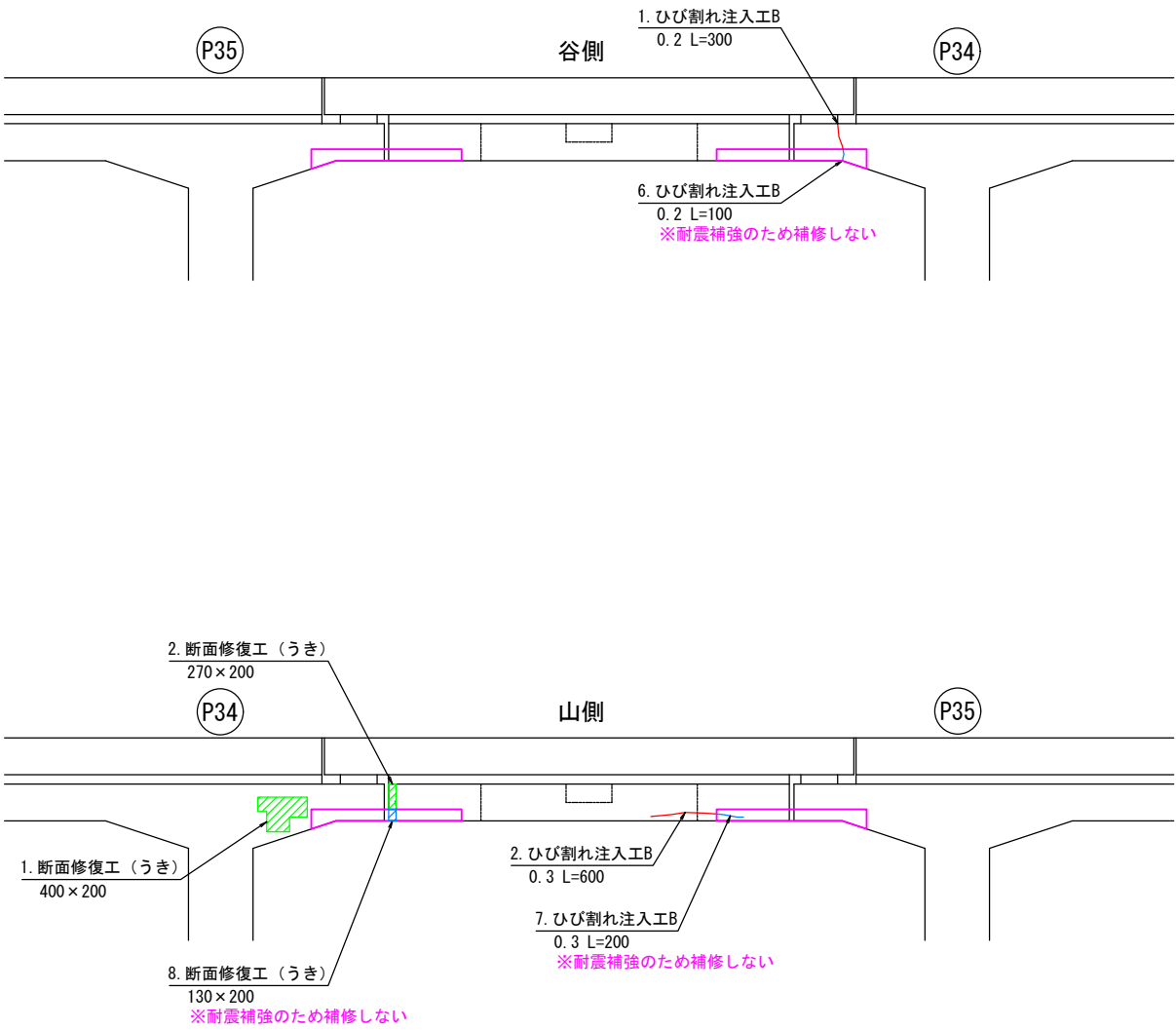
補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

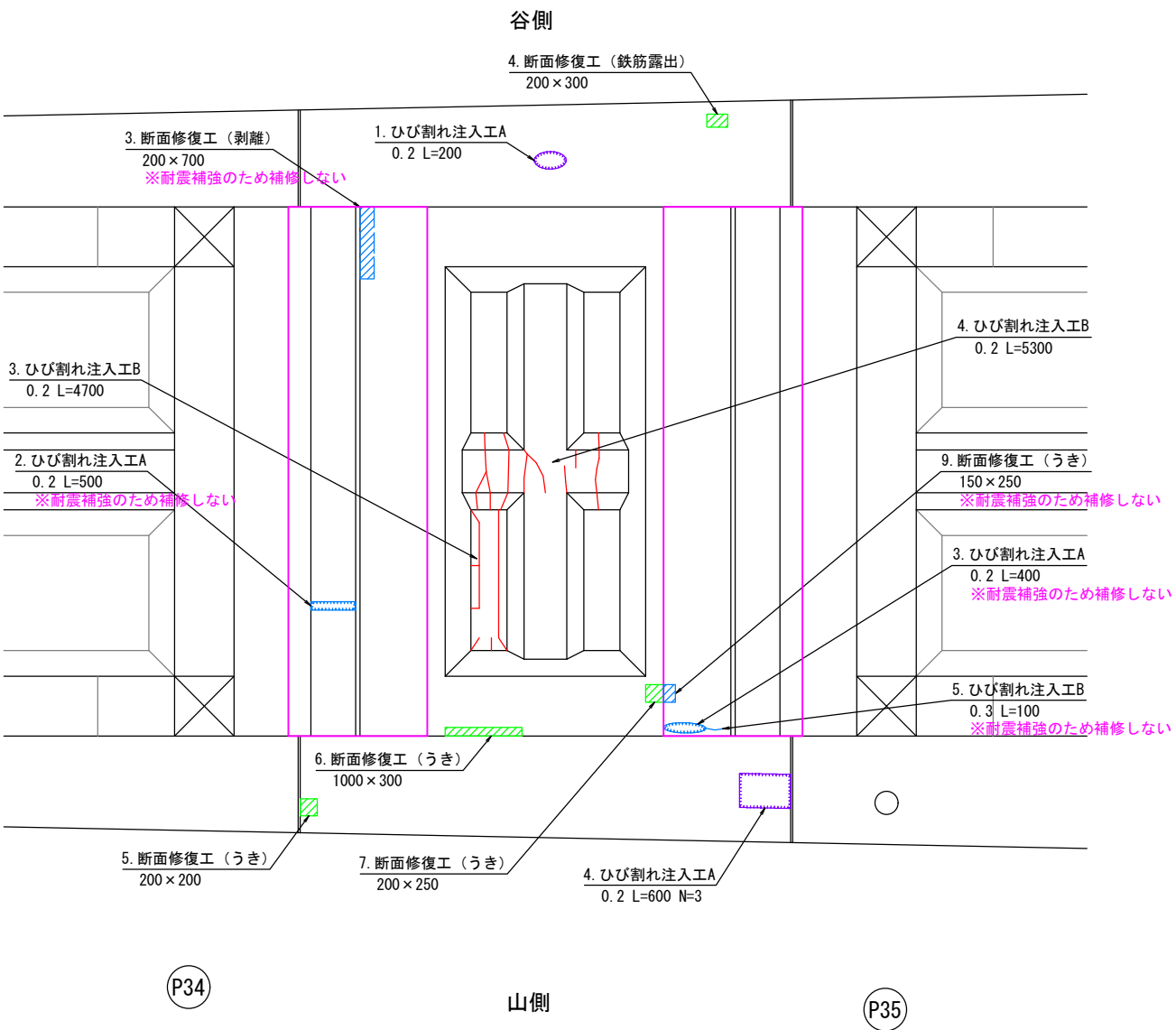
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その6）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	14/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その7） S=1:40
桁下 第7径間

側面図



平面図



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

凡例

ゲルバー部一体化範囲	
------------	--

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託(R2-1)の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

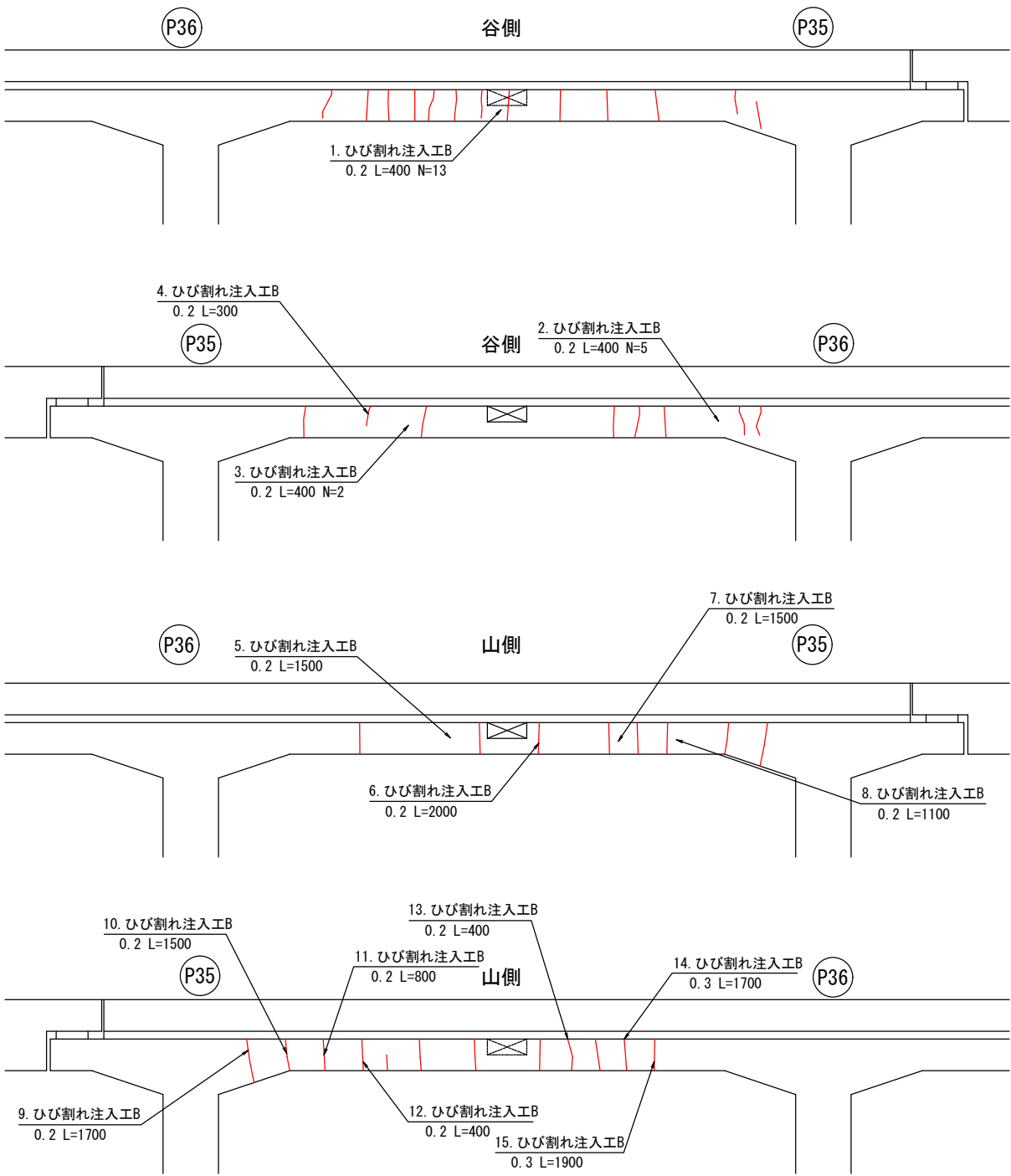
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その7）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	15/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その8）

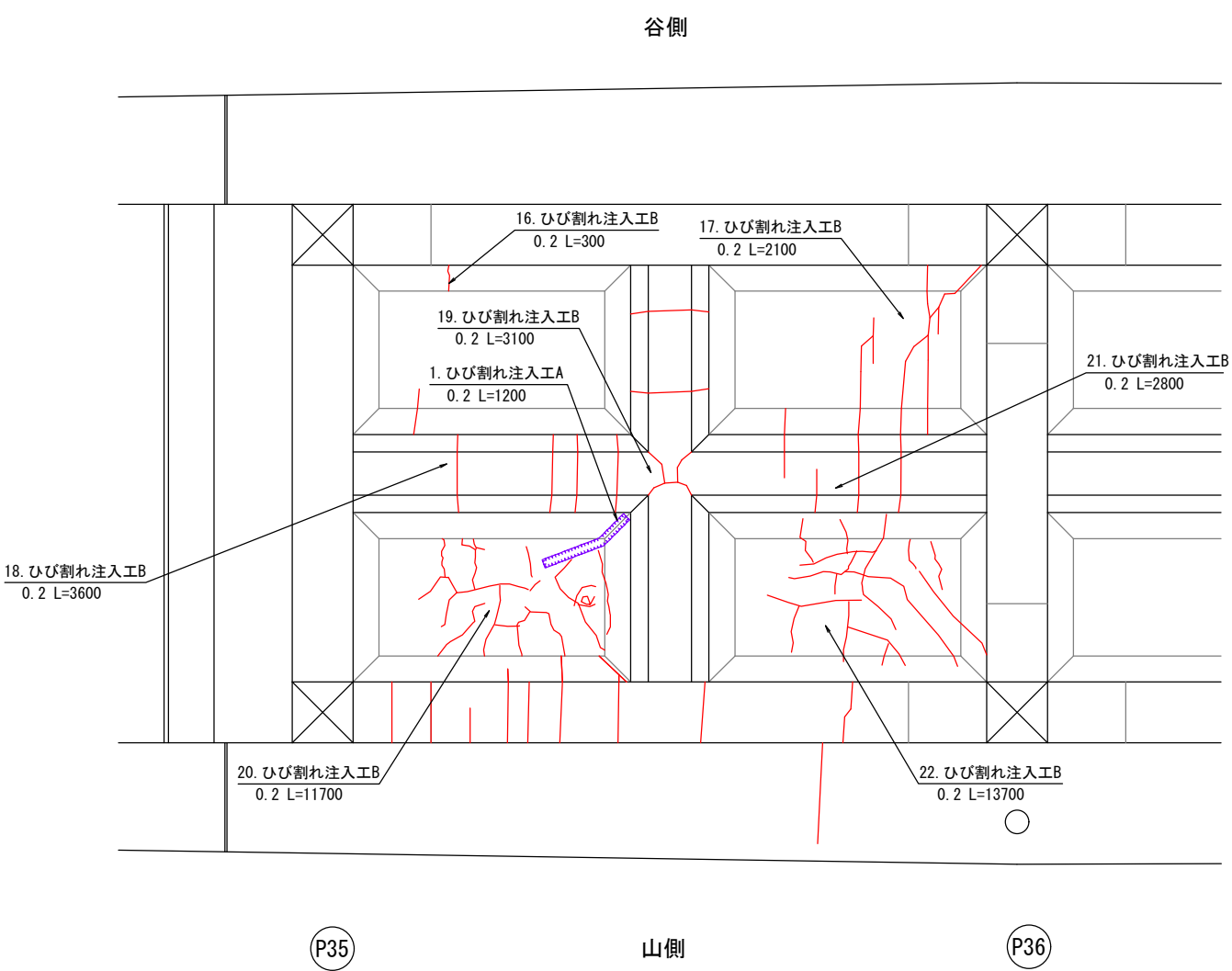
S=1:40

桁下 第8径間

側面図



平面図



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その8）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	16/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

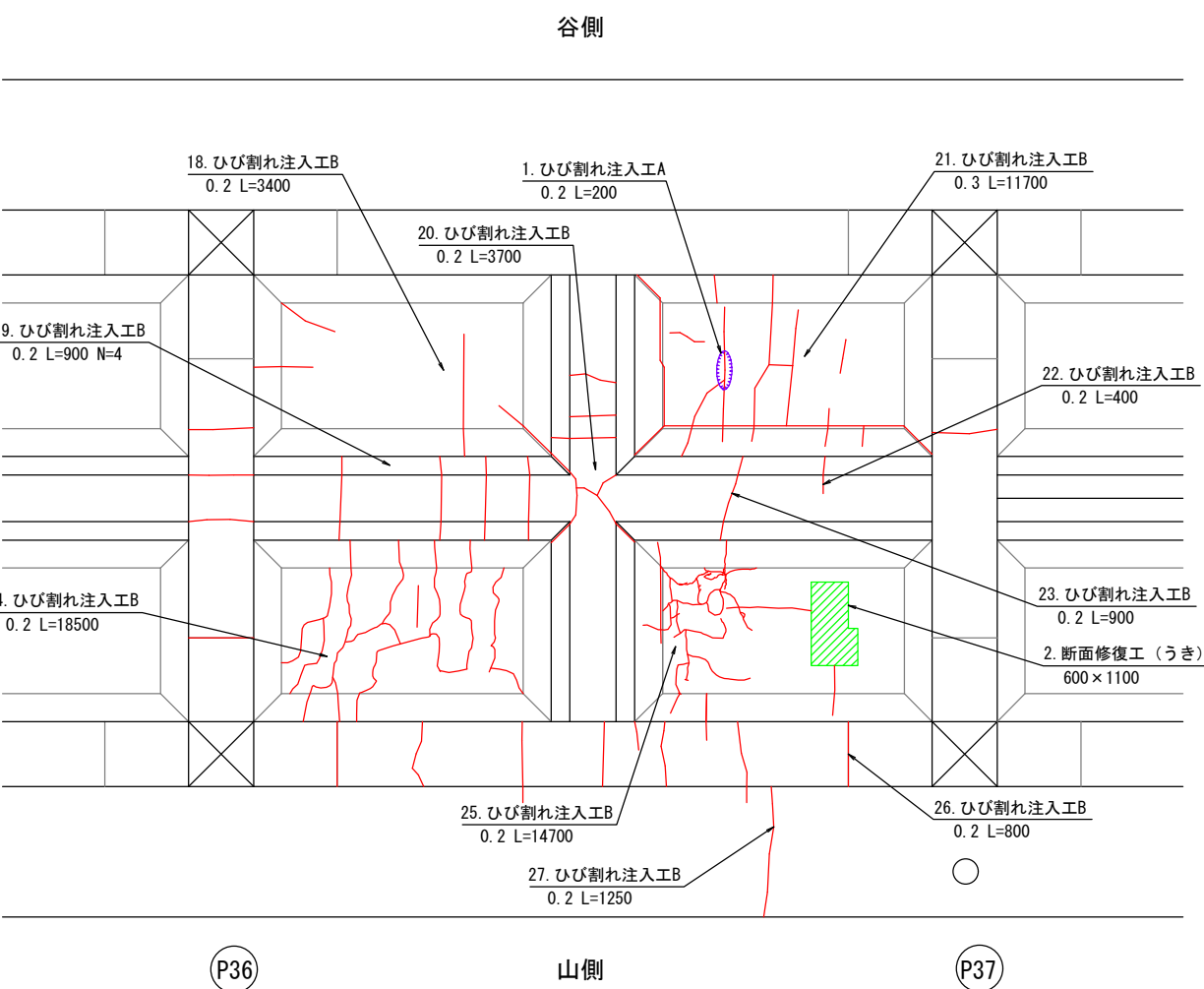
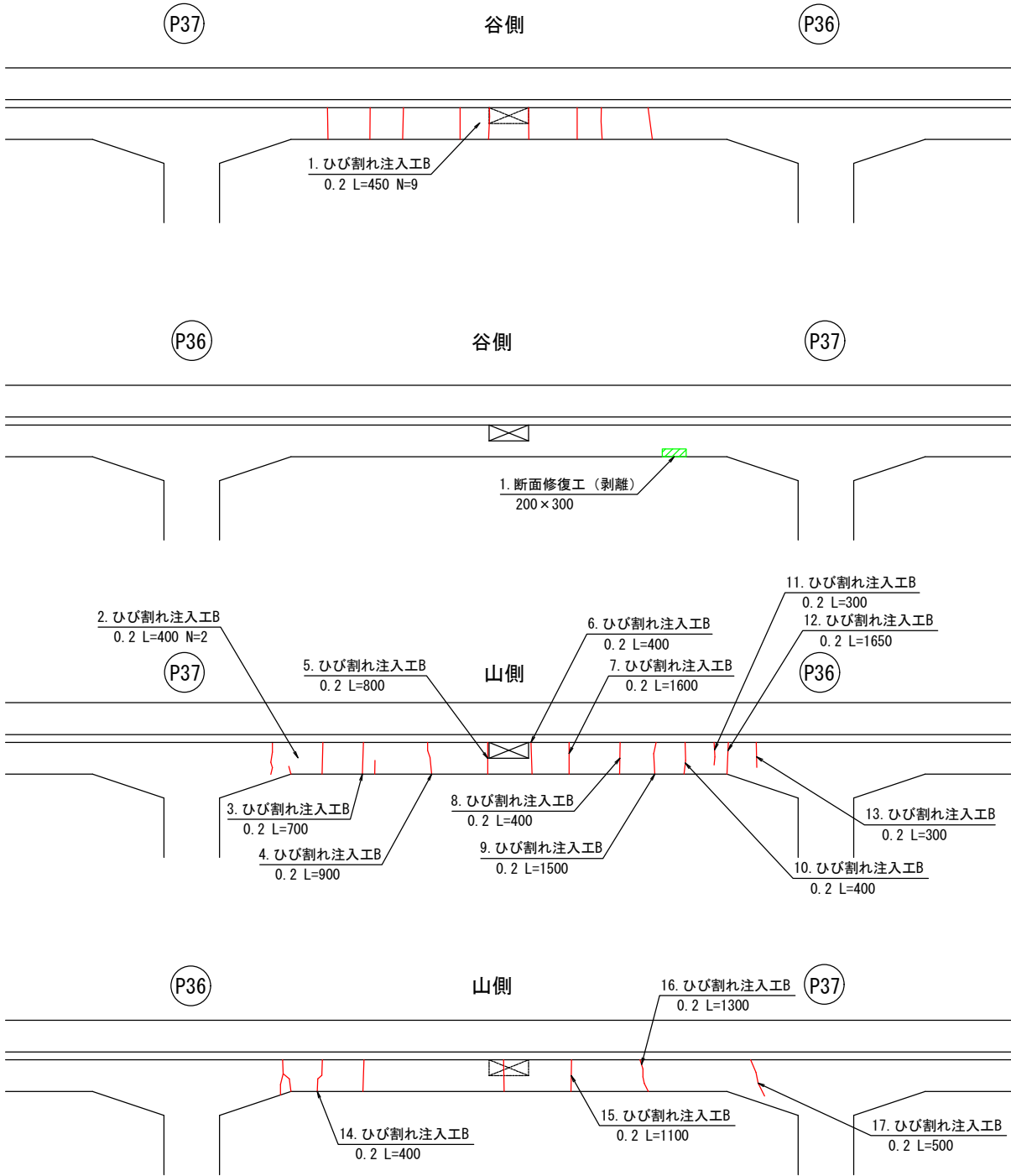
4号橋 補修図（その9）

S=1:40

桁下 第9径間

側 面 図

平 面 図



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ（開口幅0.2mm以上～1.0mm未満）
ひび割れ充填工		ひびわれ（開口幅1.0mm以上）

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

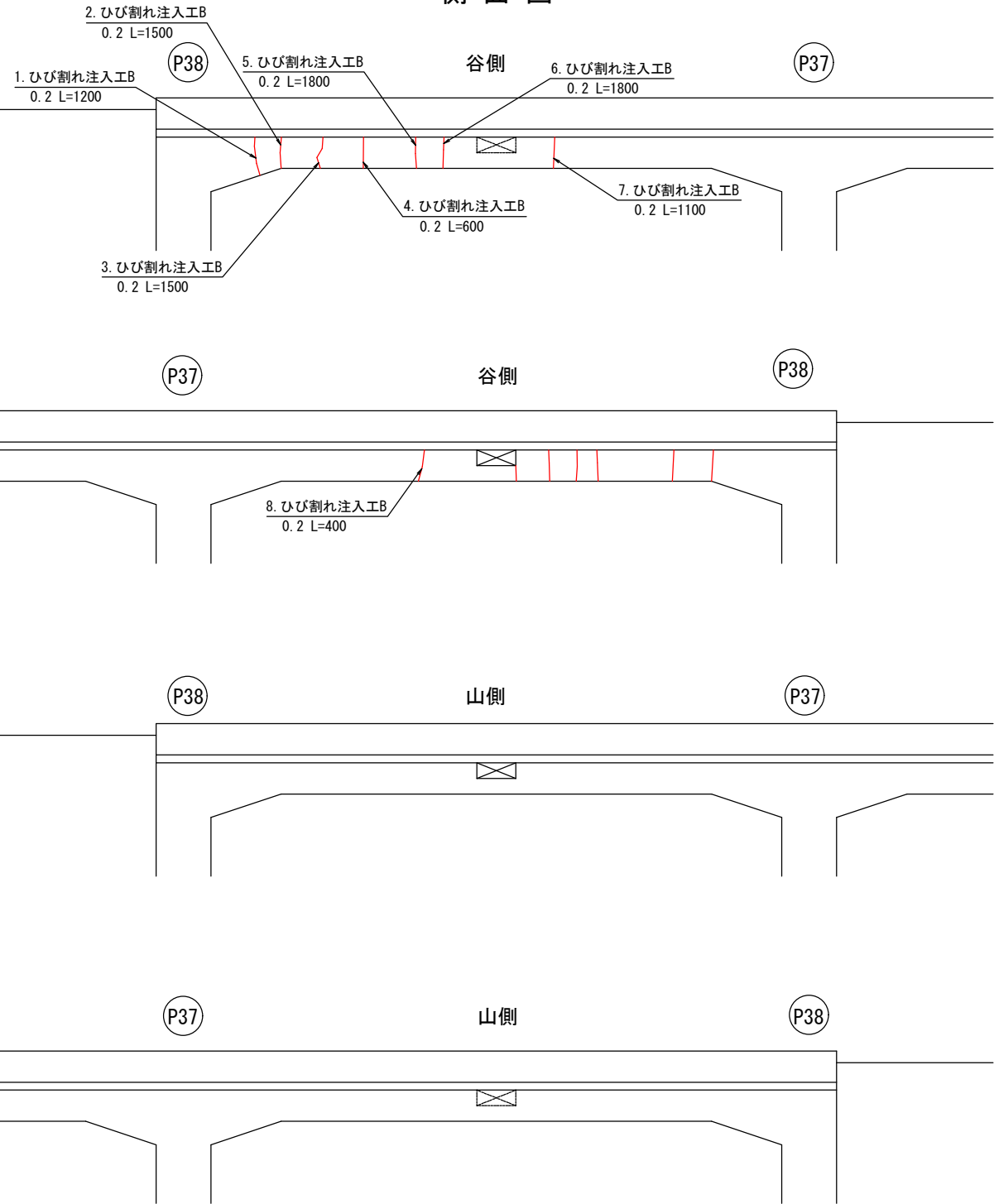
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その9）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	図 示	図面番号	17／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

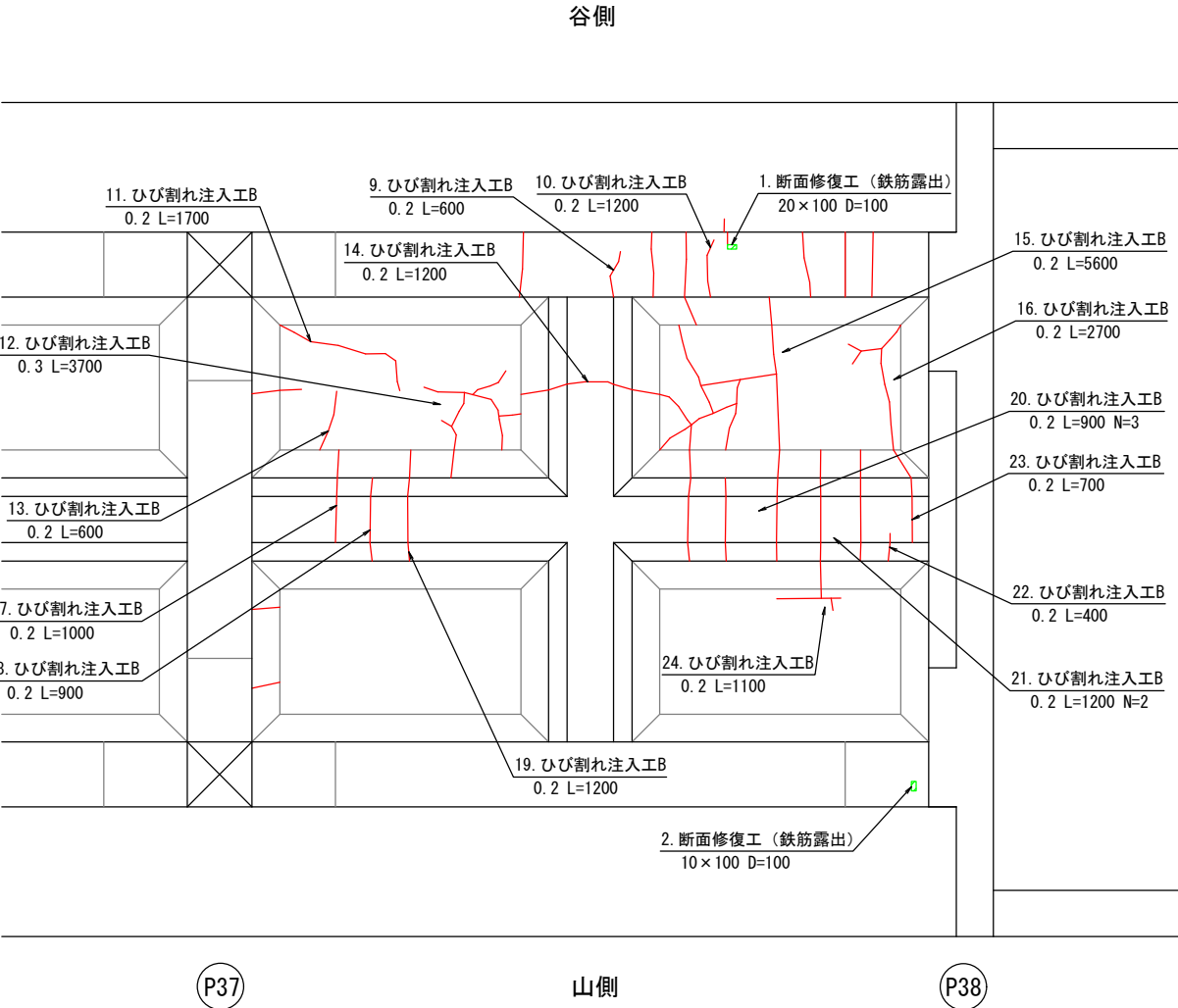
4号橋 補修図（その10） S=1:40

桁下 第10径間

側面図



平面図



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

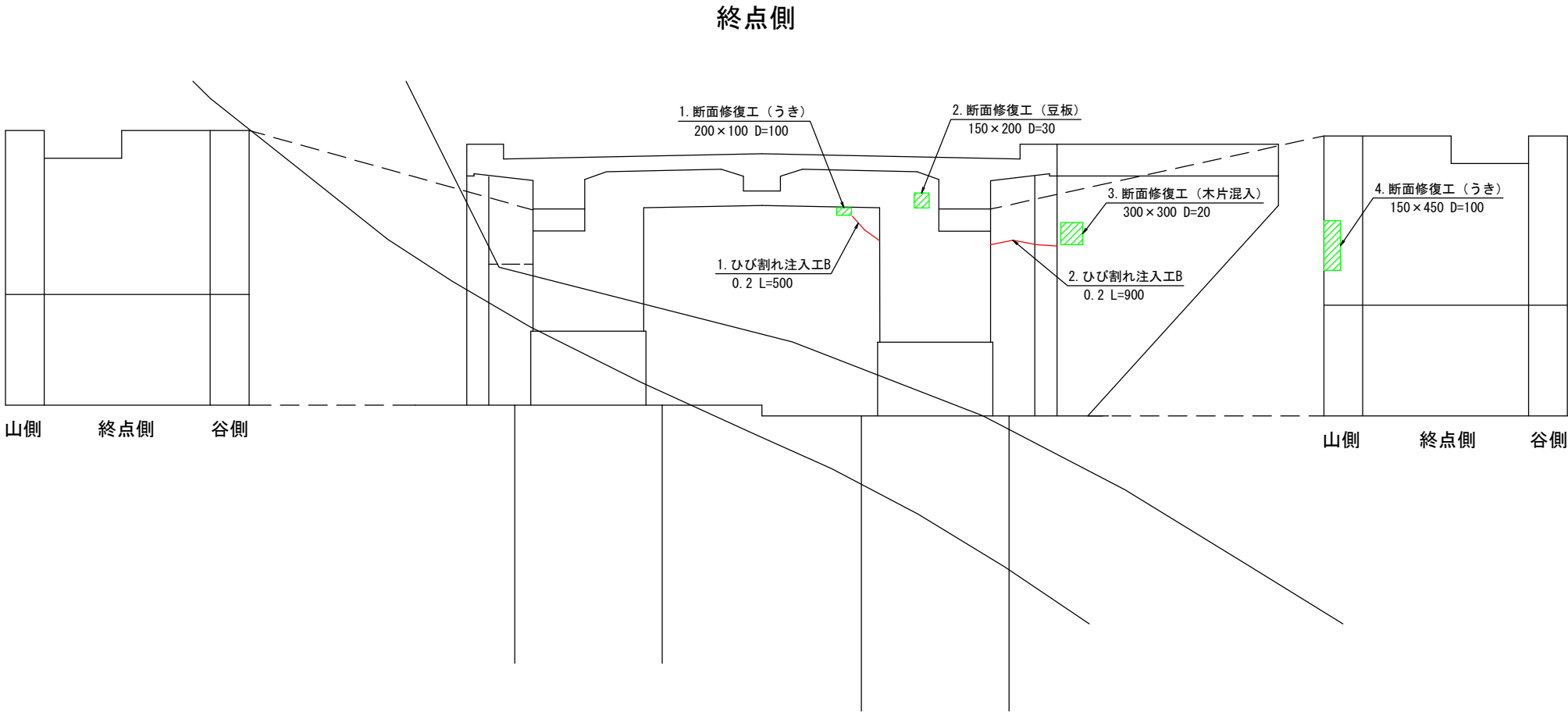
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その10）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	18/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その11） S=1:40
P28橋脚



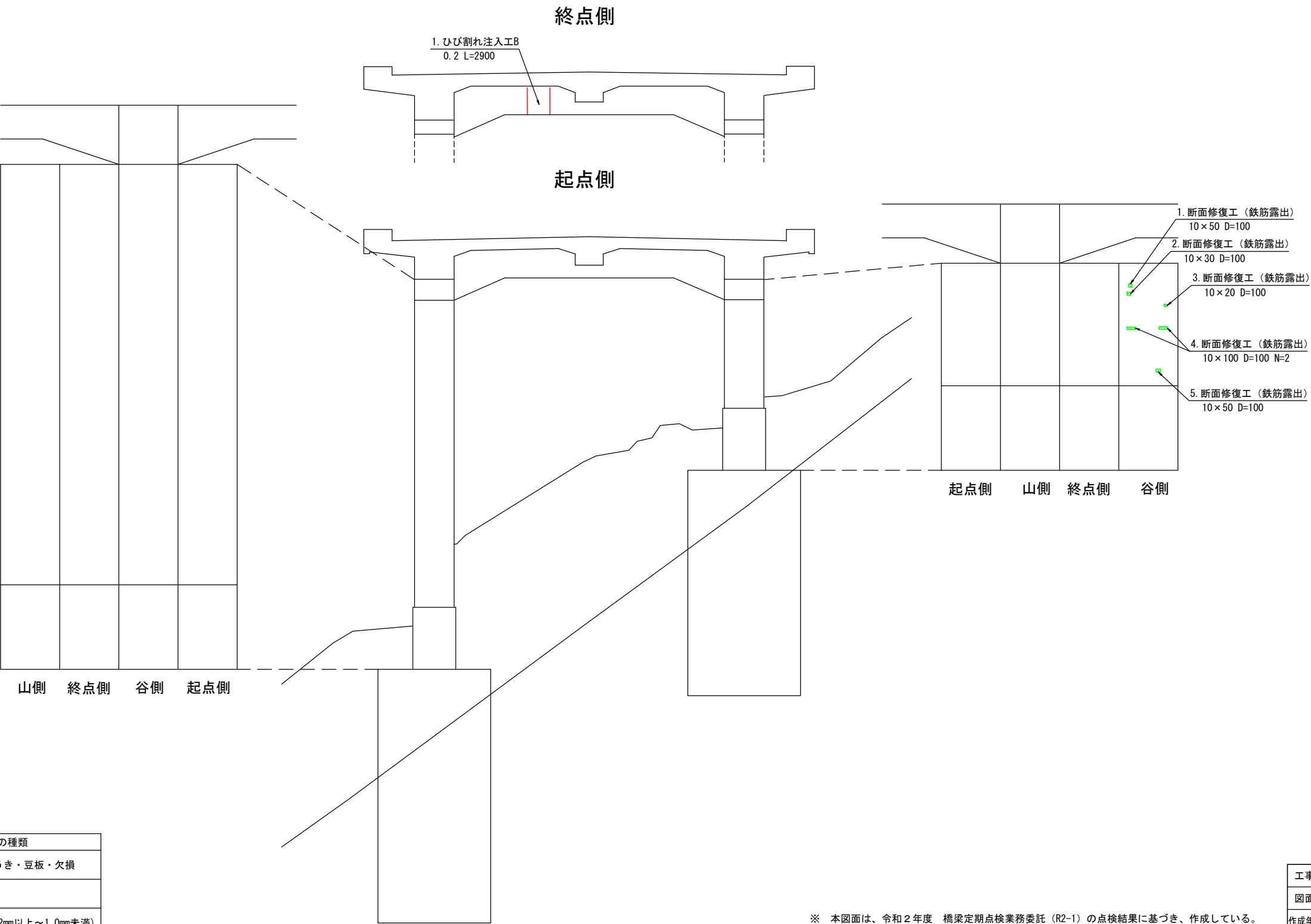
補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託(R2-1)の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その11）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	19/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その12） S=1:40
P29橋脚



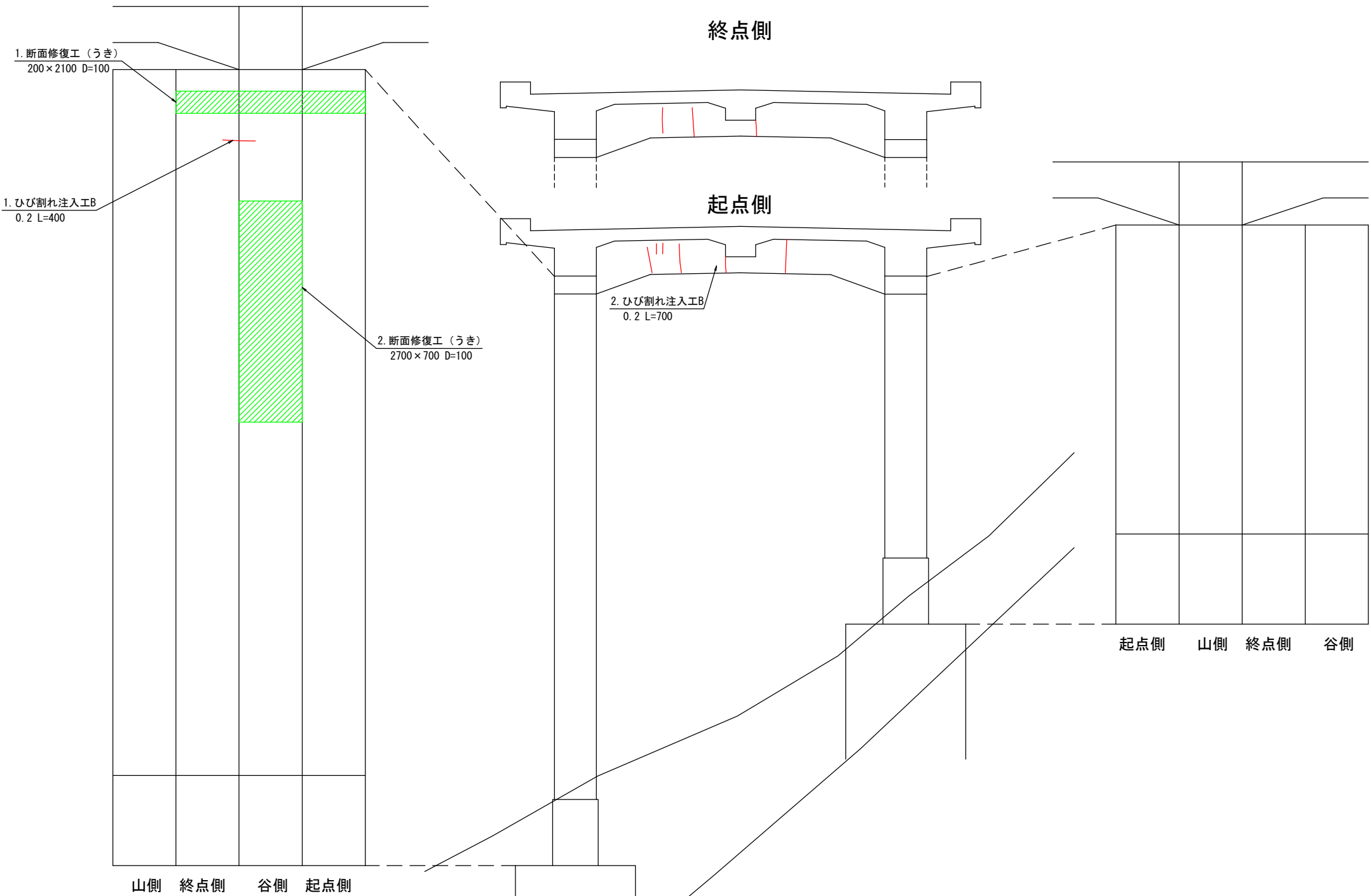
補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その12）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	20/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その13） S=1:40
P30橋脚



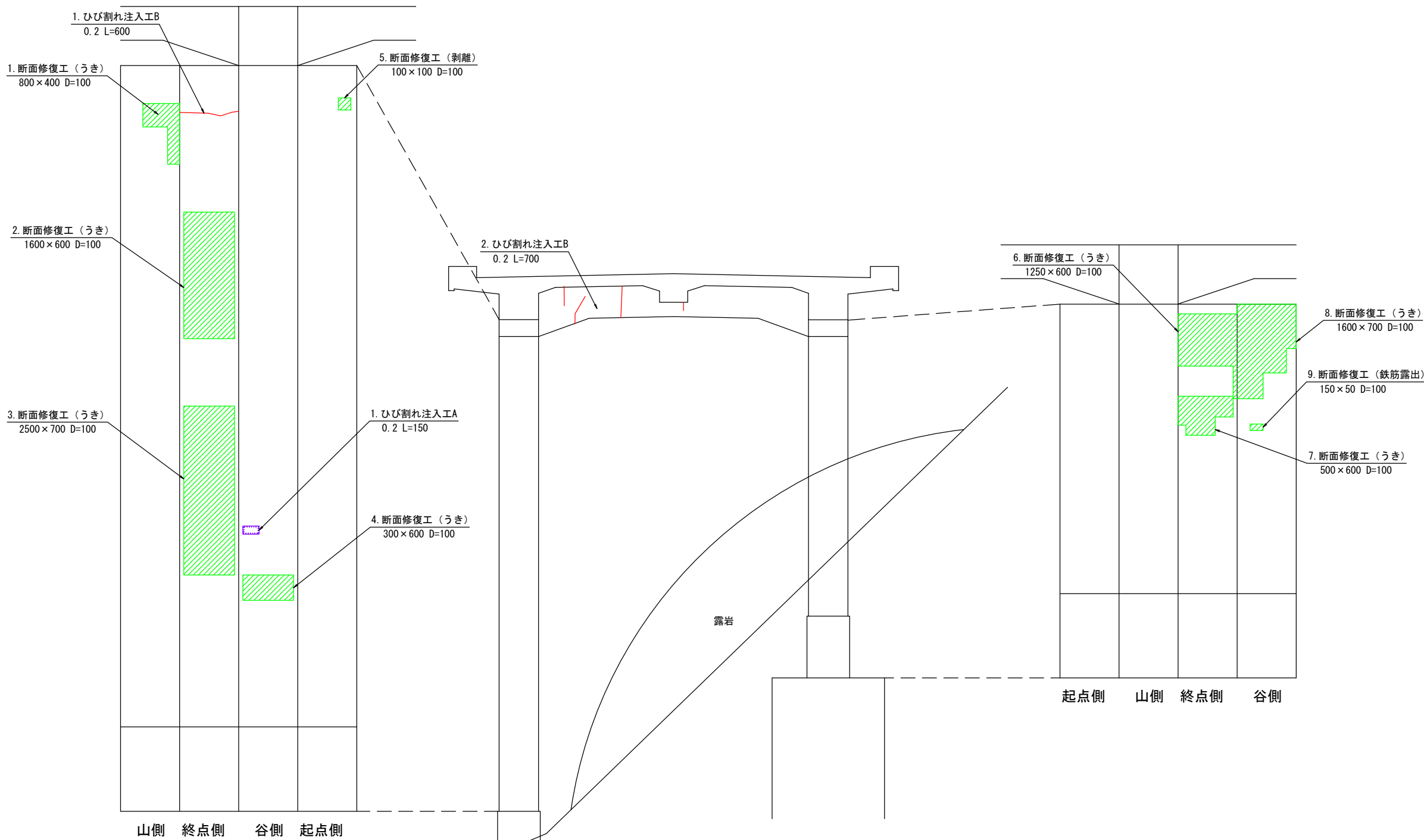
補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ（開口幅0.2mm以上～1.0mm未満）
ひび割れ充填工		ひびわれ（開口幅1.0mm以上）

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その13）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	21/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その14） S=1:40
P31橋脚



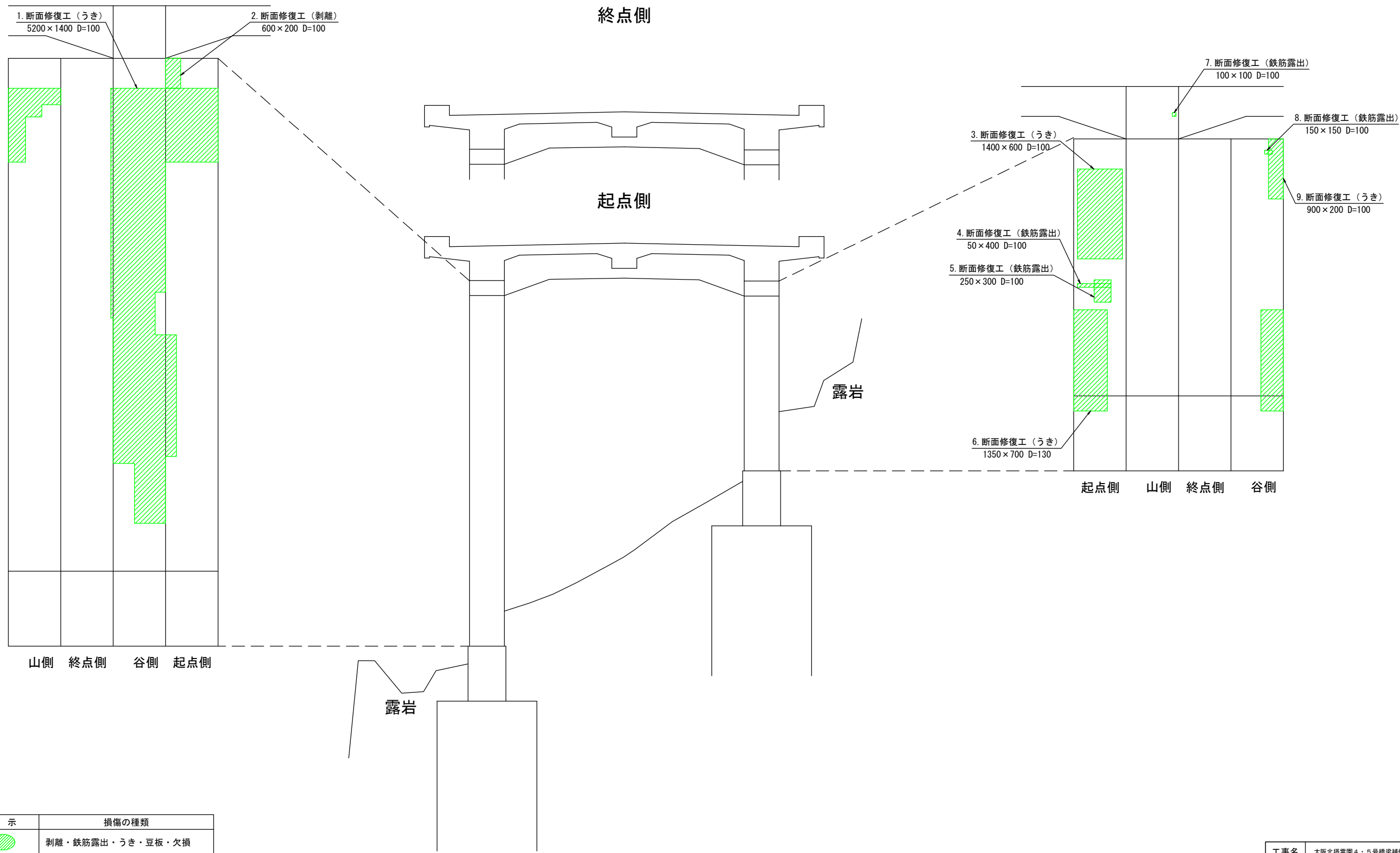
補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その14）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	22/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その15） S=1:40
P32橋脚



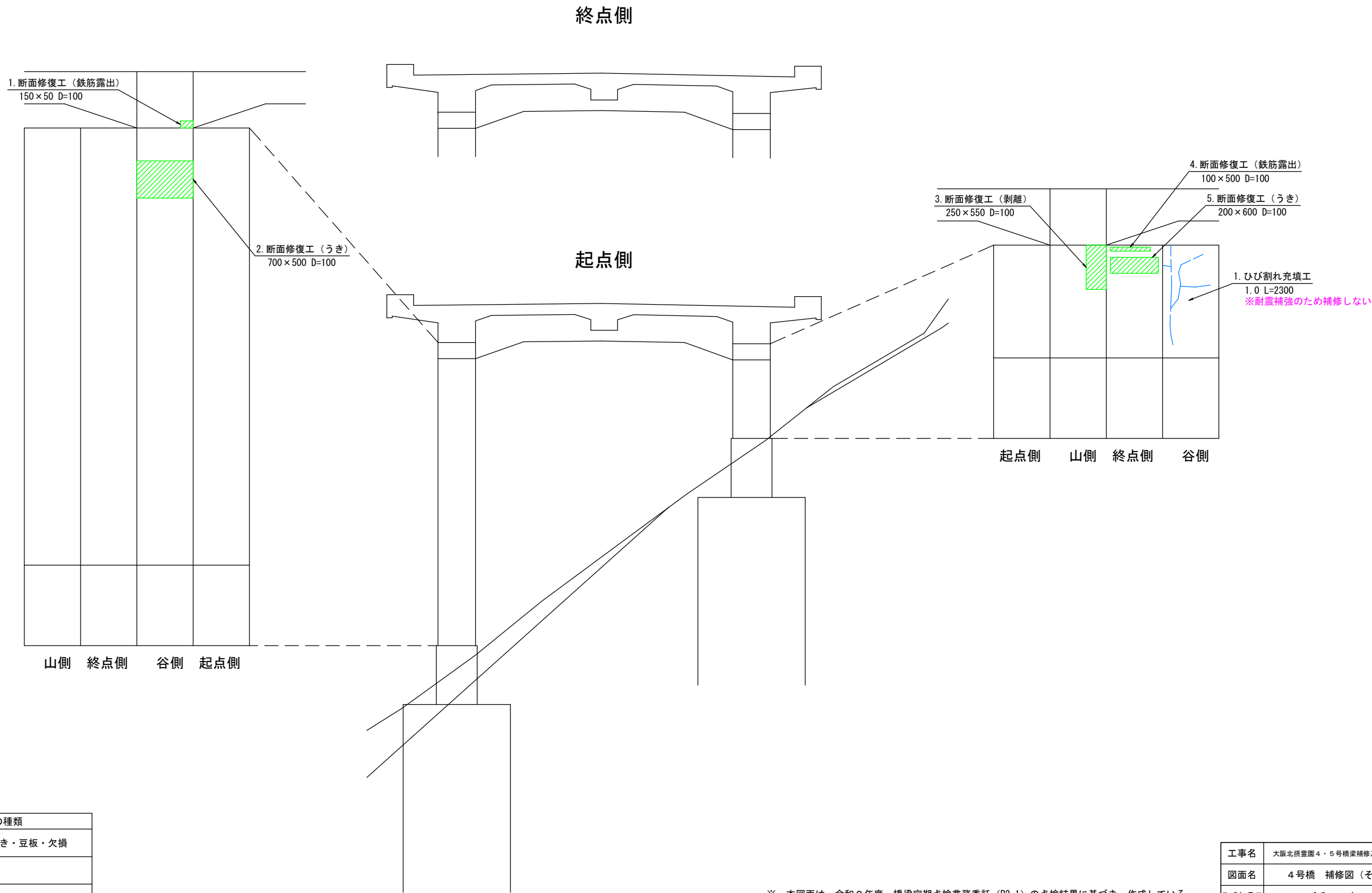
補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その15）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	23/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その16） S=1:40
P33橋脚



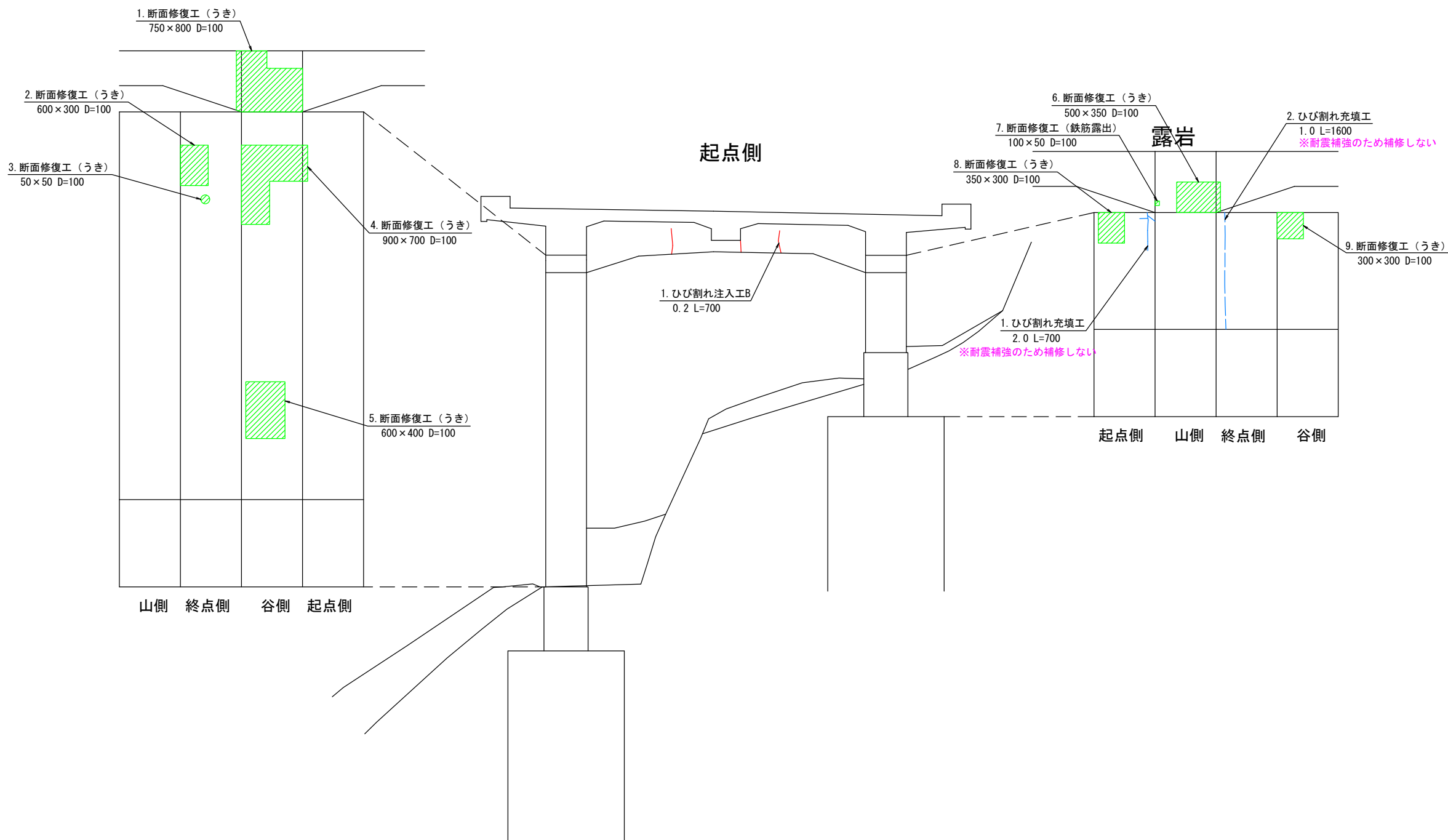
補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その16）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	24／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その17） S=1:40
P34橋脚



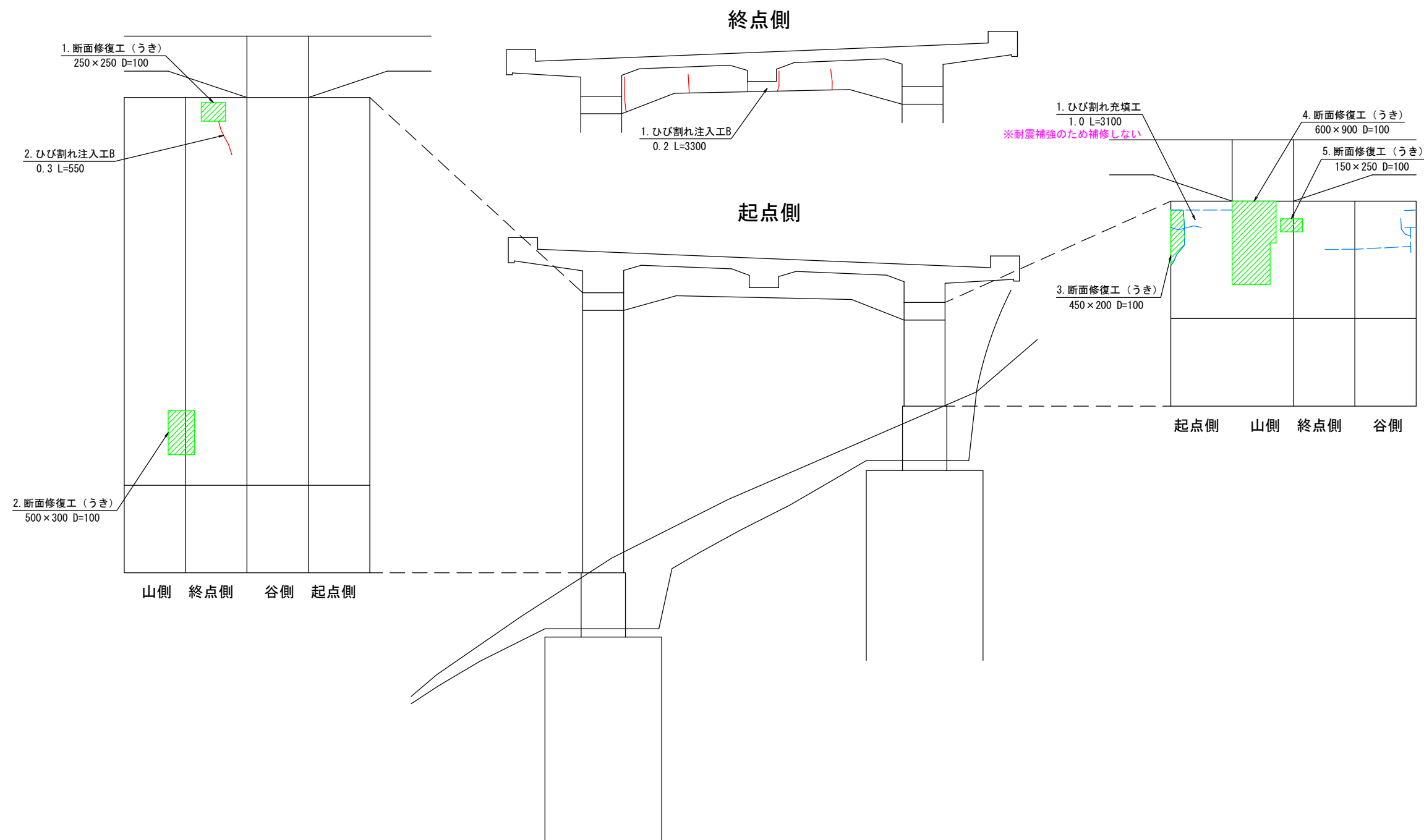
補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託(R2-1)の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図(その17)		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	25/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その18） S=1:40
P35橋脚



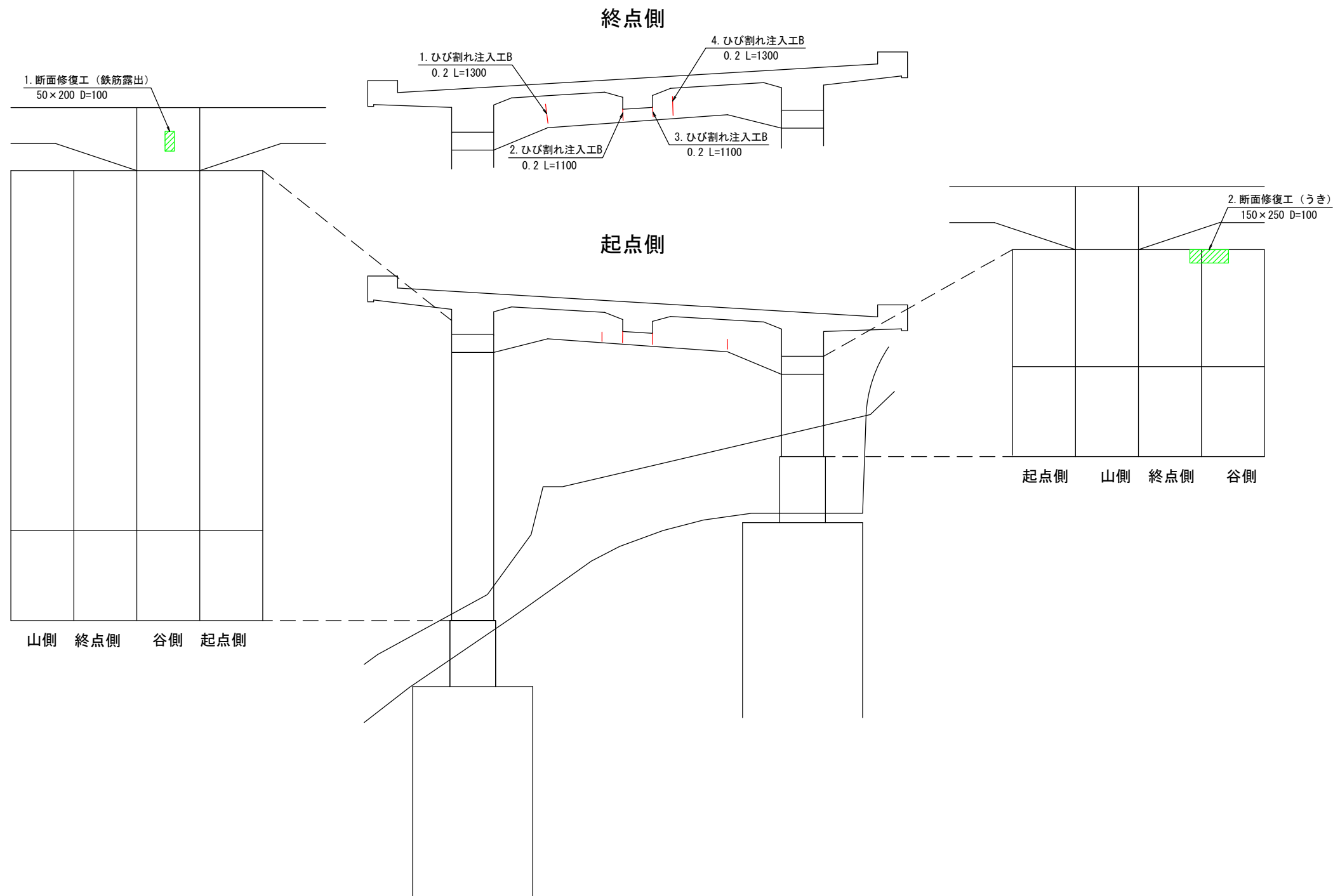
補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その18）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	26／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その19） S=1:40
P36橋脚



補修凡例

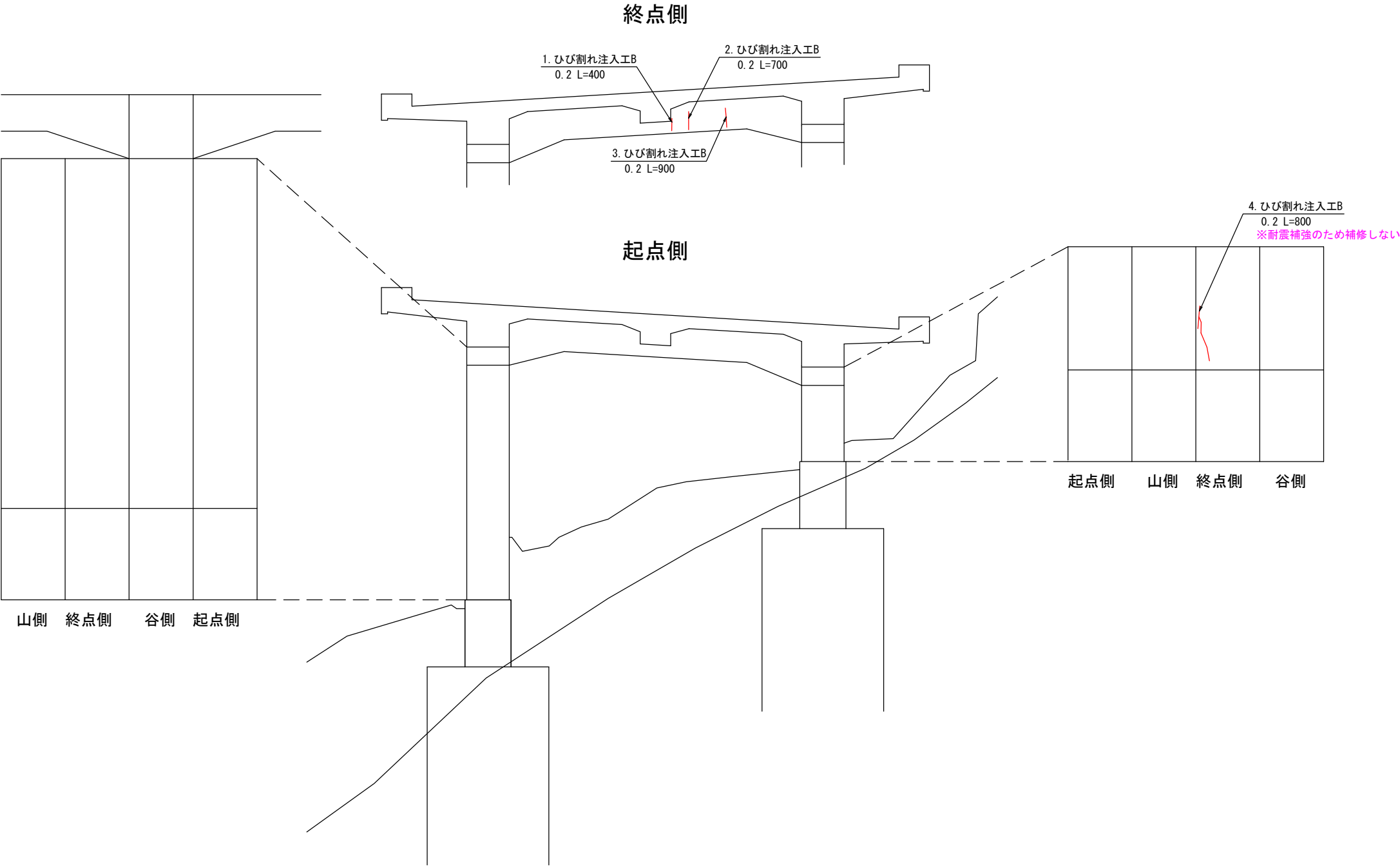
補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その19）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	図 示	図面番号	27／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その20） S=1:40

P37橋脚



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

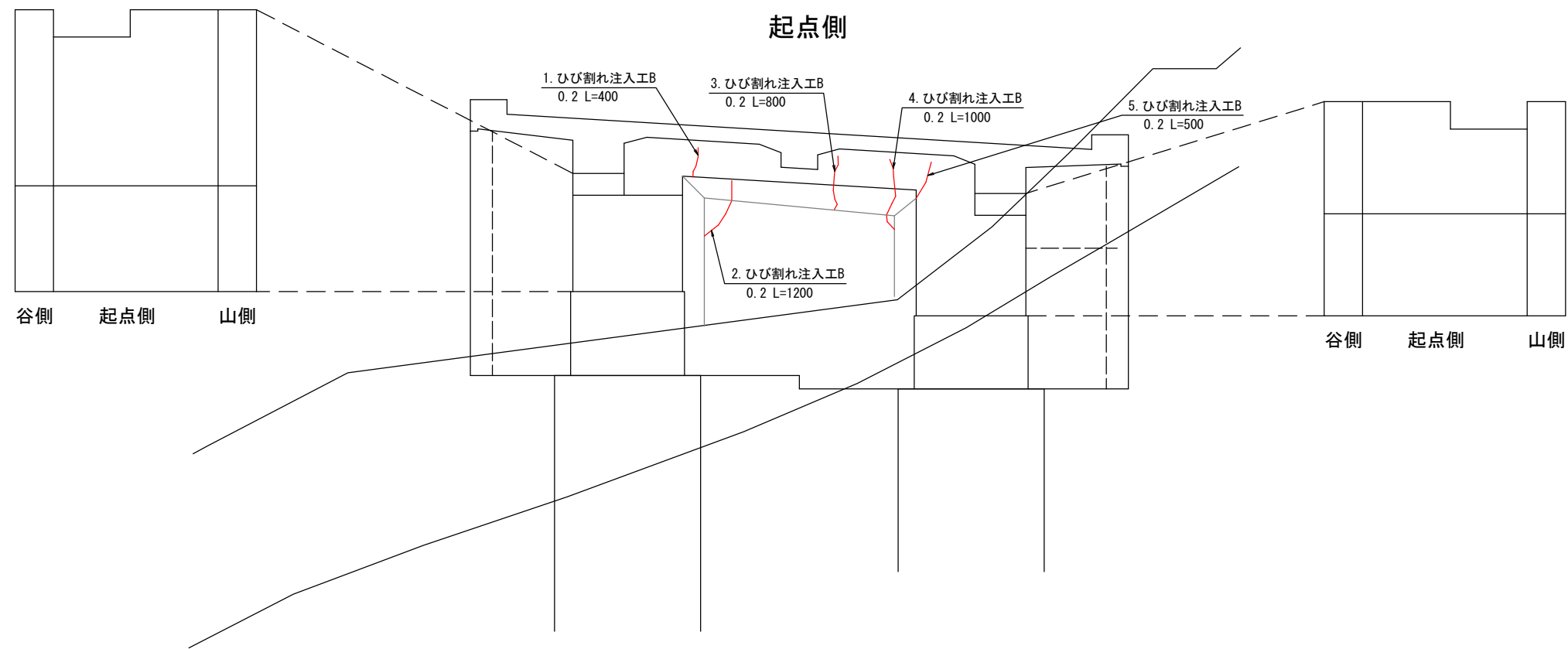
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その20）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	図 示	図面番号	28／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その2 1） S=1:40

P38橋脚



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

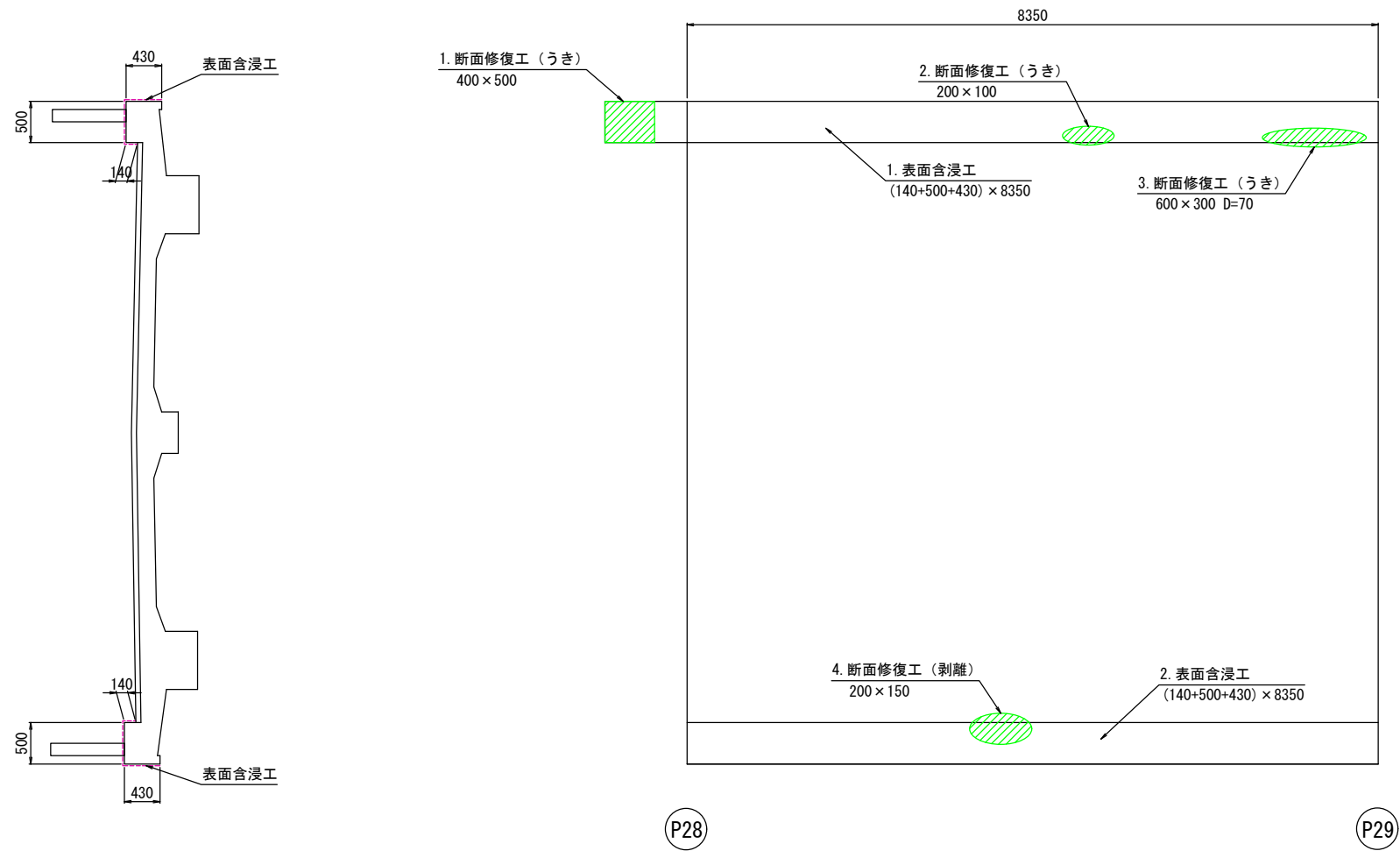
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その2 1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	29／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その22） S=1:40

橋面 第1径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

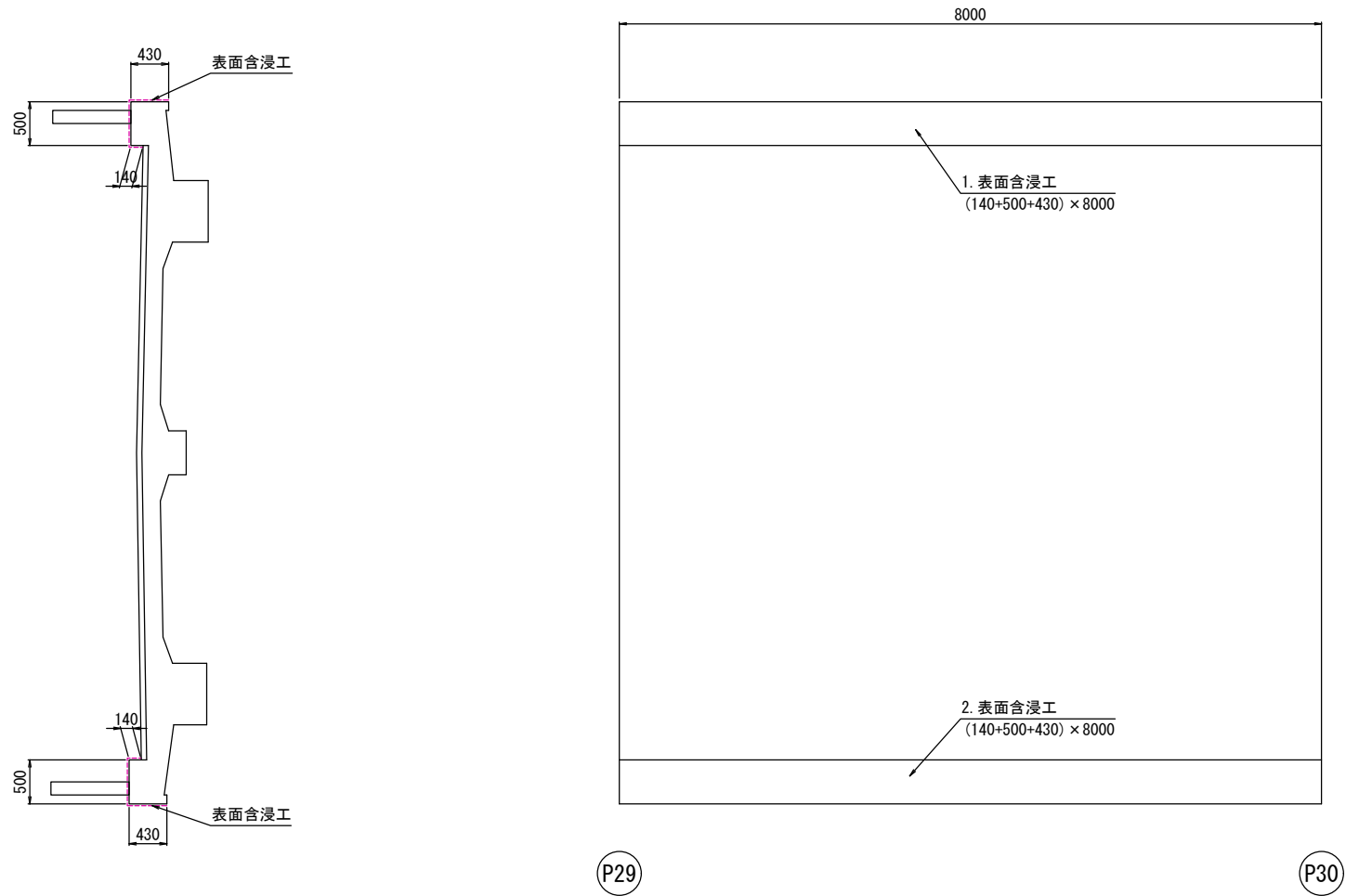
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その22）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	30／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その23） S=1:40

橋面 第2径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

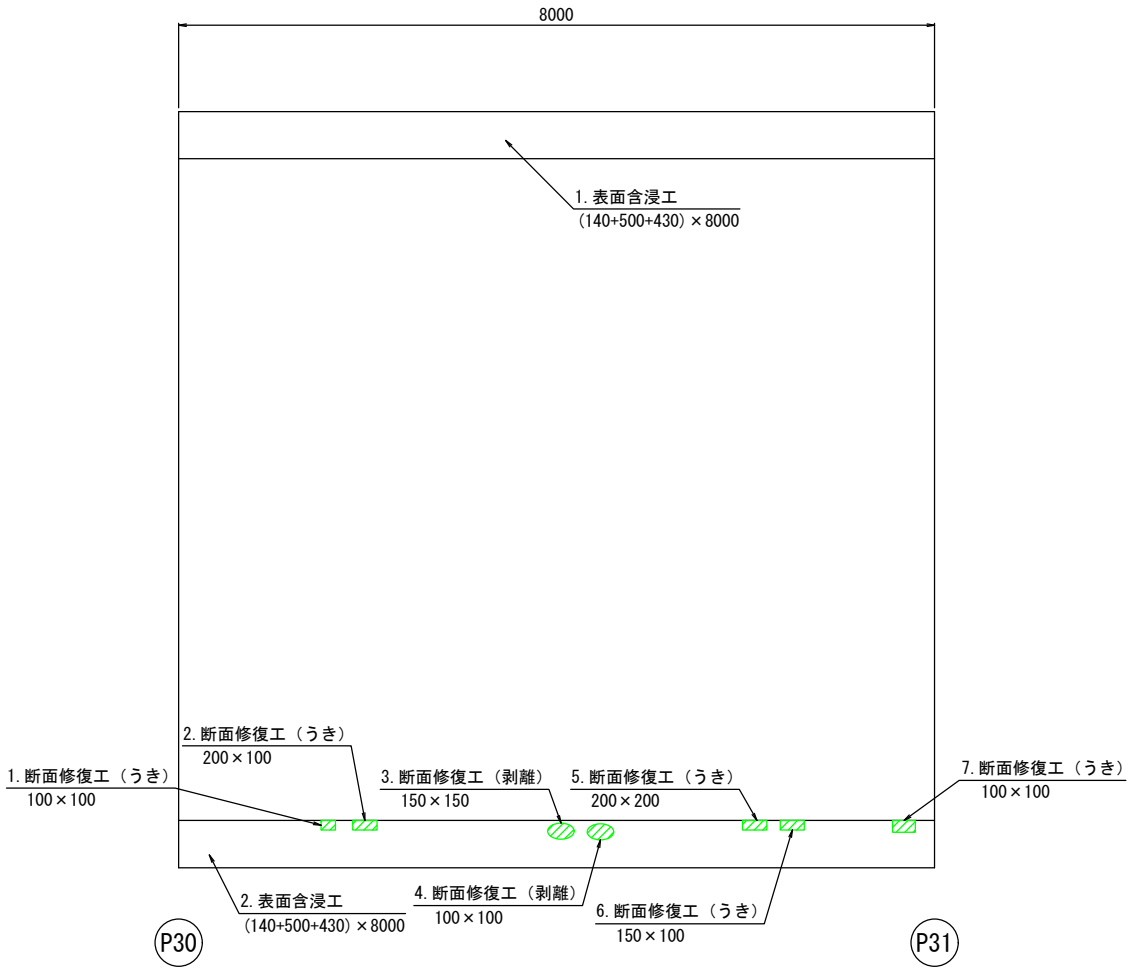
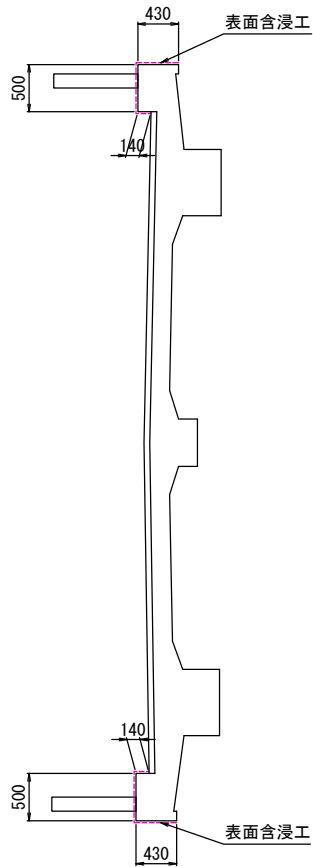
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その23）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	図 示	図面番号	31 / 94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その24） S=1:40

橋面 第3径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

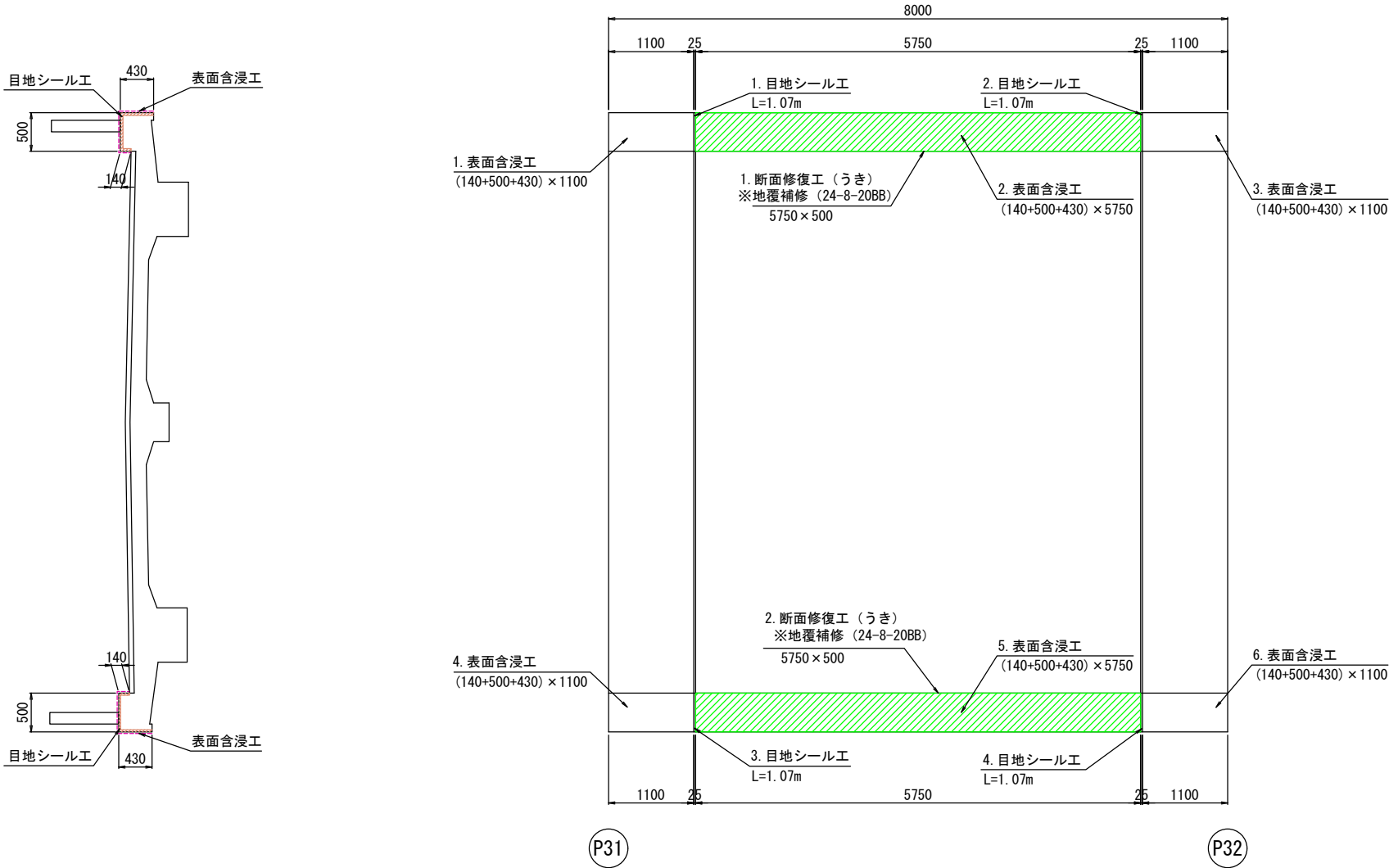
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その24）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	32／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その25） S=1:40

橋面 第4径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

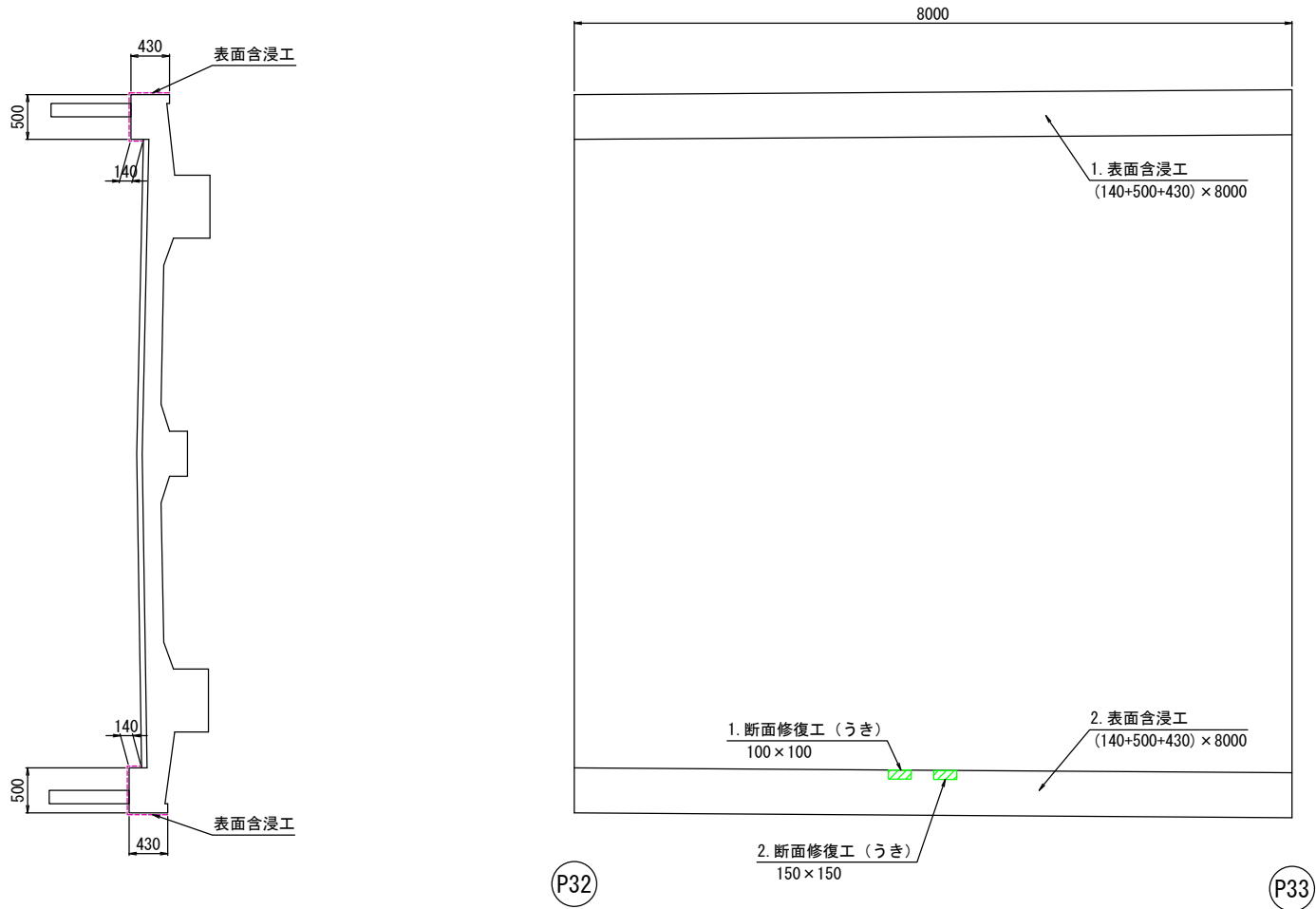
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その25）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	33／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その26） S=1:40

橋面 第5径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

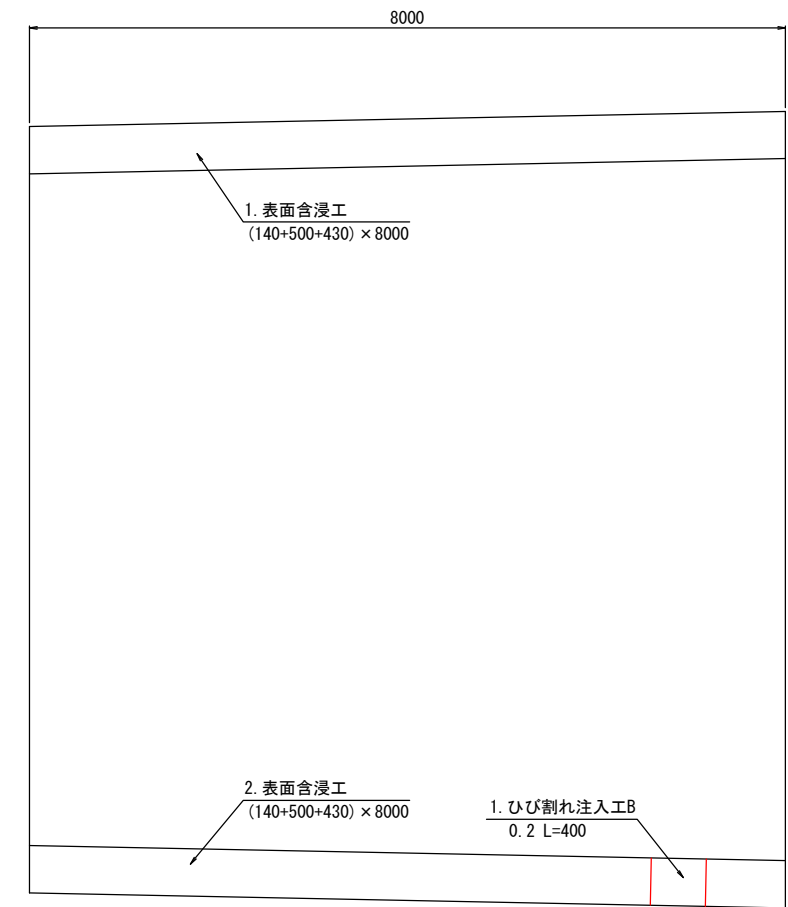
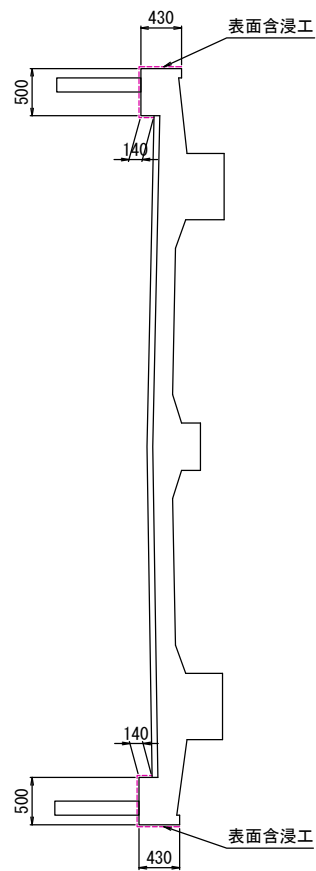
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その26）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	34／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その27） S=1:40

橋面 第6径間



P33

P34

補修凡例

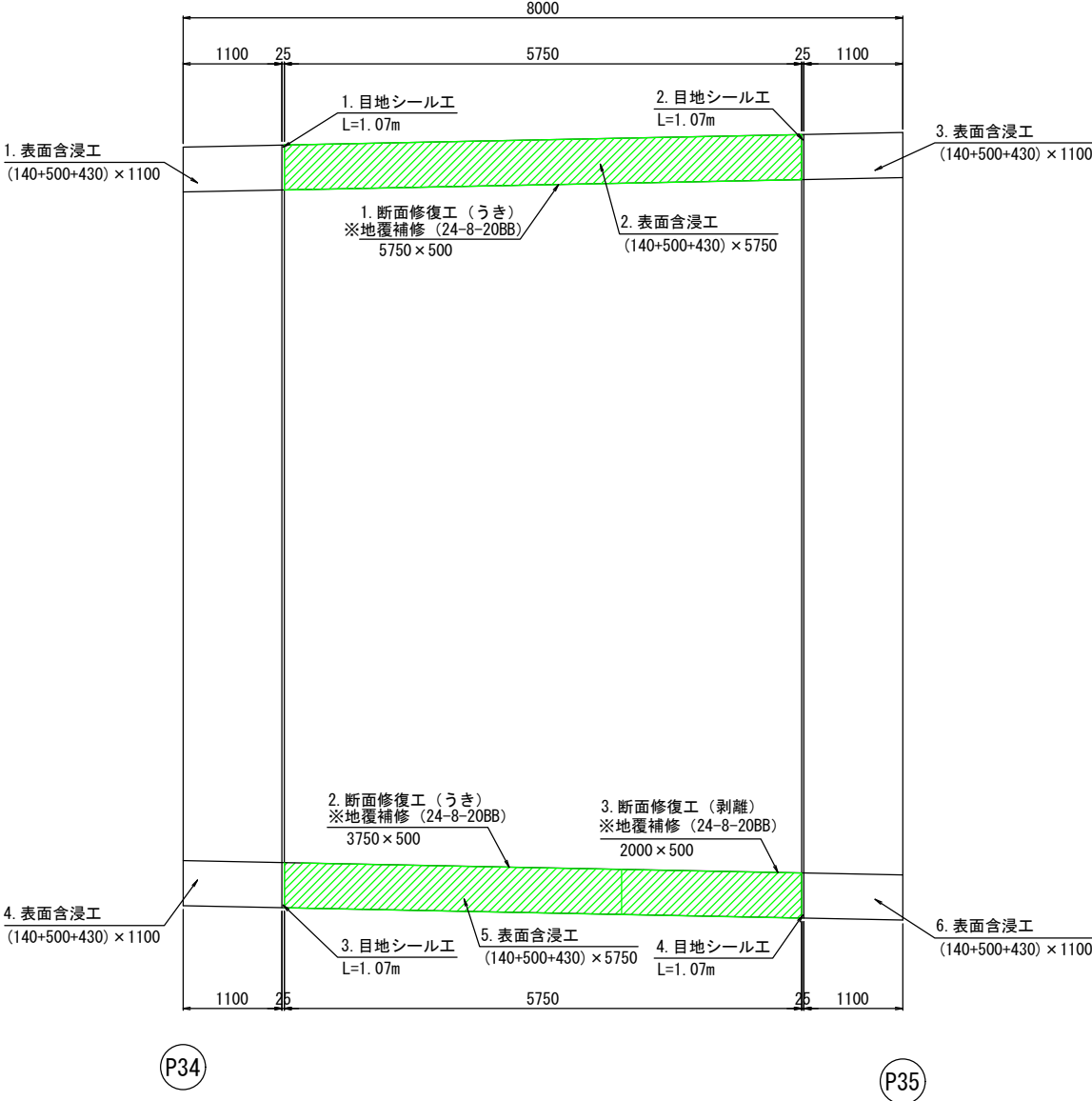
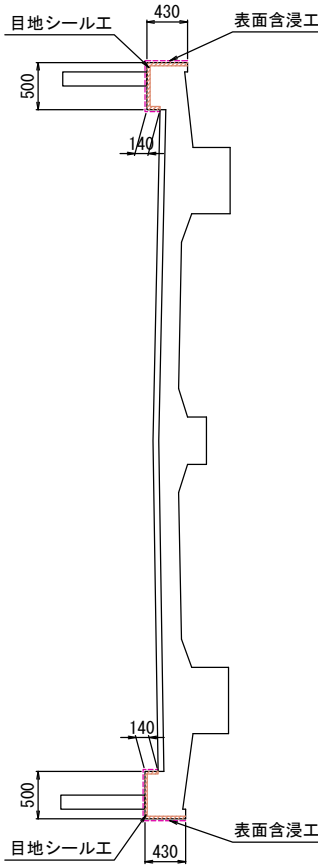
補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その27）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	35／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その28） S=1:40

橋面 第7径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

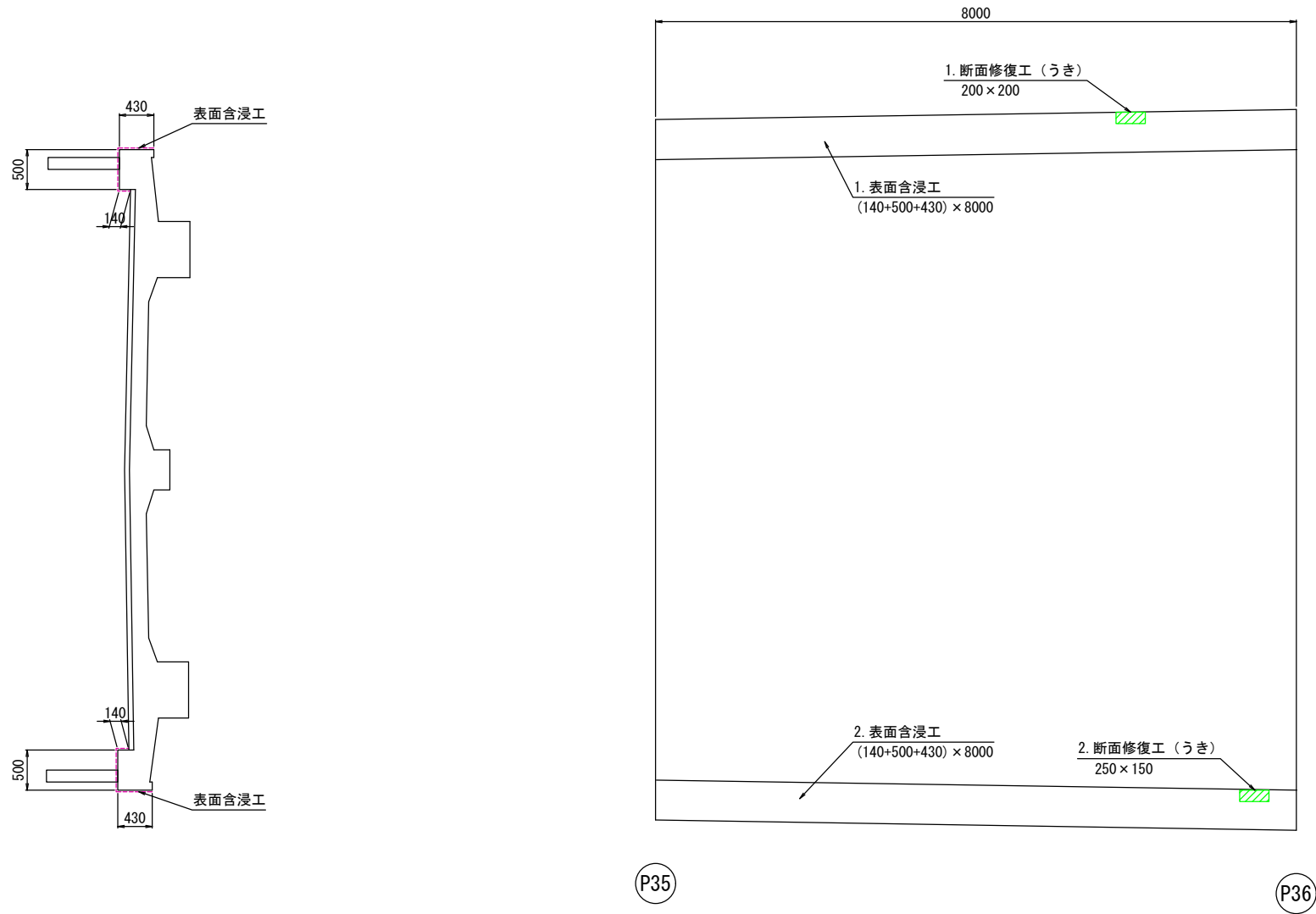
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その28）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	36／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その29） S=1:40

橋面 第8径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

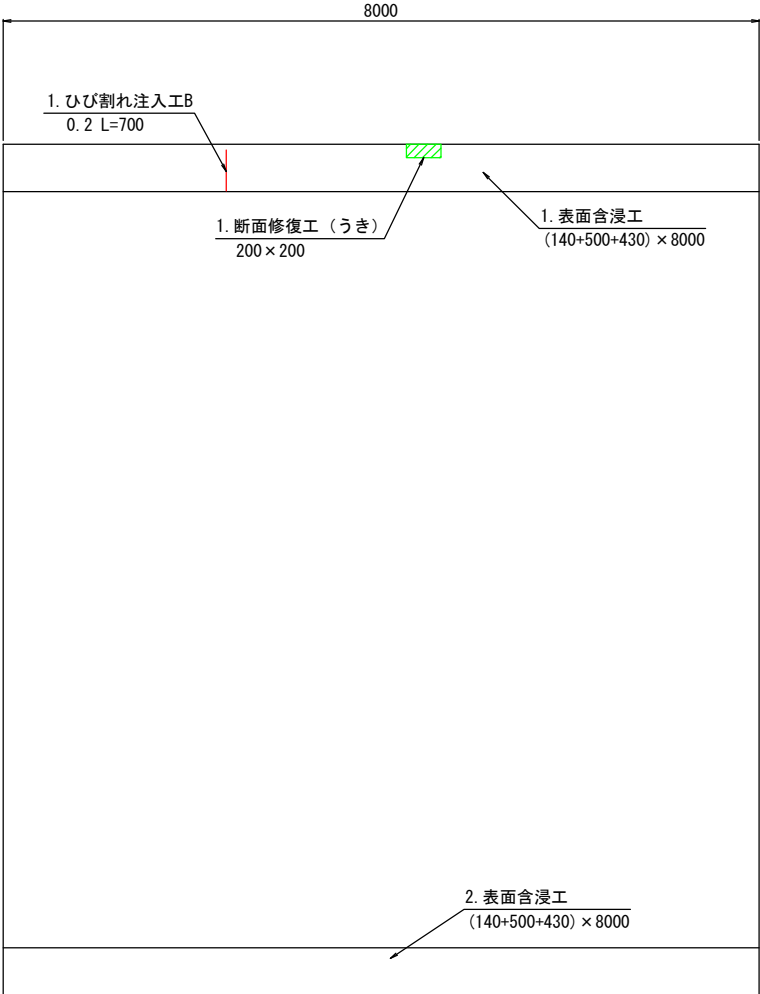
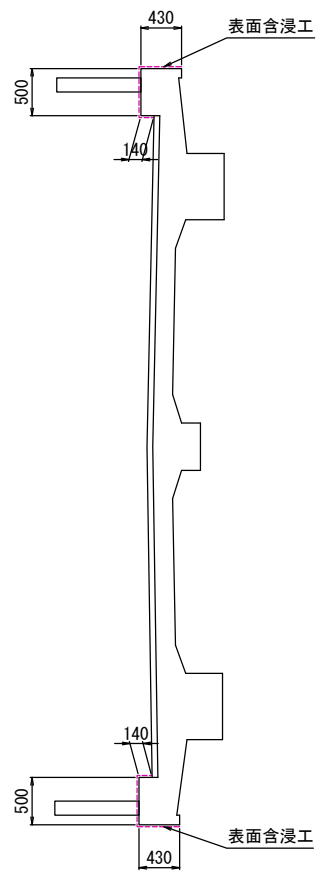
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その29）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	37／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その30） S=1:40

橋面 第9径間



P36

P37

補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

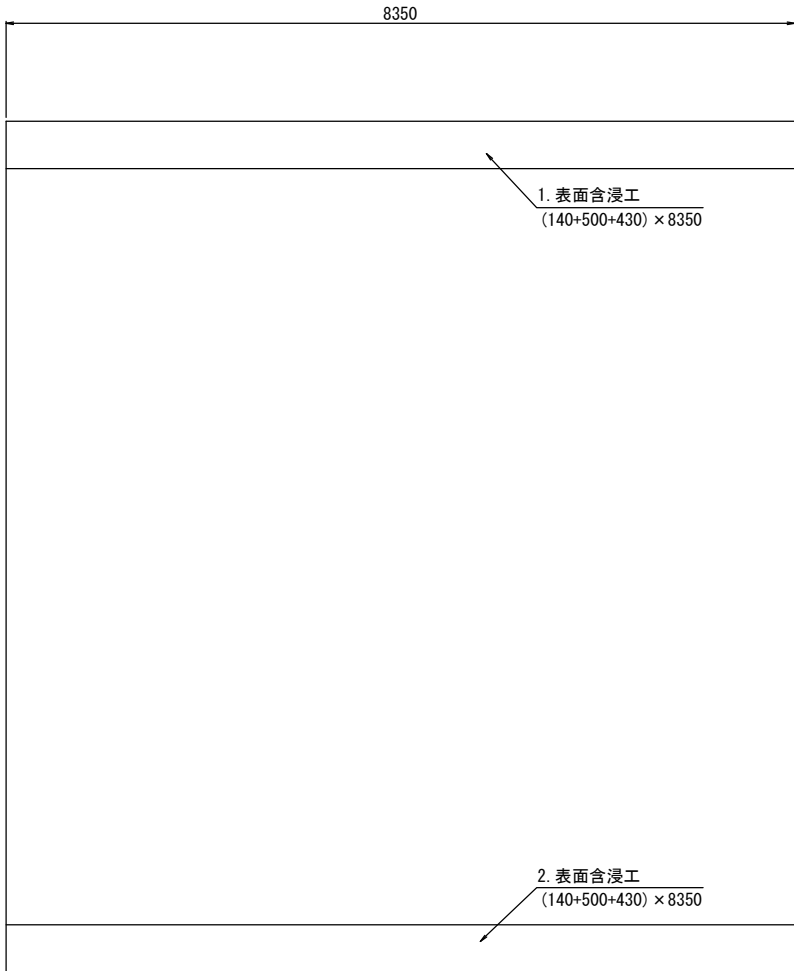
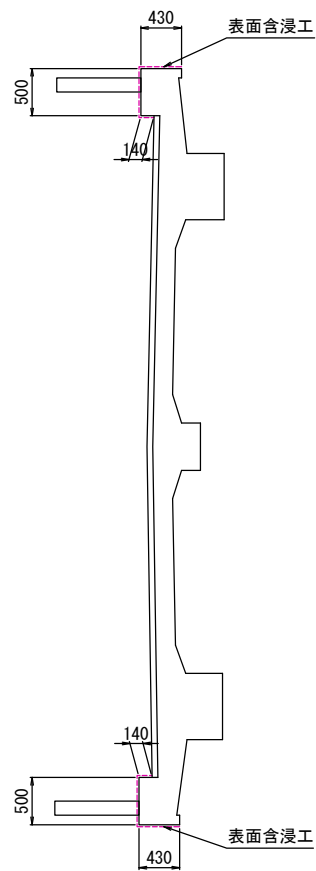
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その30）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	38／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修図（その3 1） S=1:40

橋面 第10径間



P37

P38

補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

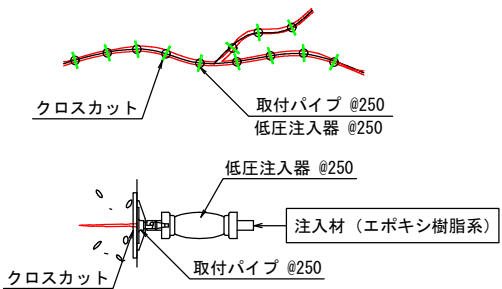
- ※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修図（その3 1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	39／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 補修詳細図（参考図）

ひびわれ注入工A

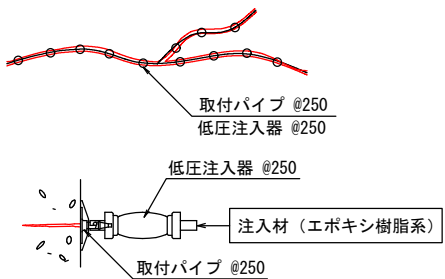
遊離石灰を伴うひびわれ



- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれは、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料は使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方向から上方向に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。
- ※ 注入材料は、エポキシ樹脂系2種とする。
- ※ クロスカットは、刃厚2.3mm程度、深さ1.0～2.0mm程度とする。

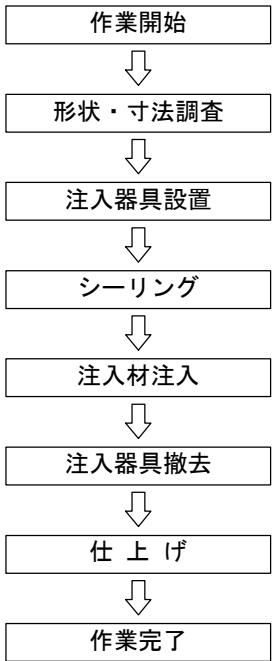
ひびわれ注入工B

開口幅0.2mm以上1.0mm未満のひびわれ

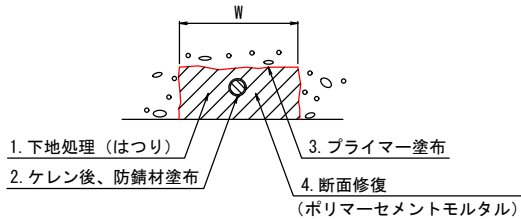


- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれは、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料は使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方向から上方向に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。
- ※ 注入材料は、エポキシ樹脂系2種とする。

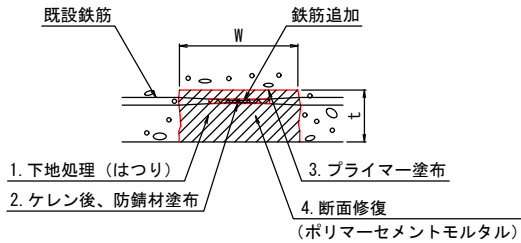
施工手順



断面修復工（左官工法）

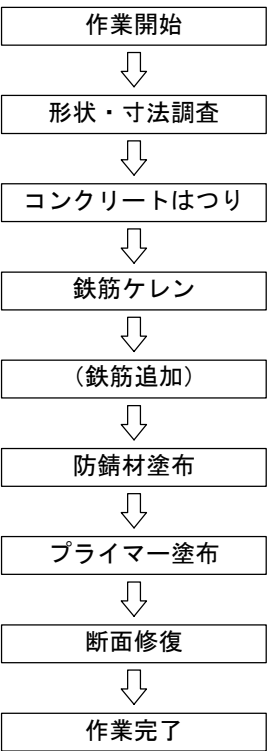


断面修復工（鉄筋追加）（左官工法）
（参考図）



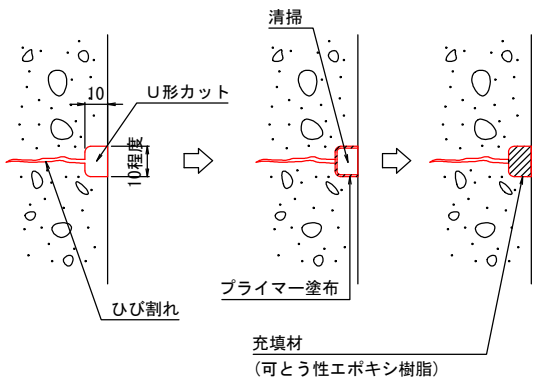
- ※ 鉄筋周辺のうき及び劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所（25%以下）は、新たに同径の鉄筋を追加設置すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものは使用しないこと。

施工手順



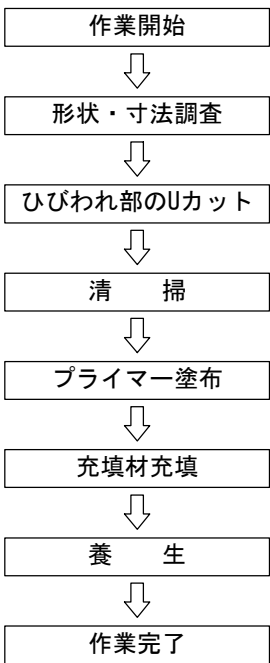
ひびわれ充填工

開口幅1.0mm以上のひびわれ

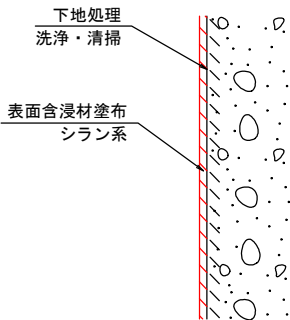


- ※ ひびわれに沿って約10mmの幅で、円錐状のダイヤモンドビット等によりU字形にカットする。
- ※ 施工箇所の清掃を十分に行うこと。
- ※ 充填材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料は使用しないこと。

施工手順

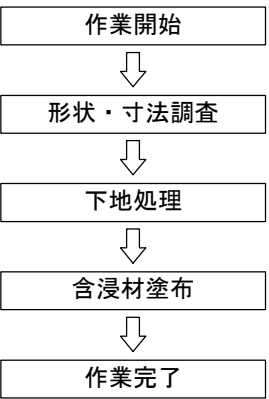


表面含浸工詳細図



- ※ 表面保護材は、シラン系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 施工は、気温5～40℃で行うこと。
- ※ 施工は、雨天（施工後4時間以内に雨が予測される場合も含む）及び強風時に施工を行わないこと。

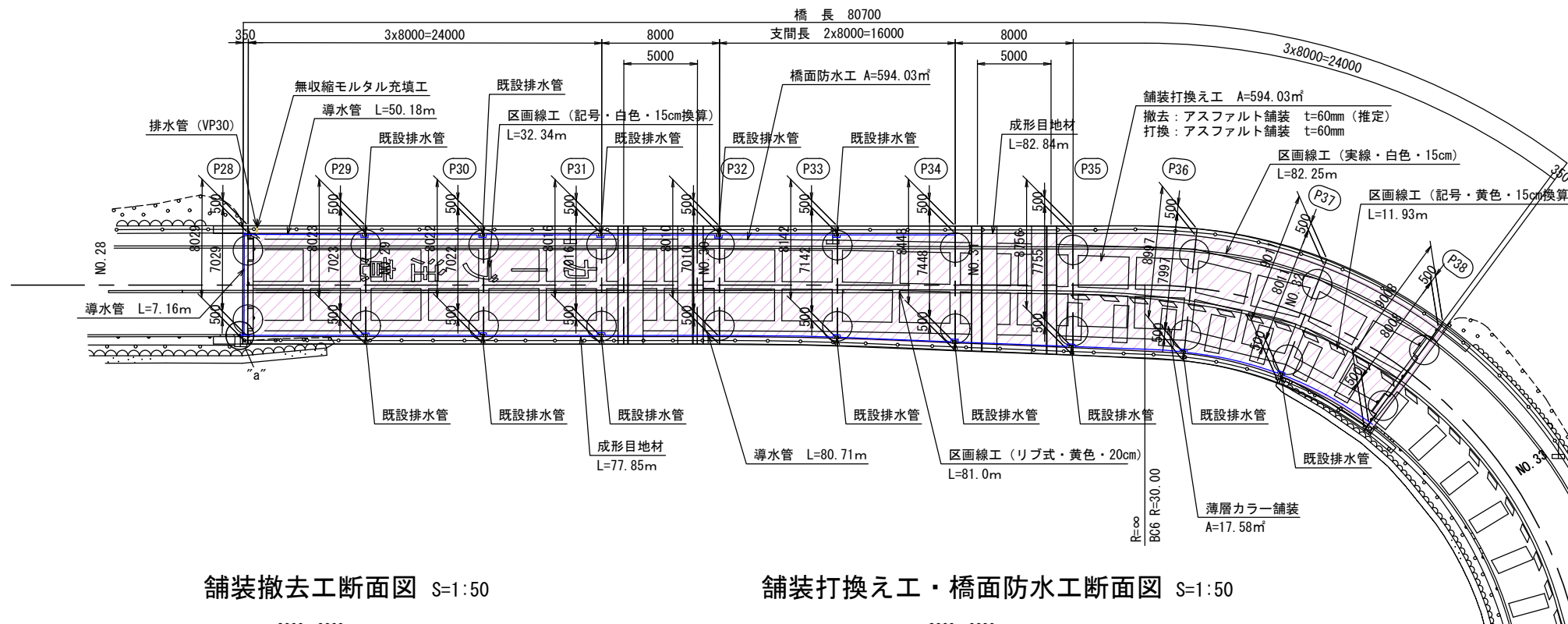
施工手順



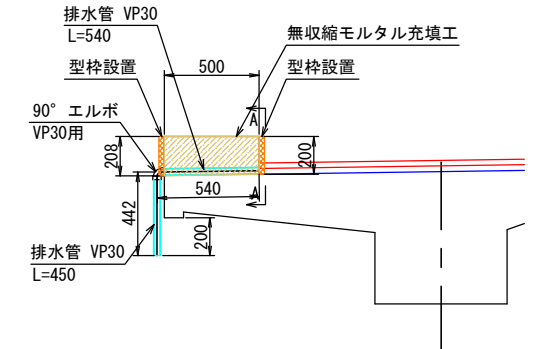
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 補修詳細図（参考図）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	-	図面番号	40/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 舗装打換え工・橋面防水工詳細図

平面图 S=1:200

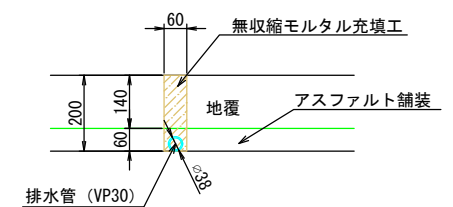


地覆断面図 S=1:20



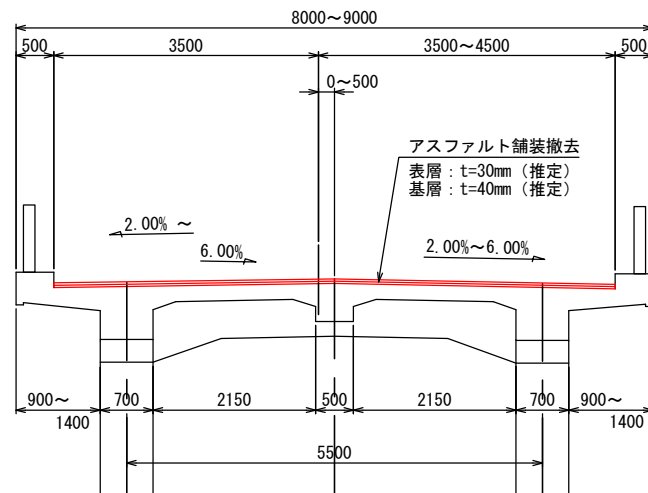
※ 防護柵のベースプレート及び地覆の鉄筋位置を避けること。

A-A断面 S=1:10

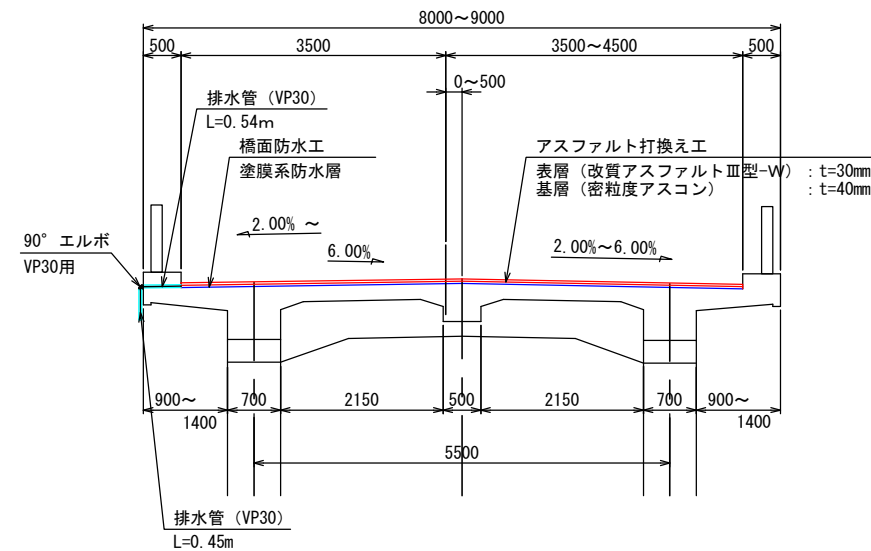


※ 鉄筋に留意して、取り壊すこと。

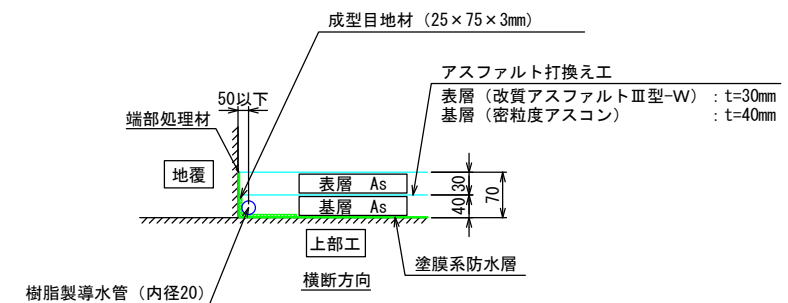
舗装撤去工断面図 S=1:50



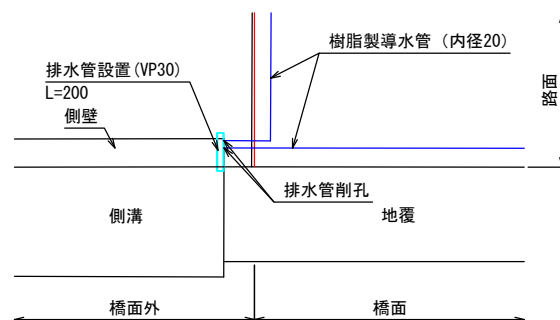
舗装打換え工・橋面防水工断面図 S=1:50



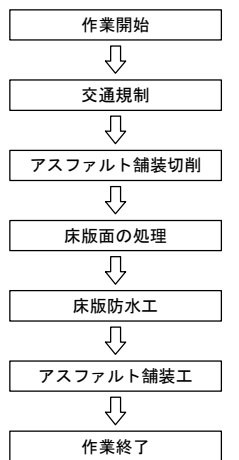
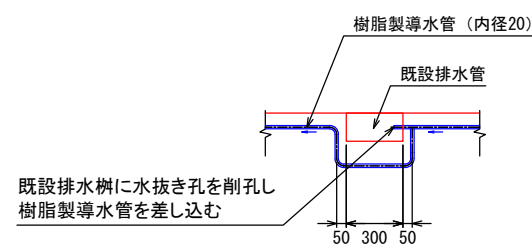
舗装構成及び端部処理 S=1:5



“a”部詳細図 S=1:20
流末処理工

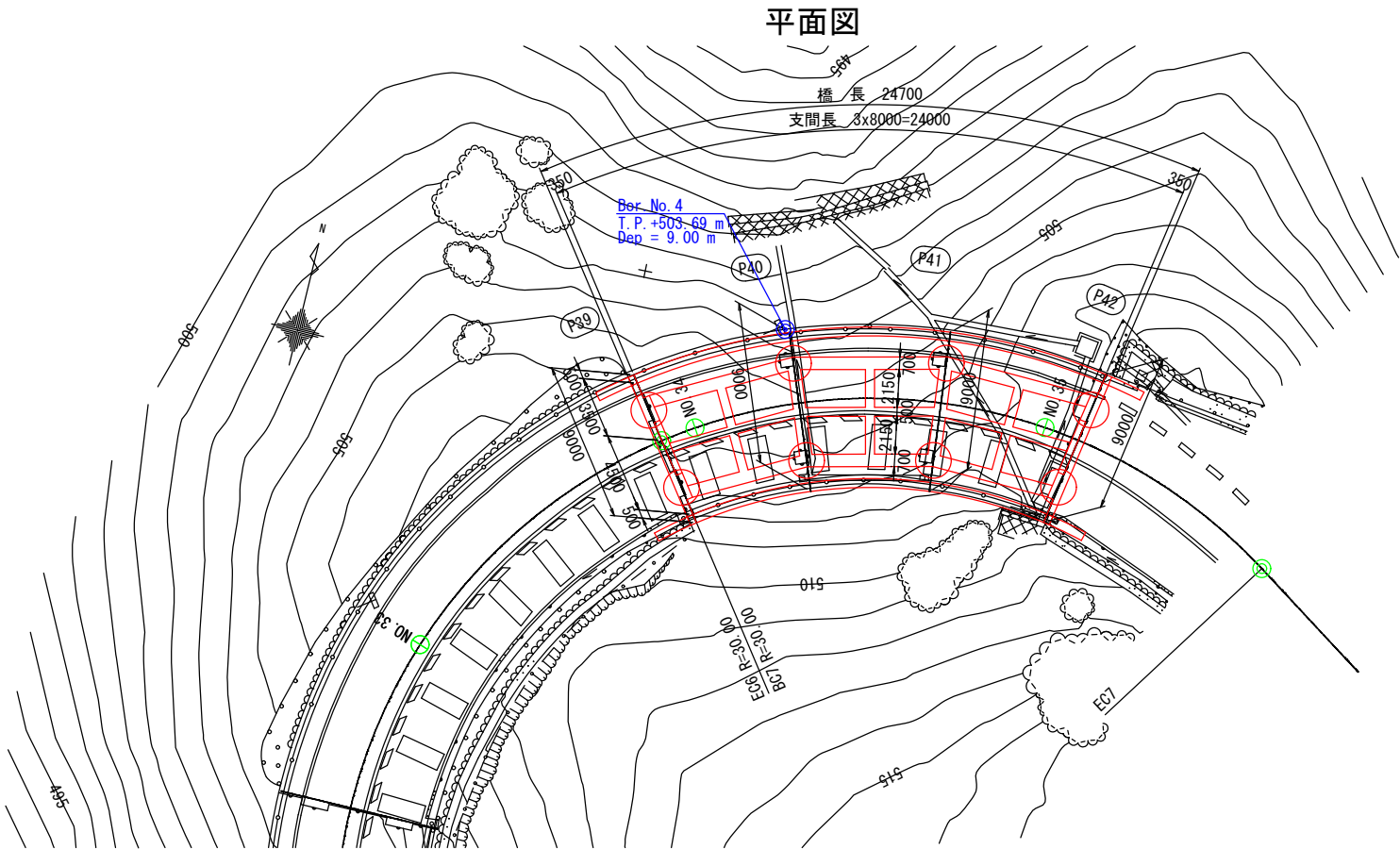
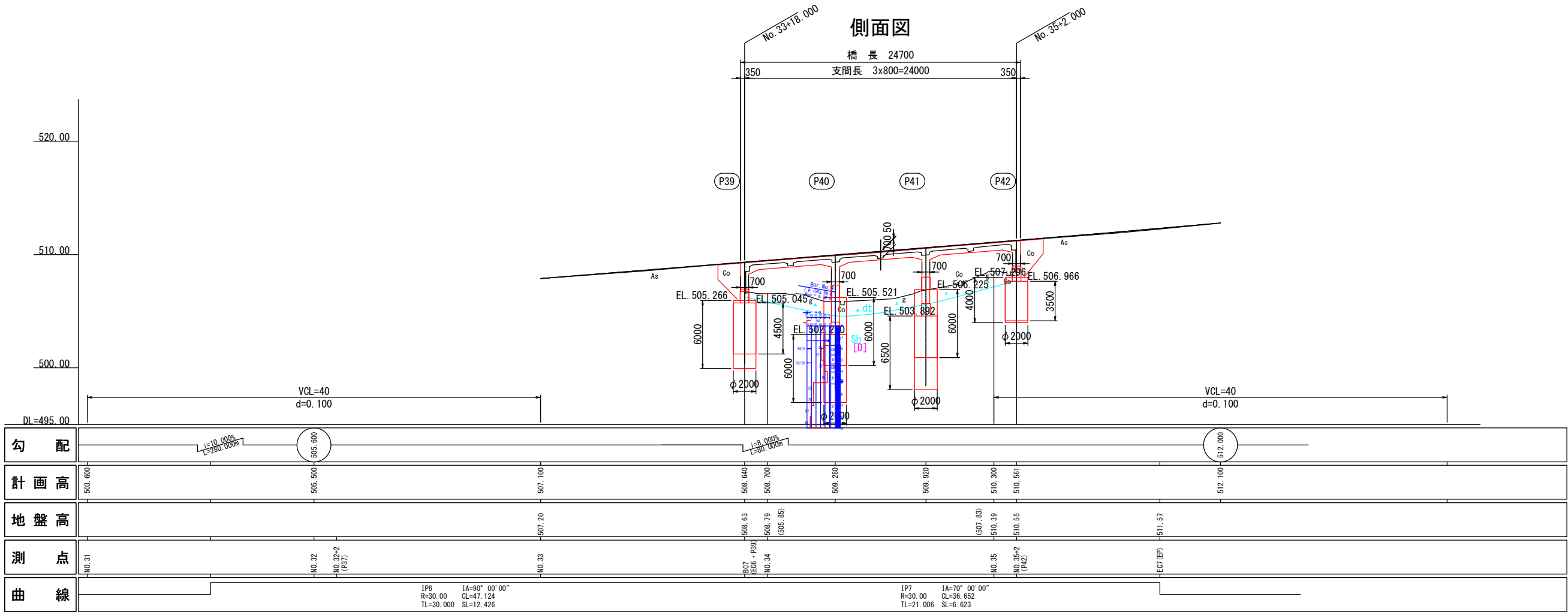


排水回り詳細図 S=1:20



工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 舗装打換え工・橋面防水工詳細図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	41/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

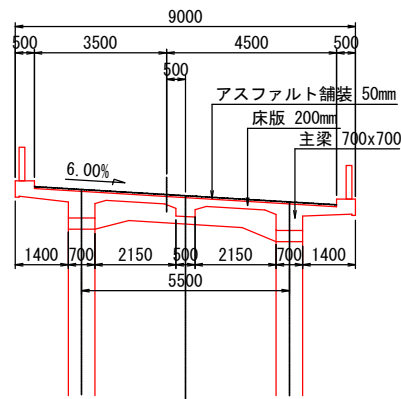
5号橋 橋梁一般図（現況）（その1） S=1:200



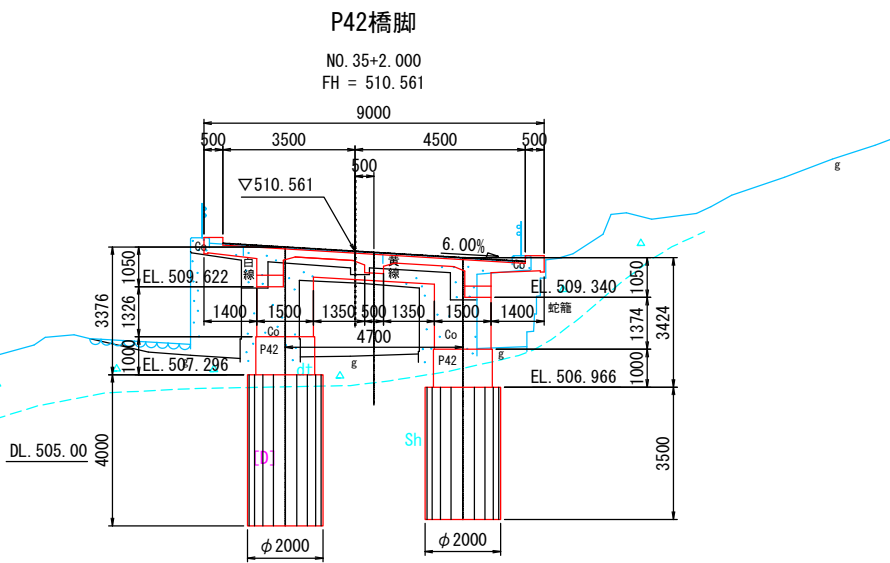
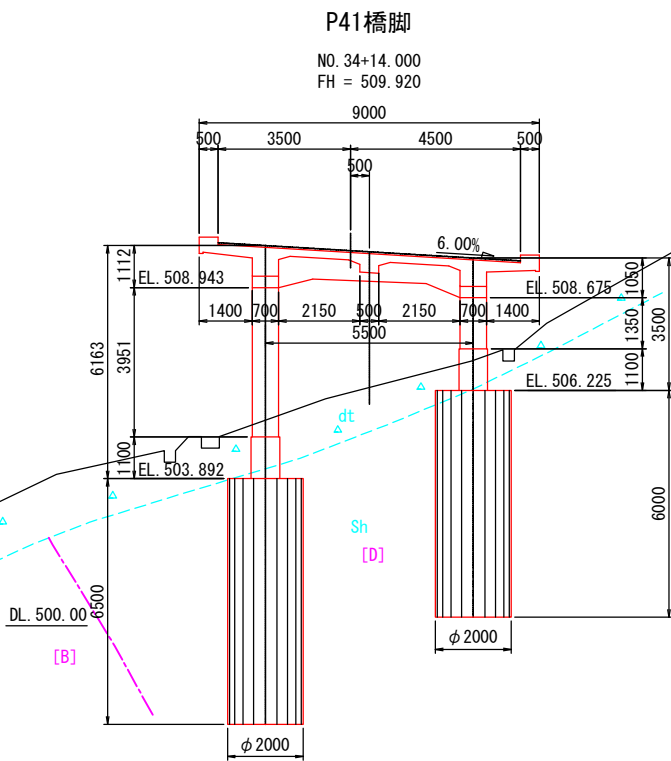
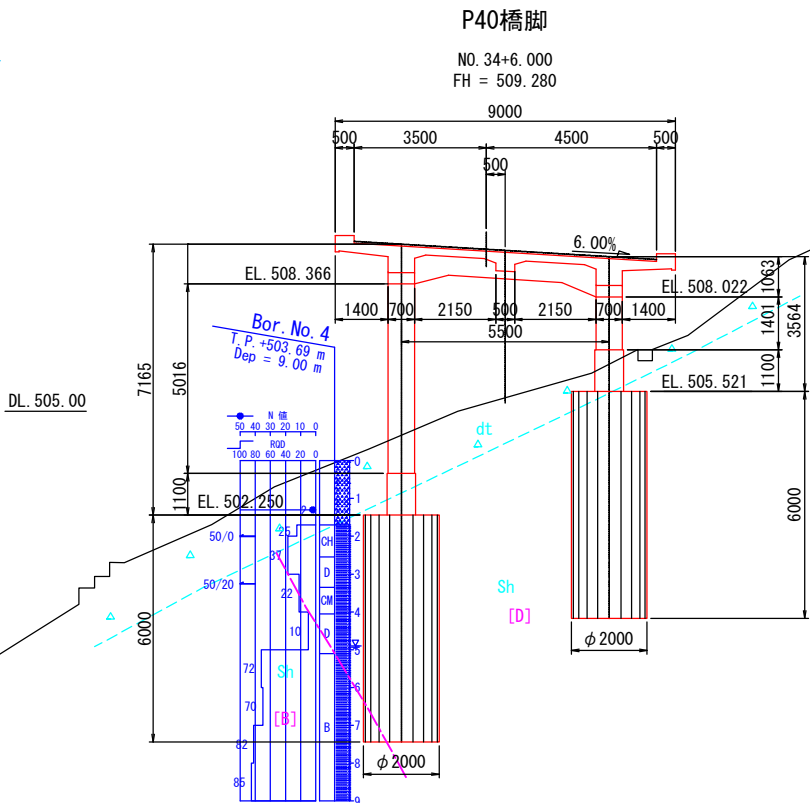
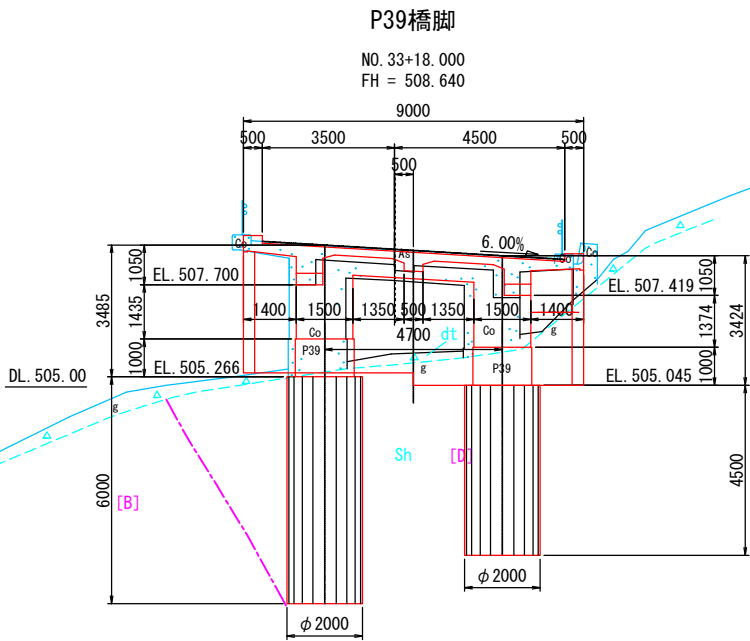
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 橋梁一般図（現況）（その1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	42/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 橋梁一般図（現況）（その2） S=1:100

標準断面図



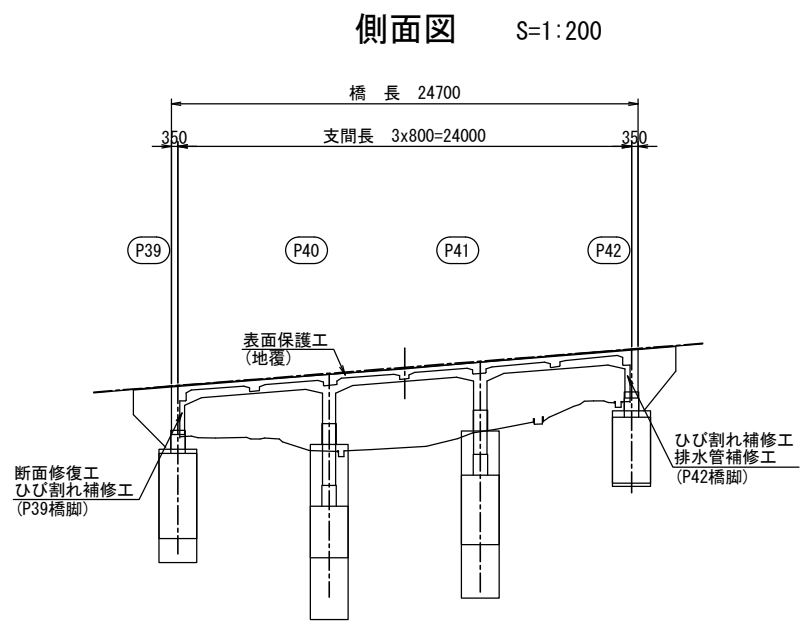
下部工断面図



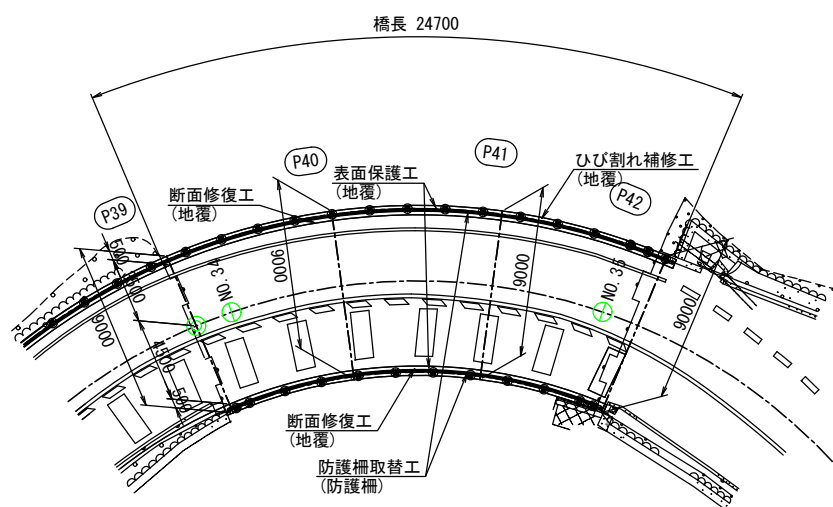
設計条件	
形式	3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋
活荷重	TL-20
橋長	24.7 m (道路中心線上)
支間長	3x8.0 m (道路中心線上)
有効幅員	8.0 m
横断勾配	6.00%
地震係数	Kh = 0.20 Kv = 0.10
コンクリート	上部工 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$
	下部工 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$
	深礎 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$
鉄筋	SD30
適用示方書	鉄筋コンクリート標準示方書 土木学会 鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 日本道路協会

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 橋梁一般図（現況）（その2）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	43/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

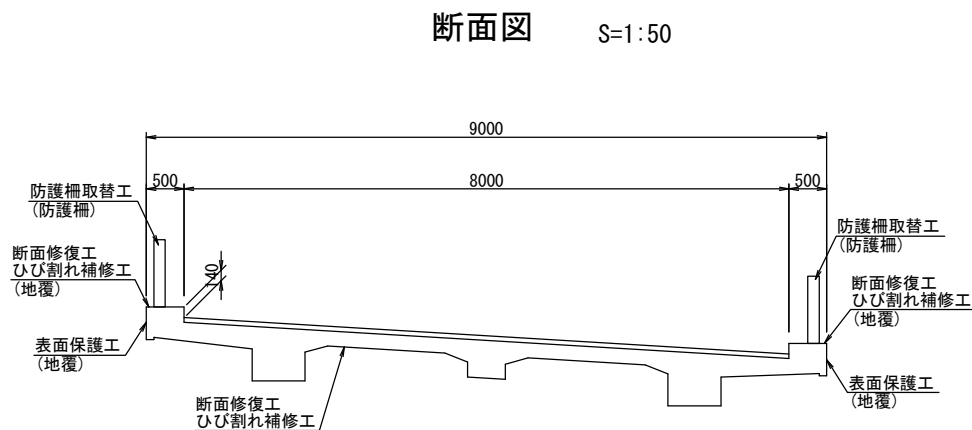
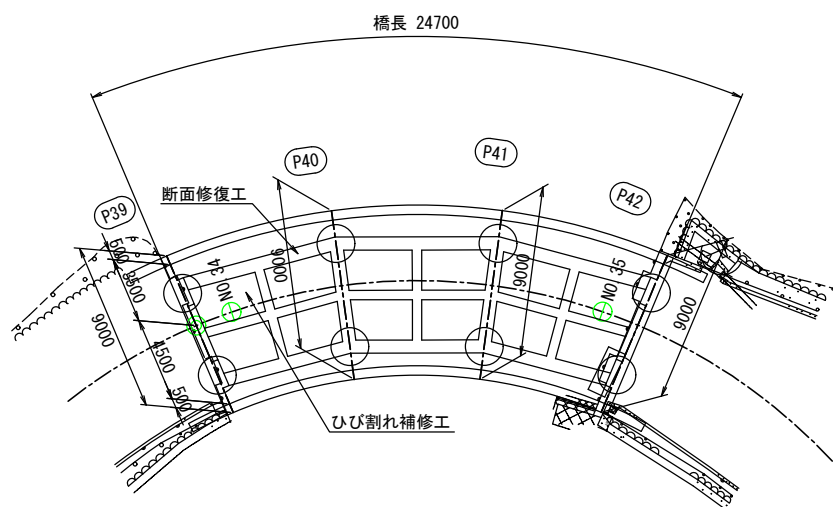
5号橋 補修計画一般図（その1）



平面図（橋面） S=1:200



平面図（桁下面） S=1:200



橋梁補修工法一覧表

部位・部材	工 種	種 別	施工方法
上部工	ひび割れ補修工	エポキシ樹脂系	吊足場、地上
	下地処理工	サンダーケレン	
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	
下部工	ひび割れ補修工	エポキシ樹脂系	吊足場、地上
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	
	排水管補修工	排水管設置工	
橋面工	ひび割れ補修工	エポキシ樹脂系	地覆補修用足場 地上
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	
	表面保護工	表面含浸 シラン系	
	舗装打換工	アスファルト舗装	
	橋面防水工	塗膜系	
	防護柵取替工	ツインスロープ30	

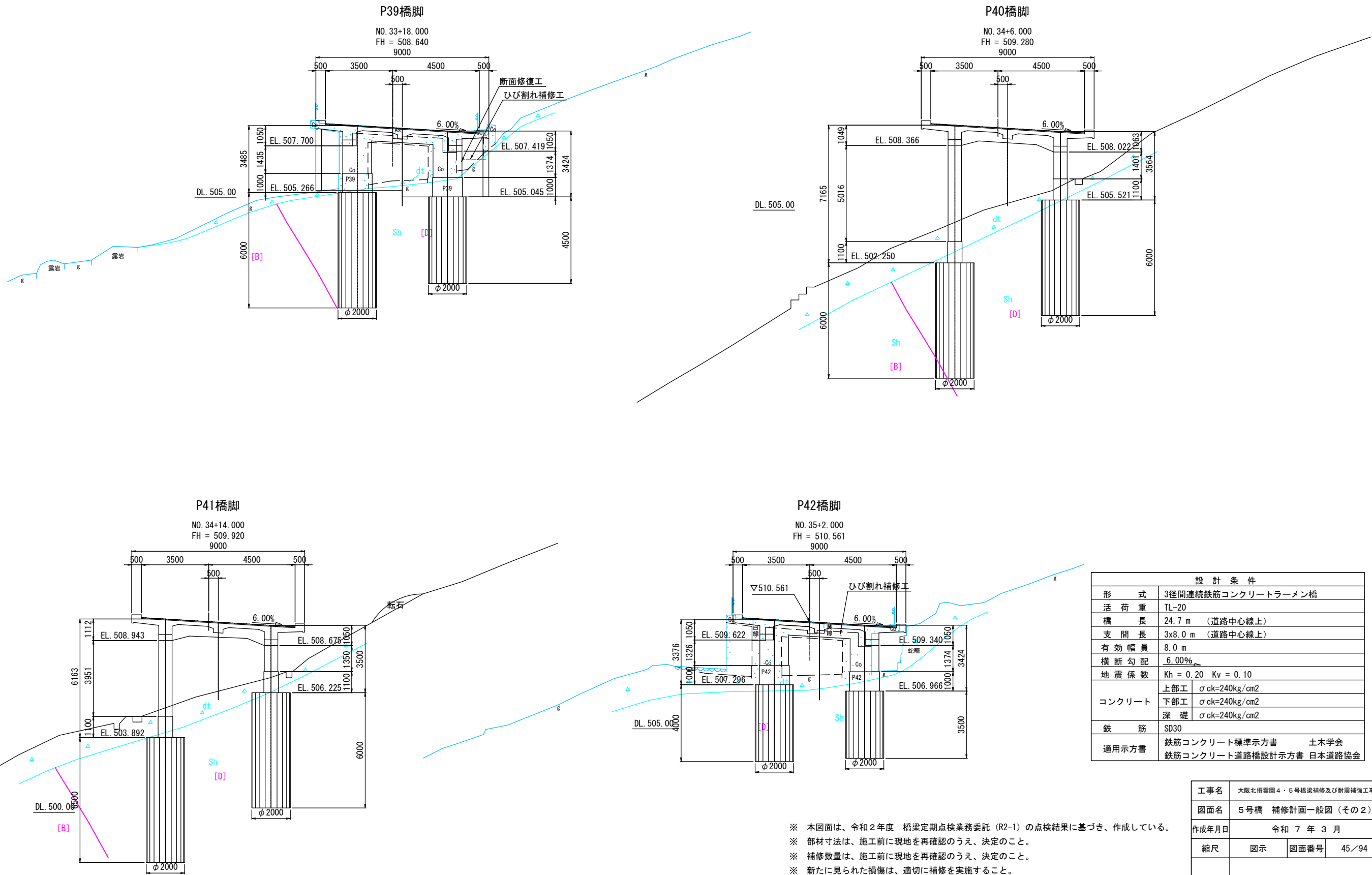
※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修計画一般図（その1）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	44/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修計画一般図（その2）

S=1:100

下部工断面図



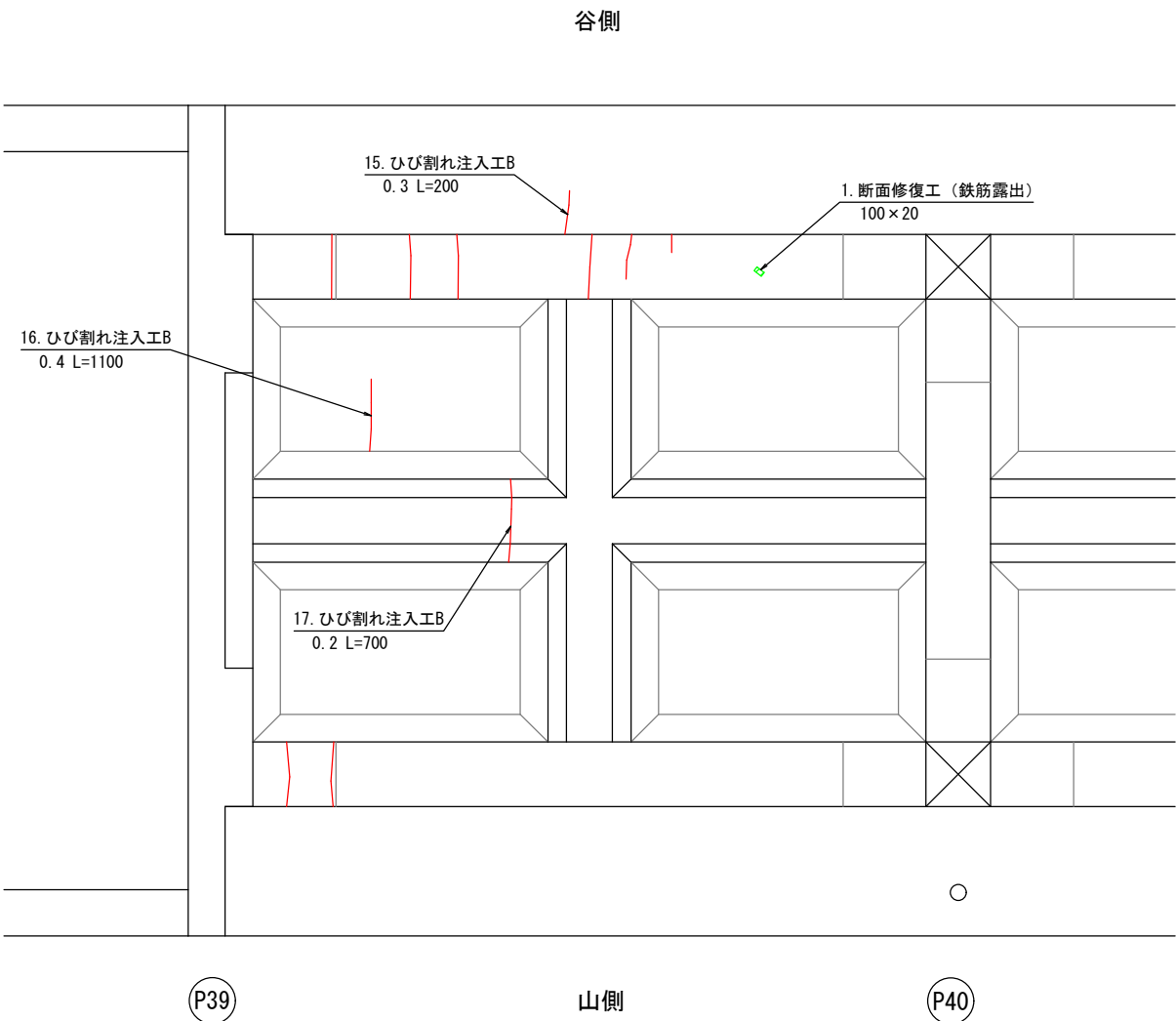
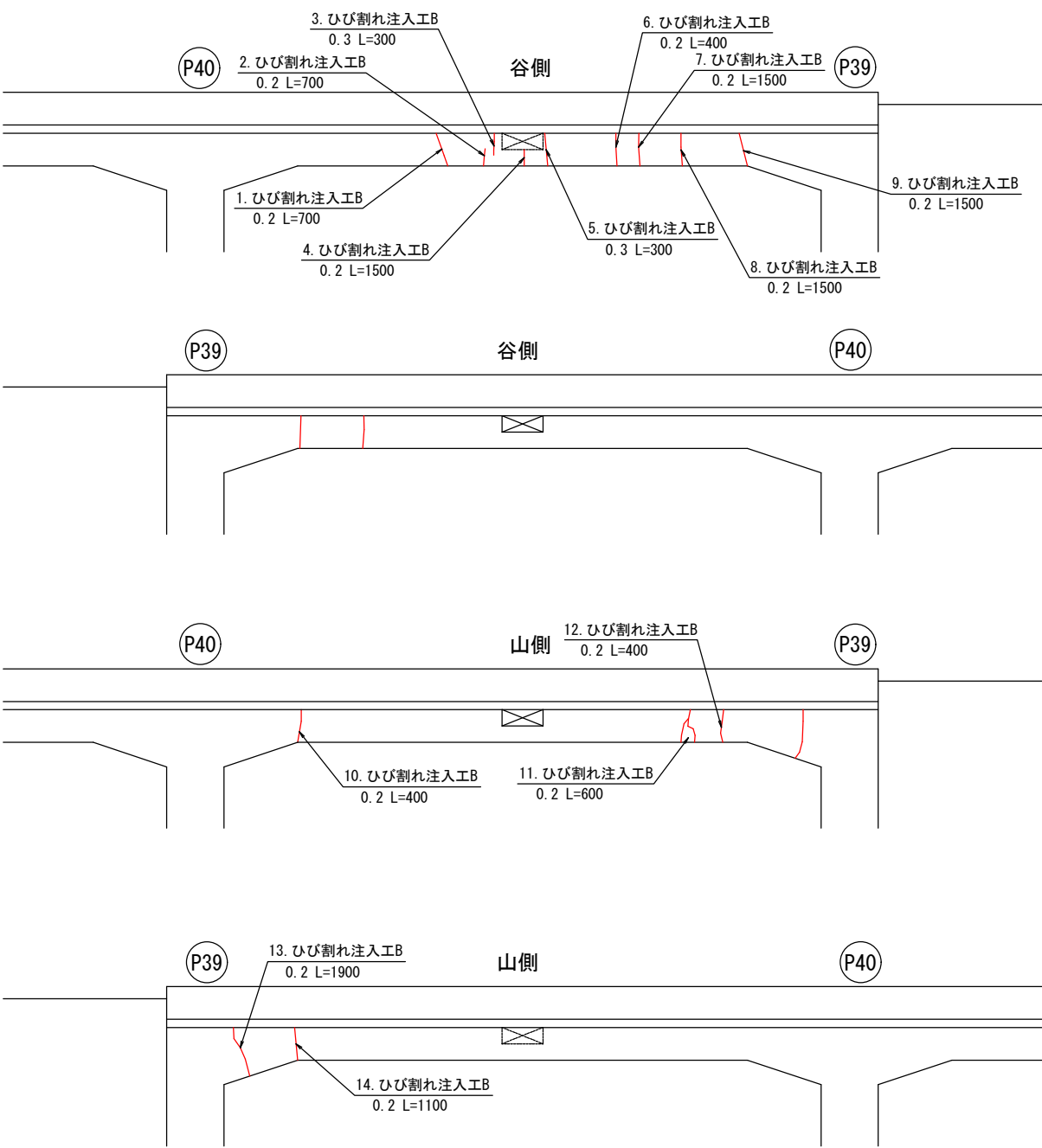
5号橋 補修図（その1）

S=1:40

桁下 第1径間

側面図

平面図



補修凡例

補修対策工	表示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ（開口幅0.2mm以上～1.0mm未満）
ひび割れ充填工		ひびわれ（開口幅1.0mm以上）

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

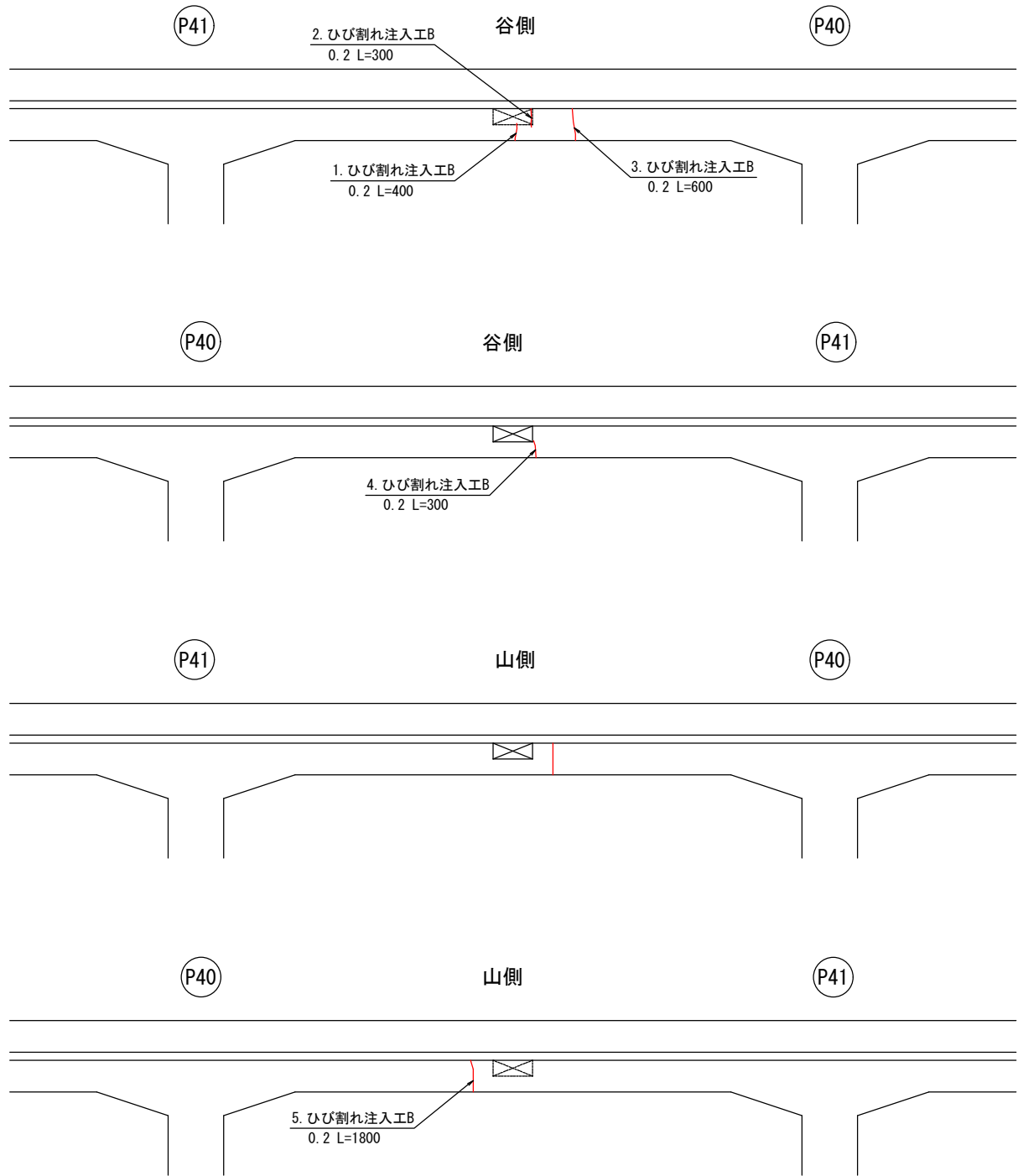
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その1）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	46/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修図（その2）

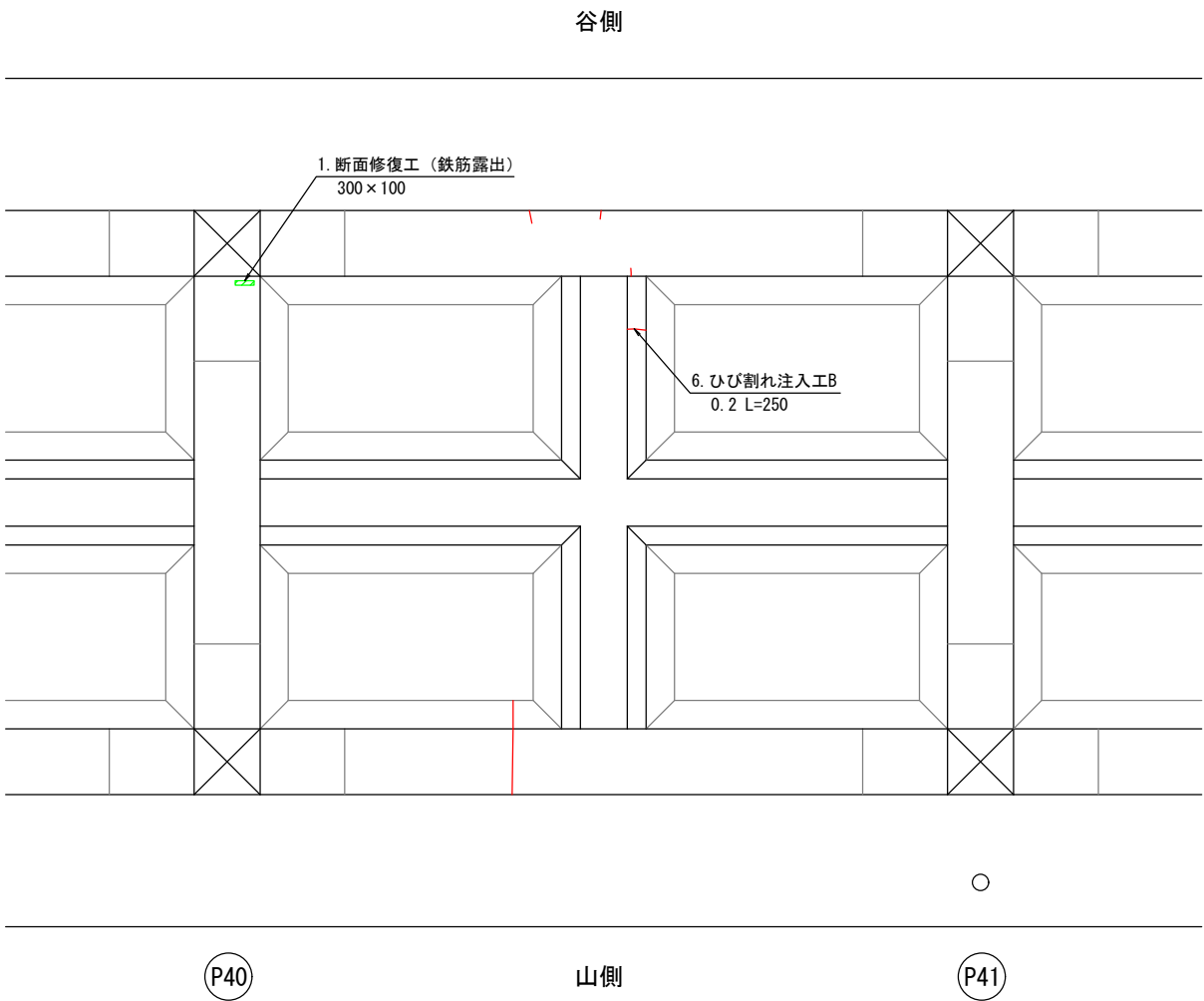
S=1:40

桁下 第2径間

側面図



平面図



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

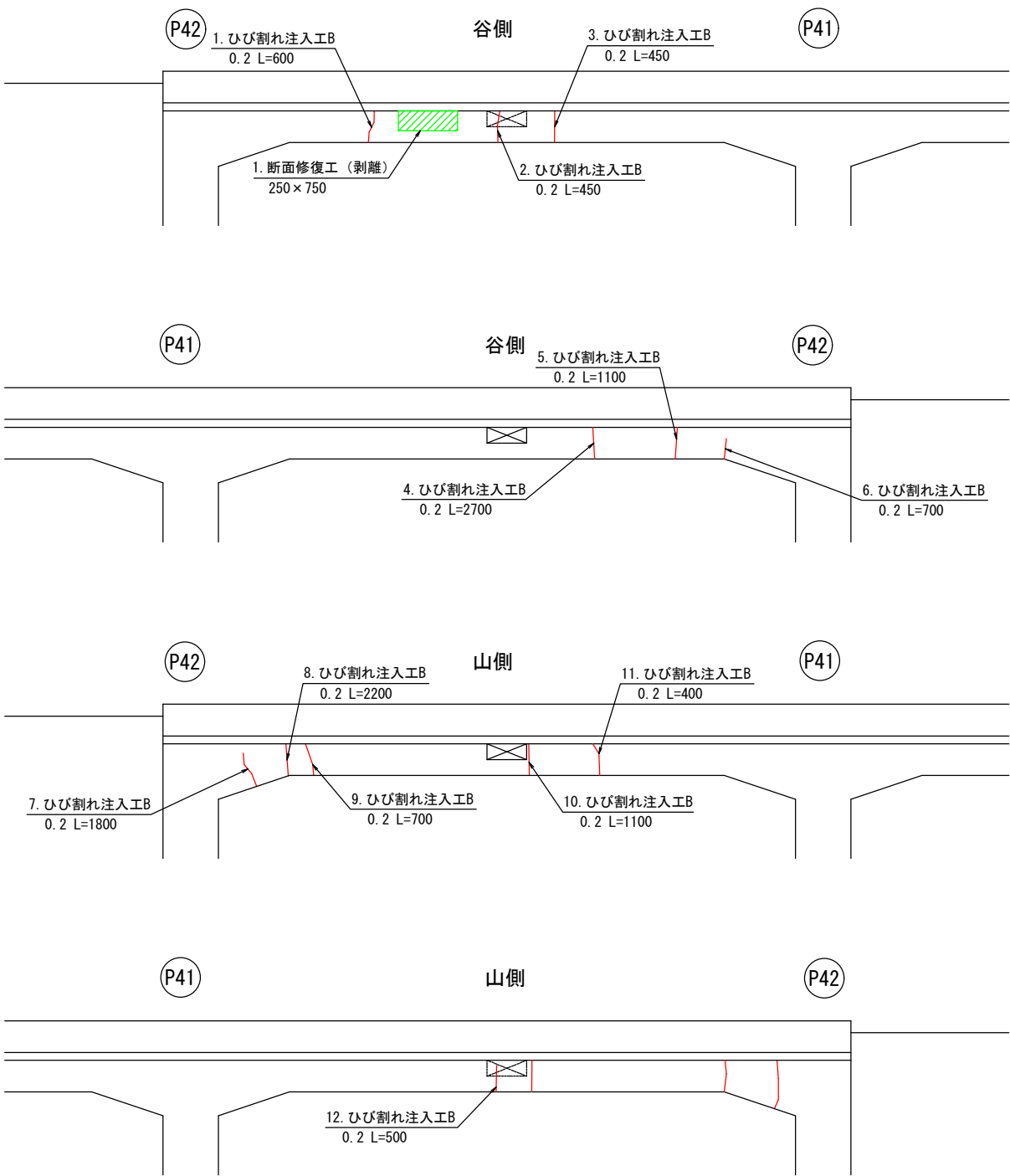
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

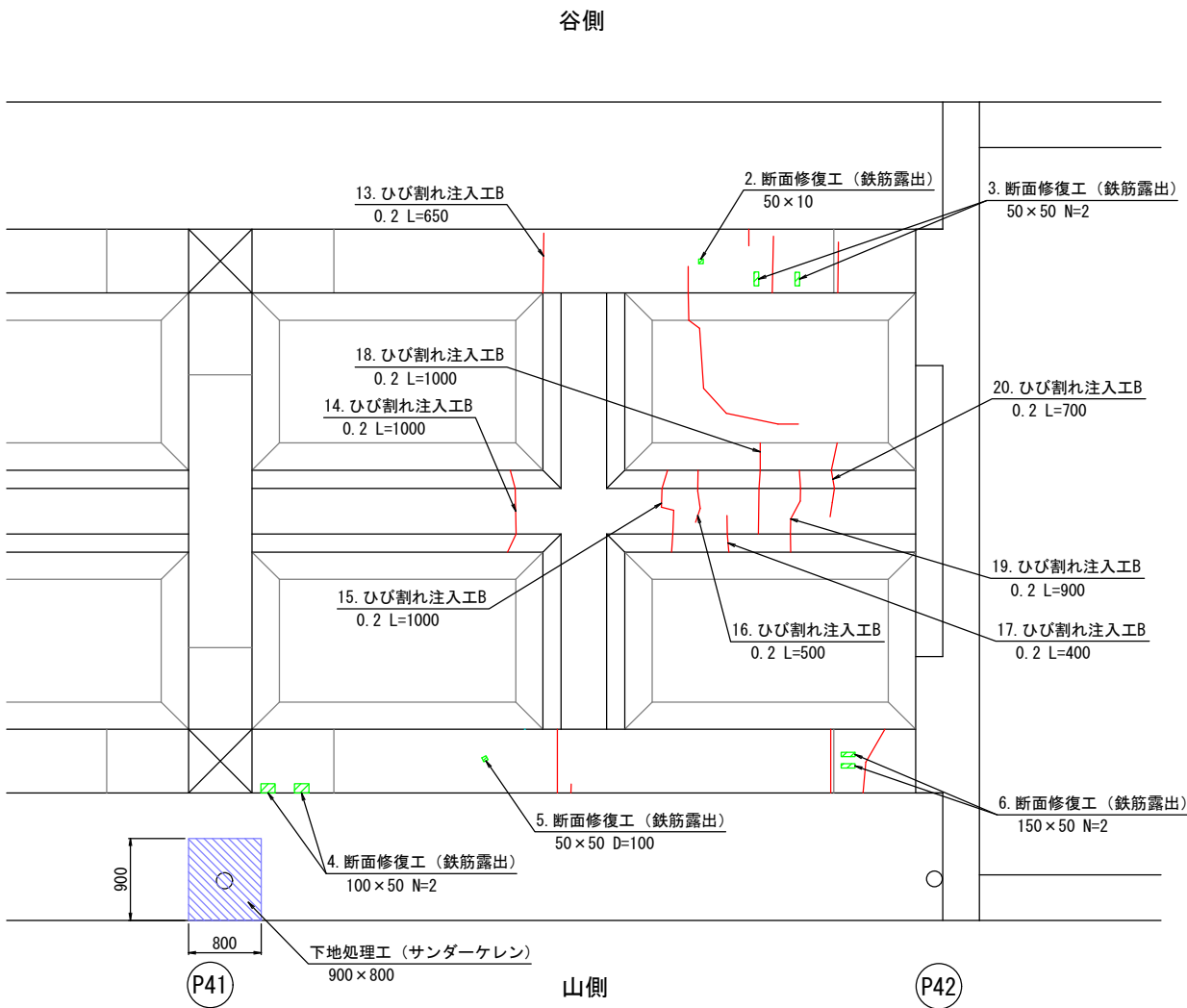
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	47/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修図（その3） S=1:40
桁下 第3径間

側面図



平面図



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)
下地処理工		遊離石灰

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

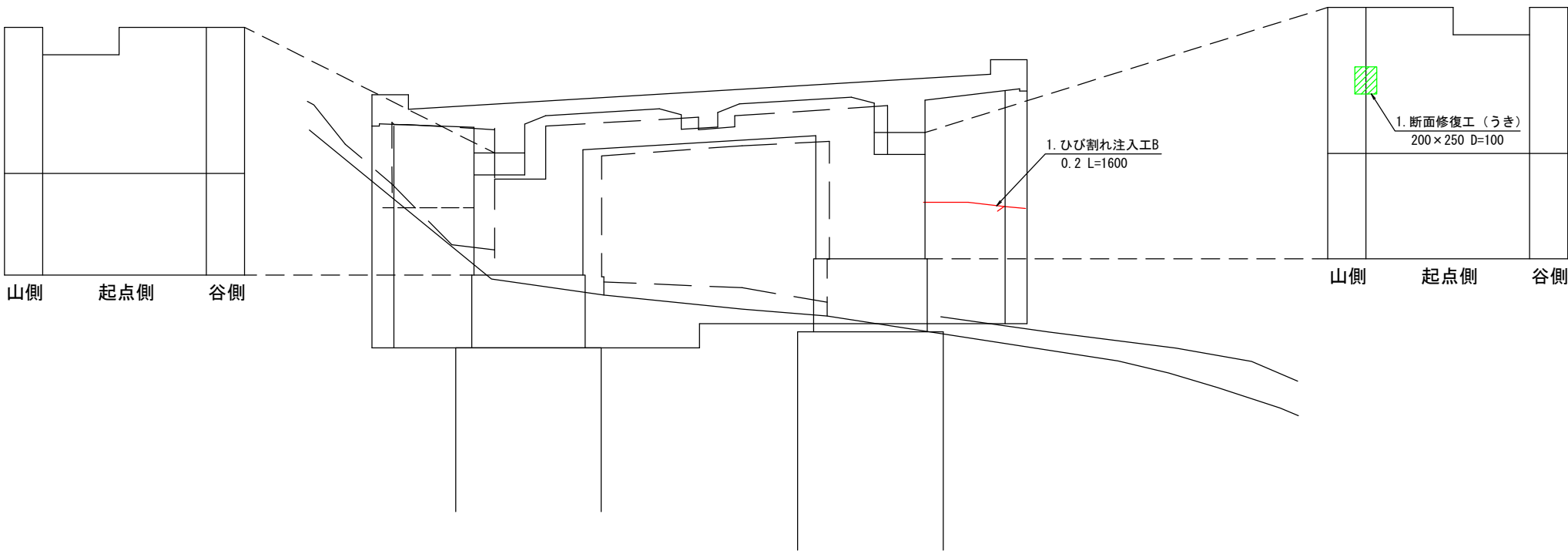
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	48/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修図（その4）

P39橋脚

S=1:40

終点側



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

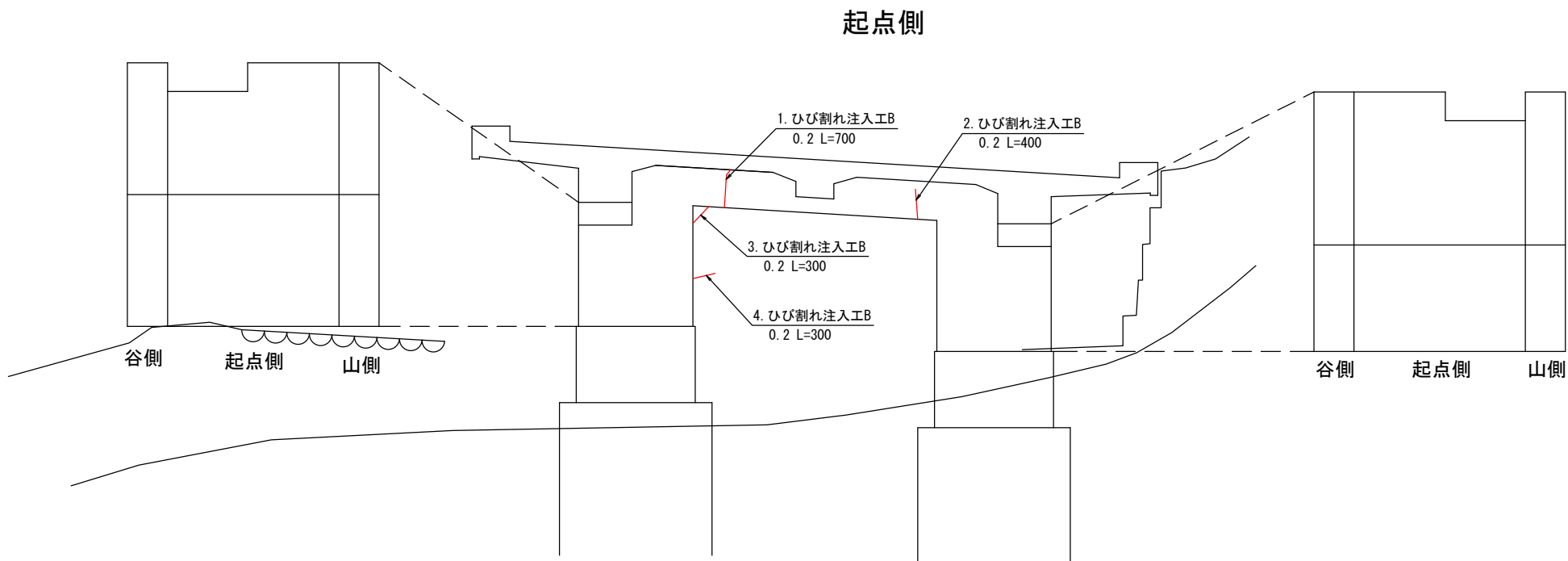
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その4）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	図 示	図面番号	49／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修図（その5）

S=1:40

P42橋脚



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

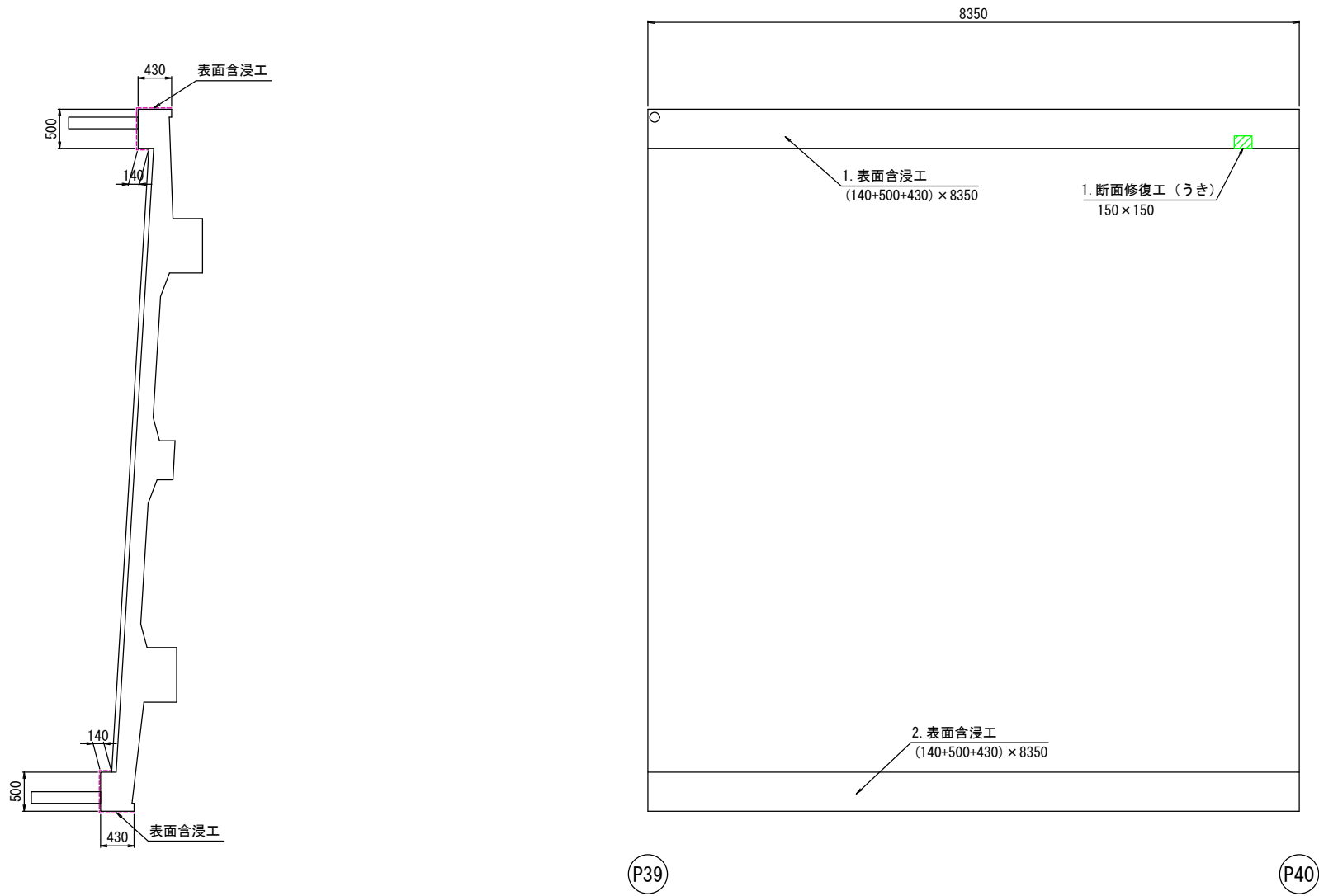
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その5）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	50／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修図（その6）

S=1:40

橋面 第1径間



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

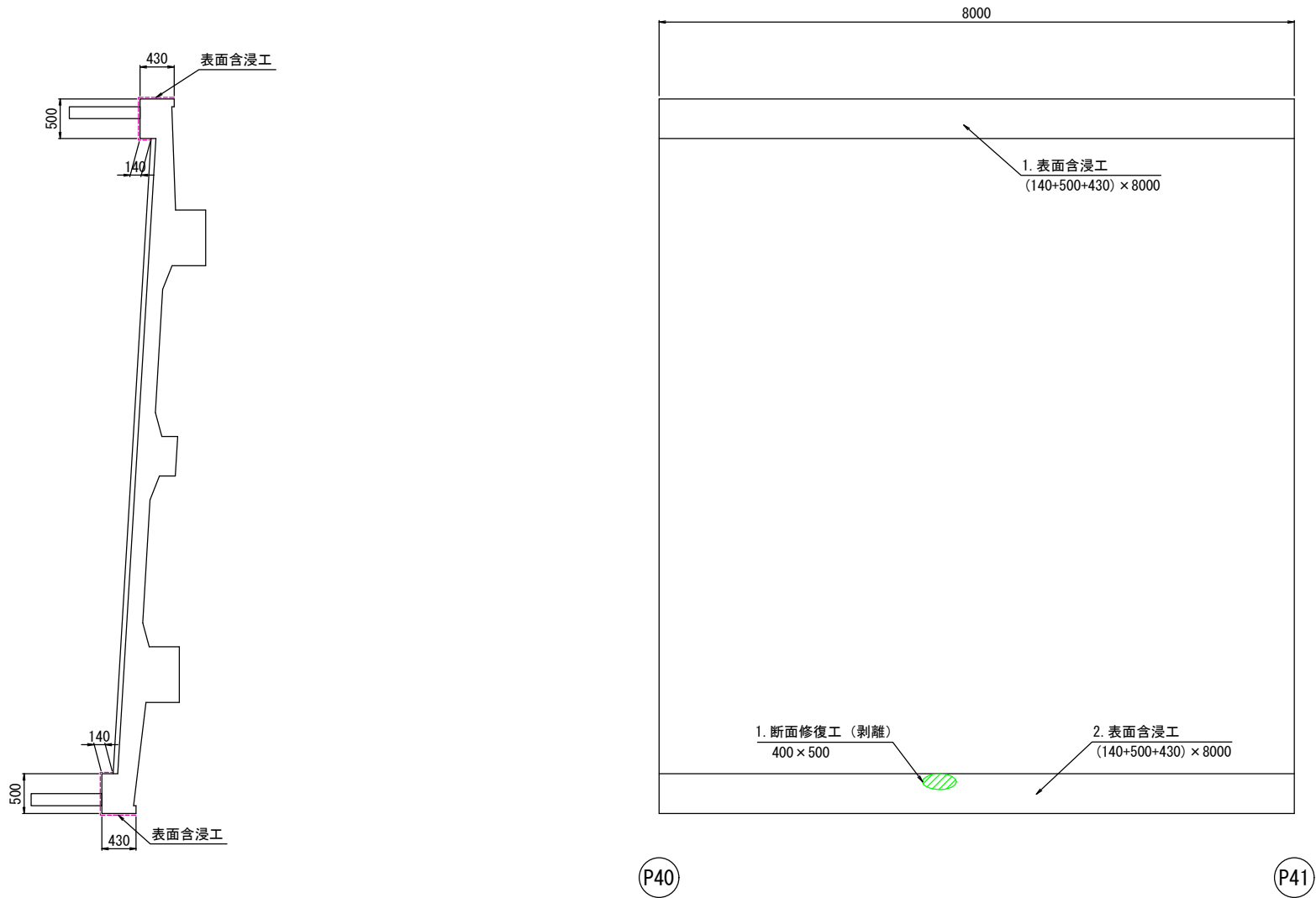
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その6）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	51／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修図（その7）

橋面 第2径間

S=1:40



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

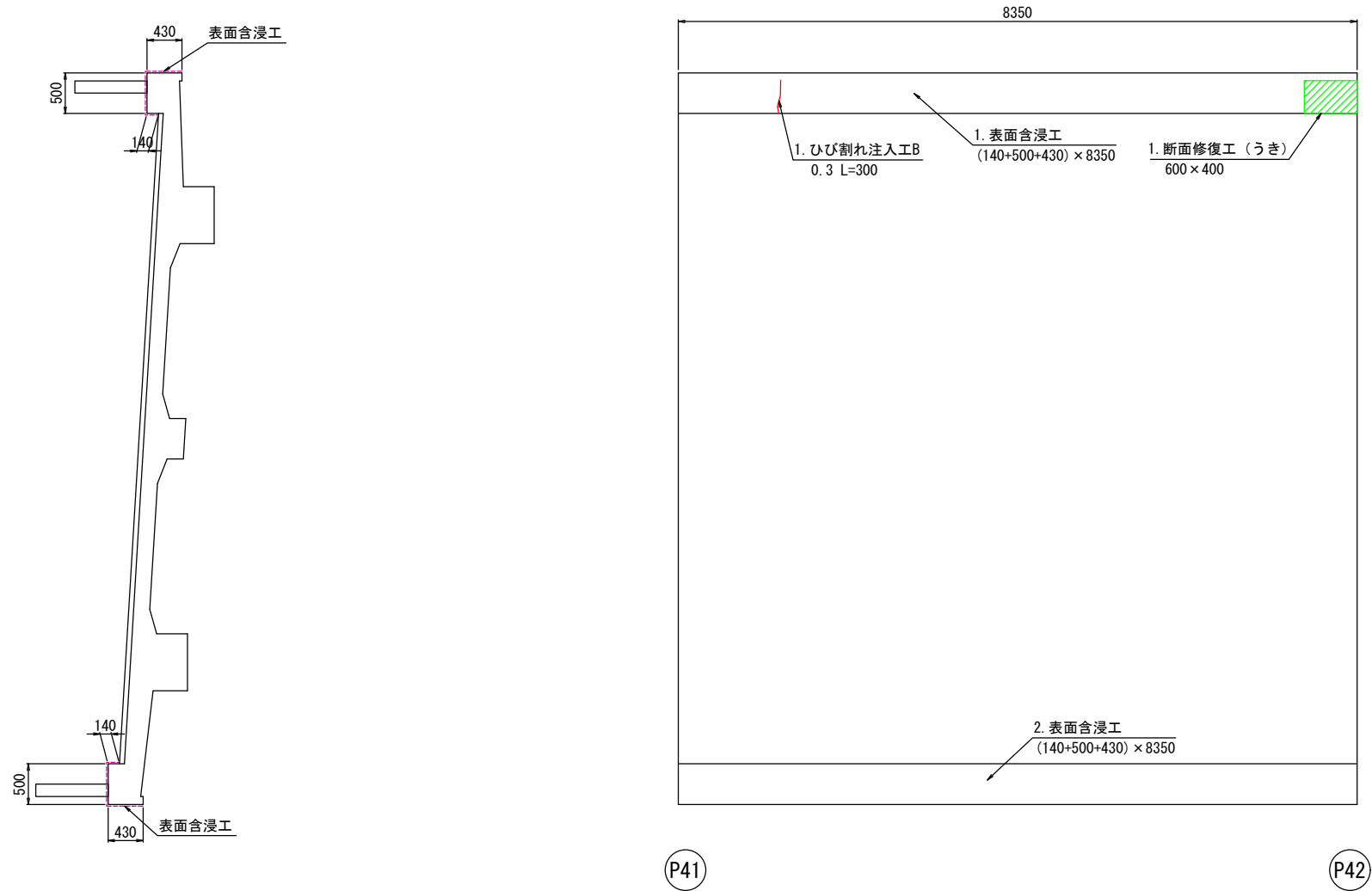
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その7）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	52／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修図（その8）

橋面 第3径間

S=1:40



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託(R2-1)の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その8）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	53/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

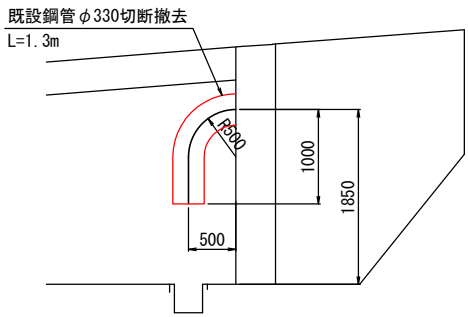
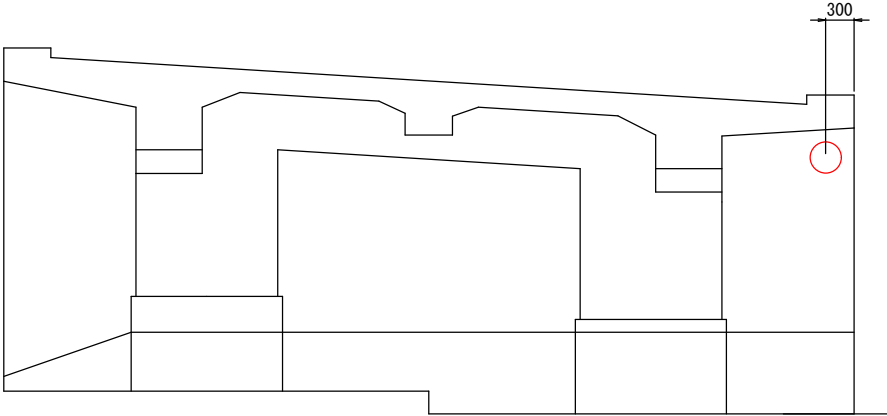
5号橋 補修図（その9）

S=1:40

P42橋脚
（排水管補修工）

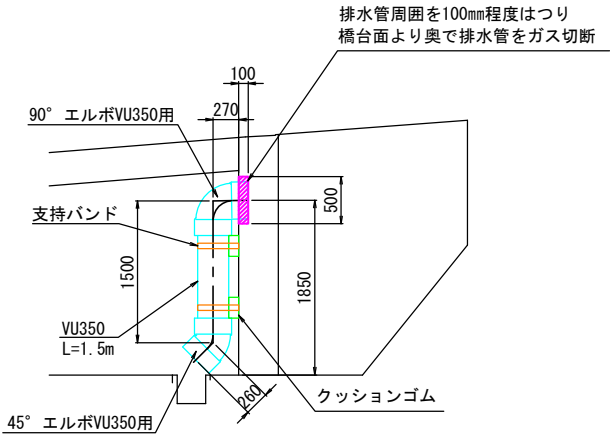
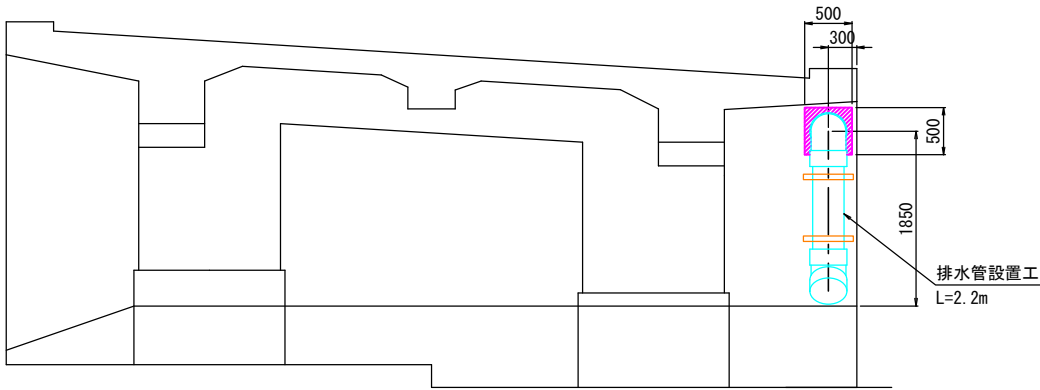
現況（推定）

起点側



補修後

起点側



補修凡例

補修対策工	表 示	損傷の種類
断面修復工		剥離・鉄筋露出・うき・豆板・欠損
ひび割れ注入工A		遊離石灰
ひび割れ注入工B		ひびわれ(開口幅0.2mm以上～1.0mm未満)
ひび割れ充填工		ひびわれ(開口幅1.0mm以上)

※ 本図面は、令和2年度 橋梁定期点検業務委託（R2-1）の点検結果に基づき、作成している。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※ 補修数量は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

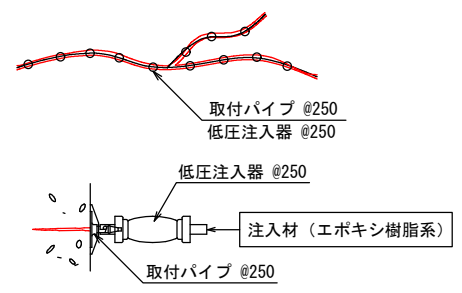
※ 新たに見られた損傷は、適切に補修を実施すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修図（その9）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	54／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 補修詳細図（参考図）

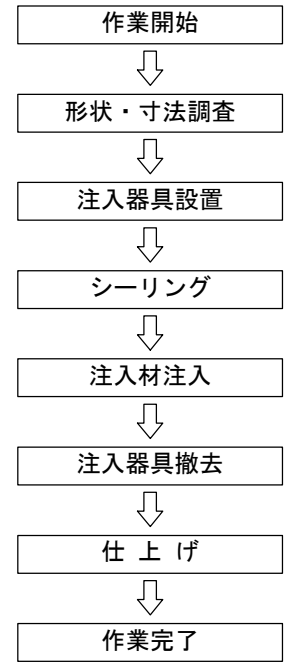
ひびわれ注入工B

開口幅0.2mm以上1.0mm未満のひびわれ

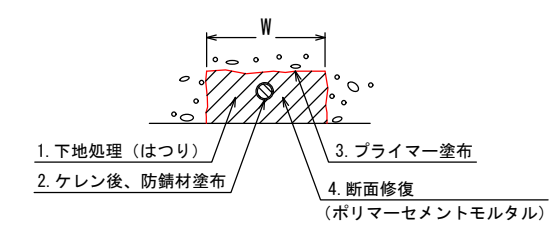


- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれは、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料は使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方向から上方向に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。
- ※ 注入材料は、エポキシ樹脂系2種とする。
- ※ クロスカットは、刃厚2.3mm程度、深さ1.0～2.0mm程度とする。

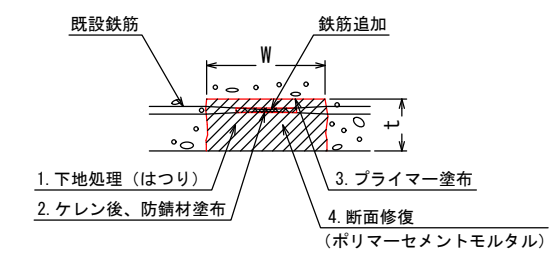
施工手順



断面修復工（左官工法）

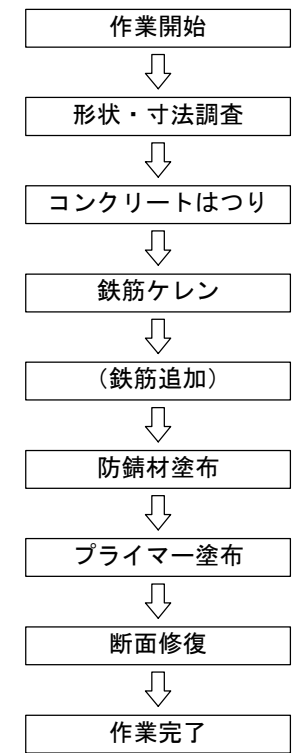


断面修復工（鉄筋追加）（左官工法）（参考図）

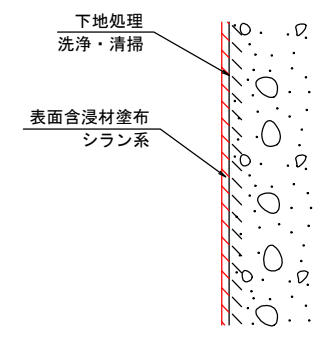


- ※ 鉄筋周辺のうき及び劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所（25%以下）は、新たに同径の鉄筋を追加設置すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものは使用しないこと。

施工手順

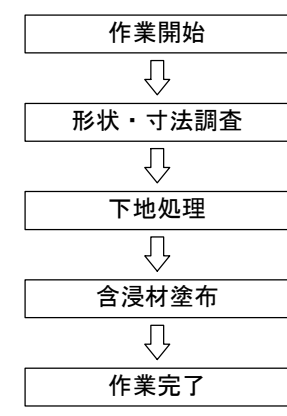


表面含浸工詳細図



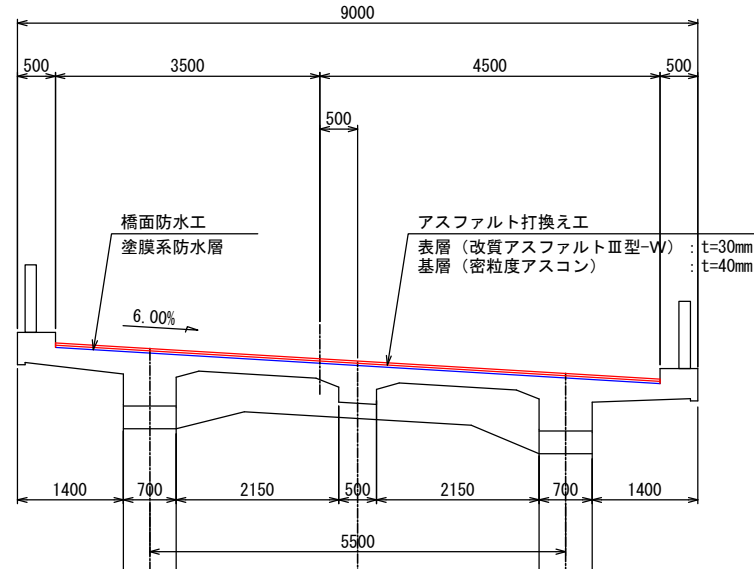
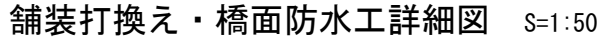
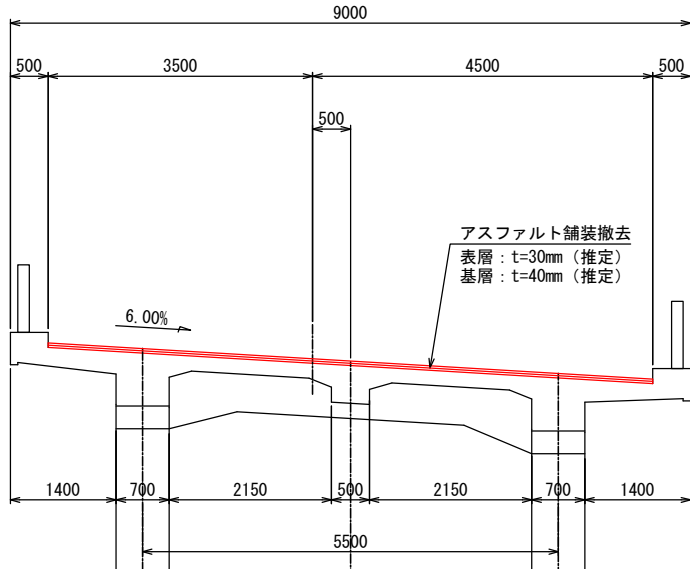
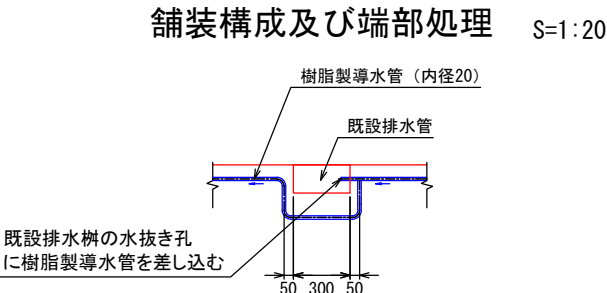
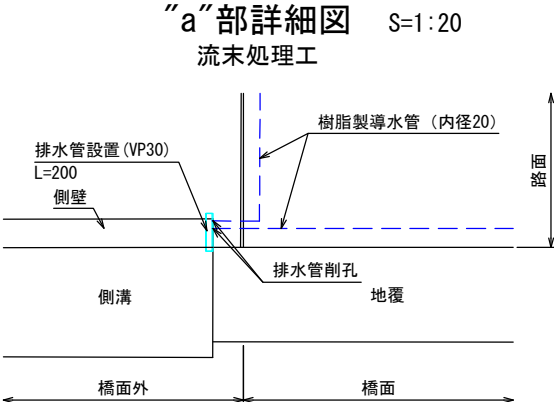
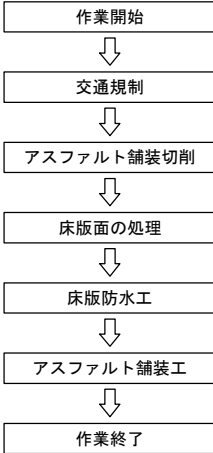
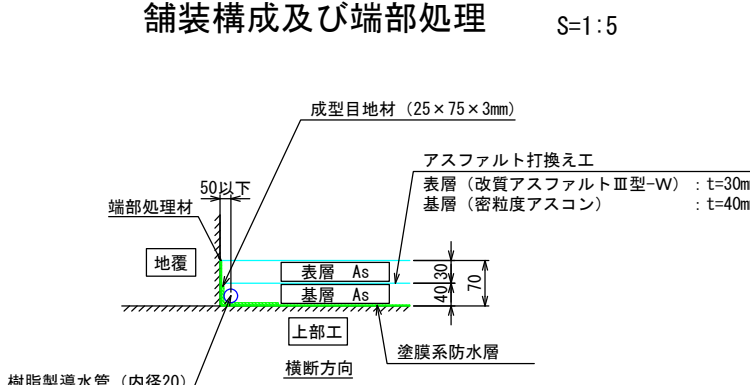
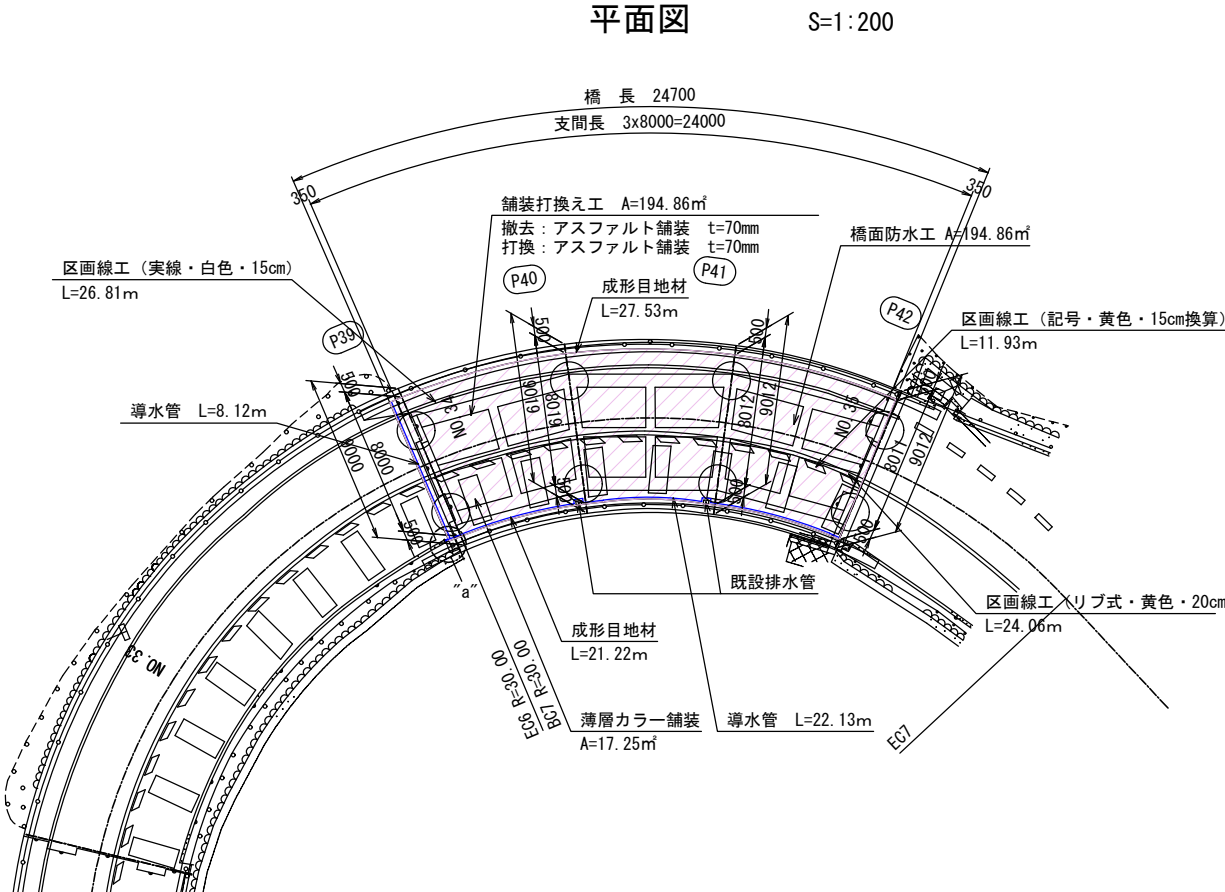
- ※ 表面保護材は、シラン系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 施工は、気温5～40℃で行うこと。
- ※ 施工は、雨天（施工後4時間以内に雨が予測される場合も含む）及び強風時に施工を行わないこと。

施工手順



工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 補修詳細図（参考図）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	-	図面番号	55／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

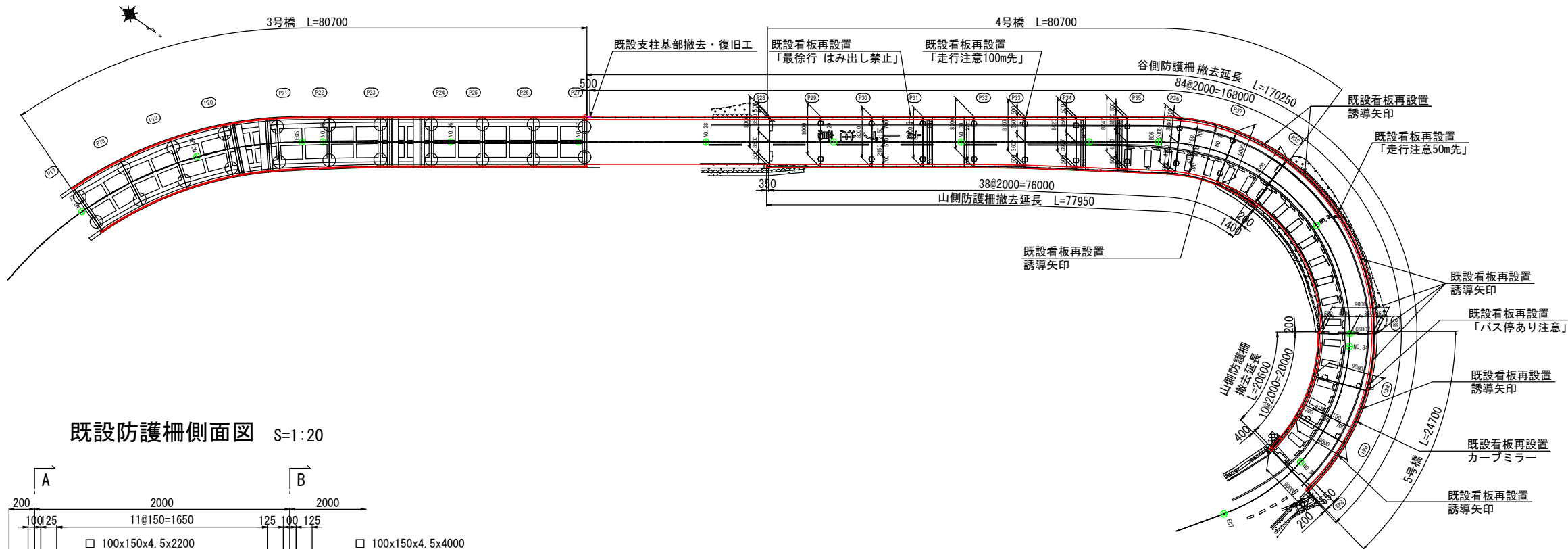
5号橋 舗装打換え工・橋面防水工詳細図



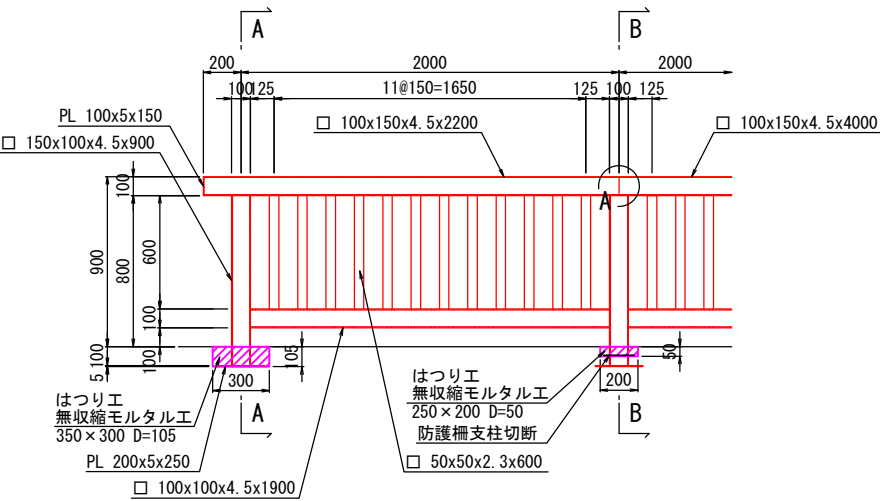
工事名	大阪北摂公園4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 舗装打換え工・橋面防水工詳細図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	56/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋5号橋 既設防護柵撤去図

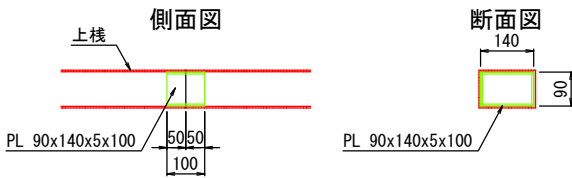
平面図 S=1:400



既設防護柵側面図 S=1:20

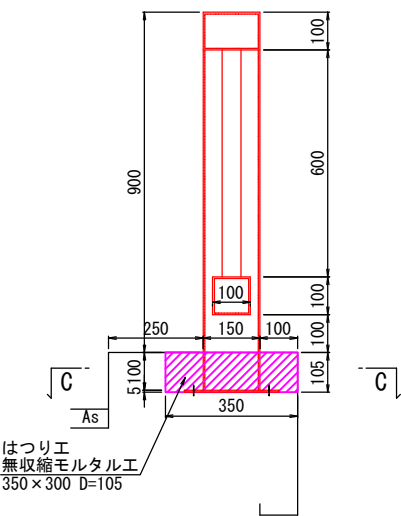


A部詳細図 S=1:10



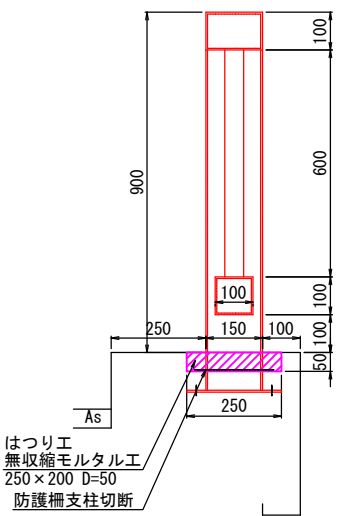
A-A断面 S=1:10

支柱撤去時
(4号橋谷側起点付近)

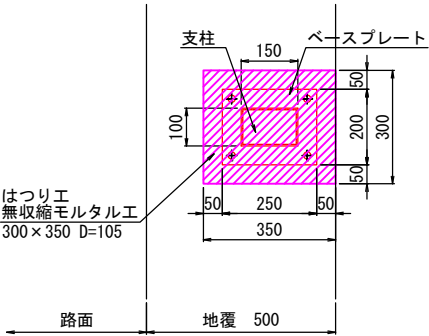


B-B断面 S=1:10

支柱切断時
(その他区間)



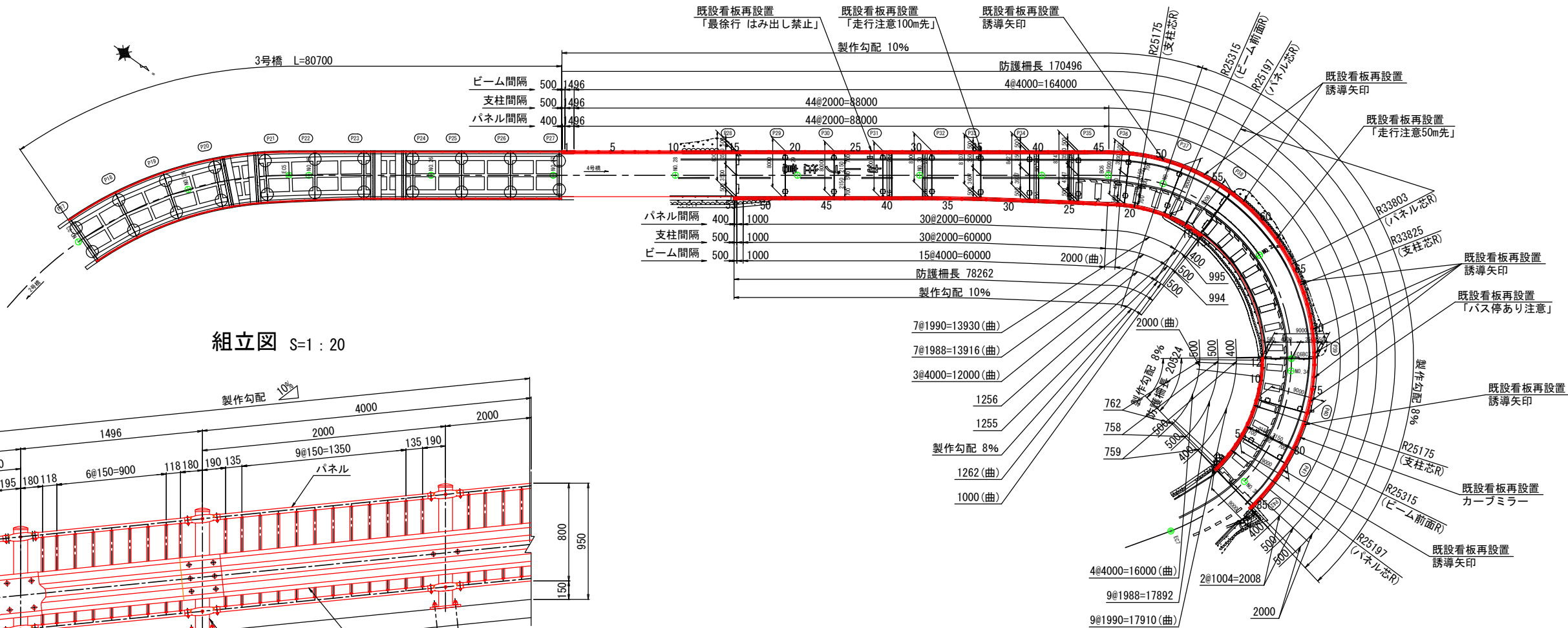
C-C断面 S=1:10



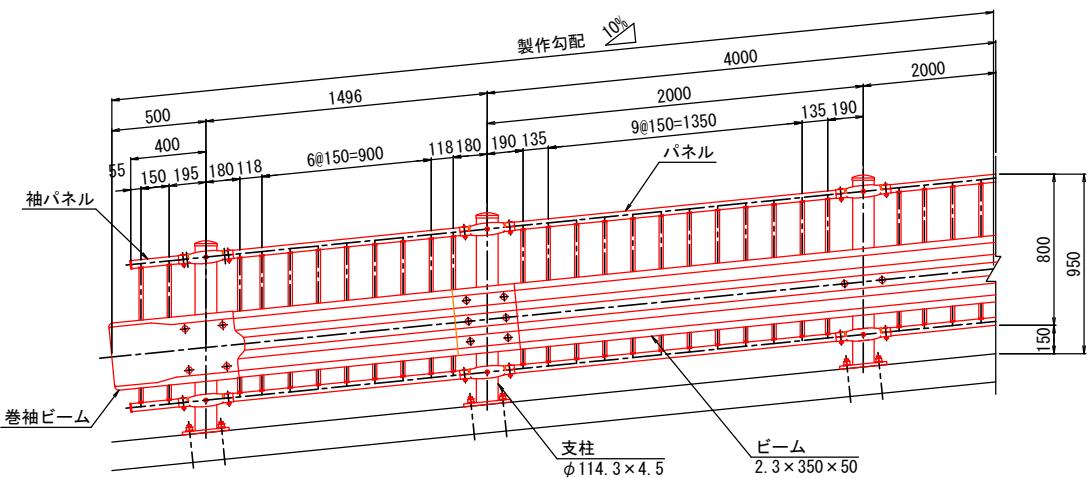
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋5号橋 既設防護柵撤去図		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	57/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋5号橋 新設防護柵設置図（その1）
（ツインスロープ30同等品以上）

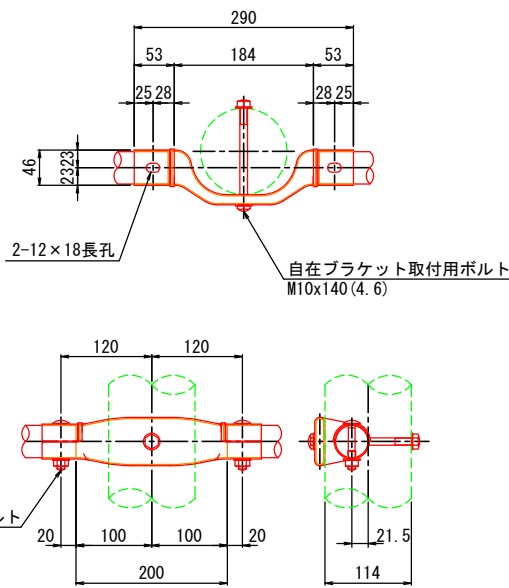
平面図 S=1:400



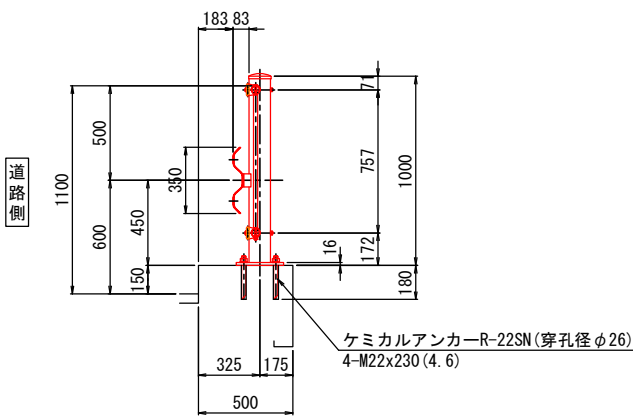
組立図 S=1:20



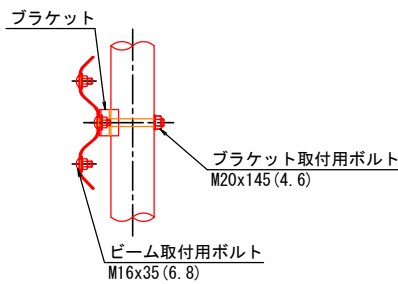
自在ブラケット取付部詳細 S=1:5



断面図 S=1:20



取付詳細図 S=1:10

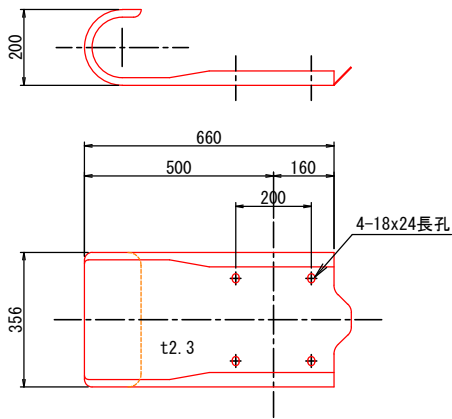


- ※ (曲) 表記が無い箇所は、直物にて対応すること。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 既設防護柵に添架されている看板等については、新設防護柵に再設置とする。
ただし、設置方法については管理者に再度確認すること。
- ※ ガードレールは、景観色であるダークブラウン塗装とする。

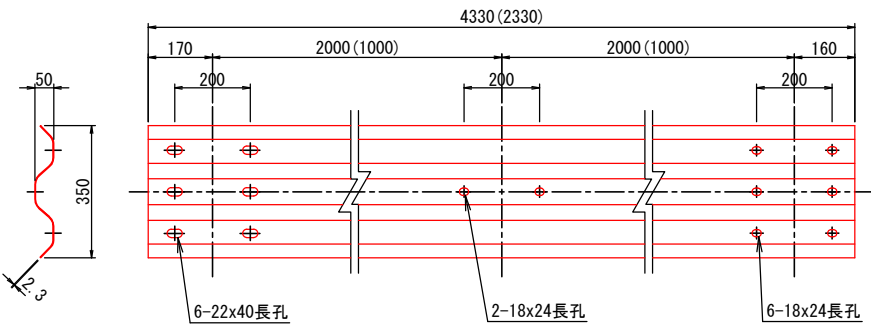
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋5号橋 新設防護柵設置図（その1）		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	図示	図面番号	58/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋5号橋 新設防護柵設置図（その2）
（ツインスロープ30同等品以上）

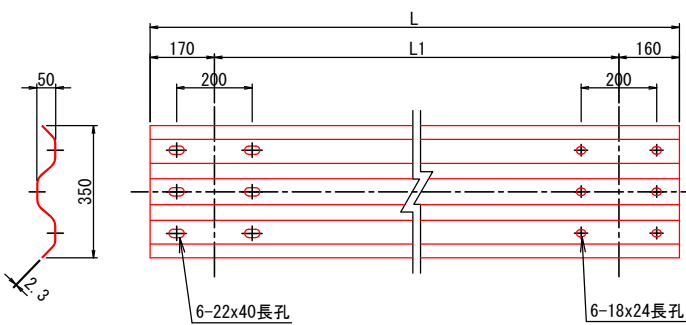
巻袖ビーム S=1 : 10



ビーム S=1 : 10

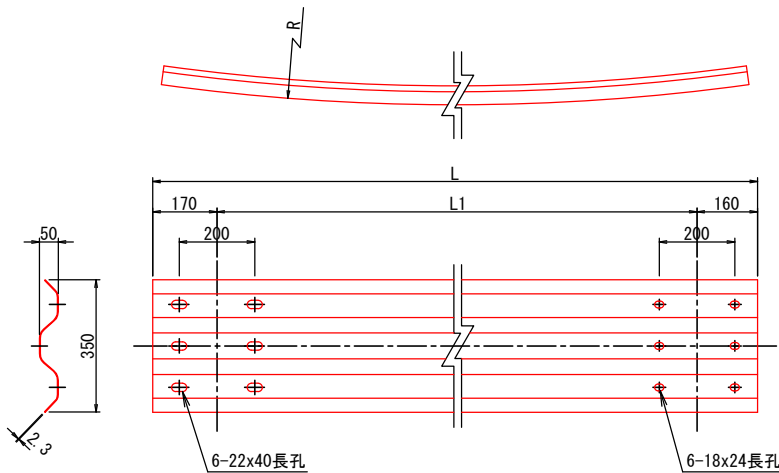


ビーム S=1 : 10



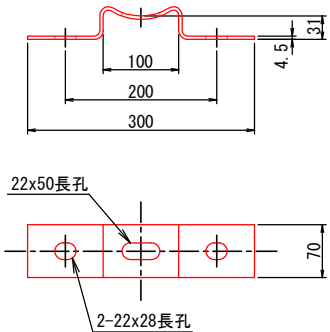
L	L1
1092	762
1330	1000
1826	1496
2330	2000

Rビーム S=1 : 10

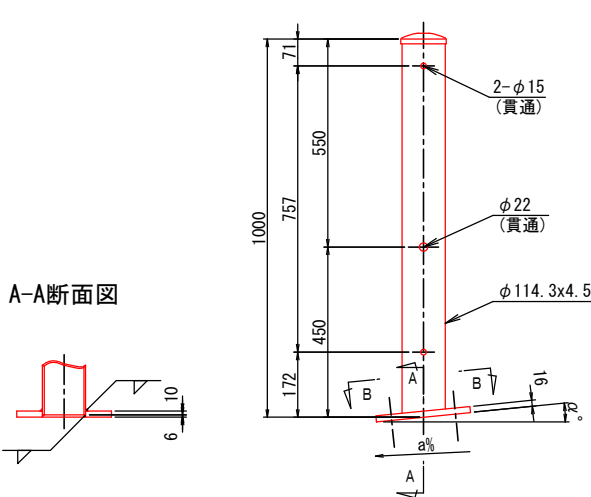


L	L1	R
1330	1000	25315
1592	1262	25315
2330	2000	25315

ブラケット S=1 : 5

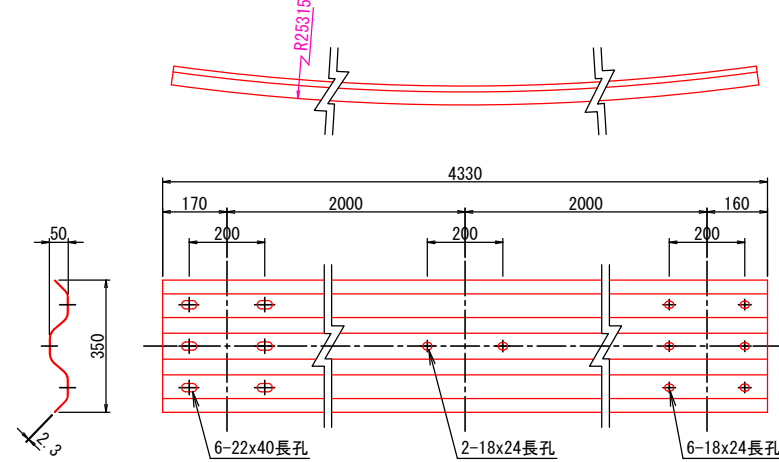


支柱 S=1 : 10

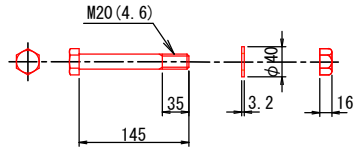


a	α
8	4.6
10	5.7

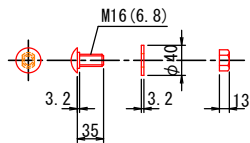
Rビーム S=1 : 10



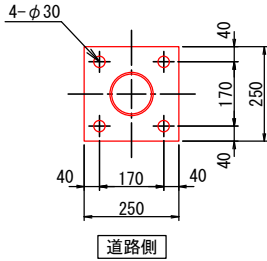
ブラケット取付用ボルト S=1 : 5



ビーム取付用ボルト S=1 : 5



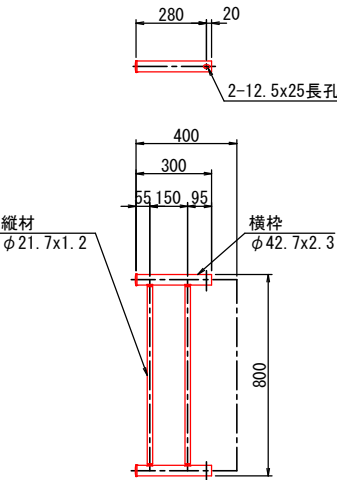
B-B断面図



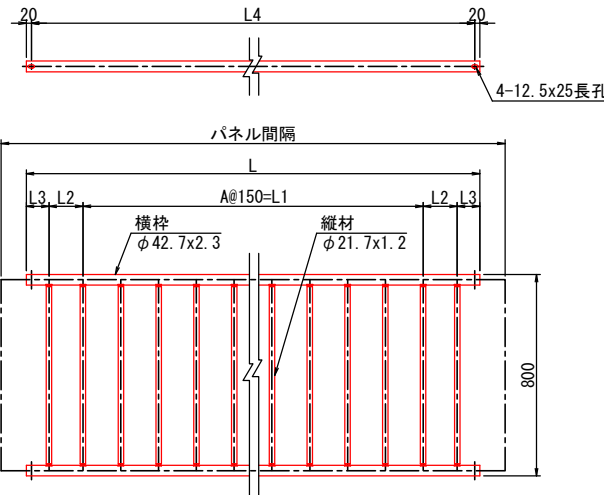
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋5号橋 新設防護柵設置図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	59／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋5号橋 新設防護柵設置図（その3）
（ツインスロープ30同等品以上）

袖パネル S=1 : 15

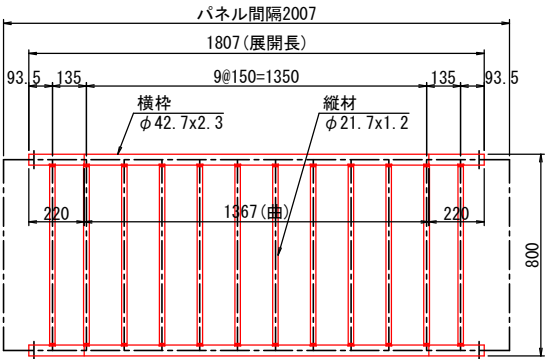
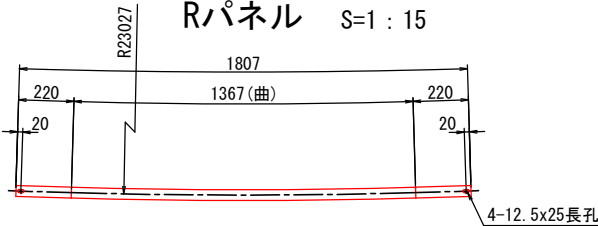


パネル S=1 : 15

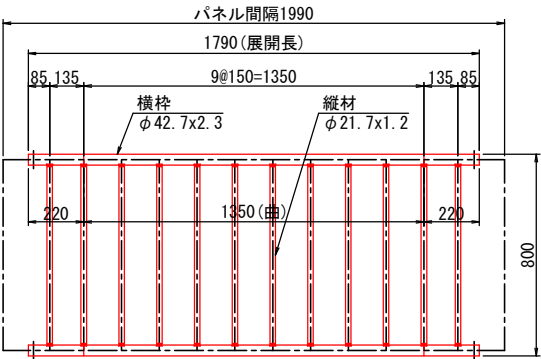
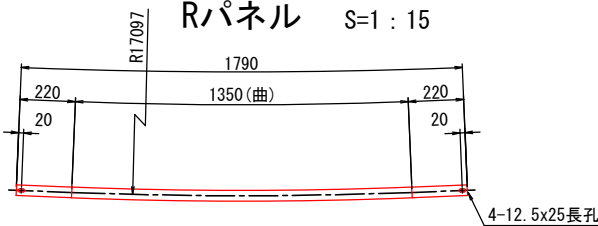


パネル間隔	L	L1	L2	L3	L4	A
759	559	0	165	114.5	519	0
995	795	300	167.5	80	755	2
1000	800	300	150	100	760	2
1004	804	300	150	102	764	2
1256	1056	600	135	93	1016	4
1496	1296	900	118	80	1256	6
2000	1800	1350	135	90	1760	9

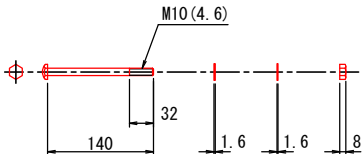
Rパネル S=1 : 15



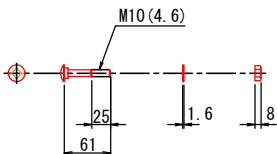
Rパネル S=1 : 15



自在ブラケット取付用ボルト S=1 : 5



パネル取付用ボルト S=1 : 5



工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋5号橋 新設防護柵設置図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	60/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

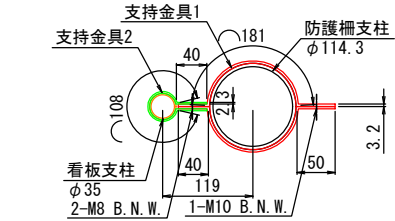
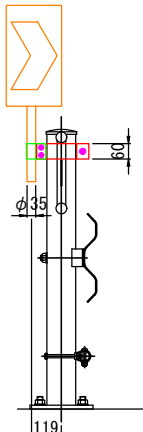
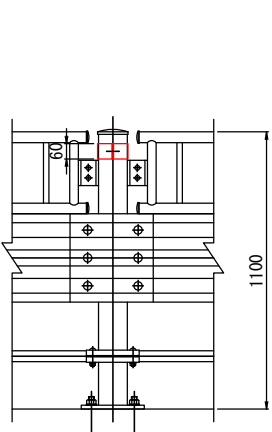
4号橋5号橋 既設看板再設置詳細図 S=1:15

看板1(9箇所)

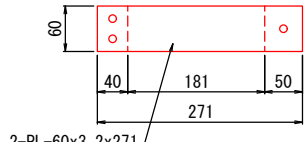
側面図 S=1:15

断面図 S=1:15

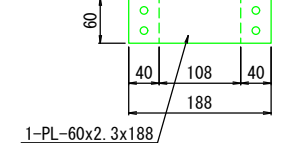
支持金具断面図 S=1:5



支持金具1 S=1:5



支持金具2 S=1:5

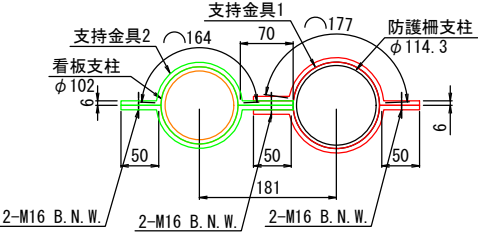
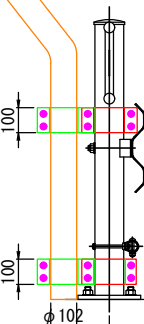
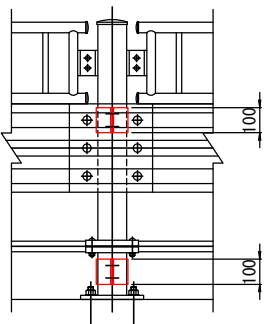


看板2(1箇所)

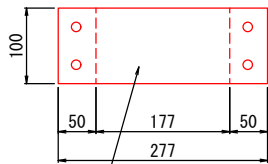
側面図 S=1:15

断面図 S=1:15

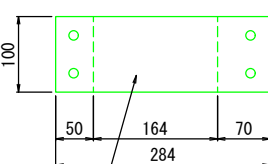
支持金具断面図 S=1:5



支持金具1 S=1:5



支持金具2 S=1:5

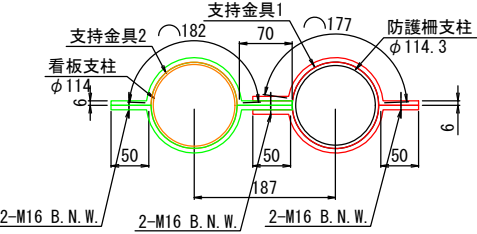
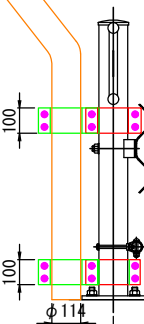
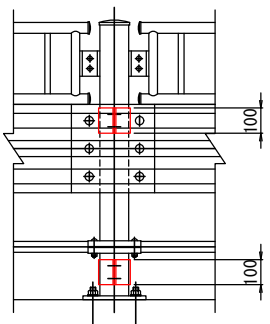


看板3(1箇所)

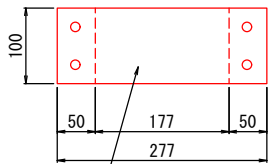
側面図 S=1:15

断面図 S=1:15

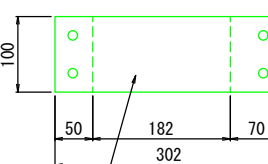
支持金具断面図 S=1:5



支持金具1 S=1:5



支持金具2 S=1:5

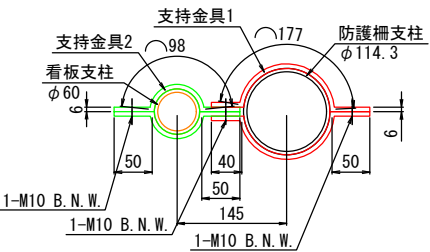
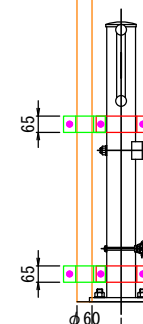
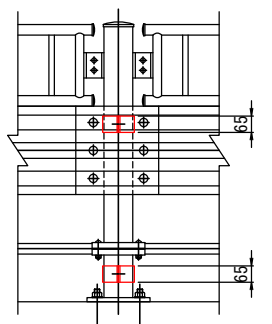


看板4(1箇所)

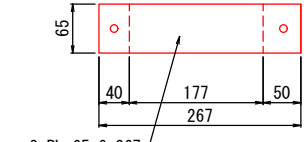
側面図 S=1:15

断面図 S=1:15

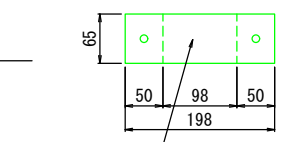
支持金具断面図 S=1:5



支持金具1 S=1:5



支持金具2 S=1:5

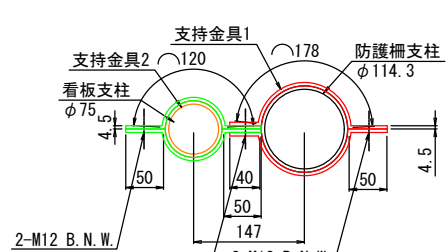
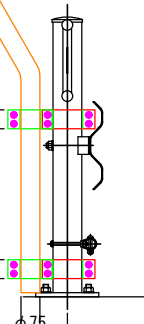
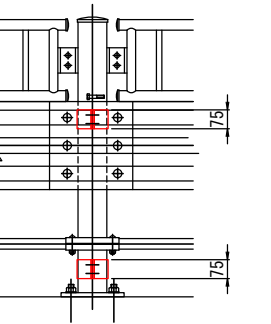


看板5(1箇所)

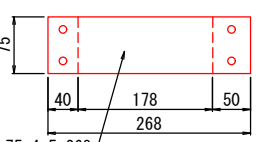
側面図 S=1:15

断面図 S=1:15

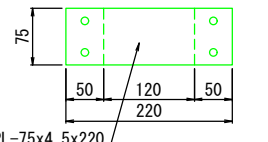
支持金具断面図 S=1:5



支持金具1 S=1:5



支持金具2 S=1:5

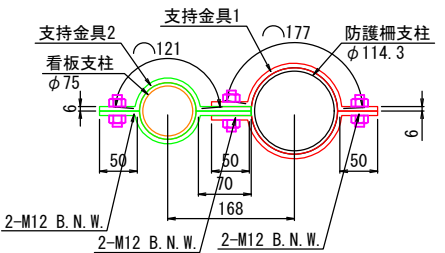
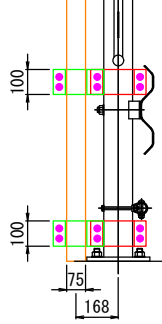
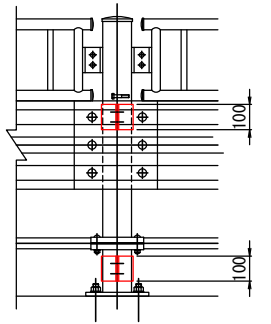


カーブミラー(1箇所)

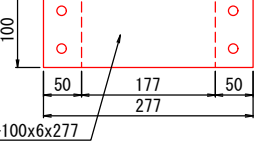
側面図 S=1:15

断面図 S=1:15

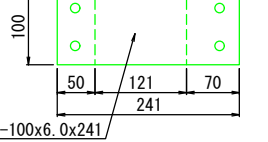
支持金具断面図 S=1:5



支持金具1 S=1:5



支持金具2 S=1:5



バス専用路線
分離帯
一般車両路線
走行注意
100m先

バス専用路線
分離帯
一般車両路線
走行注意
50m先

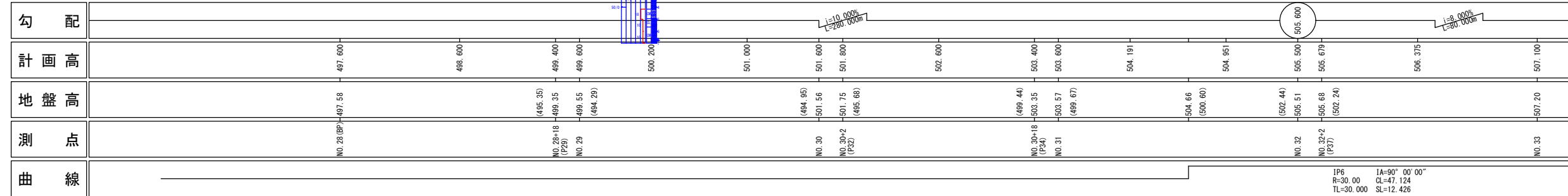
バス
停止
あり
注意

はみ出し
禁止
最徐行

※ 既設防護欄に添架されている看板等については、新設防護欄に再設置とする。
ただし、設置方法については管理者に再度確認すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋5号橋 既設看板再設置詳細図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	61/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

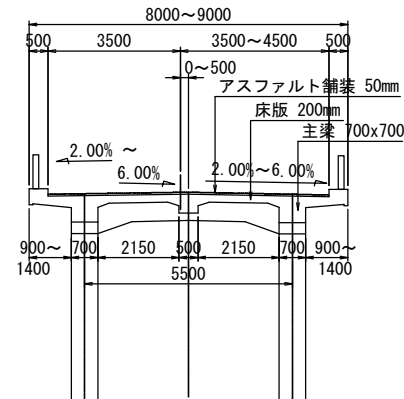
S=1 : 200



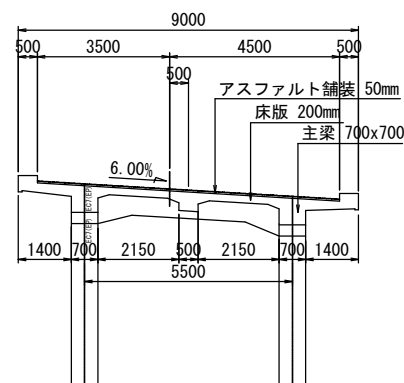
工事名	大阪北摂圏道４・５号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	４号橋 耐震補強計画一般図（その１）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	62／94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

S=1 : 100

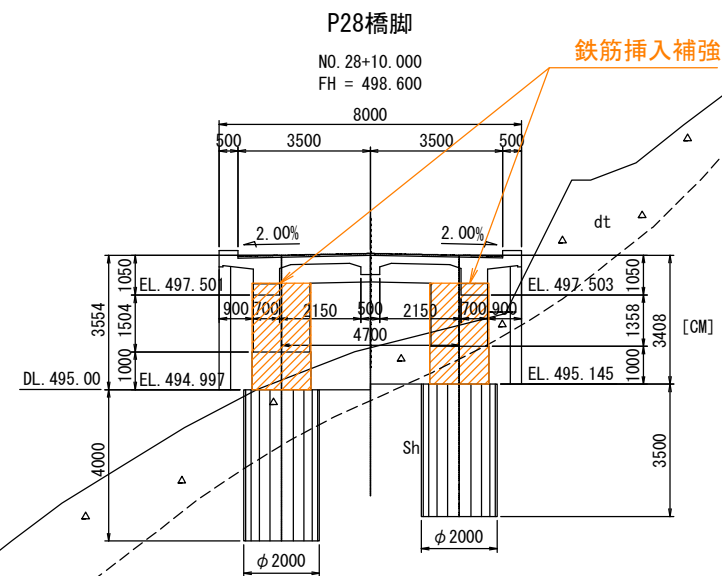
P28~P36



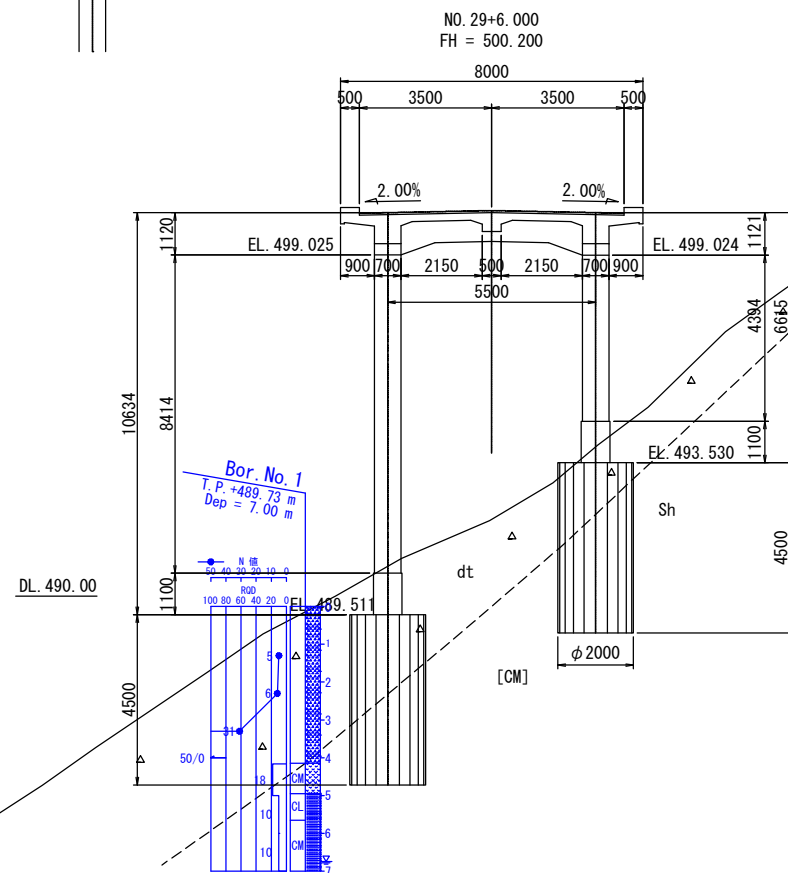
P36~P38



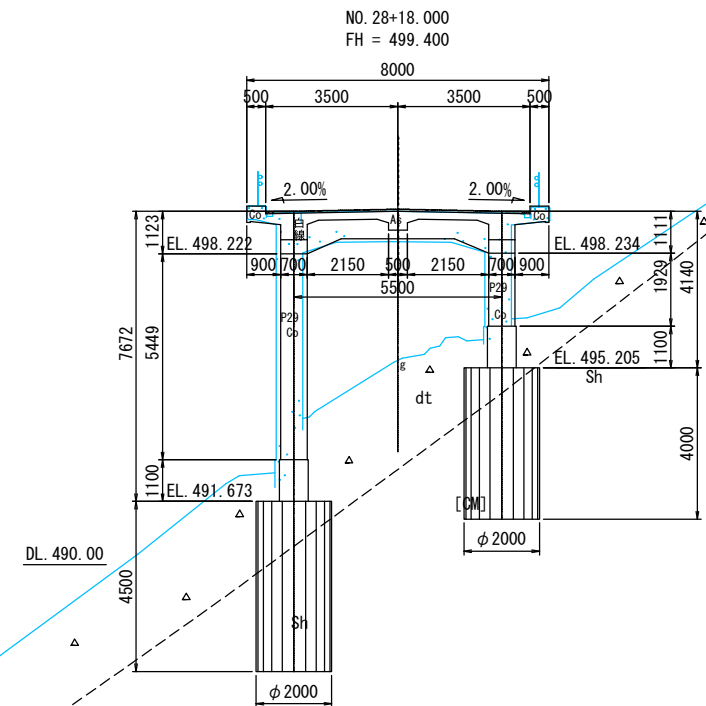
鉄筋挿入補強



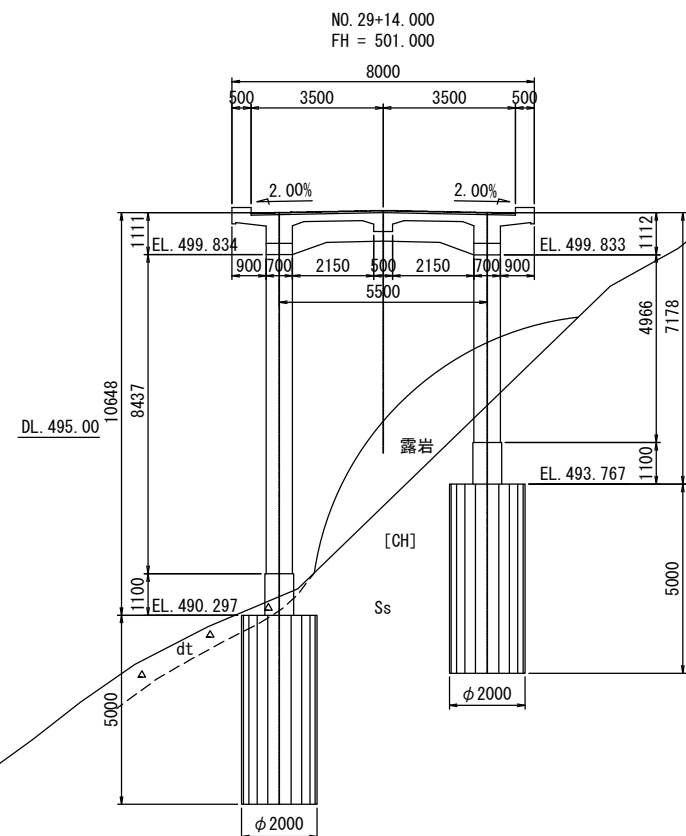
P30橋脚



P29橋脚



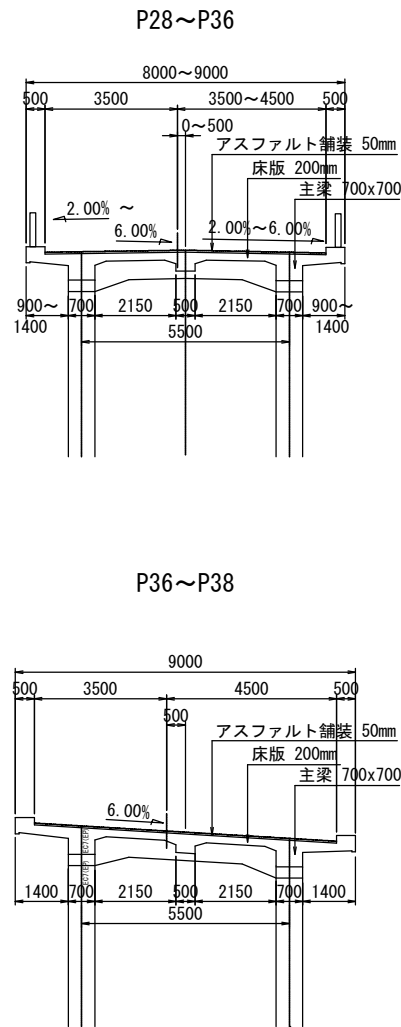
P31橋脚



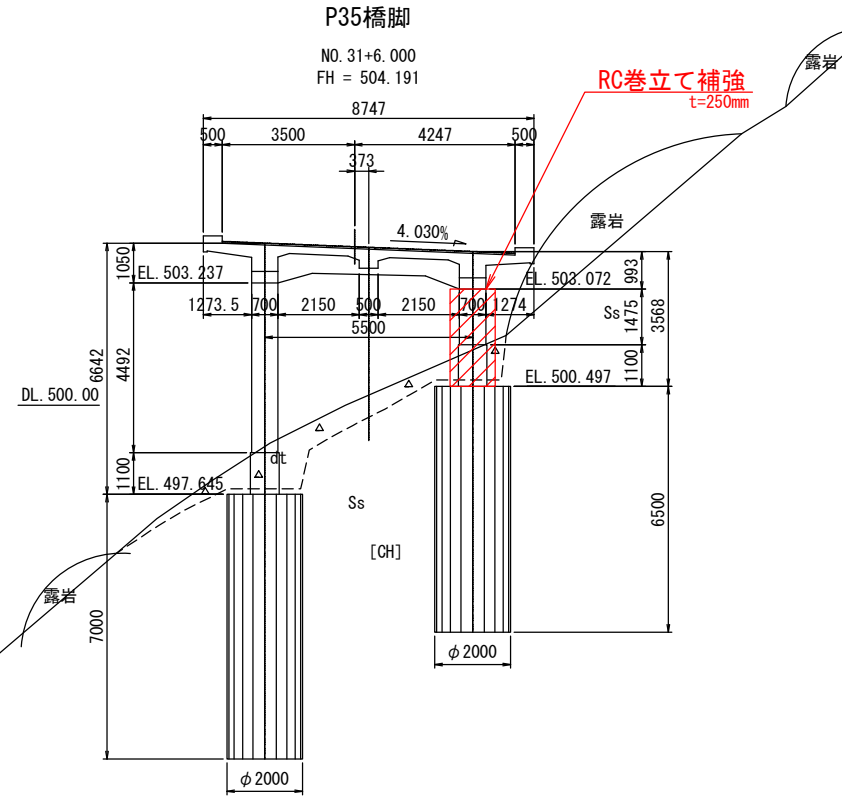
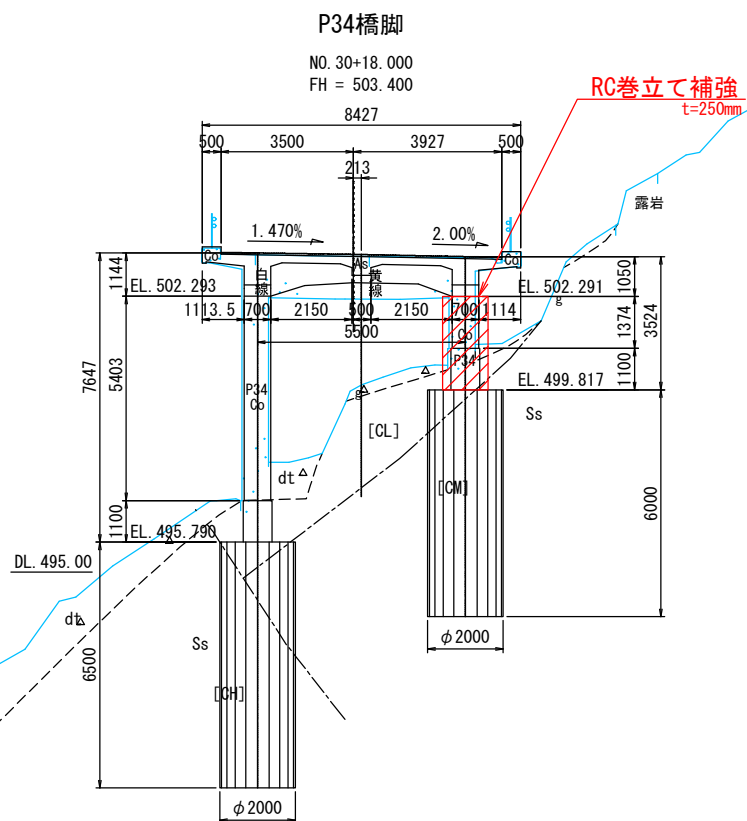
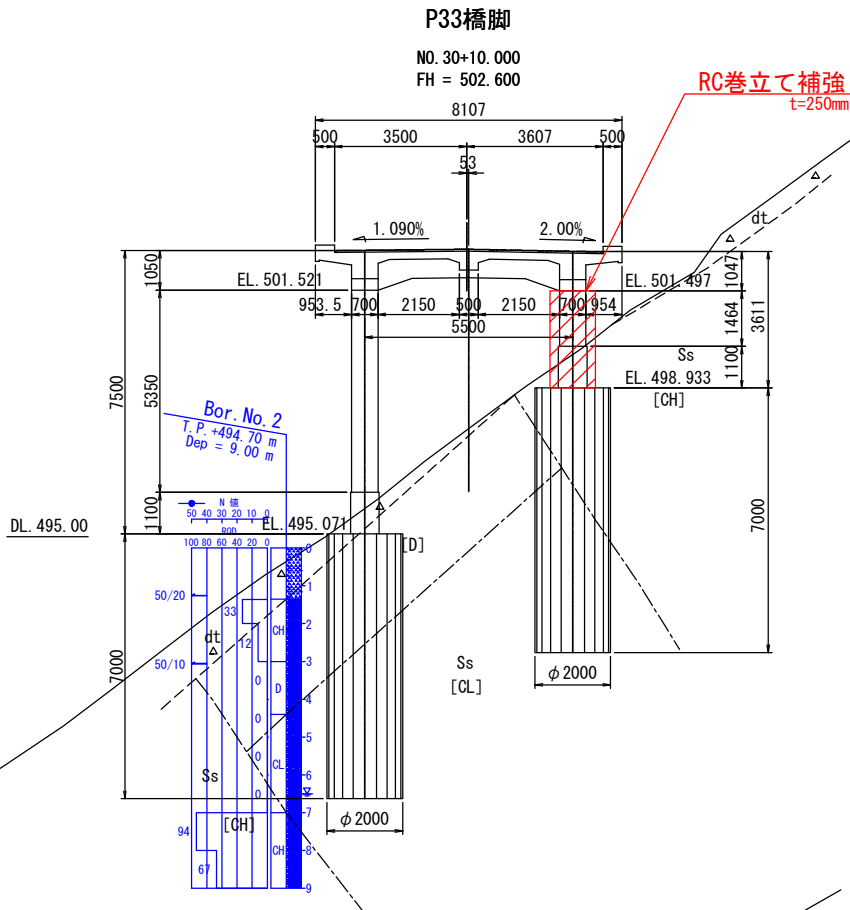
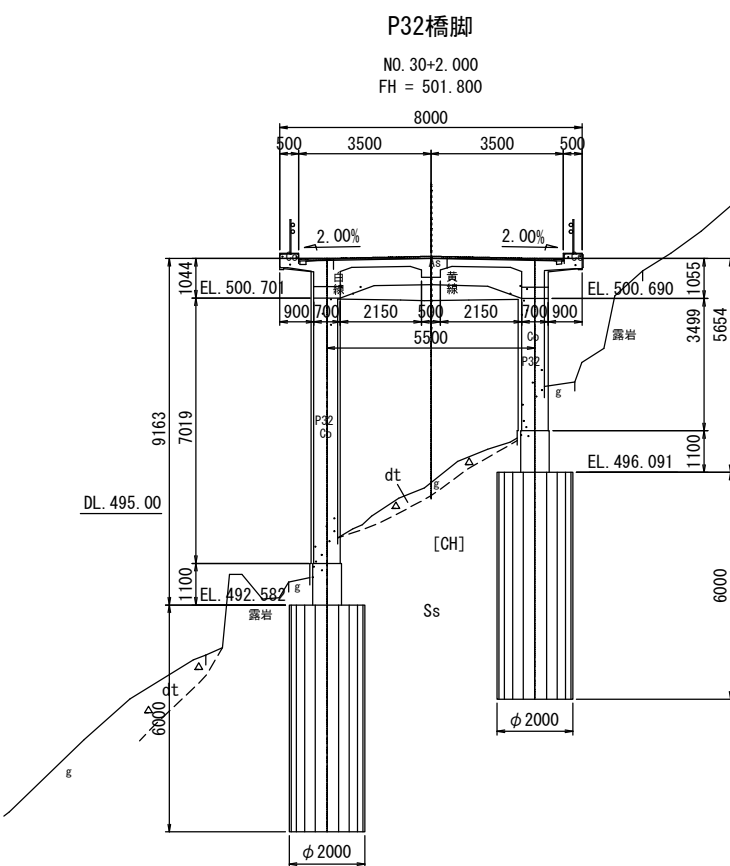
工事名	大阪北摂堂園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 耐震補強計画一般図 (その2)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	63/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 耐震補強計画一般図（その3） S=1:100

標準断面図



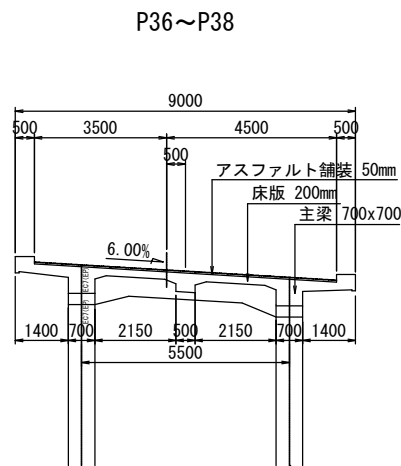
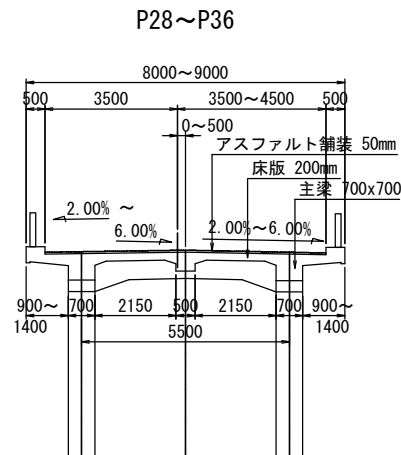
下部工断面図



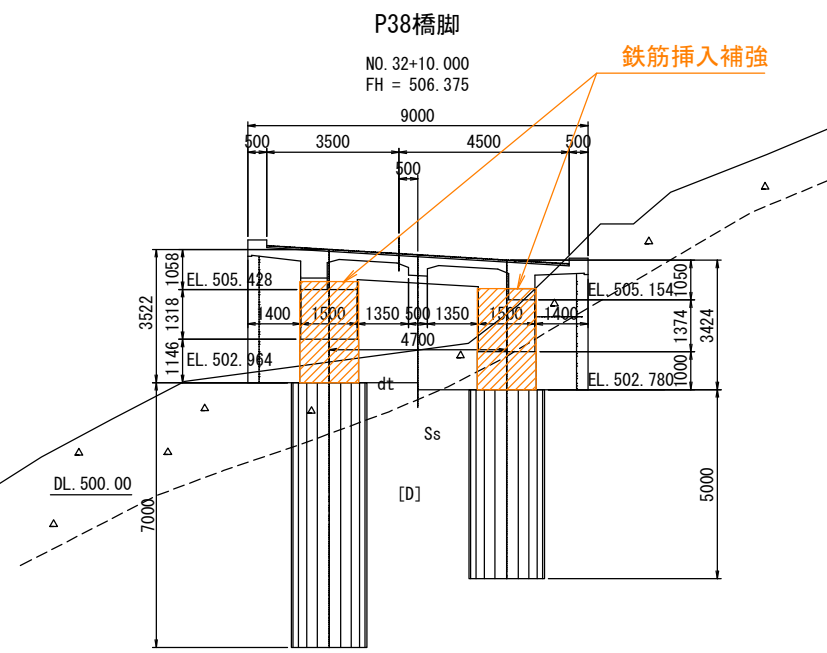
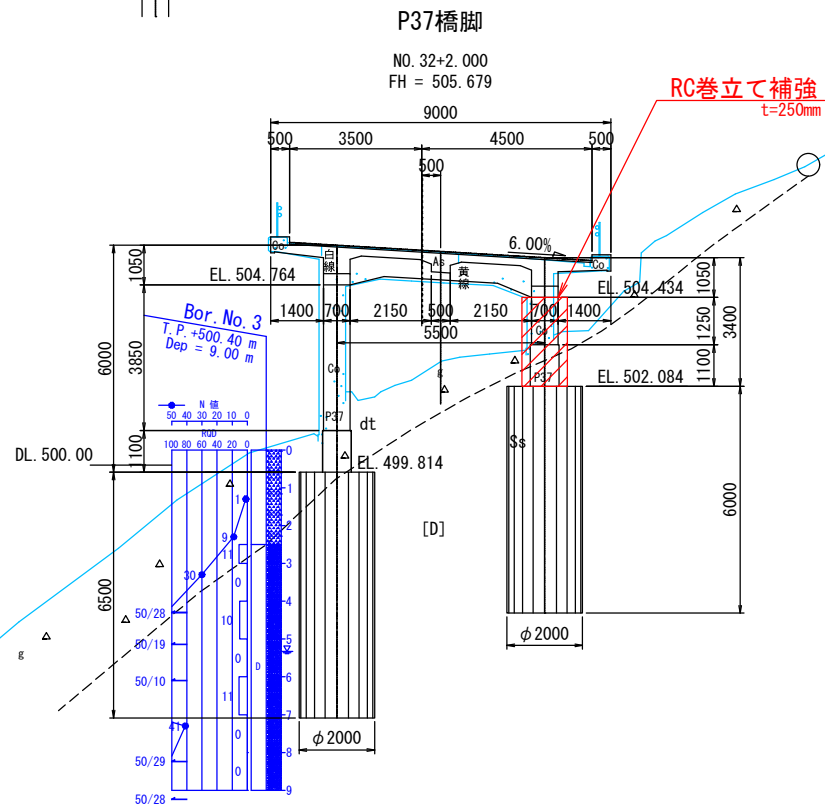
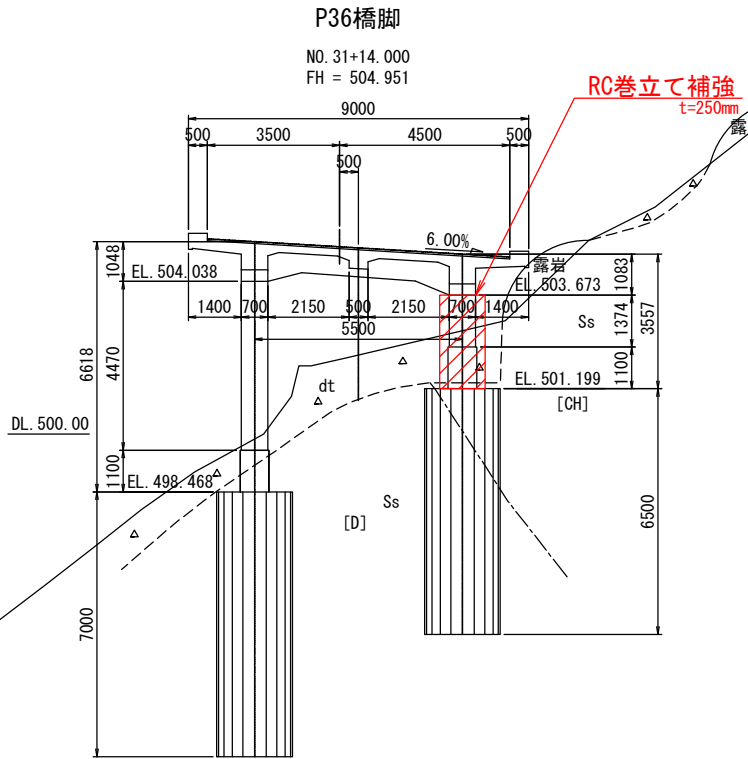
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 耐震補強計画一般図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	64/94
事業名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 耐震補強計画一般図（その4） S=1:100

標準断面図



下部工断面図



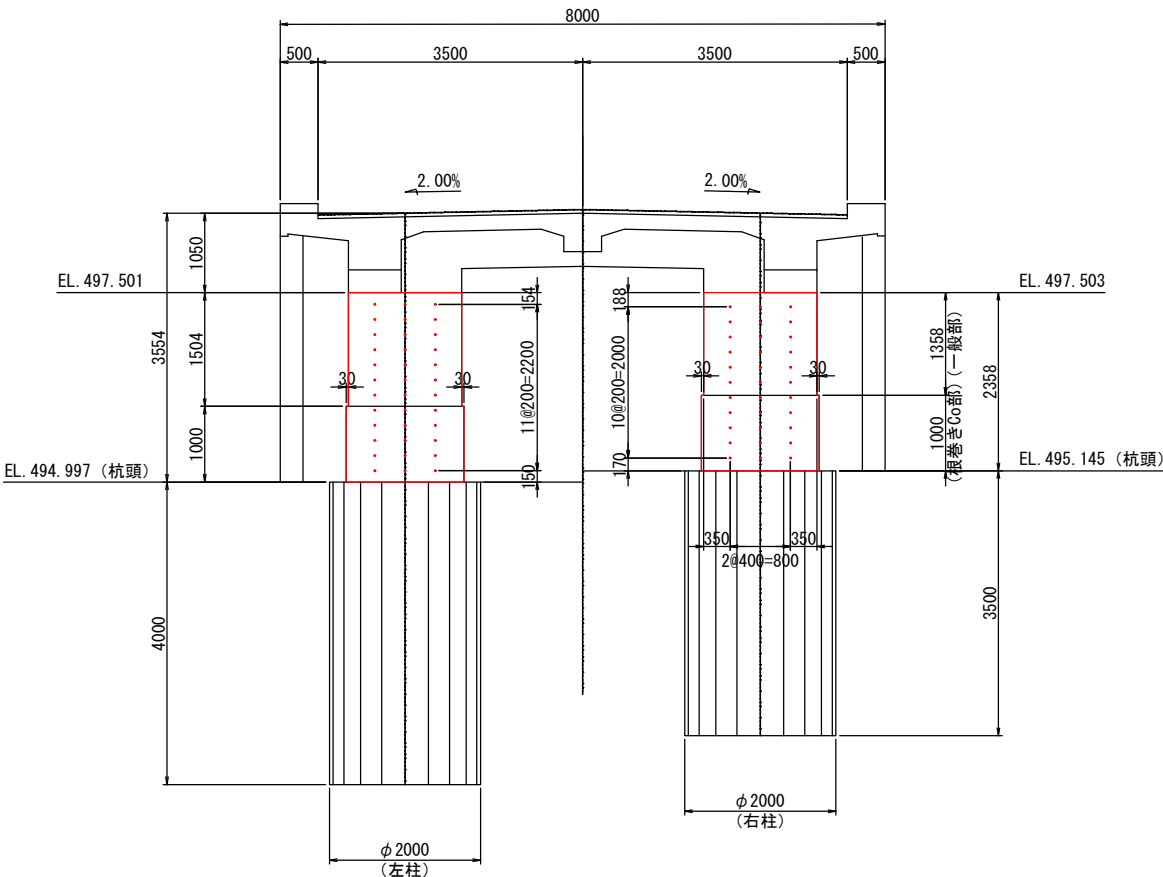
設計条件	
形式	3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋 + 単純鉄筋コンクリートT型橋（ゲルバー桁） + 2径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋 + 単純鉄筋コンクリートT型橋（ゲルバー桁） + 3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋
活荷重	TL-20
橋長	80.7 m（道路中心線上）
支間長	3x8.0 m + 8.0 m（ゲルバー桁 5.0 m）+ 2x8.0 m + 8.0 m（ゲルバー桁 5.0 m）+ 3x8.0 m （道路中心線上）
有効幅員	7.0 m ~ 8.0 m
横断勾配	2.00% 2.00% ~ 6.00%
地震係数	Kh = 0.20 Kv = 0.10
コンクリート	上部工 σck=240kg/cm2
	下部工 σck=240kg/cm2
	深礎 σck=240kg/cm2
鉄筋	SD30
適用示方書	鉄筋コンクリート標準示方書 土木学会
	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 日本道路協会

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 耐震補強計画一般図（その4）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	65/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

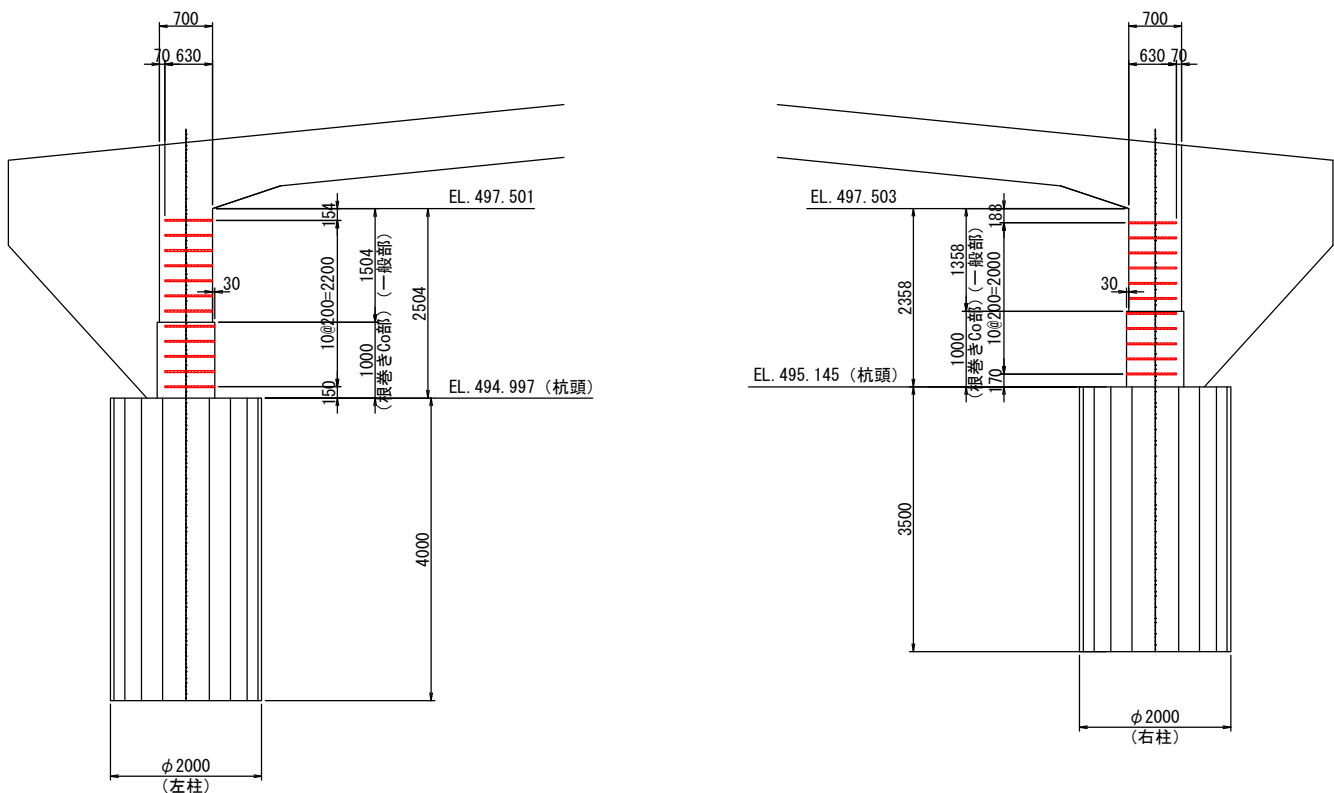
4号橋 橋台耐震補強詳細図（その1） S=1:50

適用範囲：P28橋脚（左柱及び右柱）

正面図

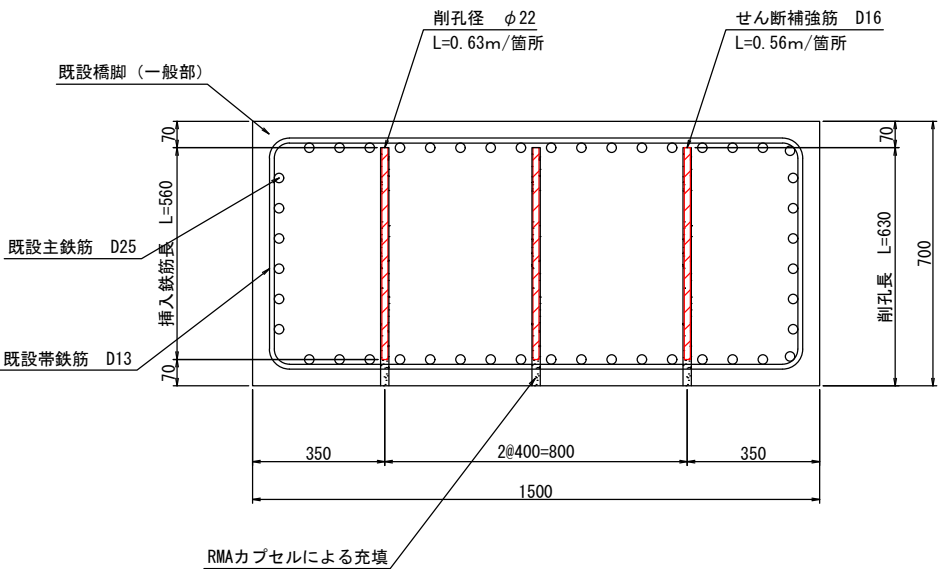


側面図



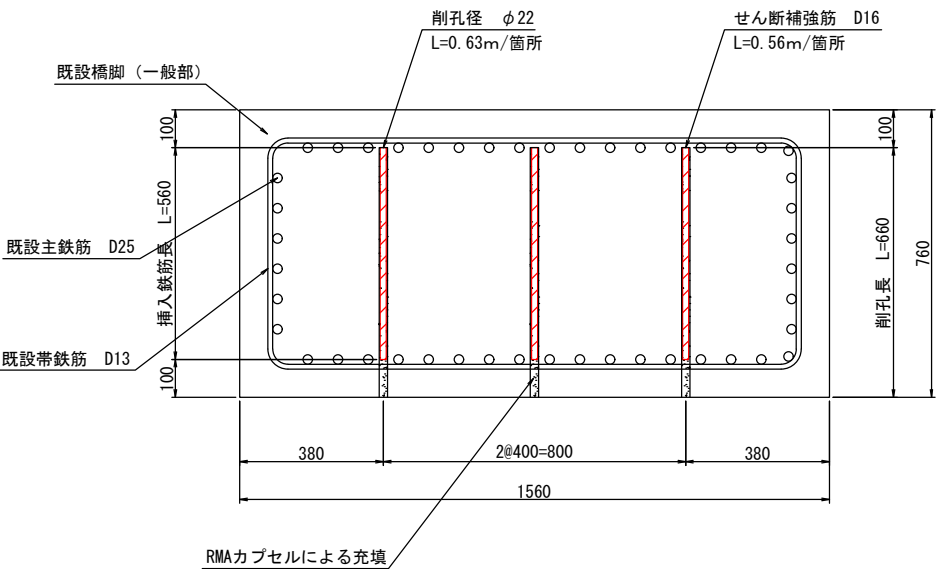
断面図（一般部）

S=1:10



断面図（根巻きCo部）

S=1:10



鉄筋質量表〈SD345〉（P28左柱及び右柱）

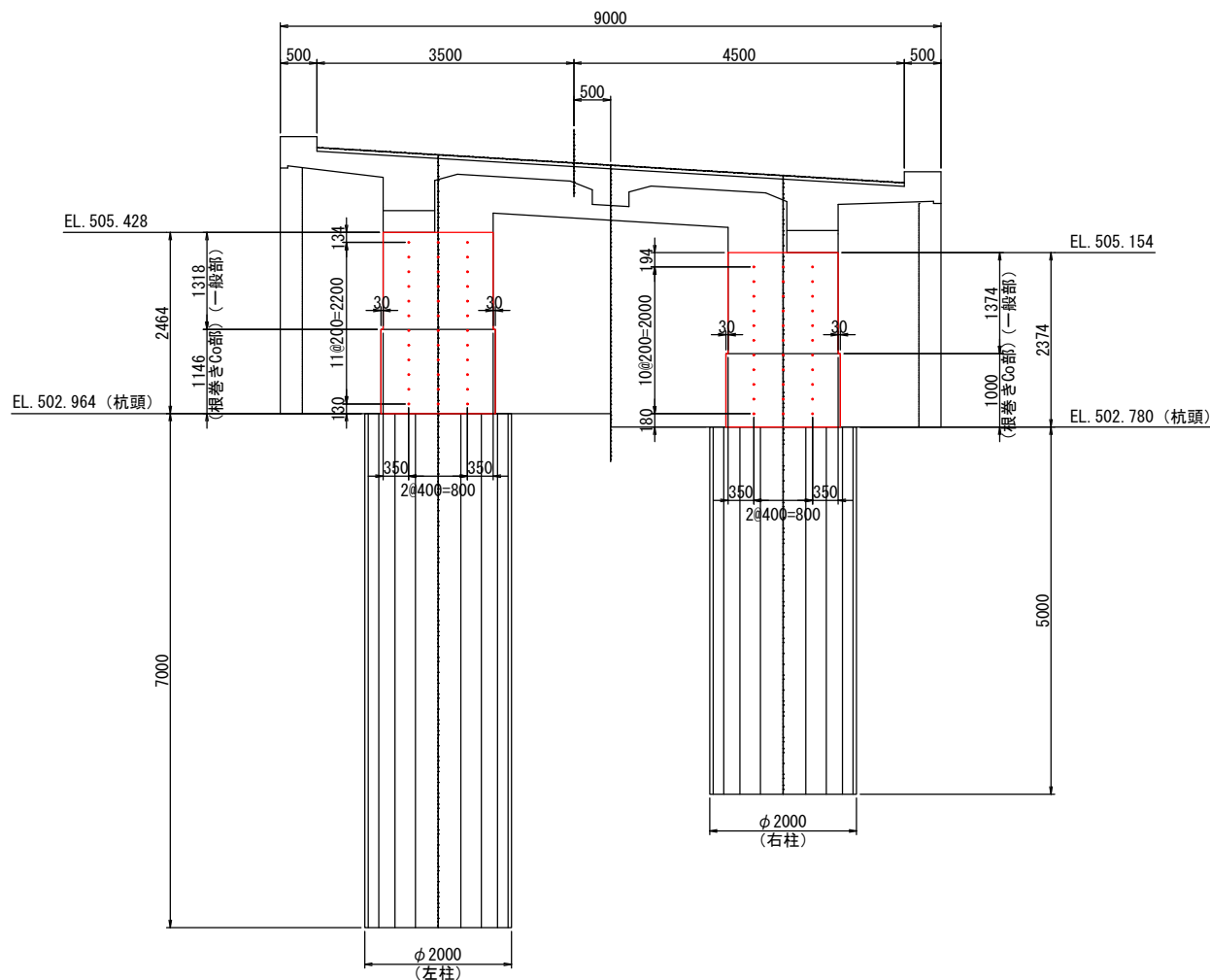
径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
D16	560	36	1.56	0.87	31.32	左柱
D16	560	33	1.56	0.87	28.71	右柱
合計 D16					60.03kg	

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 橋台耐震補強詳細図（その1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	66/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

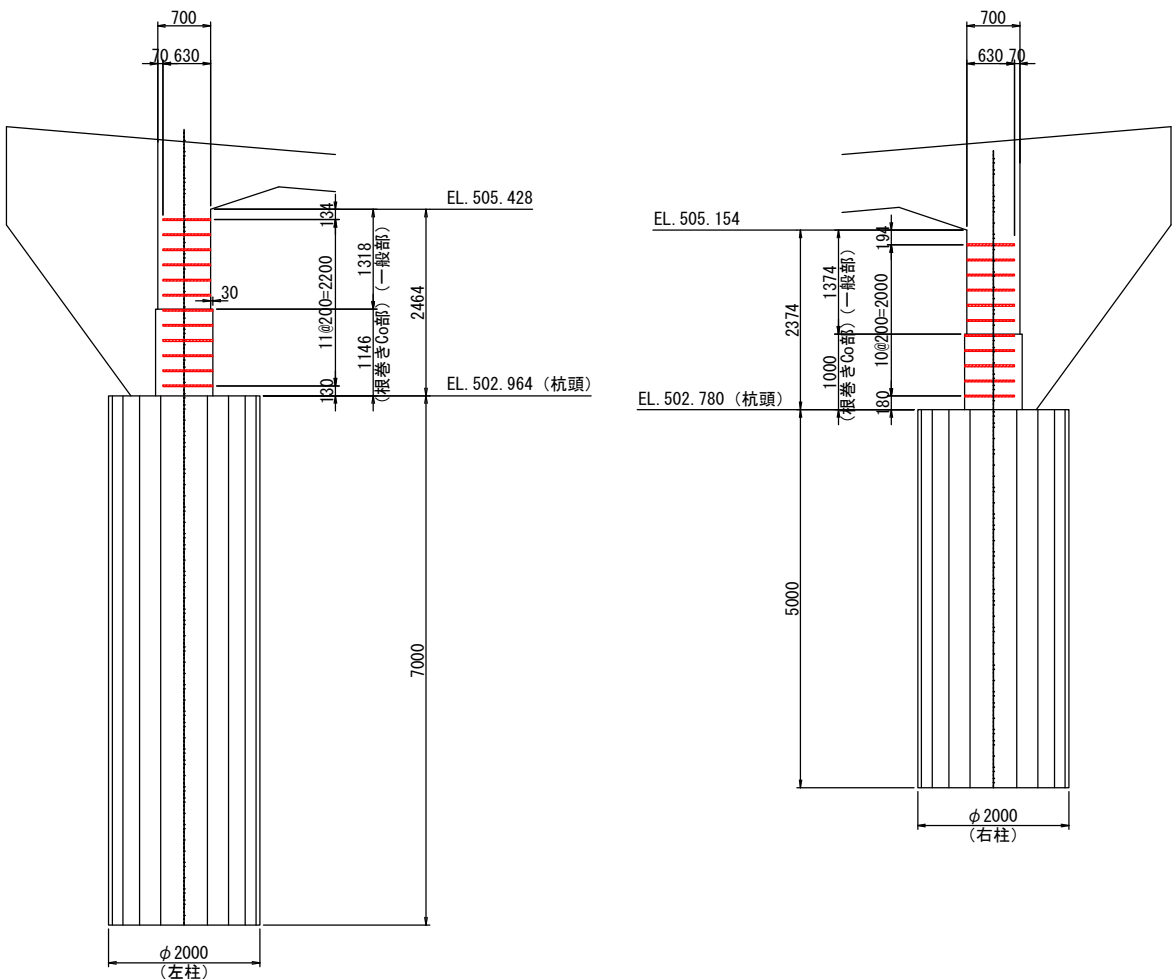
4号橋 橋台耐震補強詳細図（その2） S=1:50

適用範囲：P38橋脚（左柱及び右柱）

正面図

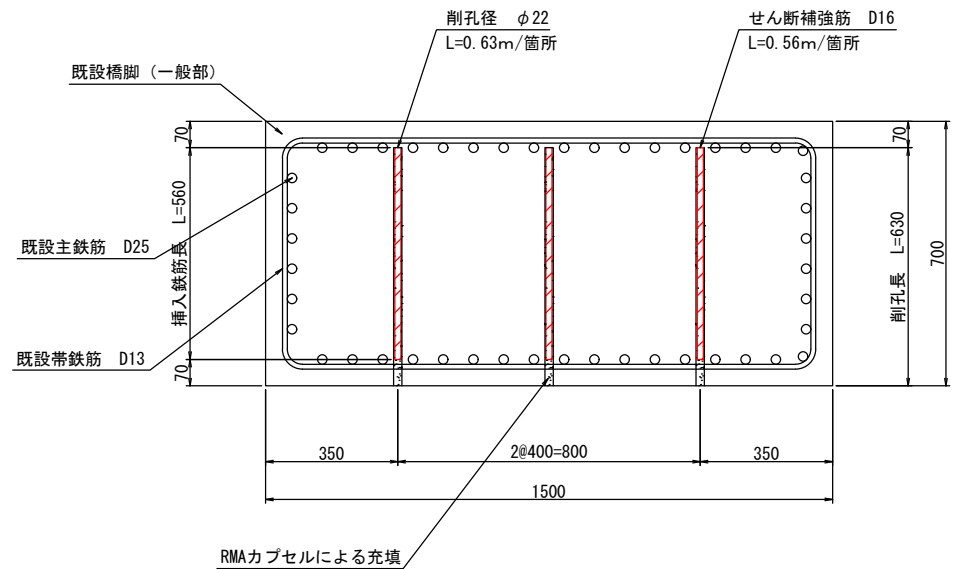


側面図



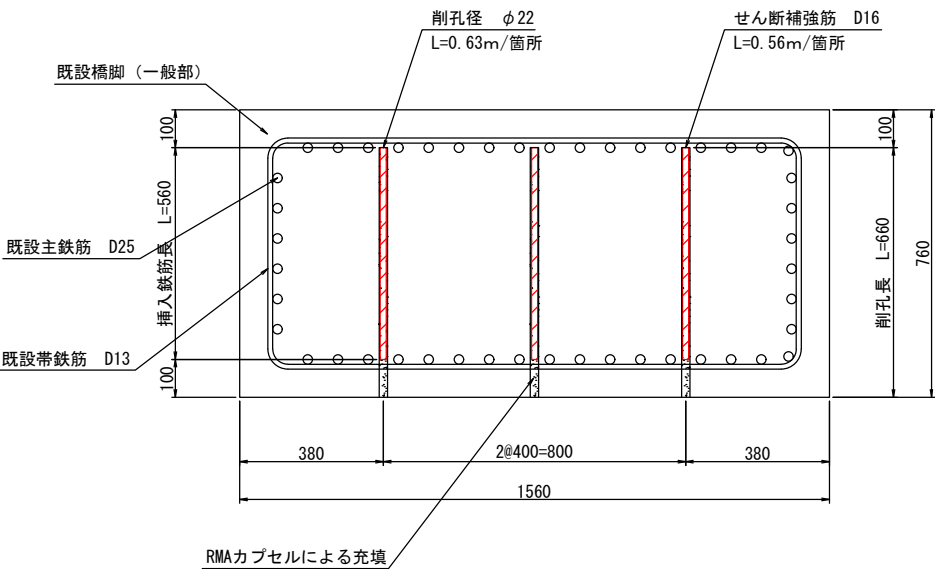
断面図（一般部）

S=1:10



断面図（根巻きCo部）

S=1:10



鉄筋質量表〈SD345〉（P38左柱及び右柱）

径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
D16	560	36	1.56	0.87	31.32	左柱
D16	560	33	1.56	0.87	28.71	右柱
合計					D16 60.03kg	

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 橋台耐震補強詳細図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	67/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

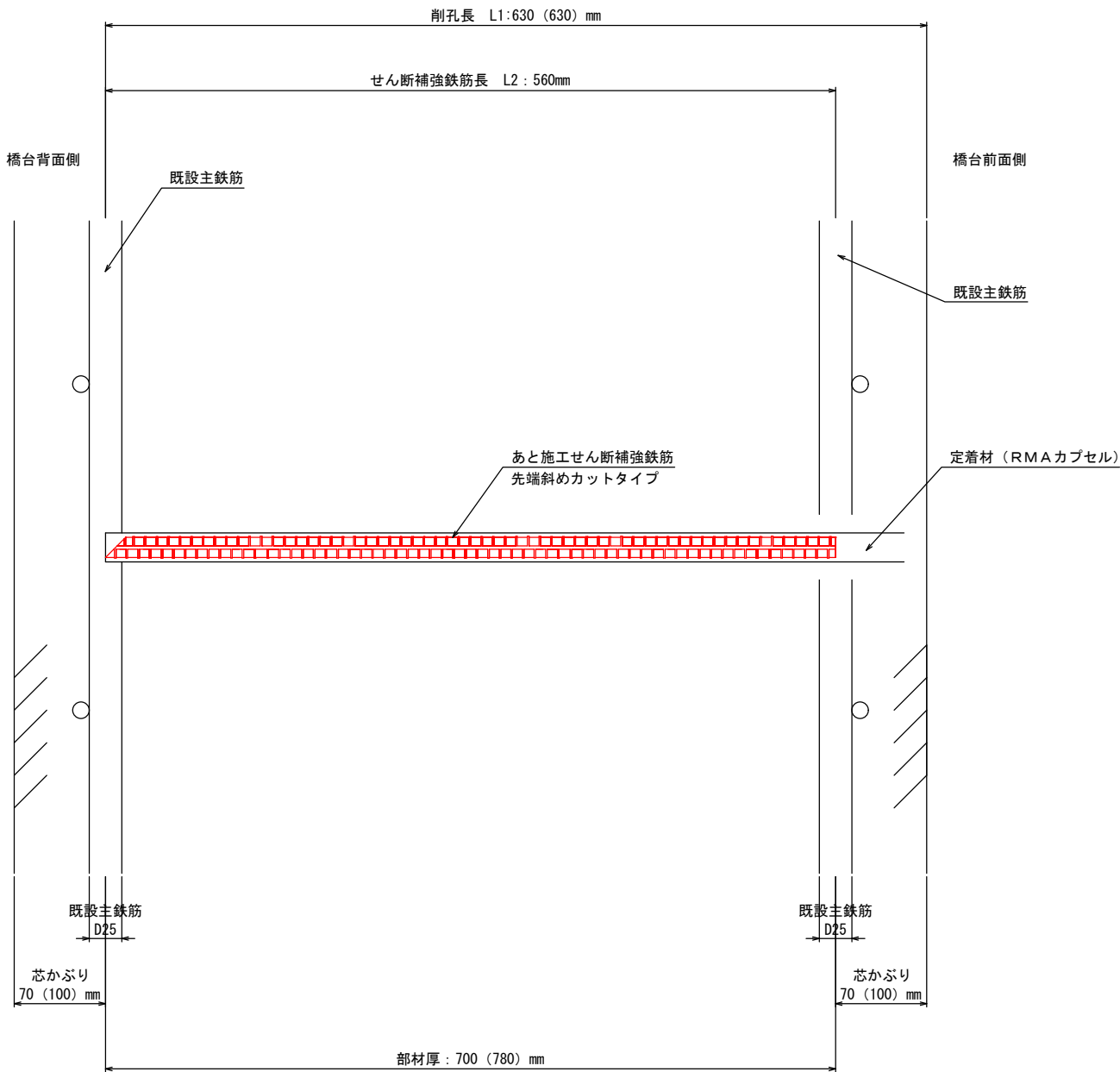
4号橋 橋台耐震補強詳細図（その3）

適用範囲：P28橋脚（右柱）, P38橋脚（左柱及び右柱）

鉄筋配置詳細図

S=1:2.5

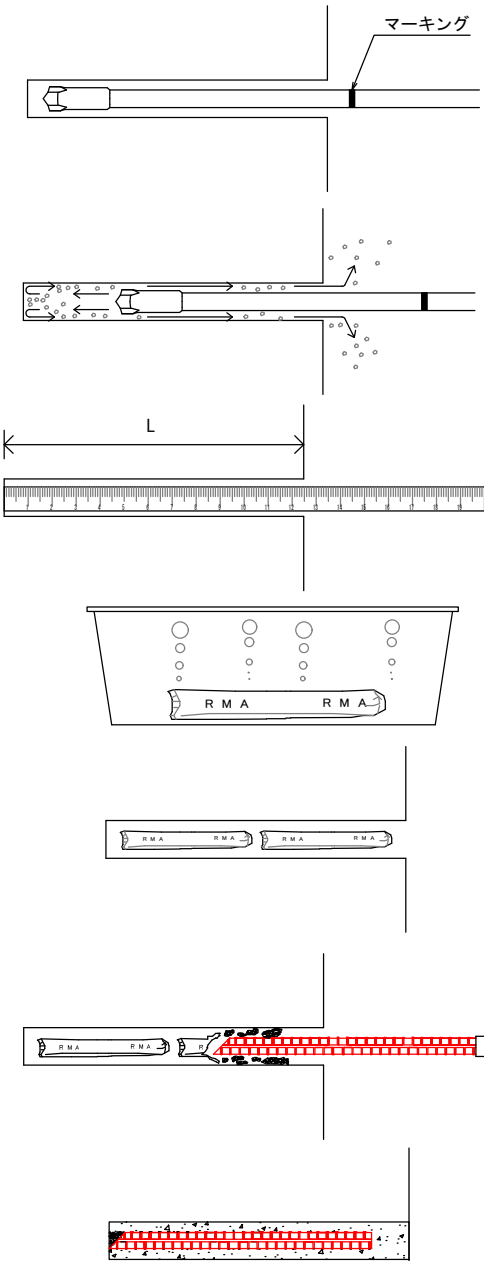
施工手順



せん断補強鉄筋径 D (mm)	削孔長 (有効高さ) L1 (mm)	せん断補強鉄筋長 L2 (mm)	部材厚 W (mm)	既設主鉄筋径 (前面側) d1 (mm)	既設主鉄筋径 (背面側) d2 (mm)	芯かぶり (前面側) b1 (mm)	芯かぶり (背面側) b2 (mm)
D16	630 (660)	560	700 (730)	D25	D25	70 (100)	70 (100)

鉄筋質量表〈SD345〉（4号橋集計）

径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
D16	560	36	1.56	0.87	31.32	P28左柱
D16	560	33	1.56	0.87	28.71	P28右柱
D16	560	36	1.56	0.87	31.32	P38左柱
D16	560	33	1.56	0.87	28.71	P38右柱
合計 D16 120.06kg						



削岩機、ハンマードリル、コアドリル等を使用し、所定削孔長に合わせてマーキングをしたうえで削孔を行う。奥側の主鉄筋が1段でその内面位置にせん断補強筋の先端が高止まった場合、あるいは奥側の主鉄筋が2段でせん断補強筋の先端が有効高さよりも奥側で高止まった場合は現状施工とする。それ以外については、有効係数について照査するかあるいは再削孔をおこなう。

削孔完了後、孔内に溜まった切粉を孔外へ排出する。

削孔深さを確認をスケール等で確認する。

水中に気泡の発生がなくなるまで（概ね2～5分間）浸漬して吸水させる。

所定サイズ、本数のRMAカプセルを孔内に挿入する。

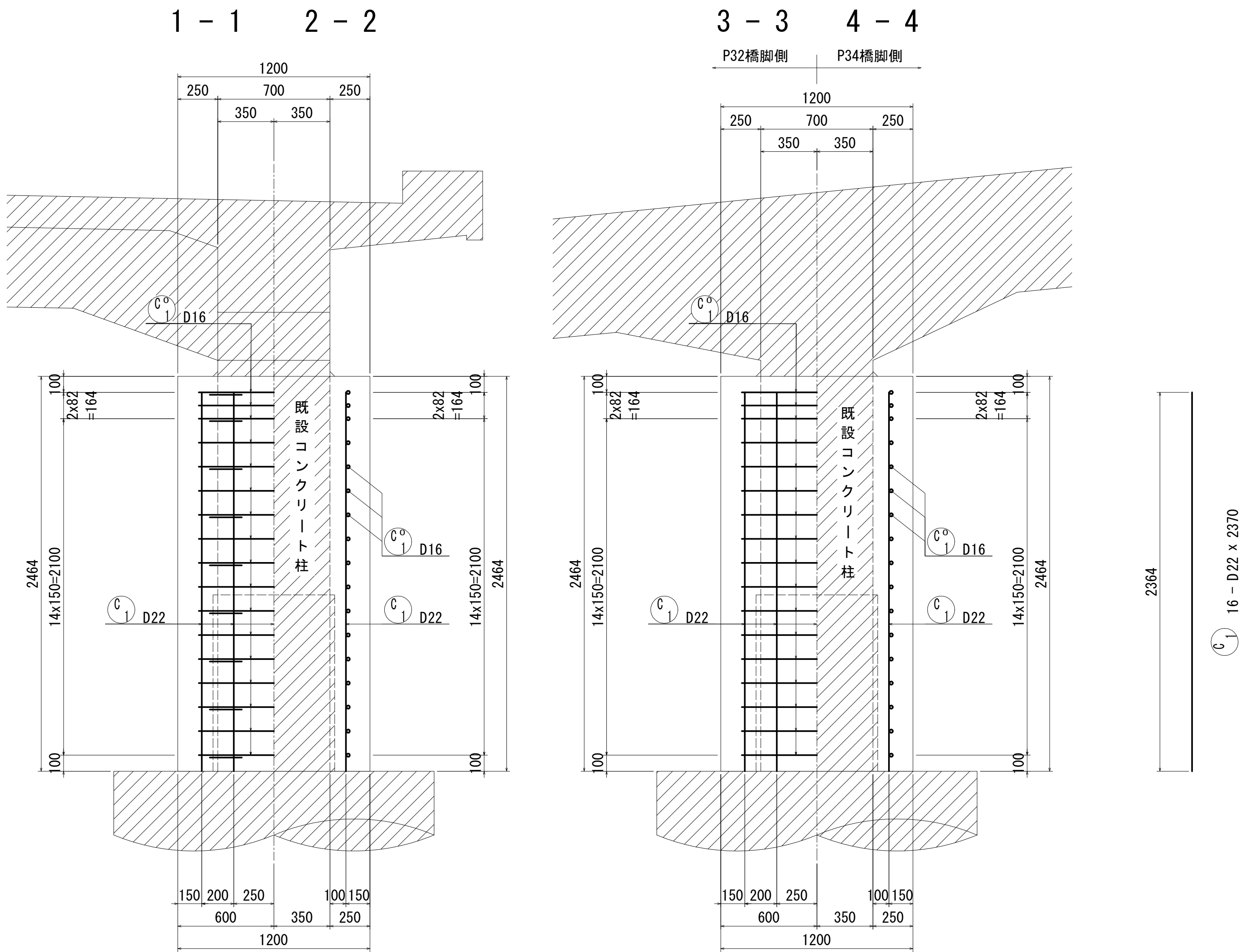
せん断補強鉄筋をハンマードリル、ビックハンマー等にて孔底まで打込む。

打ち込み後、所定の硬化時間は鉄筋を動かさないで養生する。

- 適用工法
 - あと施工せん断補強鉄筋工法とする
 - 設計はRMA工法で行っているが、他の工法を使用する場合は（財）土木研究センターの建設技術審査証明を取得しているものの中から、同等以上の根拠となる設計計算書等を提出すること。
- 使用材料
 - あと施工せん断補強鉄筋の種類はSD345とする。特性値fykおよびfukはJIS G 3112 の下限値とする。
 - 定着材（RMAカプセル）の設計基準強度は既設構造物と同強度以上とする。
- 施工時の留意事項
 - 削孔前に既設鉄筋位置を鉄筋探査機等により確認し、既存鉄筋部の損傷を避けること。
 - 施工に際し補強筋の径・長さ・削孔深さ・配置を確認し、補強筋の打ち込み前には孔内の切り粉等を除去すること。
 - 削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更すること。
 - また、使用しない孔については既設構造物と同強度以上のセメントモルタル等を充填すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 橋台耐震補強詳細図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	68/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P33橋脚補強配筋図 S=1:20

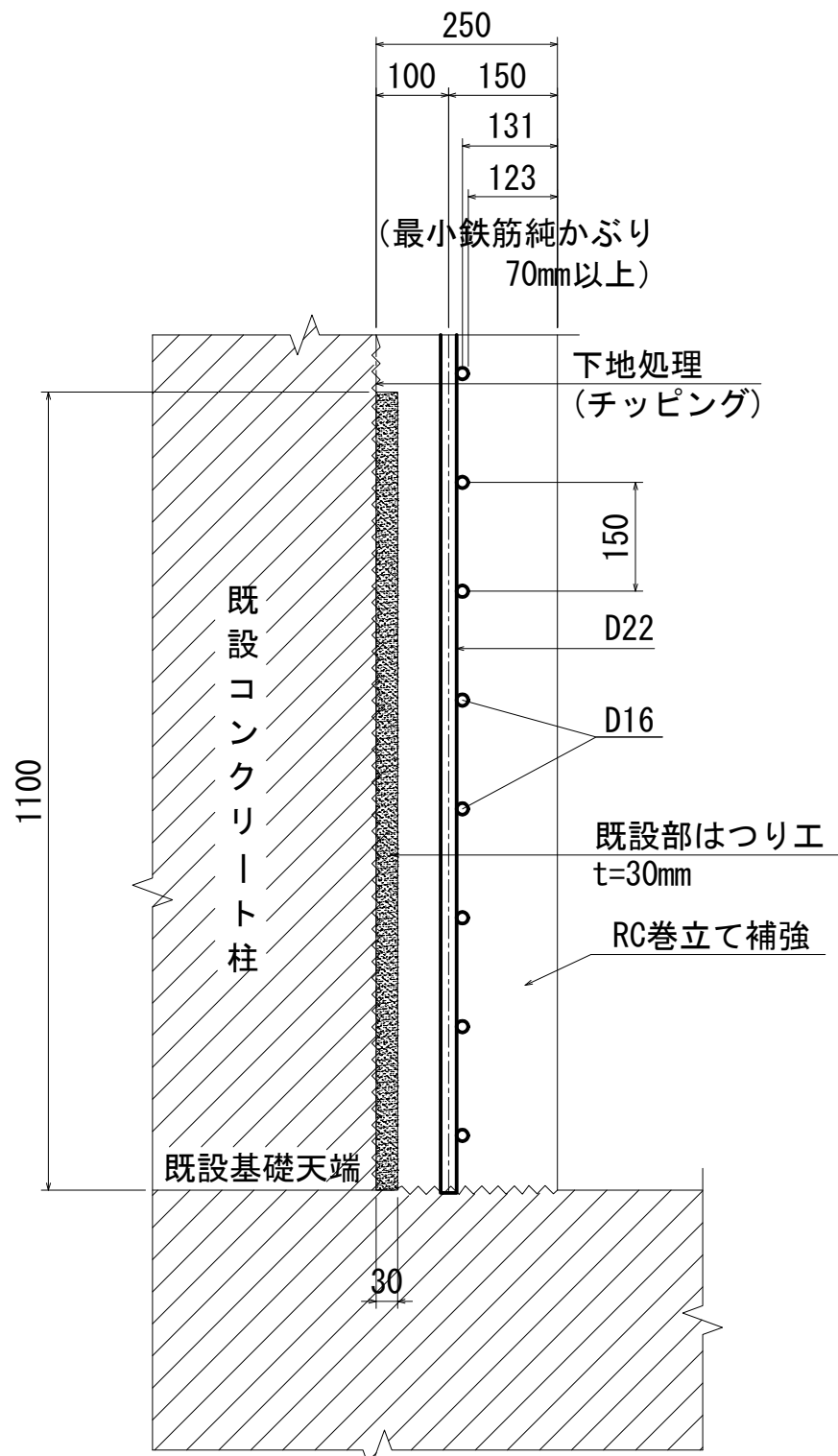


鉄筋表

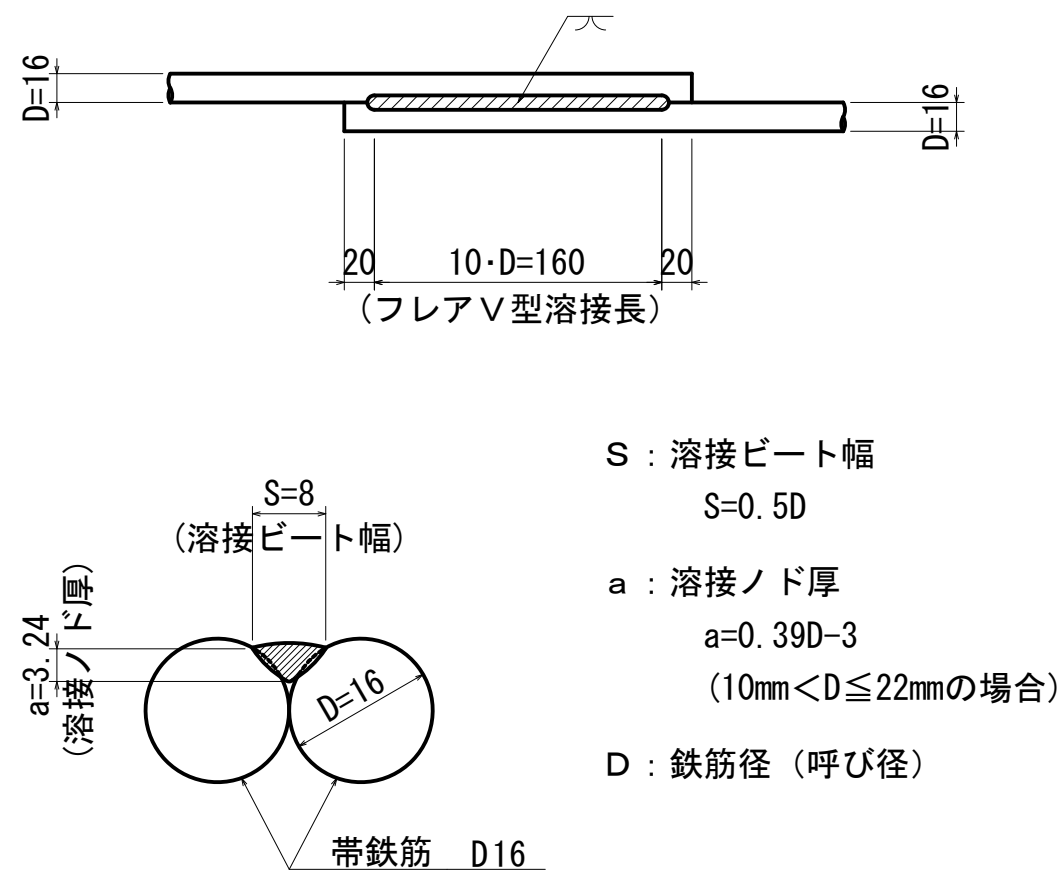
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2370	16	3.04	7.20	115	I
C 1	D16	2080	34	1.56	3.24	110	L
						225	kg
G 1	D13	370	7	0.995	0.37	3	7
						3	kg
						D22	115 kg
						D16	110 kg
						D13	3 kg
						合計	228 kg
フレアー溶接箇所数				(D16)	34	箇所	
フレアー溶接延長				(D16)	5.4	m	

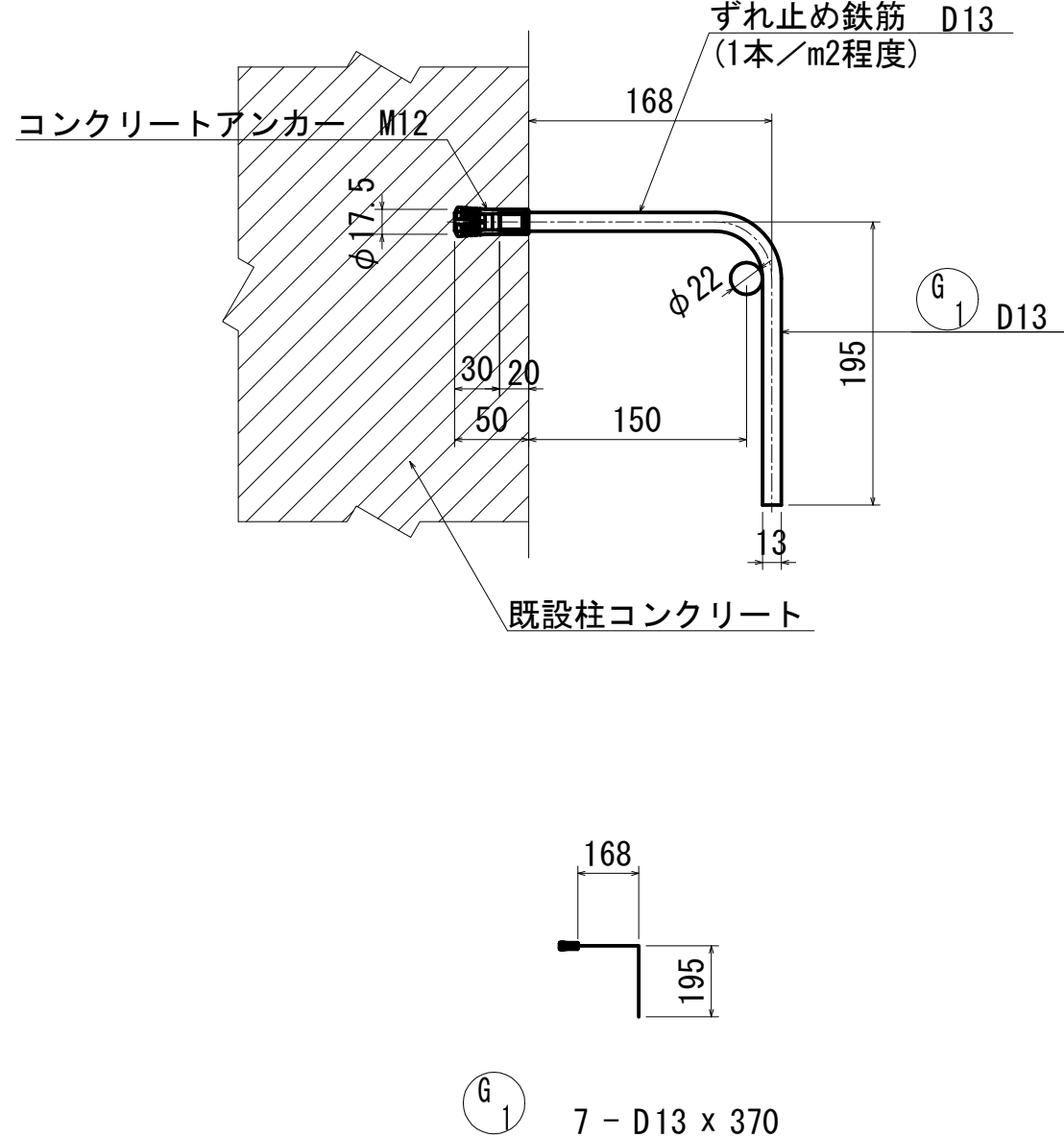
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



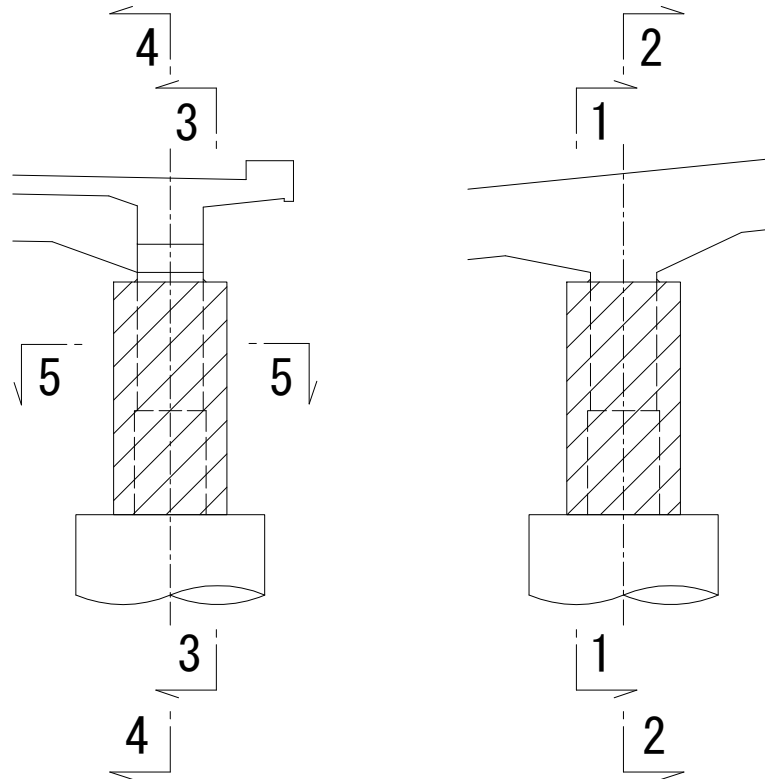
フレアー溶接詳細図 S=1:5



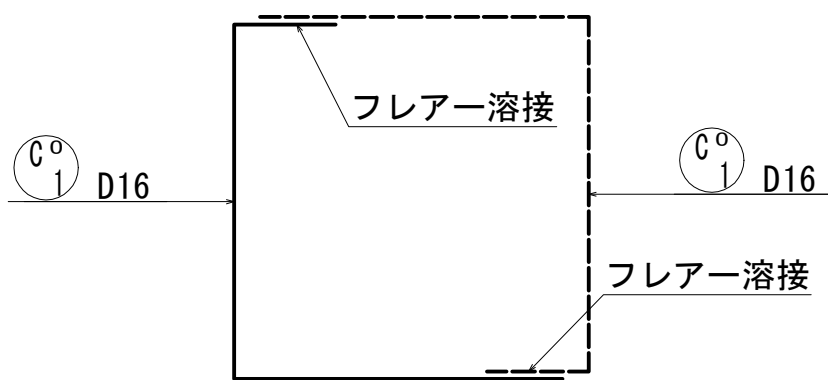
組立て用アンカー詳細図 S=1:5



位置図



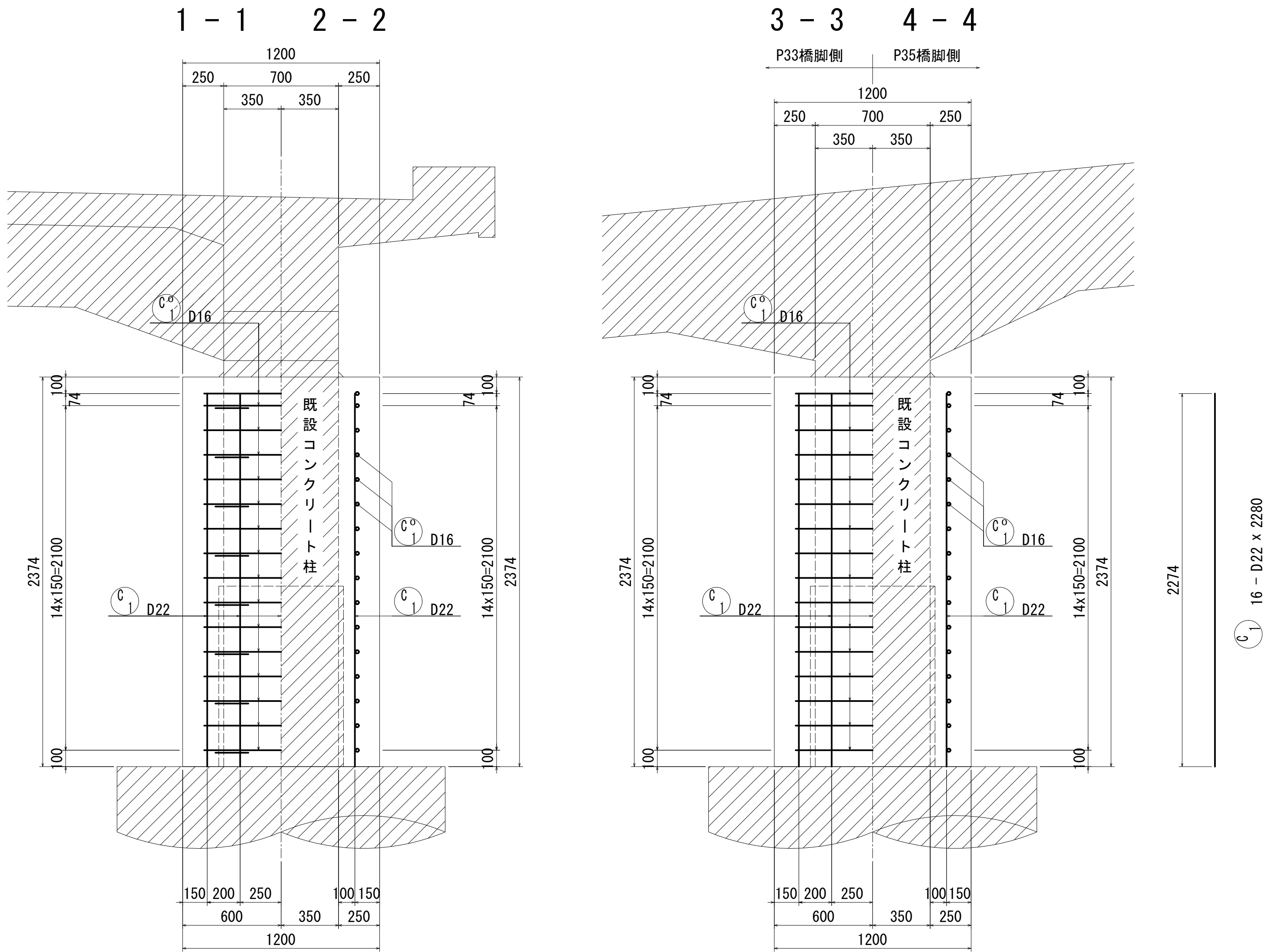
帯鉄筋組立図



- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P33橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	69/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P34橋脚補強配筋図 S=1:20

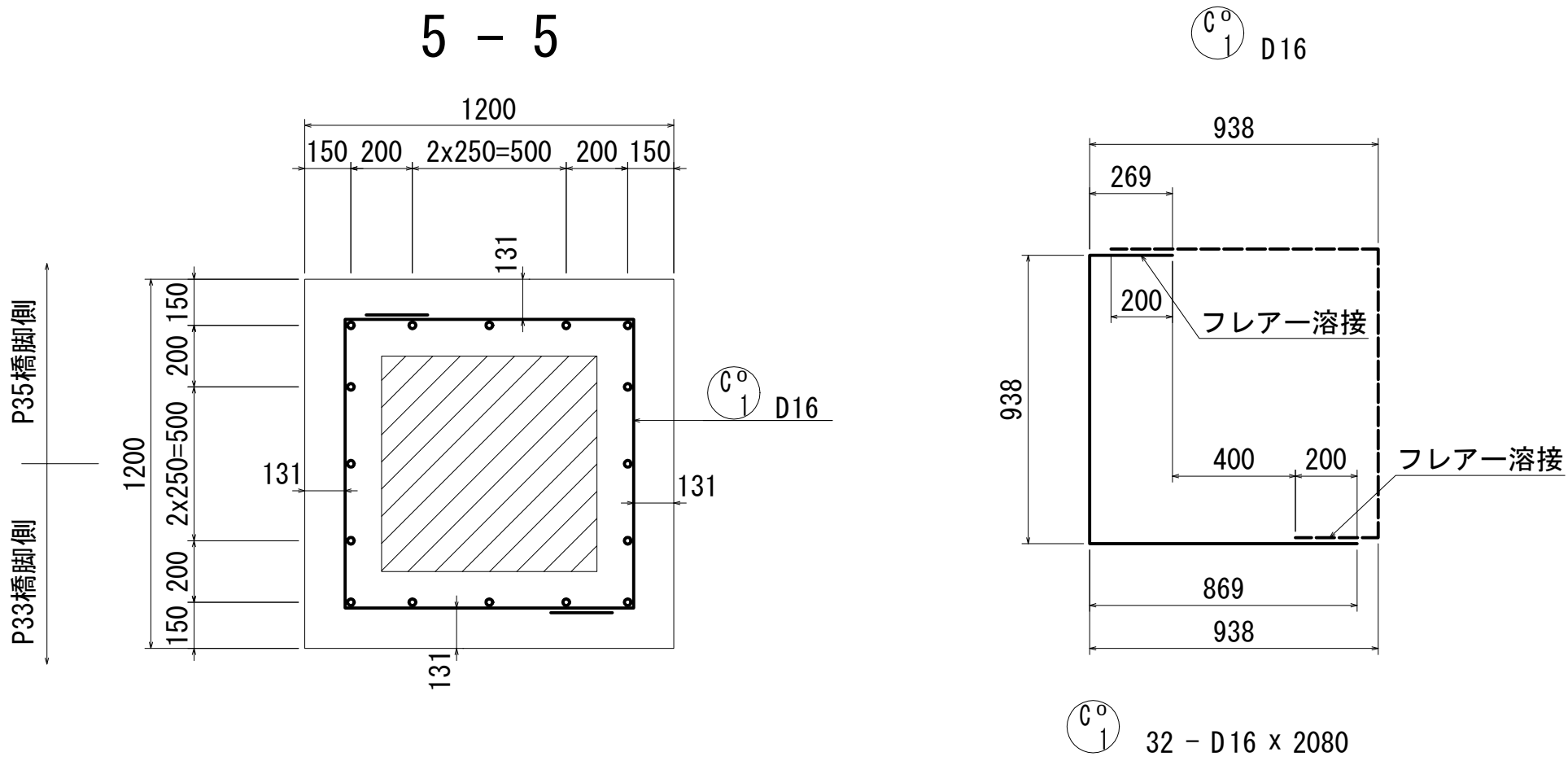
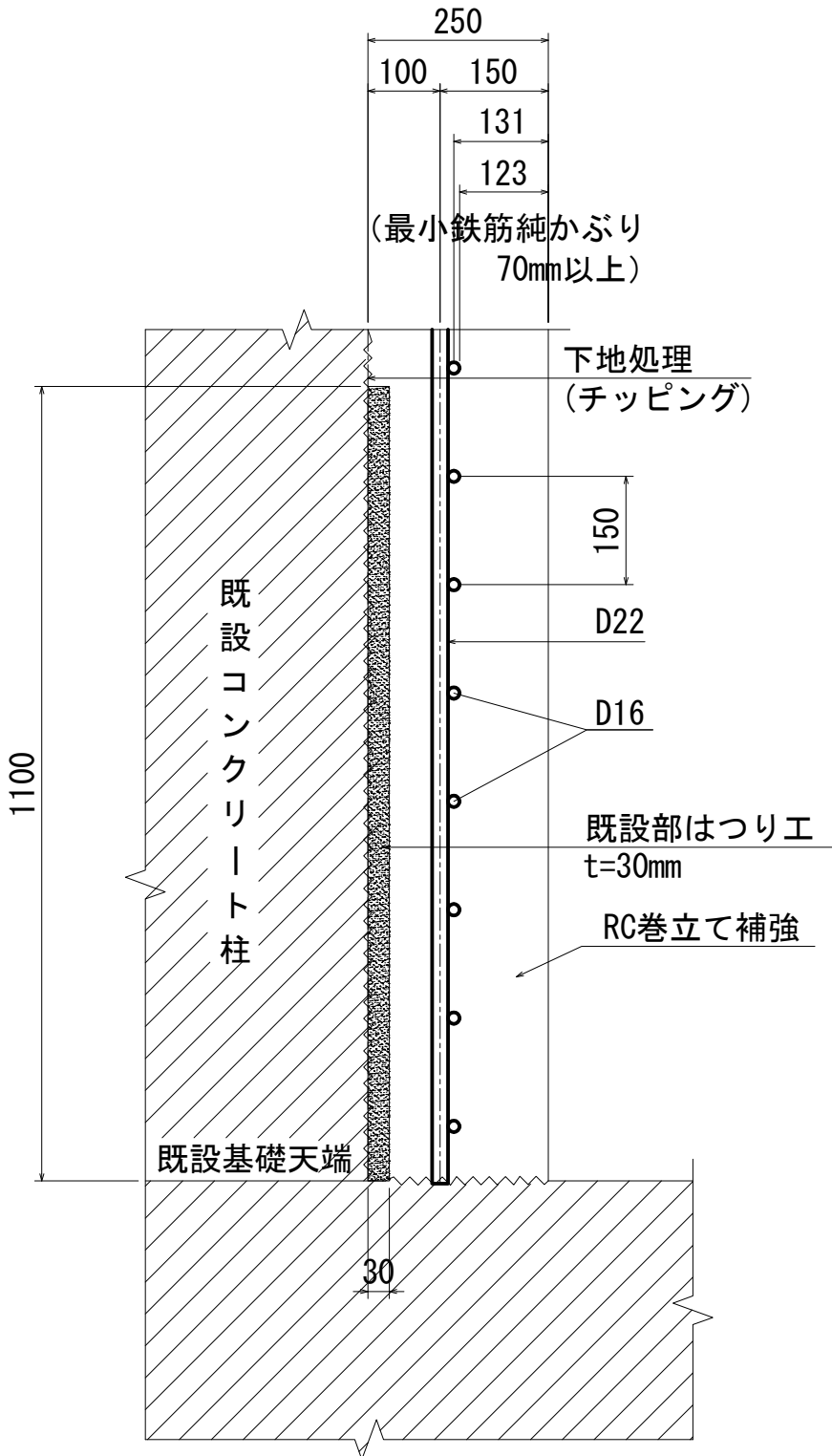


鉄筋表

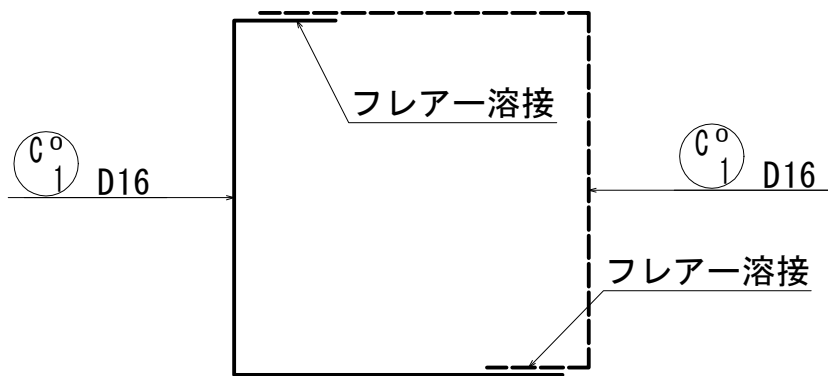
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2280	16	3.04	6.93	111	└
C 1	D16	2080	32	1.56	3.24	104	└
						215	kg
G 1	D13	370	7	0.995	0.37	3	└
						3	kg
						D22	111 kg
						D16	104 kg
						D13	3 kg
						合計	218 kg
フレアー溶接箇所数				(D16)	32	箇所	
フレアー溶接延長				(D16)	5.1	m	

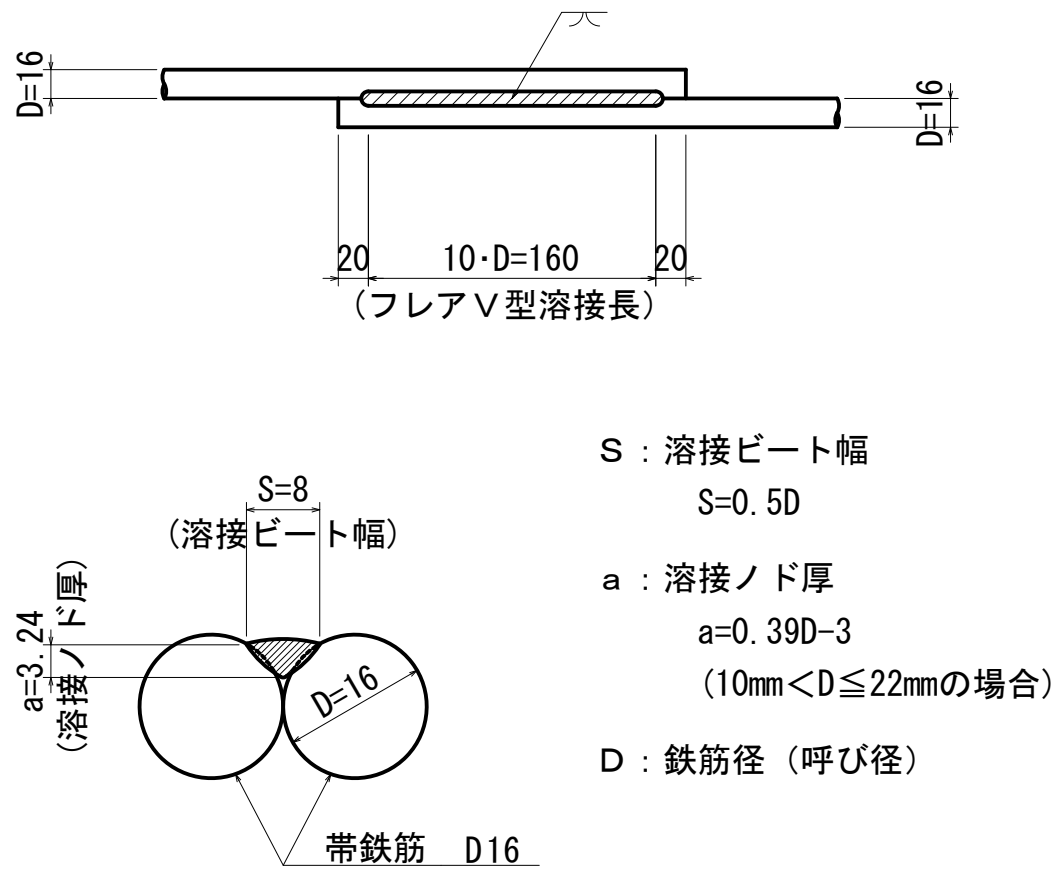
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



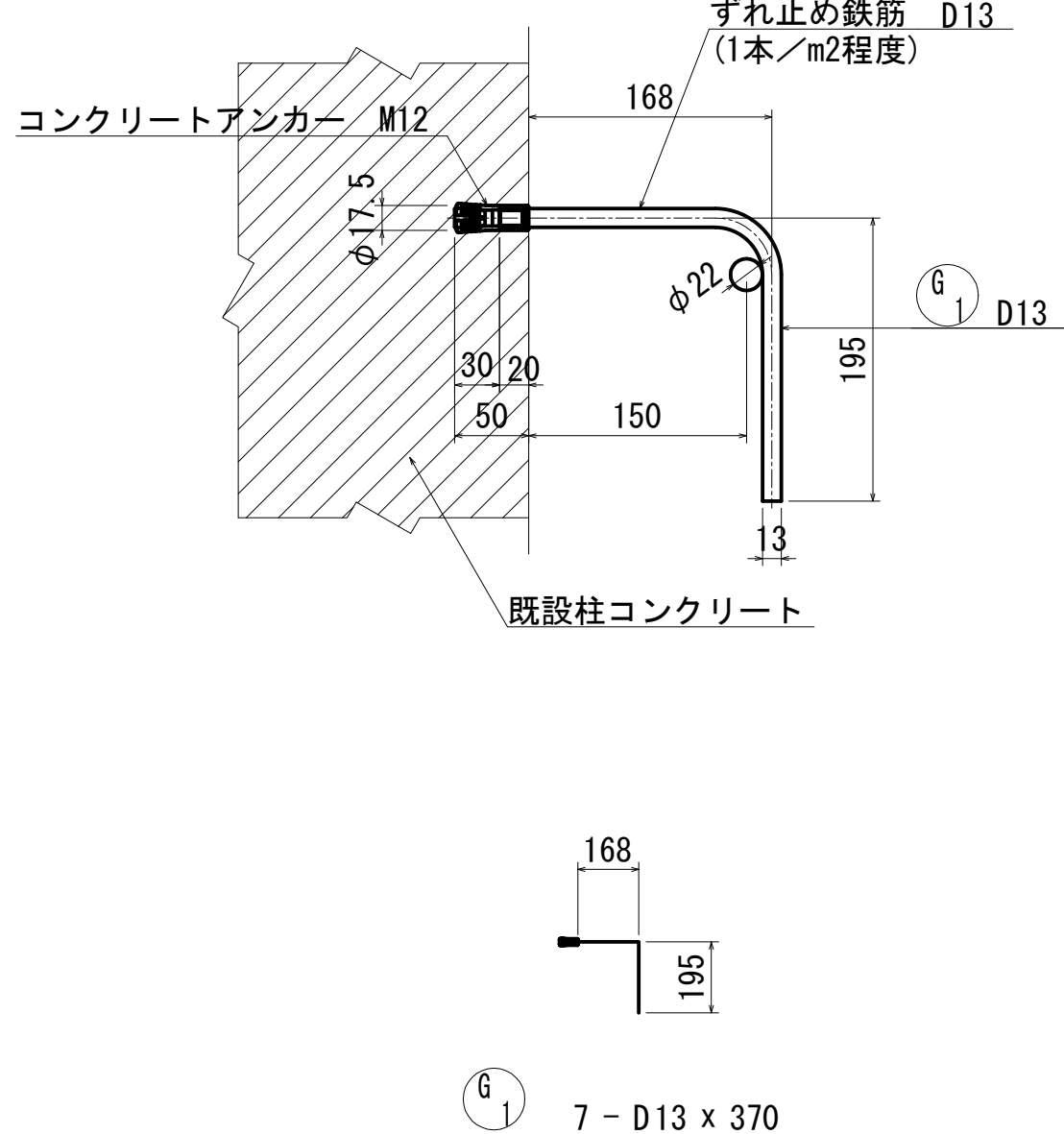
帯鉄筋組立図



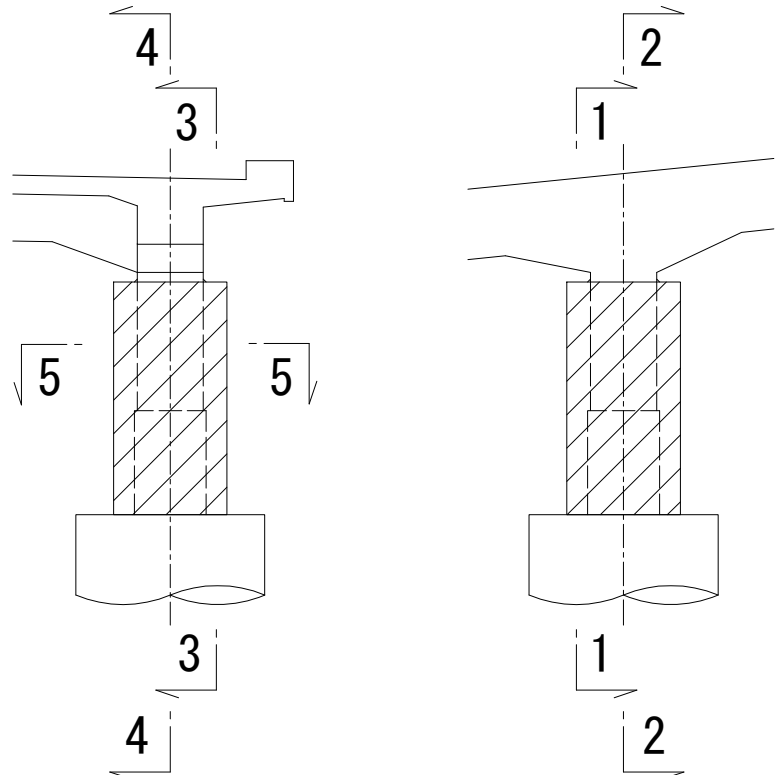
フレアー溶接詳細図 S=1:5



組立て用アンカー詳細図 S=1:5



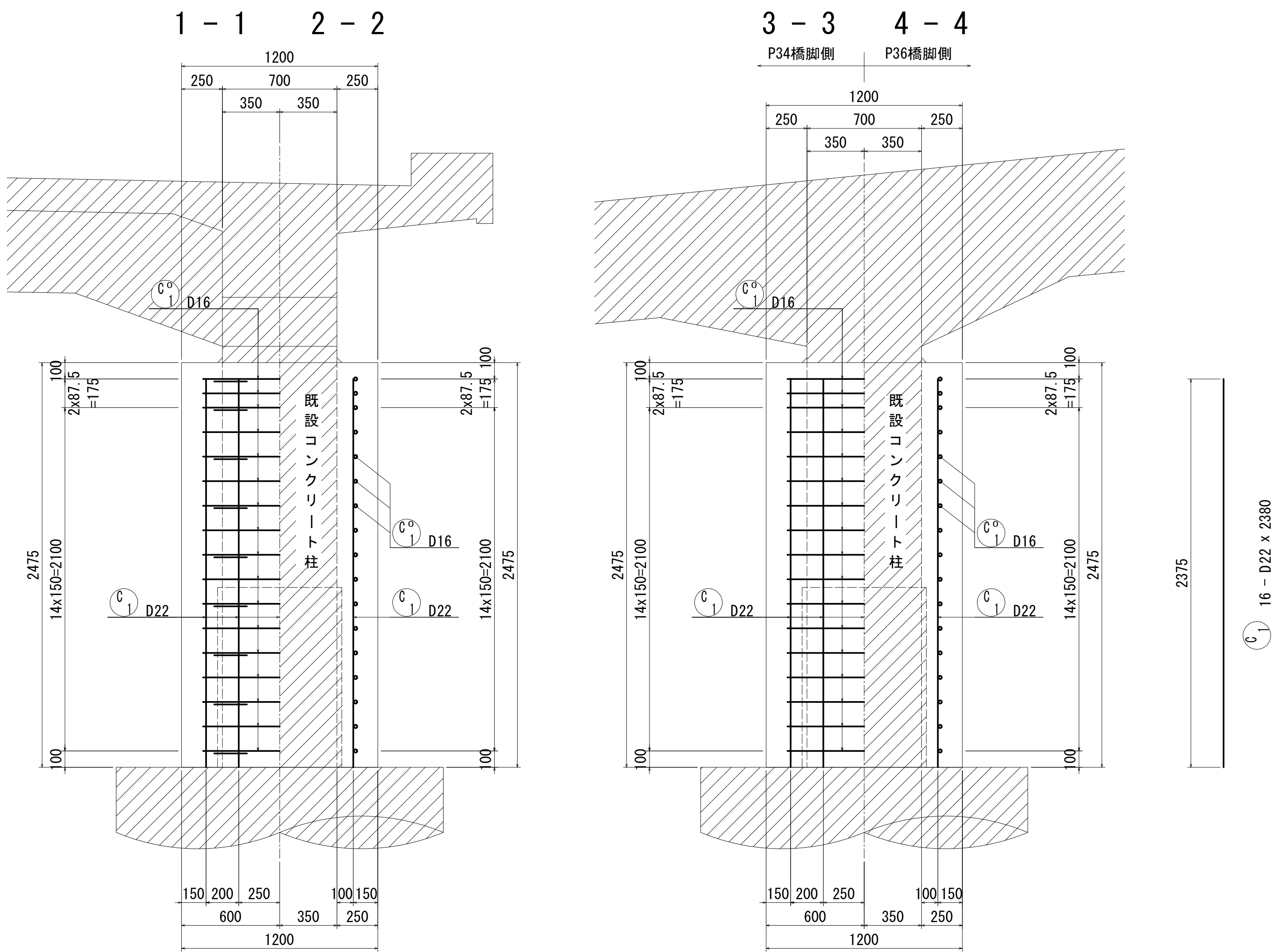
位置図



- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P34橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	70/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P35橋脚補強配筋図 S=1:20

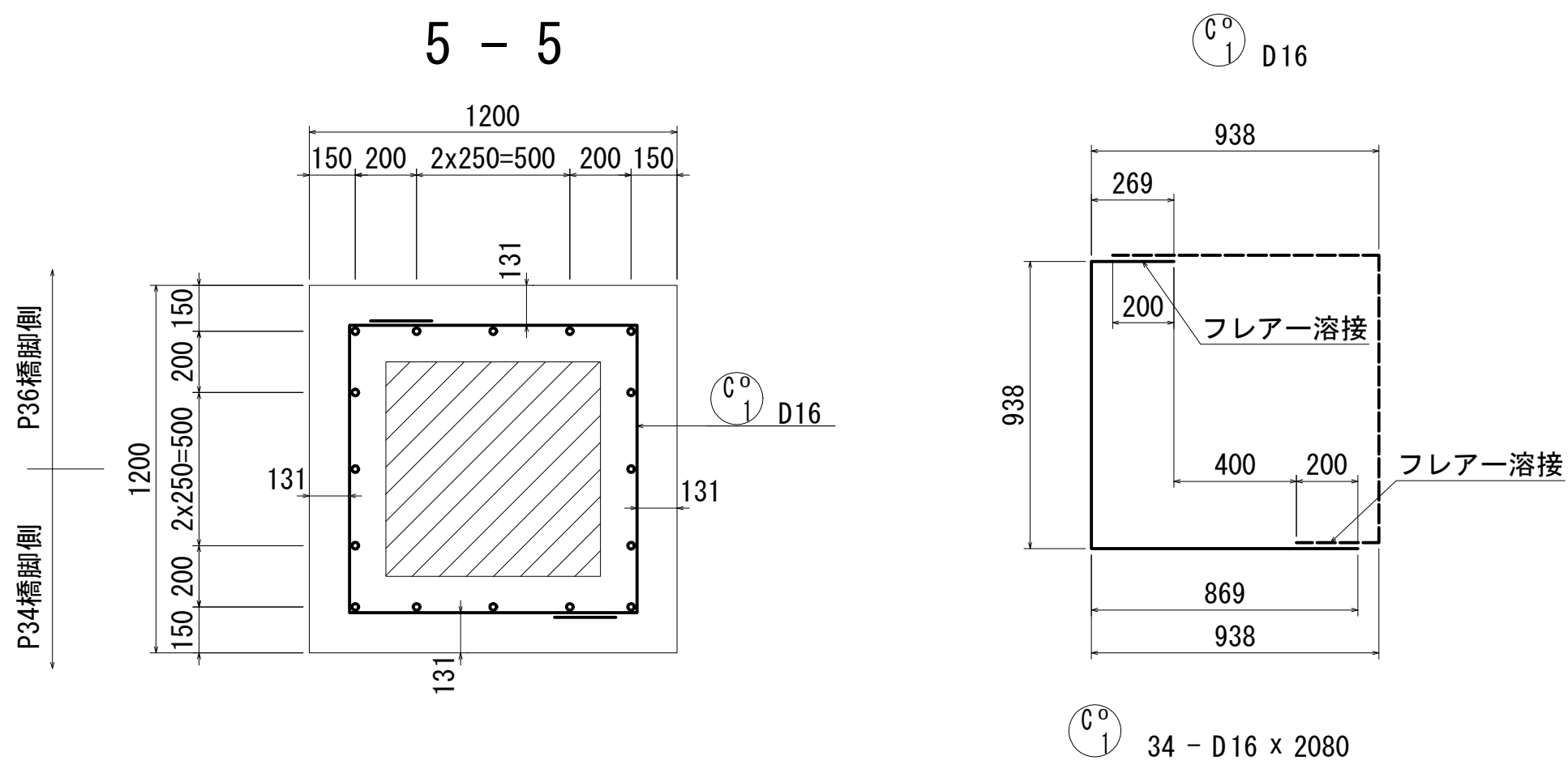
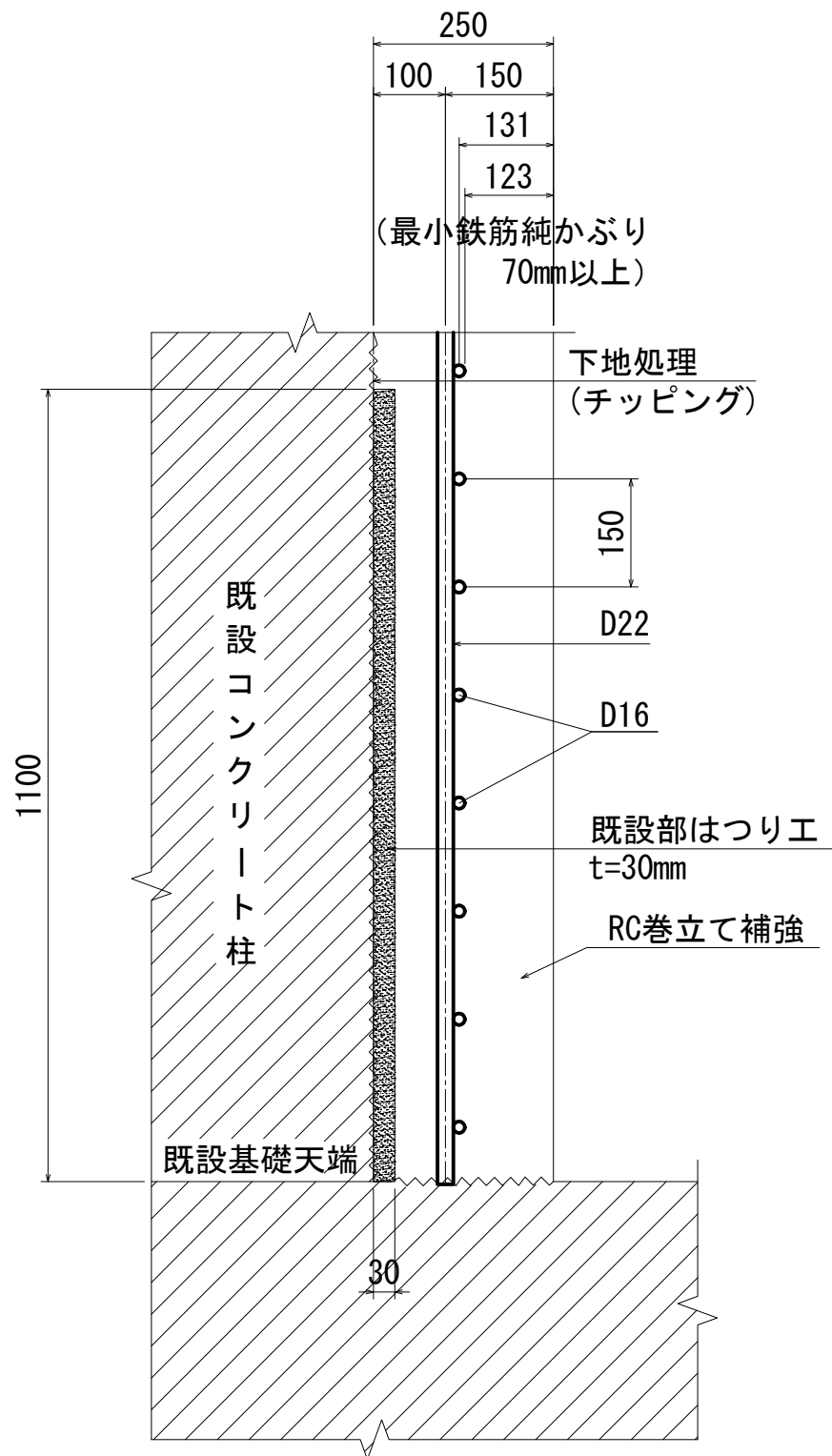


鉄筋表

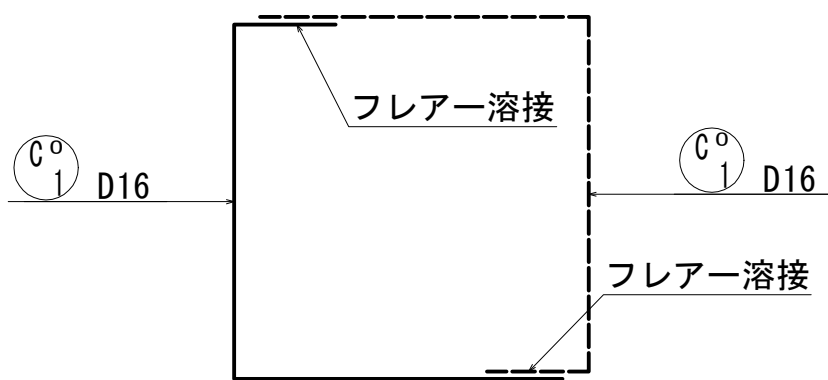
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2380	16	3.04	7.24	116	└
C 1	D16	2080	34	1.56	3.24	110	└
						226	kg
G 1	D13	370	7	0.995	0.37	3	└
						3	kg
						D22	116 kg
						D16	110 kg
						D13	3 kg
						合計	229 kg
フレアー溶接箇所数				(D16)	34	箇所	
フレアー溶接延長				(D16)	5.4	m	

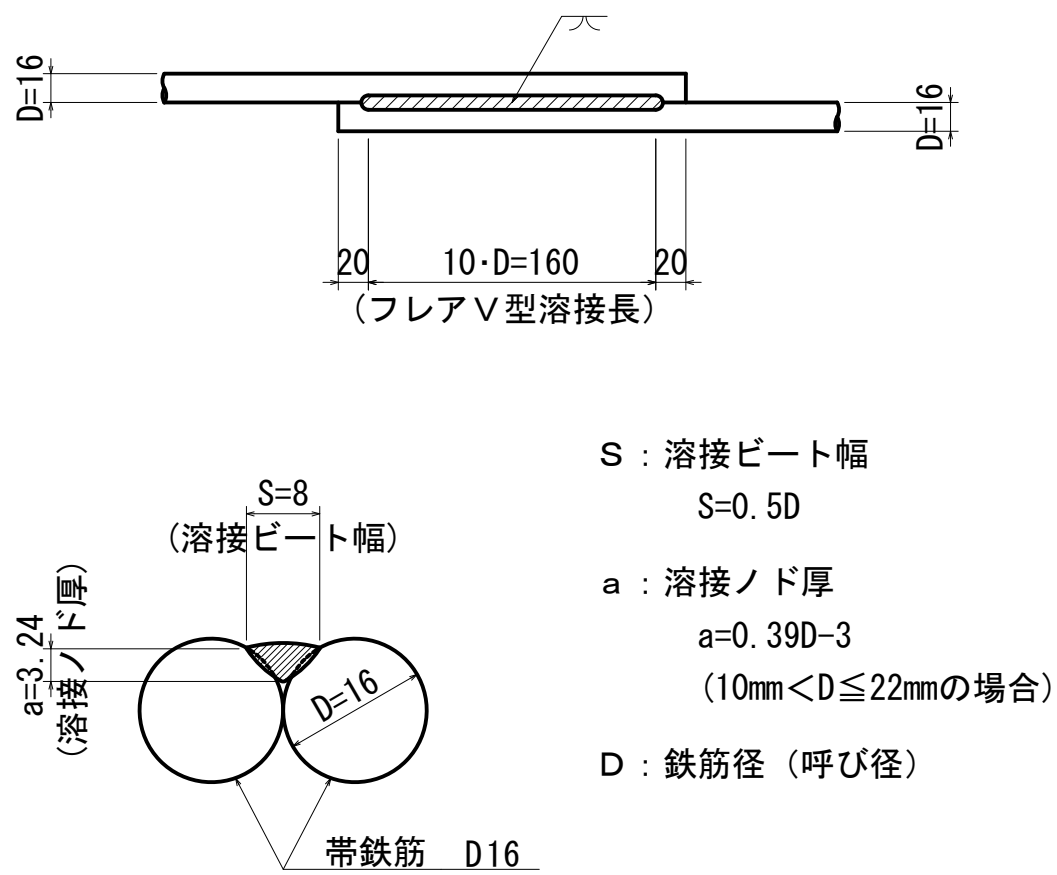
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



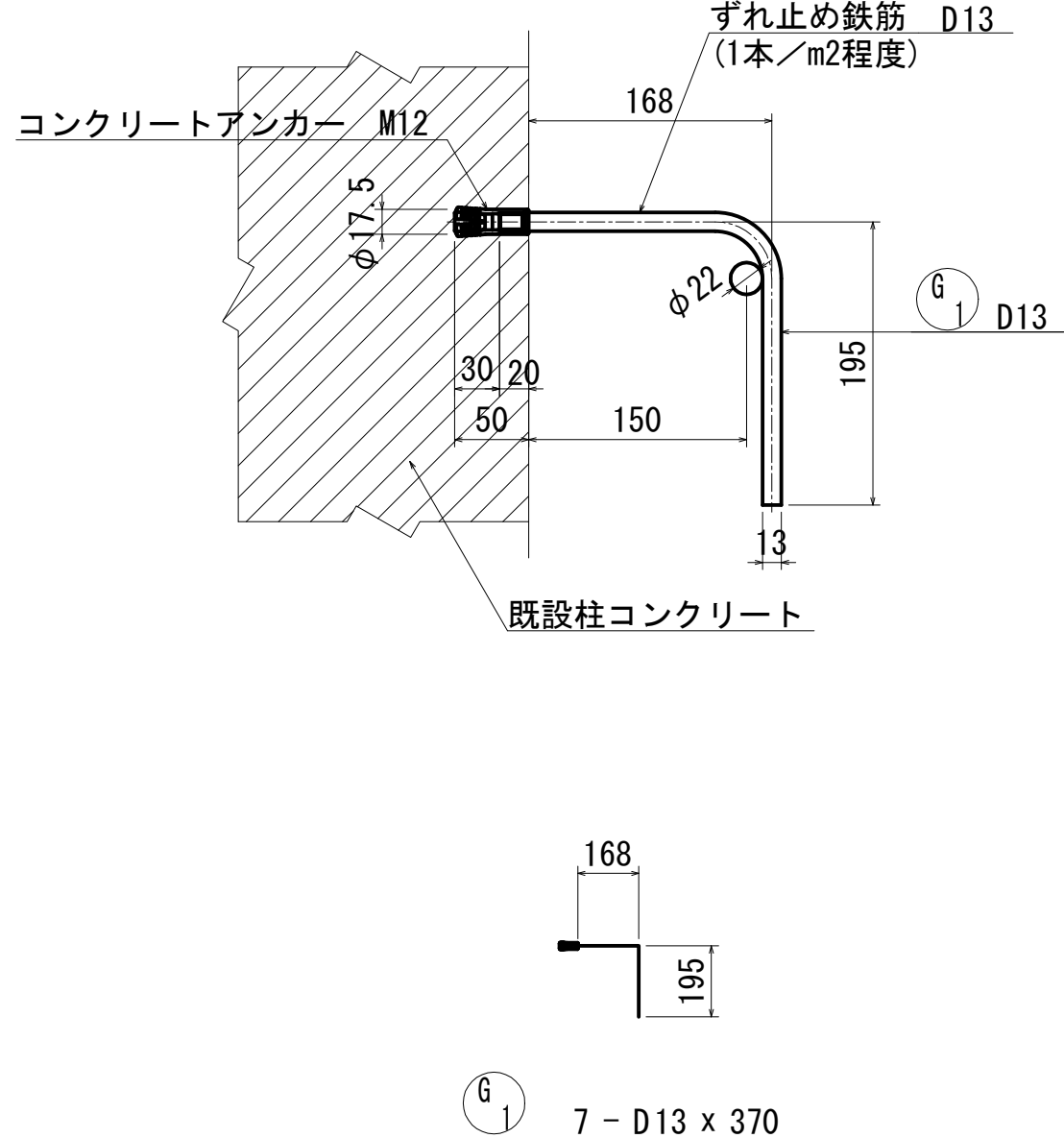
帯鉄筋組立図



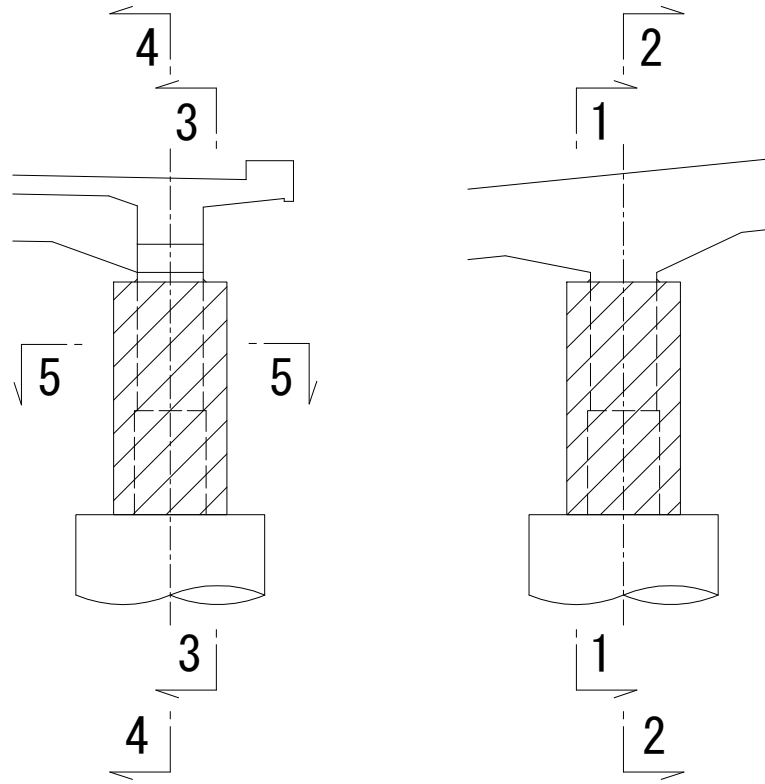
フレアー溶接詳細図 S=1:5



組立て用アンカー詳細図 S=1:5



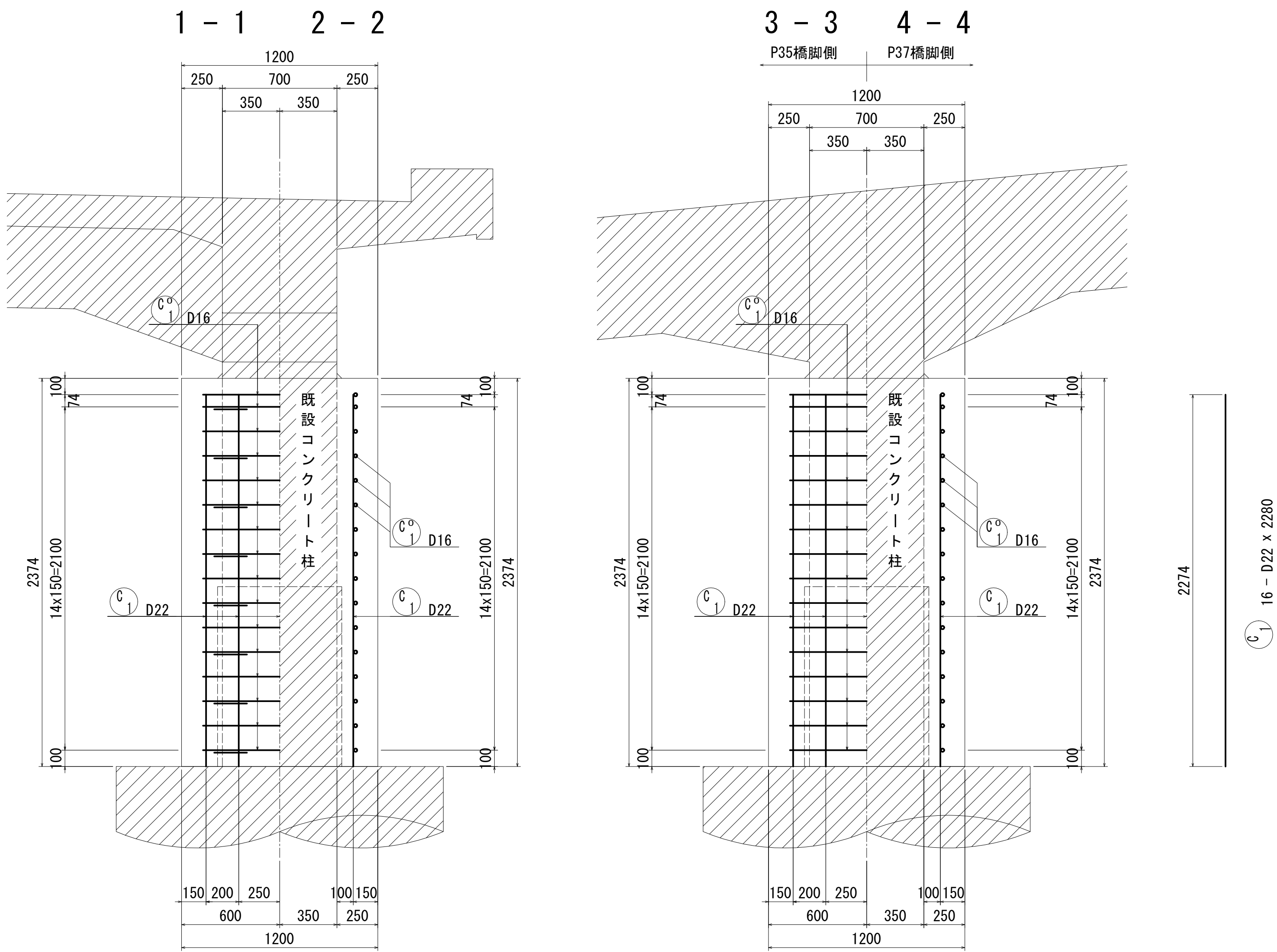
位置図



- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 斜線部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏圏 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P35橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	71/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P36橋脚補強配筋図 S=1:20

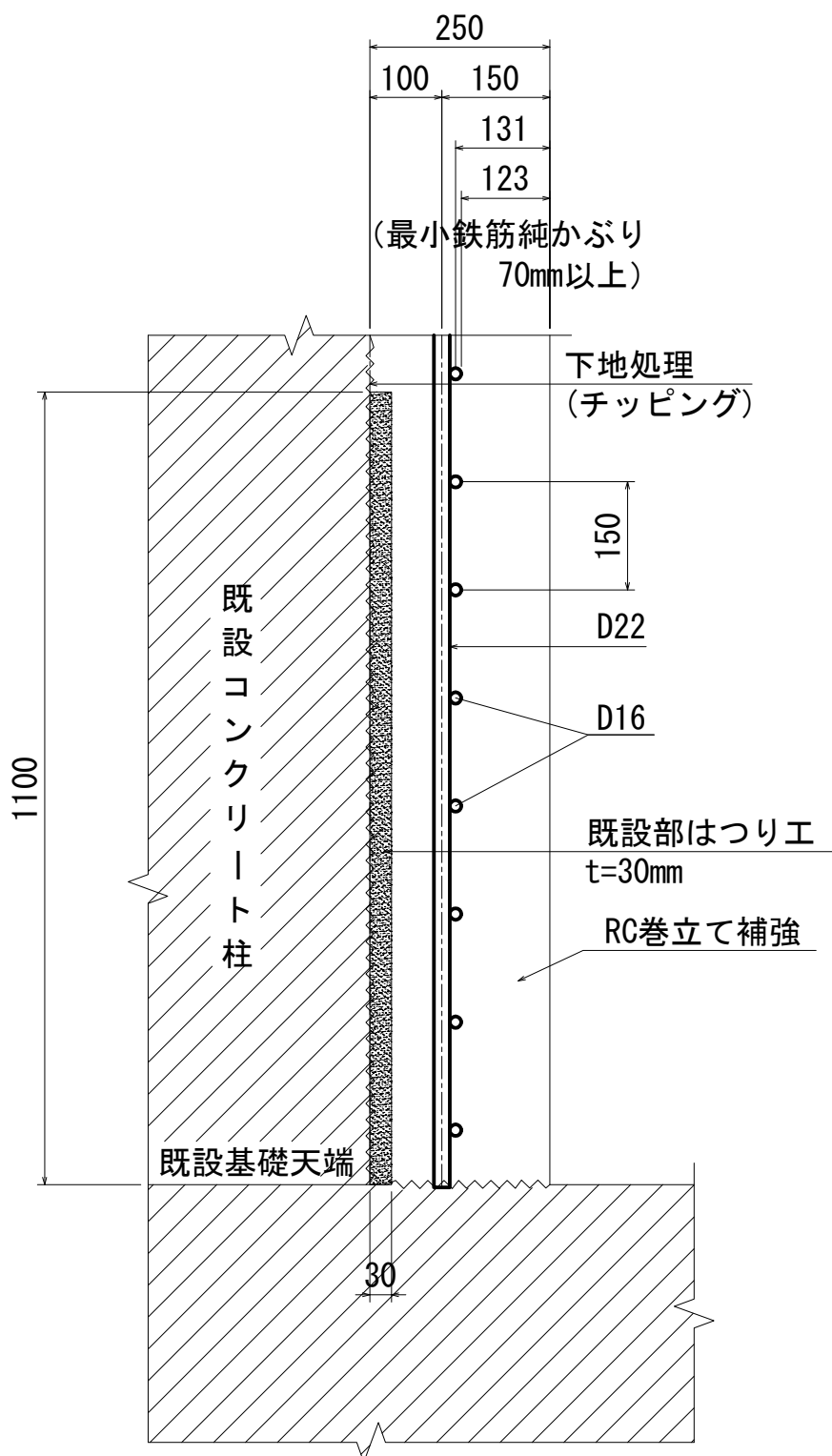


鉄筋表

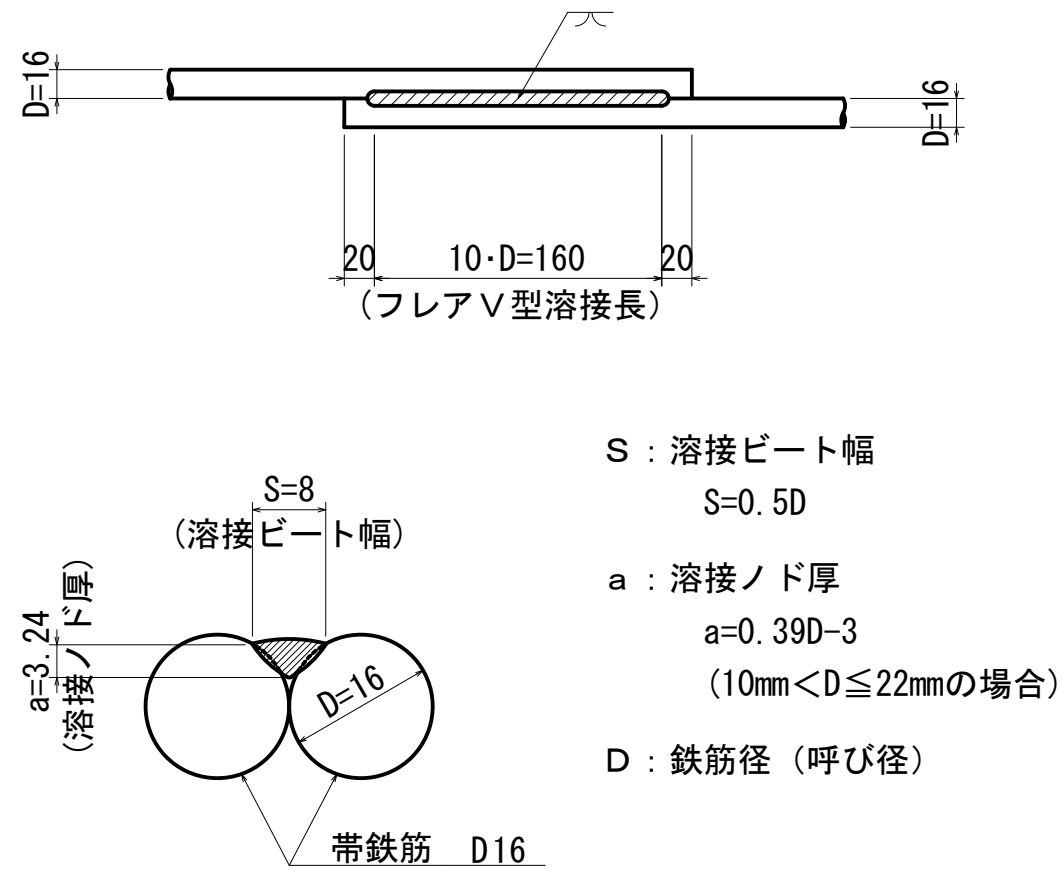
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2280	16	3.04	6.93	111	└
C 1	D16	2080	32	1.56	3.24	104	└
						215	kg
G 1	D13	370	7	0.995	0.37	3	└
						3	kg
						D22	111 kg
						D16	104 kg
						D13	3 kg
						合計	218 kg
						フレアー溶接箇所数	(D16) 32 箇所
						フレアー溶接延長	(D16) 5.1 m

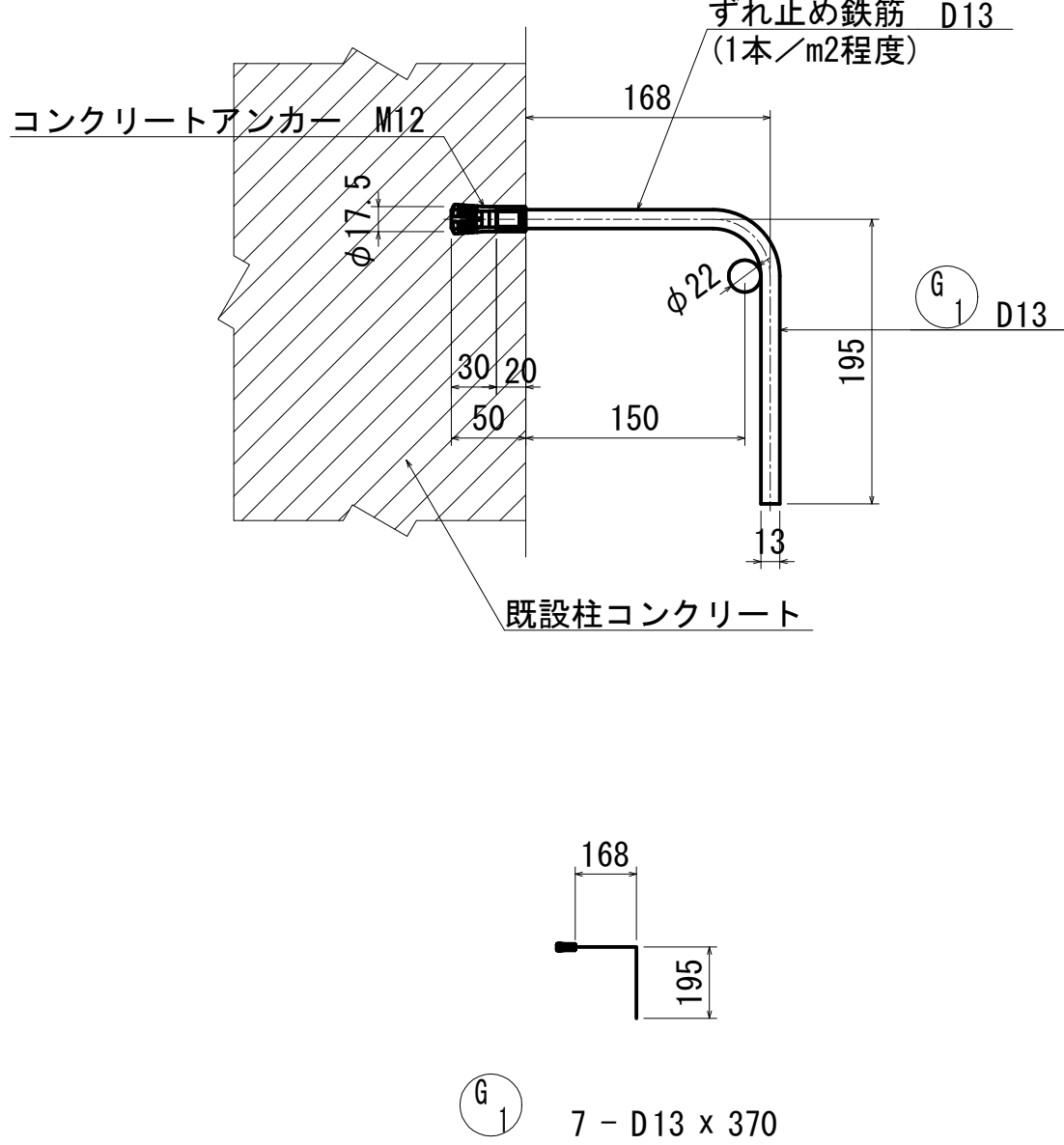
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



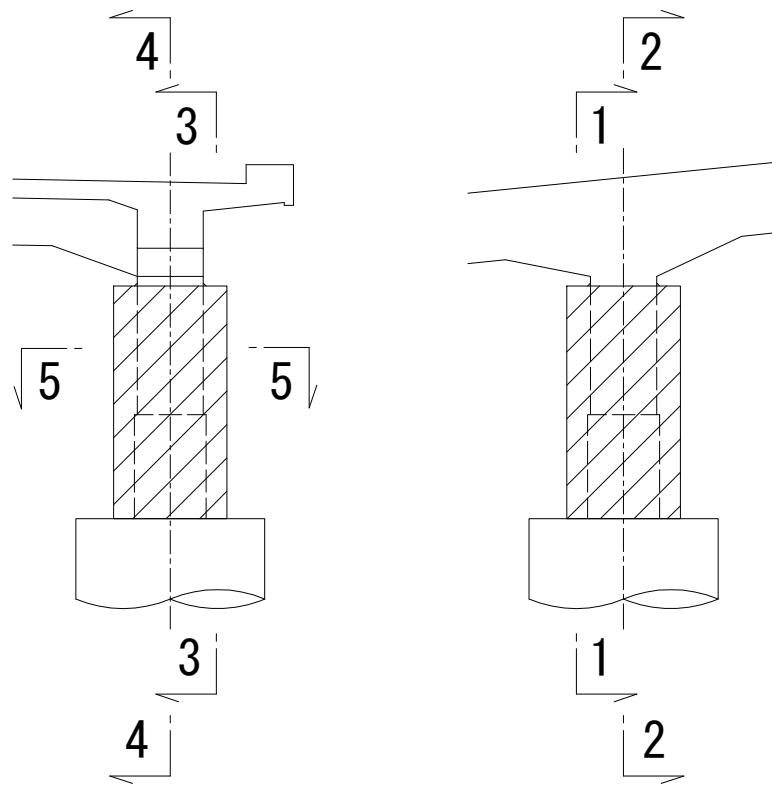
フレアー溶接詳細図 S=1:5



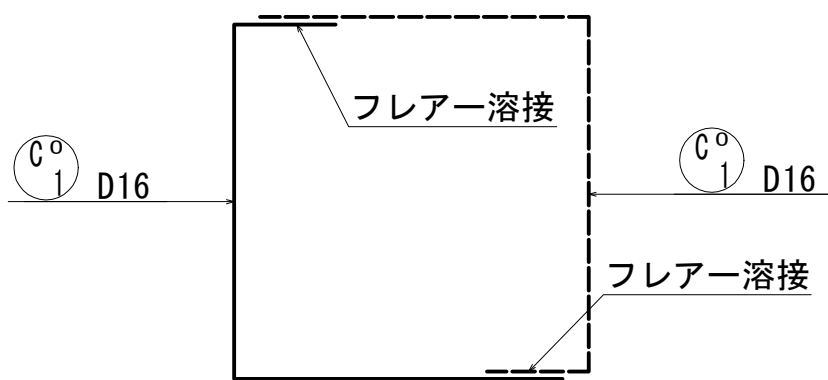
組立て用アンカー詳細図 S=1:5



位置図



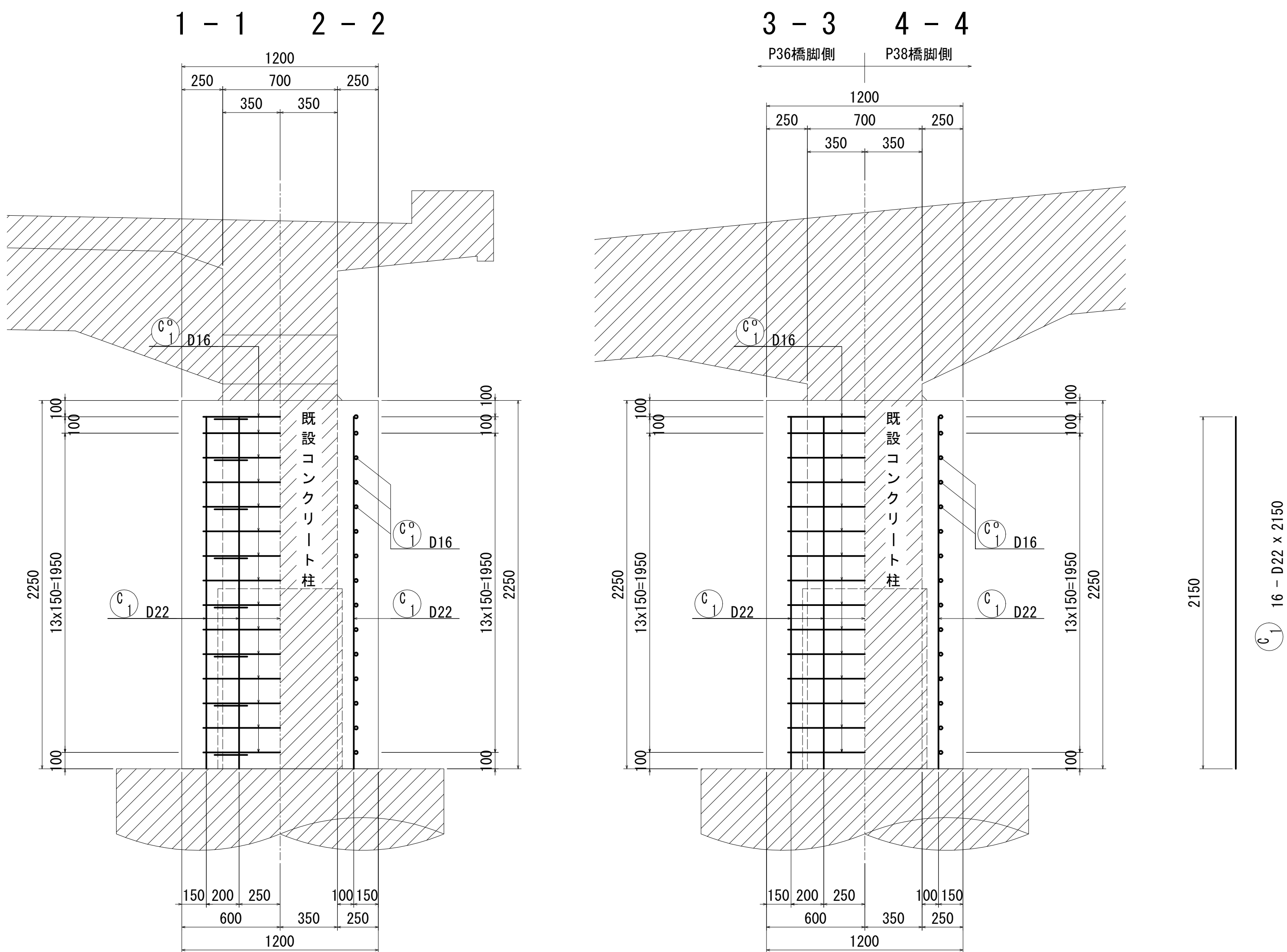
帯鉄筋組立図



- 注 記 : 1. 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
2. 斜線部は既設コンクリートを示す。
3. 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
4. 既設構造物の諸数値については、参考値とする。
施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P36橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	72/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P37橋脚補強配筋図 S=1:20

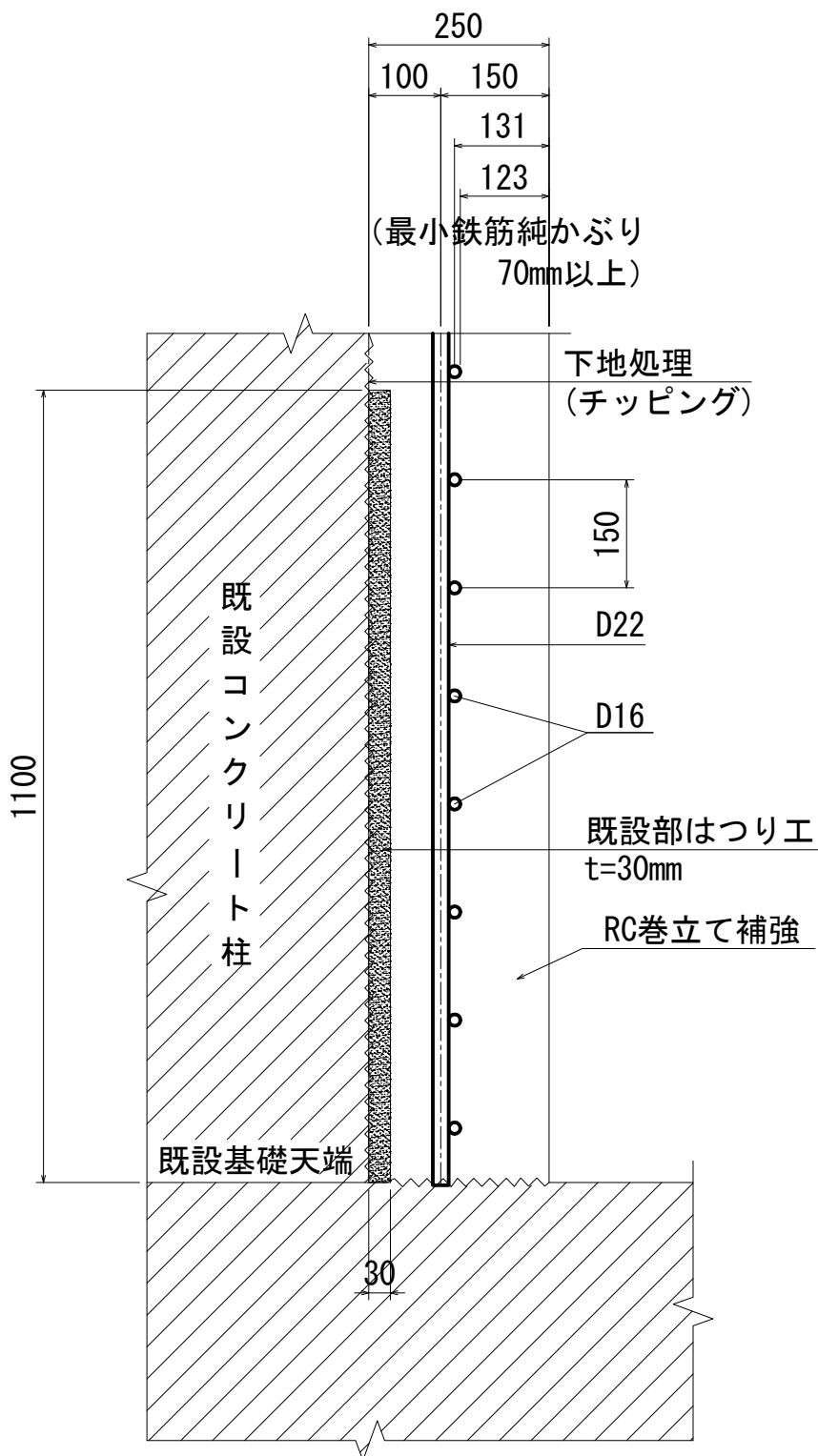


鉄筋表

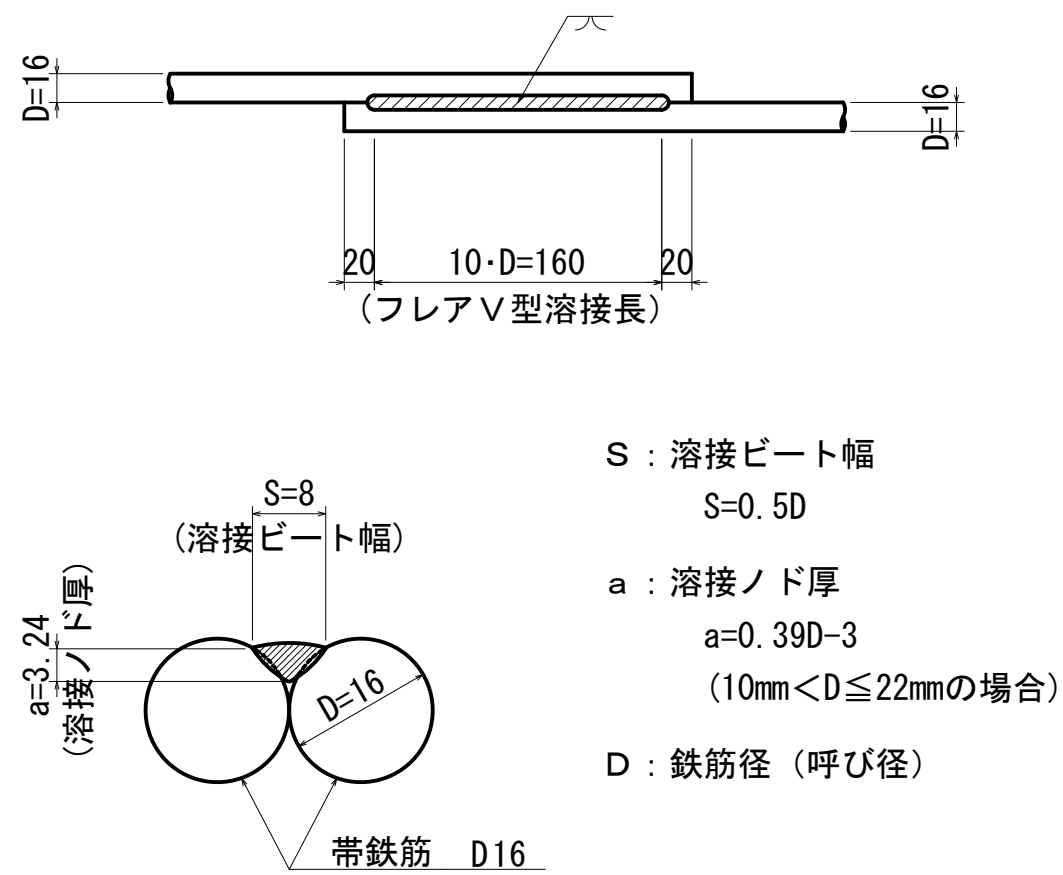
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2150	16	3.04	6.54	105	└
C 1	D16	2080	30	1.56	3.24	97	└
						202 kg	
G 1	D13	370	7	0.995	0.37	3	└
						3 kg	
						D22	105 kg
						D16	97 kg
						D13	3 kg
						合計	205 kg
						フレアー溶接箇所数	(D16) 30 箇所
						フレアー溶接延長	(D16) 4.8 m

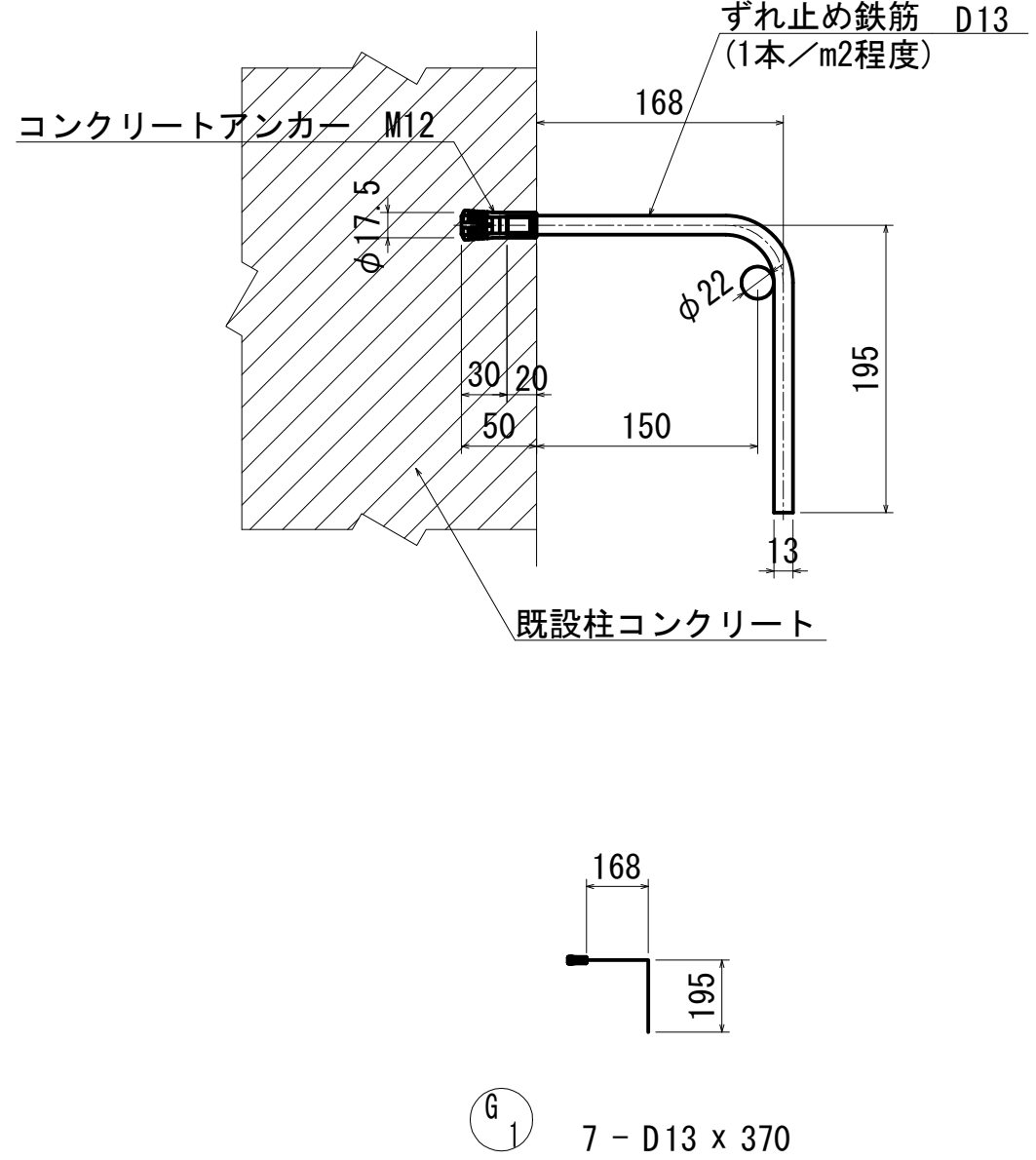
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



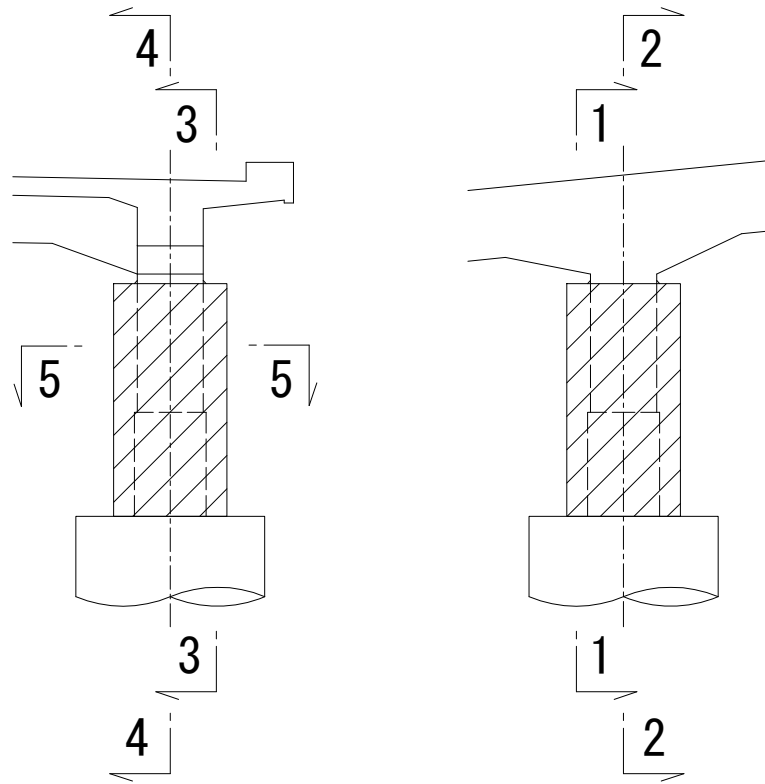
フレアー溶接詳細図 S=1:5



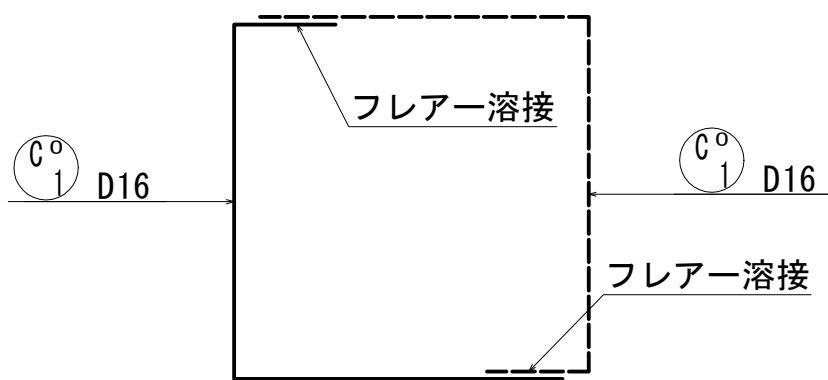
組立て用アンカー詳細図 S=1:5



位置図



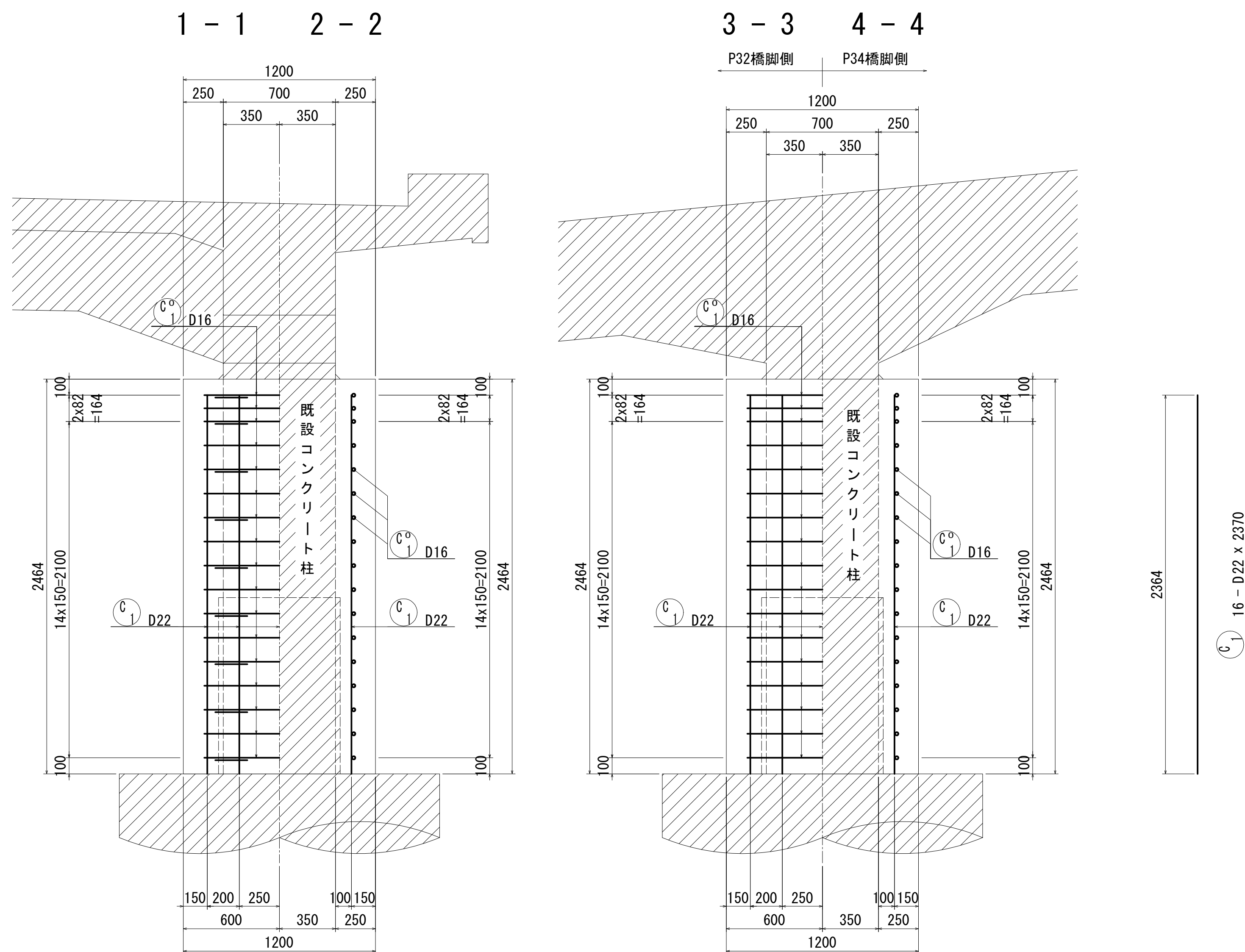
帯鉄筋組立図



- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P37橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	73/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

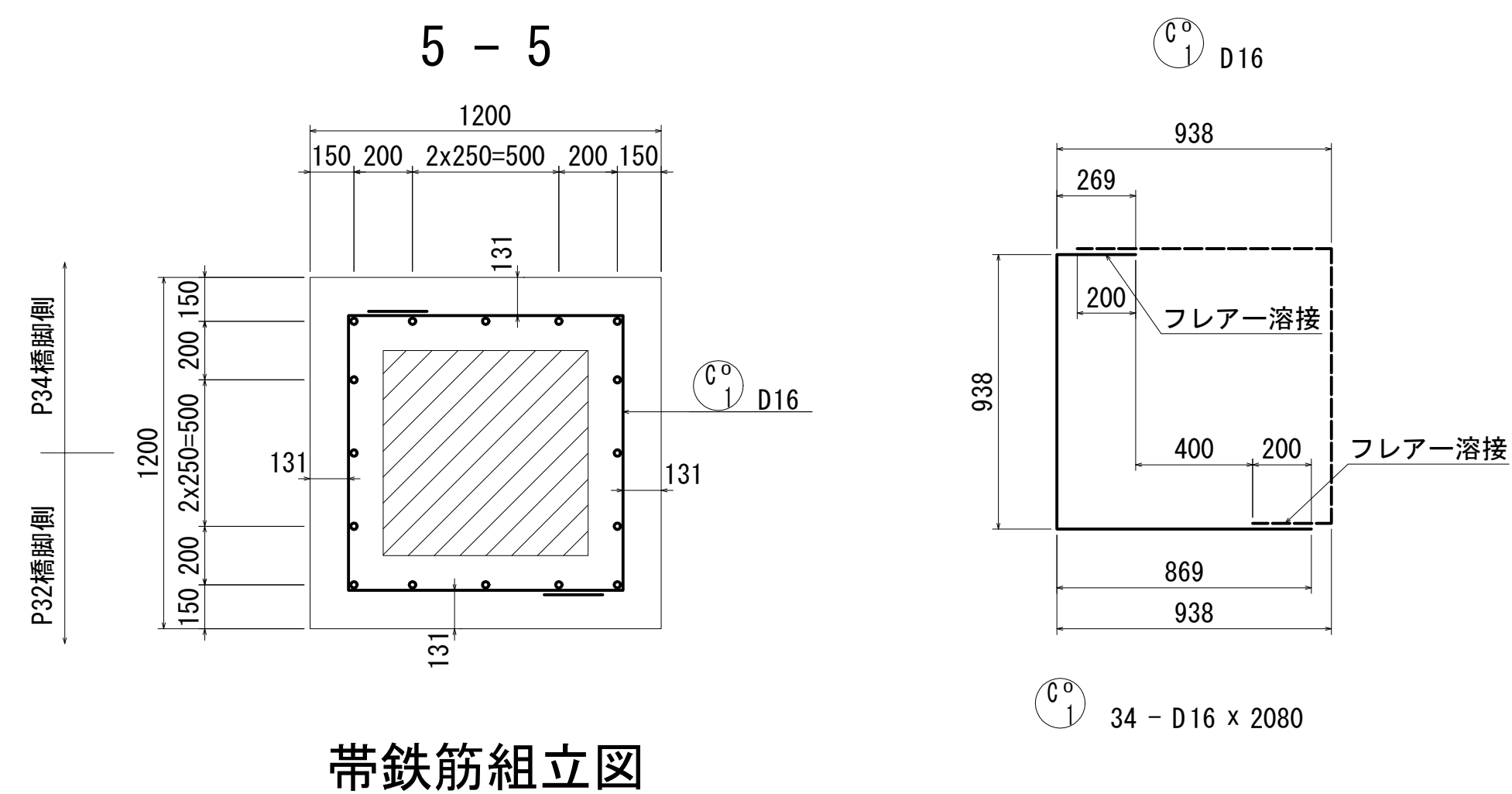
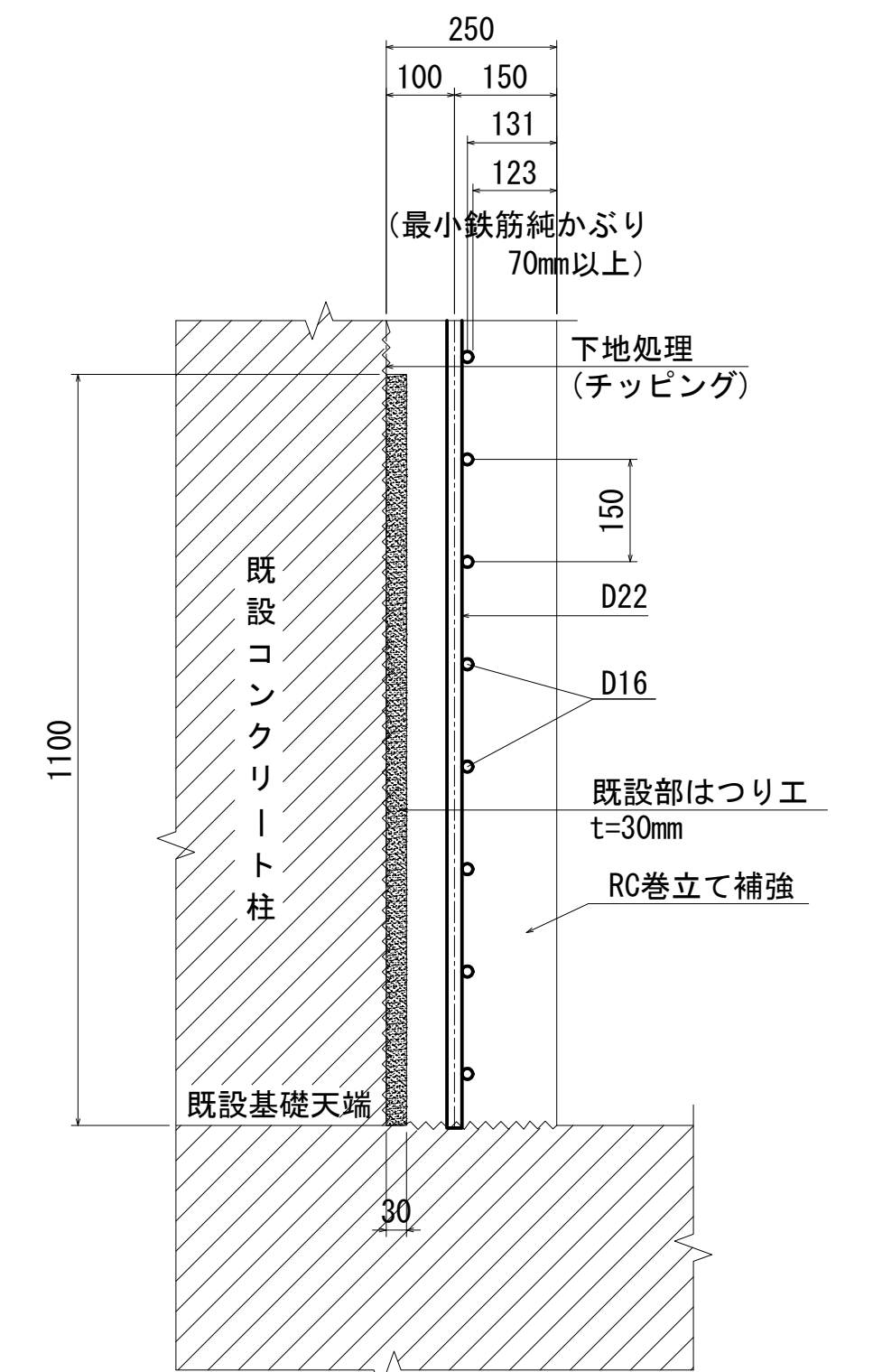
P33橋脚補強配筋図 S=1:20



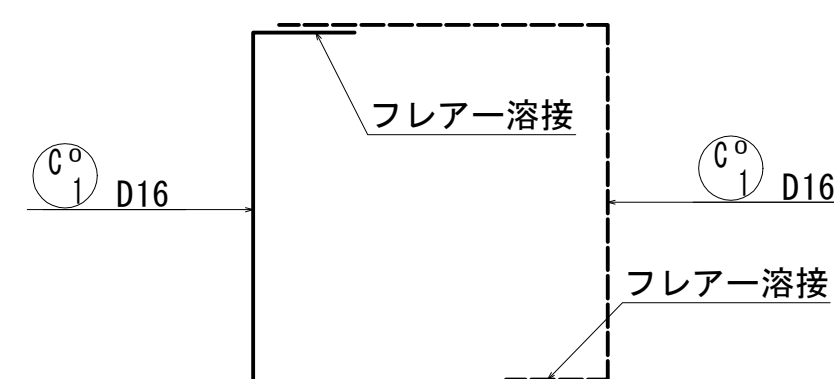
鉄筋表

(SD345)

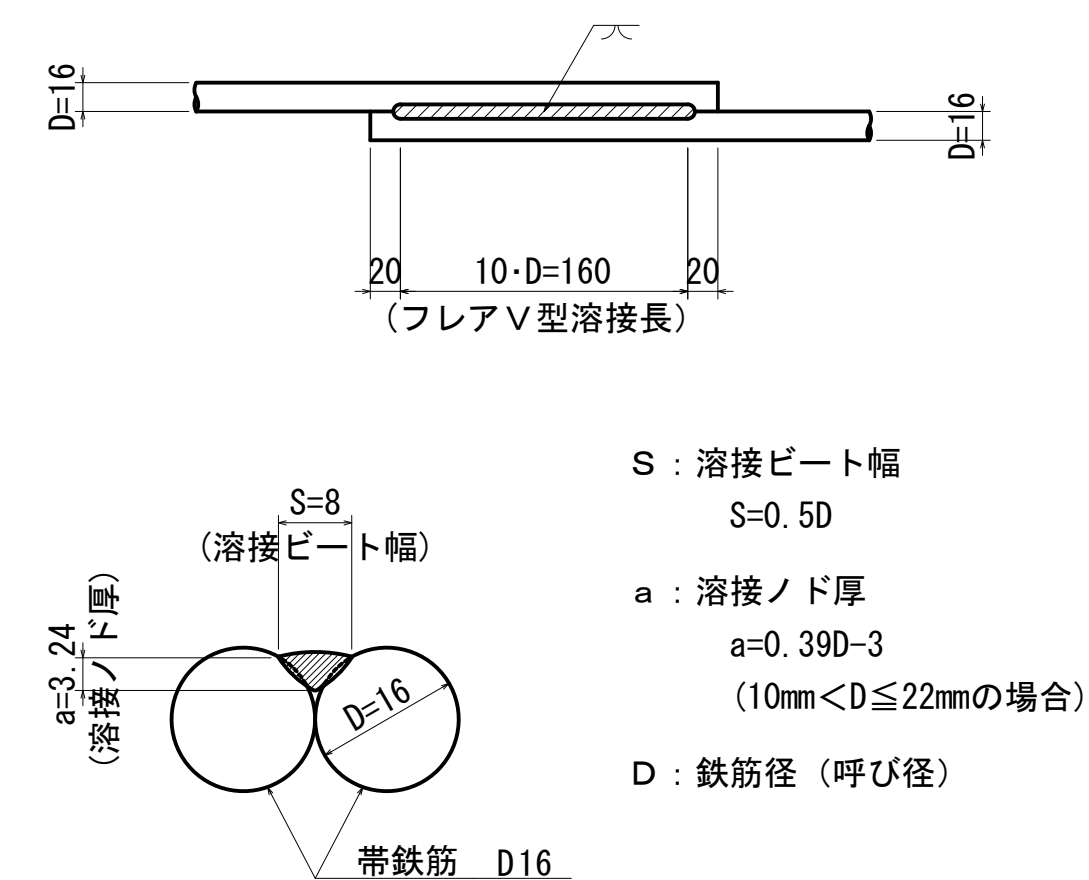
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2370	16	3.04	7.20	115	┌
C ° 1	D16	2080	34	1.56	3.24	110	└
						225	kg
G 1	D13	370	8	0.995	0.37	3	┐
						3	kg
D22						115	kg
D16						110	kg
D13						3	kg
合計						228	kg
フレアー溶接箇所数						(D16)	34 箇所
フレアー溶接延長						(D16)	5.4 m




帯鉄筋組立図



フレア溶接詳細図 S=1:5



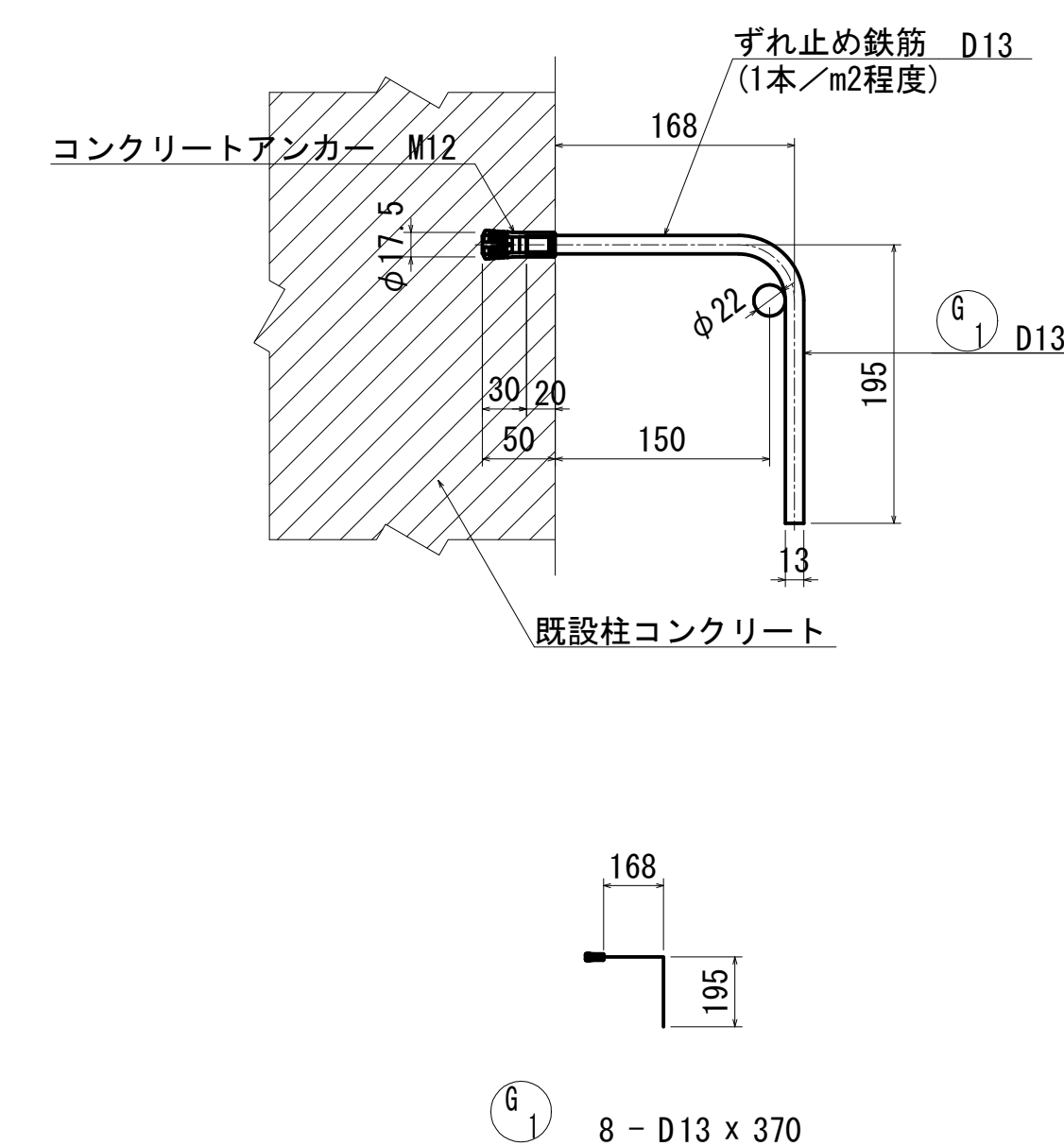
注 記 : 1. 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。

2.  部は既設コンクリートを示す。

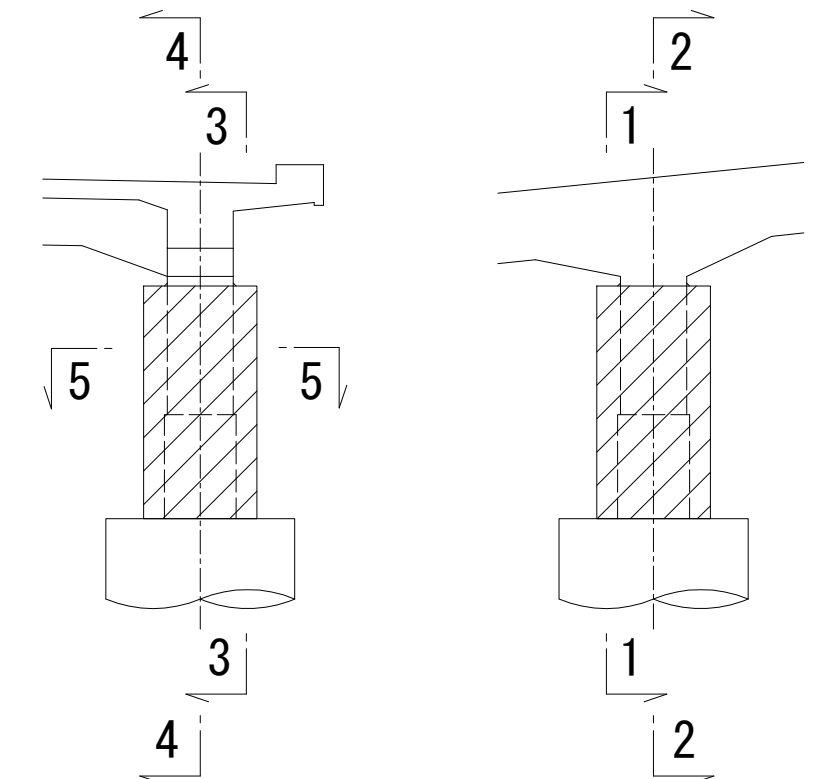
3. 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。

4. 既設構造物の諸数値については、参考値とする。
施工時には、測量を行い照査すること。

組立て用アンカー詳細図 S=1:5

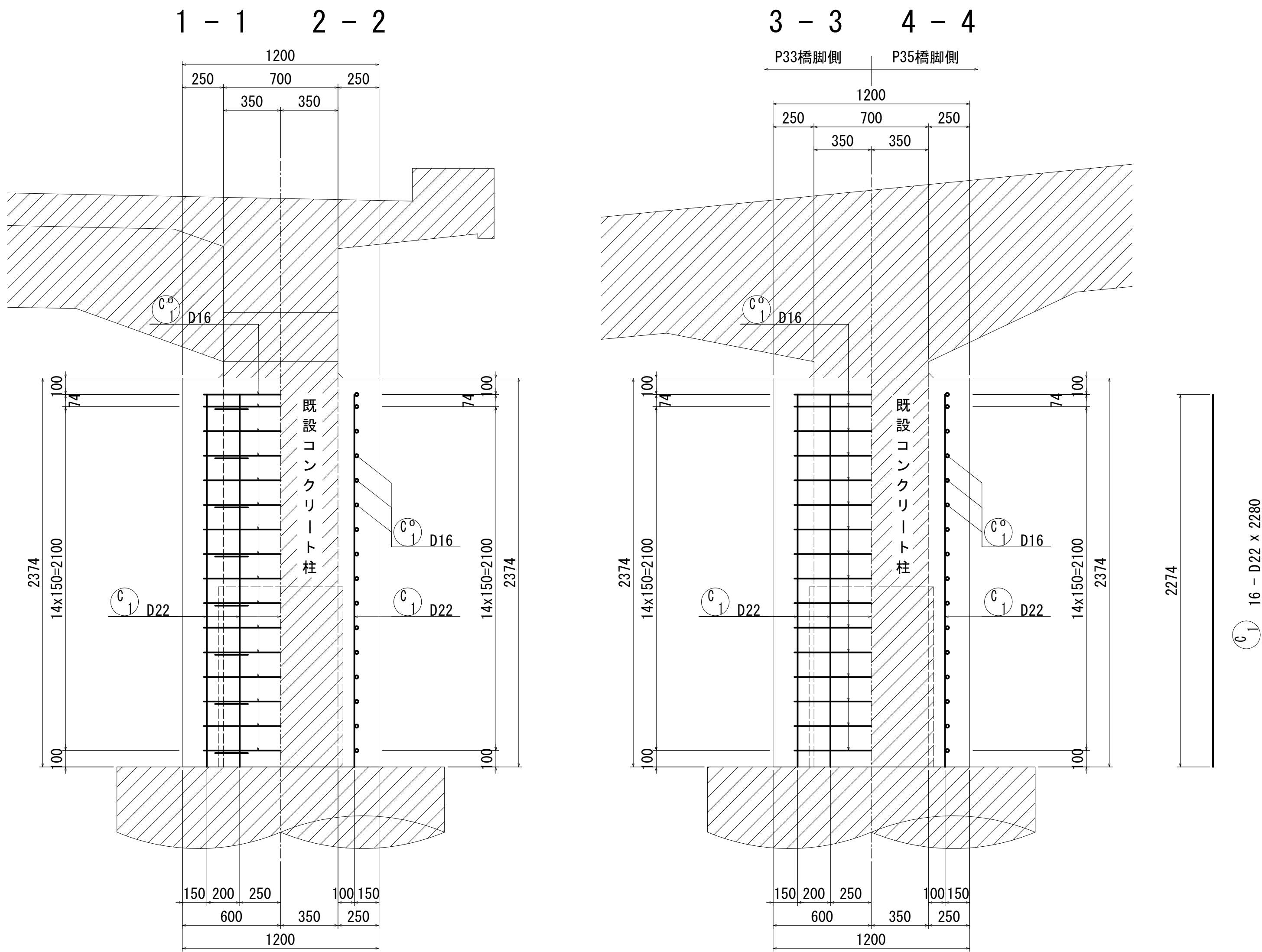


位置図



工事名	大阪北摂圏国４・５号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P33橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	74 / 94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P34橋脚補強配筋図 S=1:20

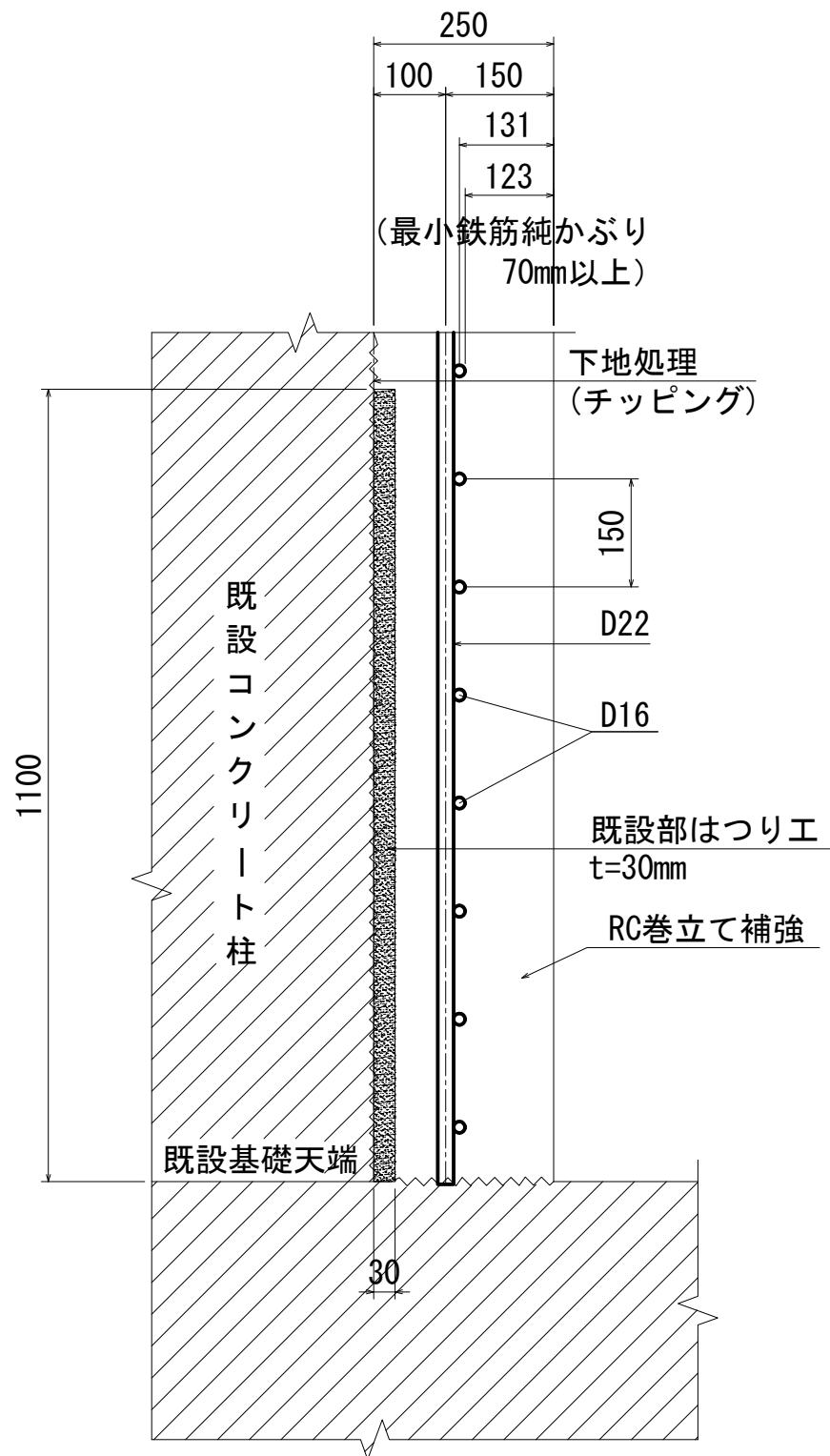


鉄筋表

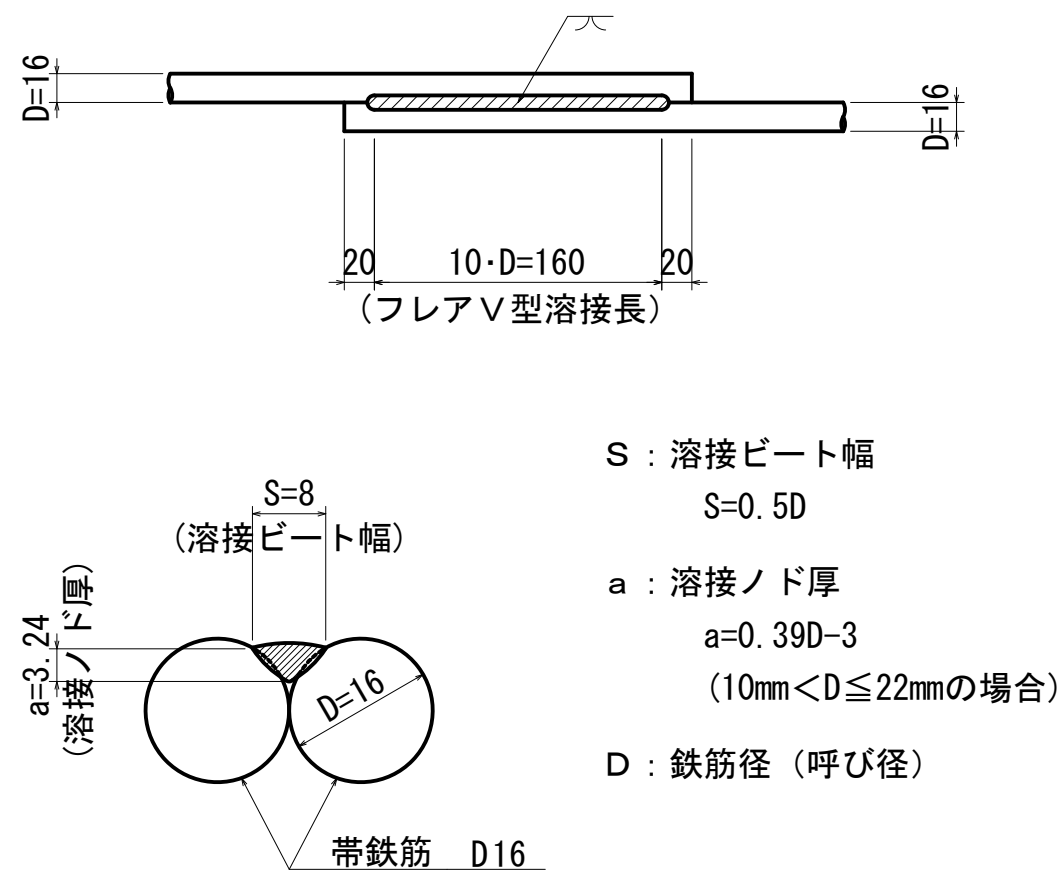
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2280	16	3.04	6.93	111	
C° 1	D16	2080	32	1.56	3.24	104	└
						215 kg	
G 1	D13	370	8	0.995	0.37	3	└
						3 kg	
						D22	111 kg
						D16	104 kg
						D13	3 kg
						合計	218 kg
フレアー溶接箇所数				(D16)	32	箇所	
フレアー溶接延長				(D16)	5.1	m	

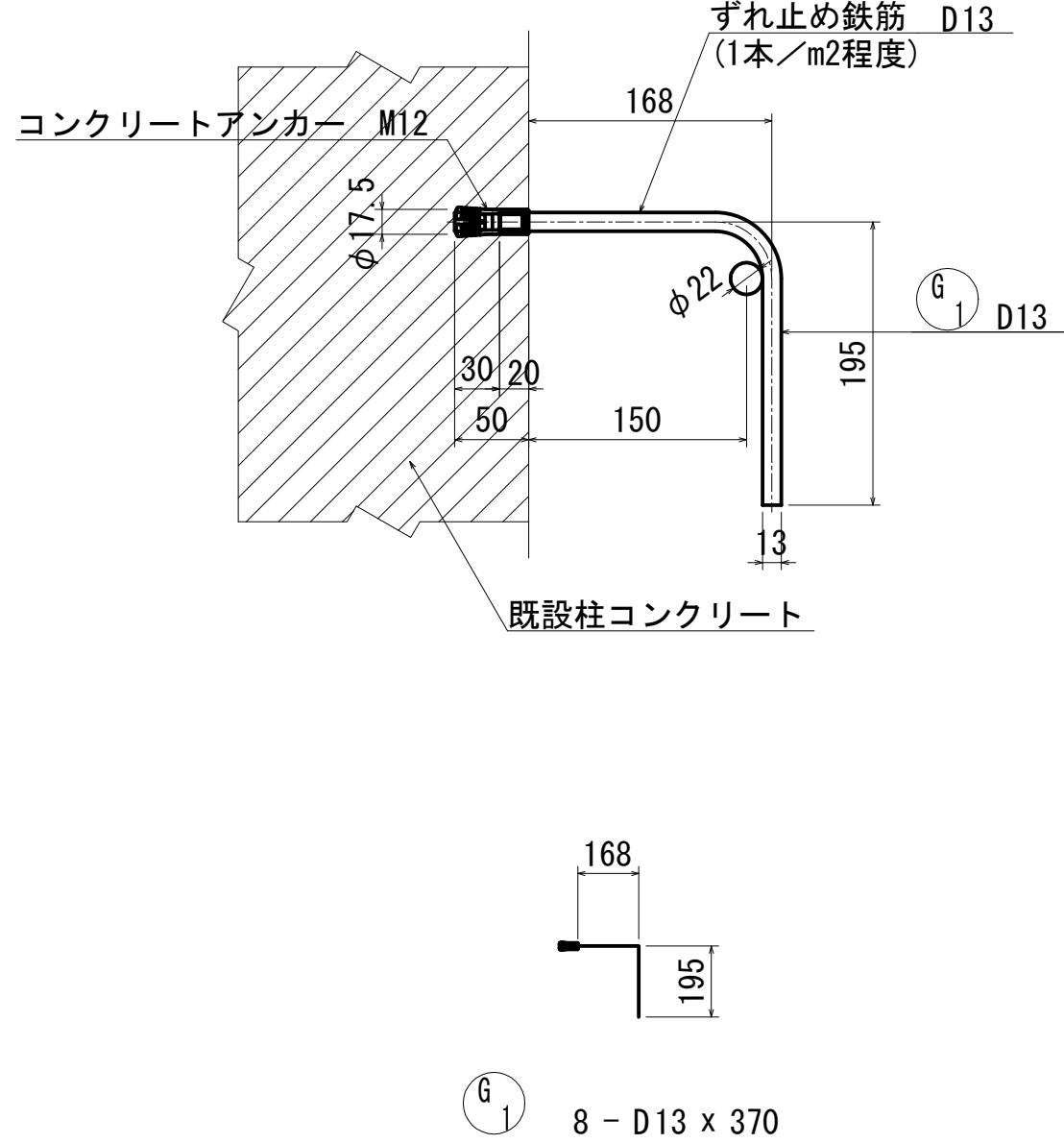
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



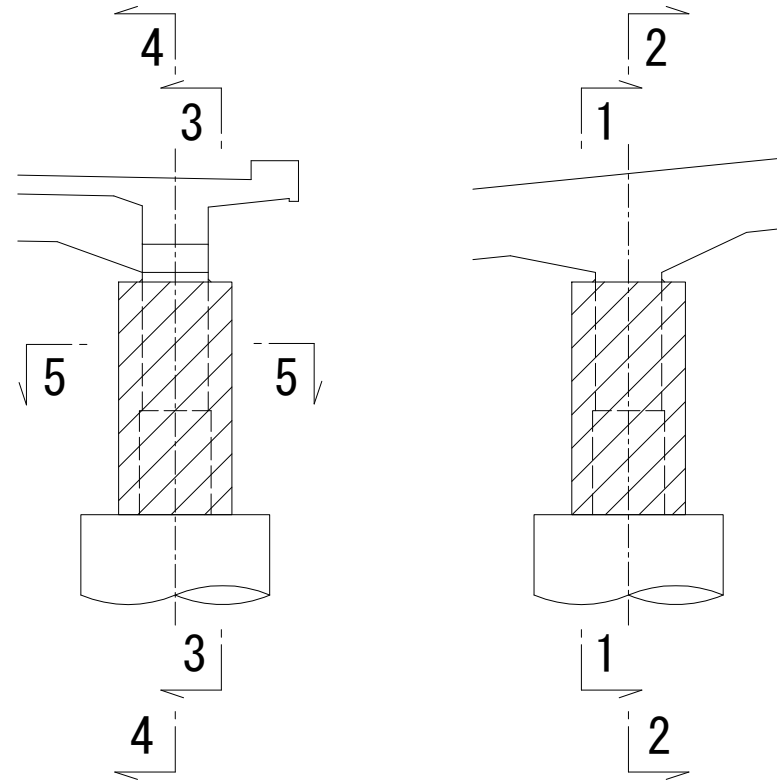
フレアー溶接詳細図 S=1:5



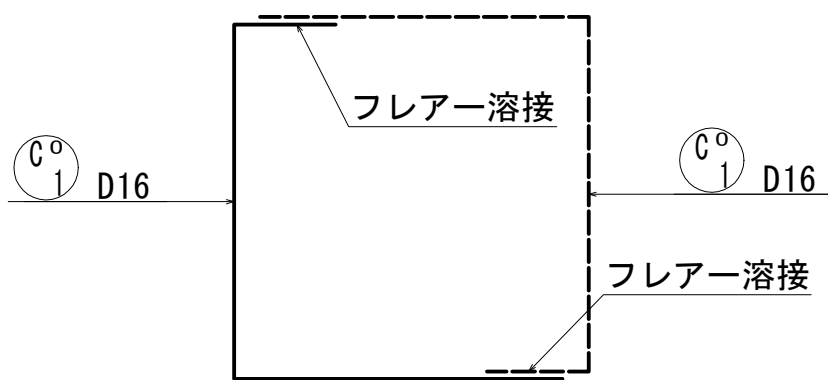
組立て用アンカー詳細図 S=1:5



位置図



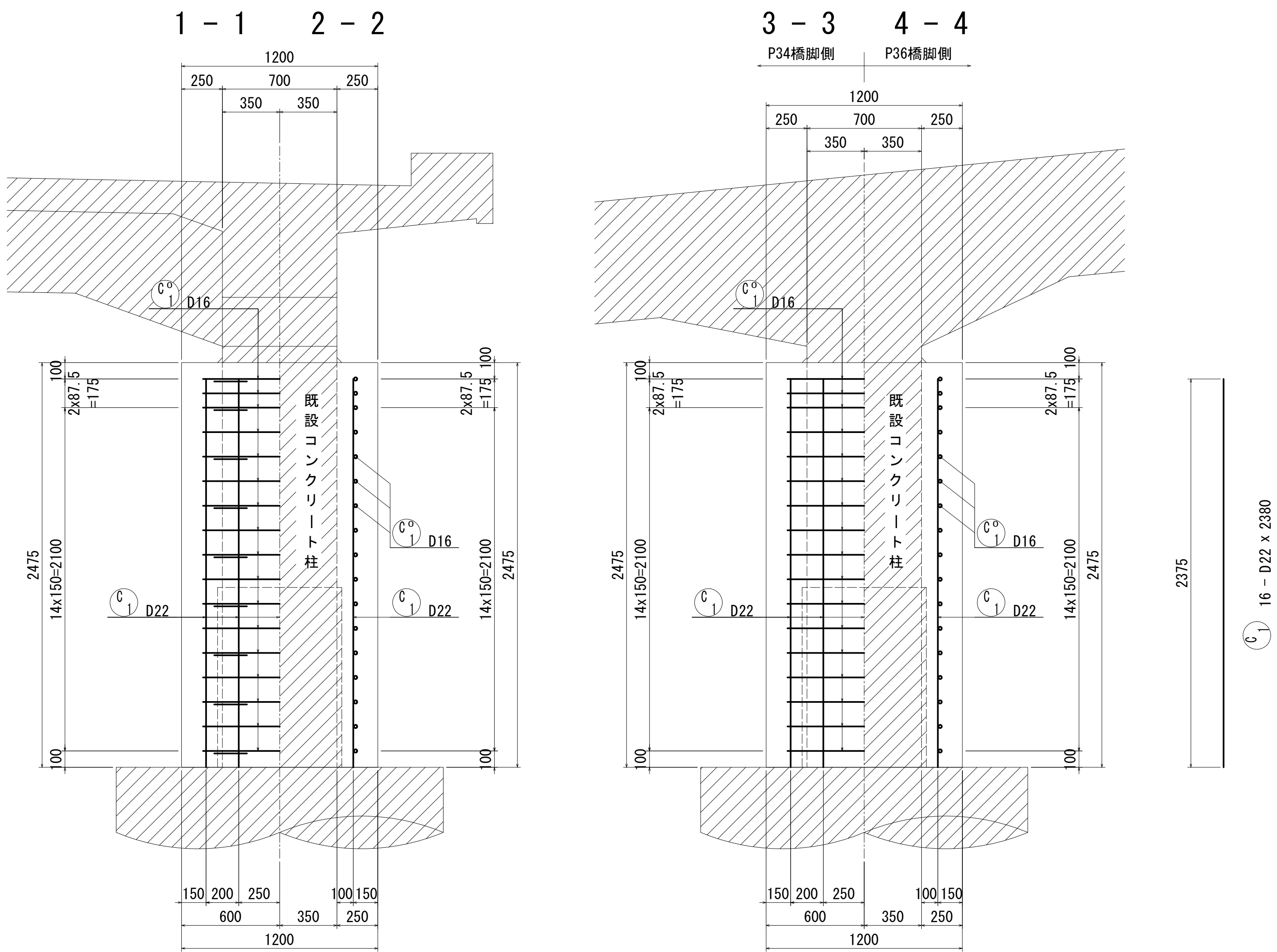
帯鉄筋組立図



- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 斜線部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P34橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	75 / 94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P35橋脚補強配筋図 S=1:20

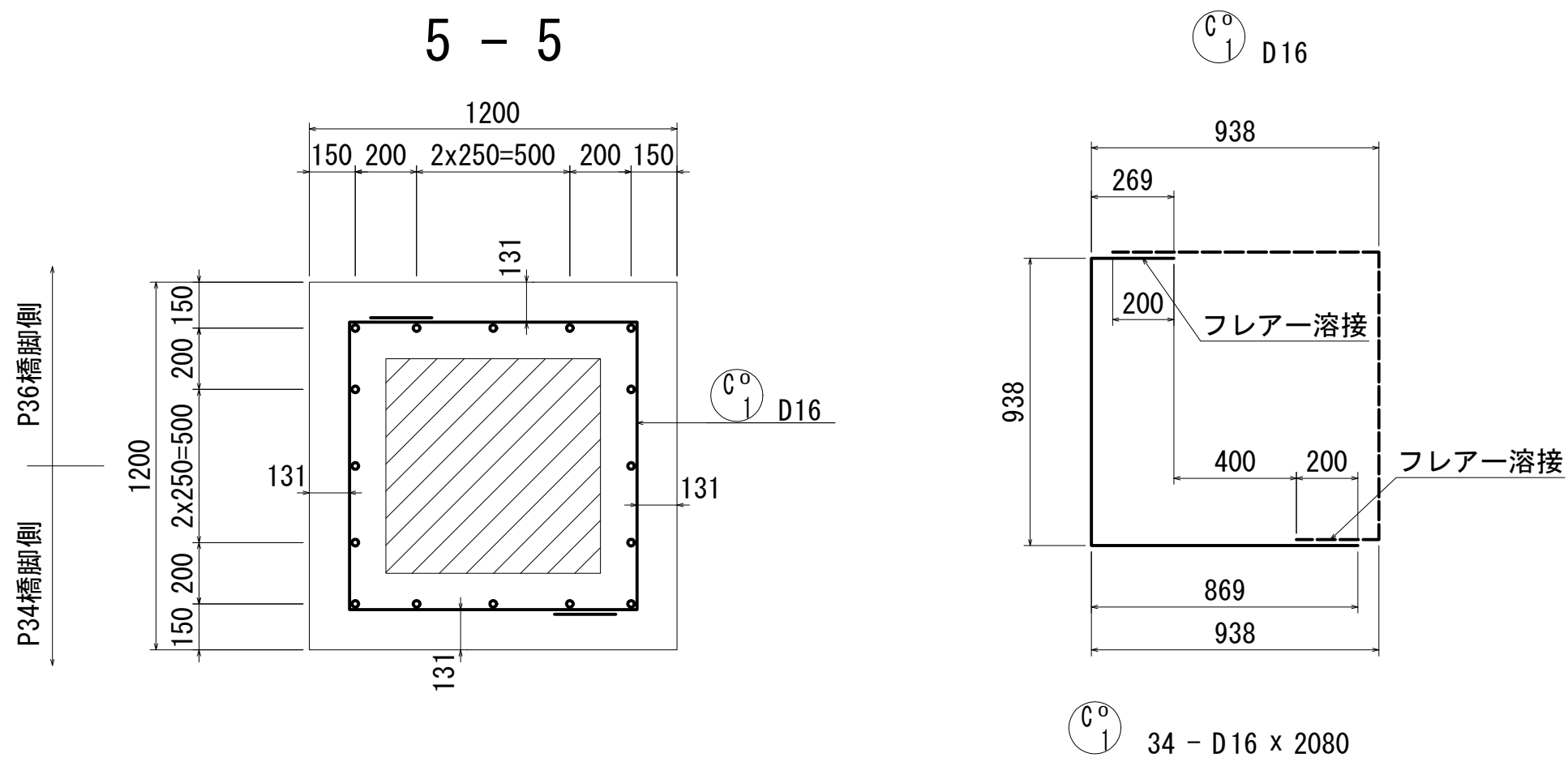
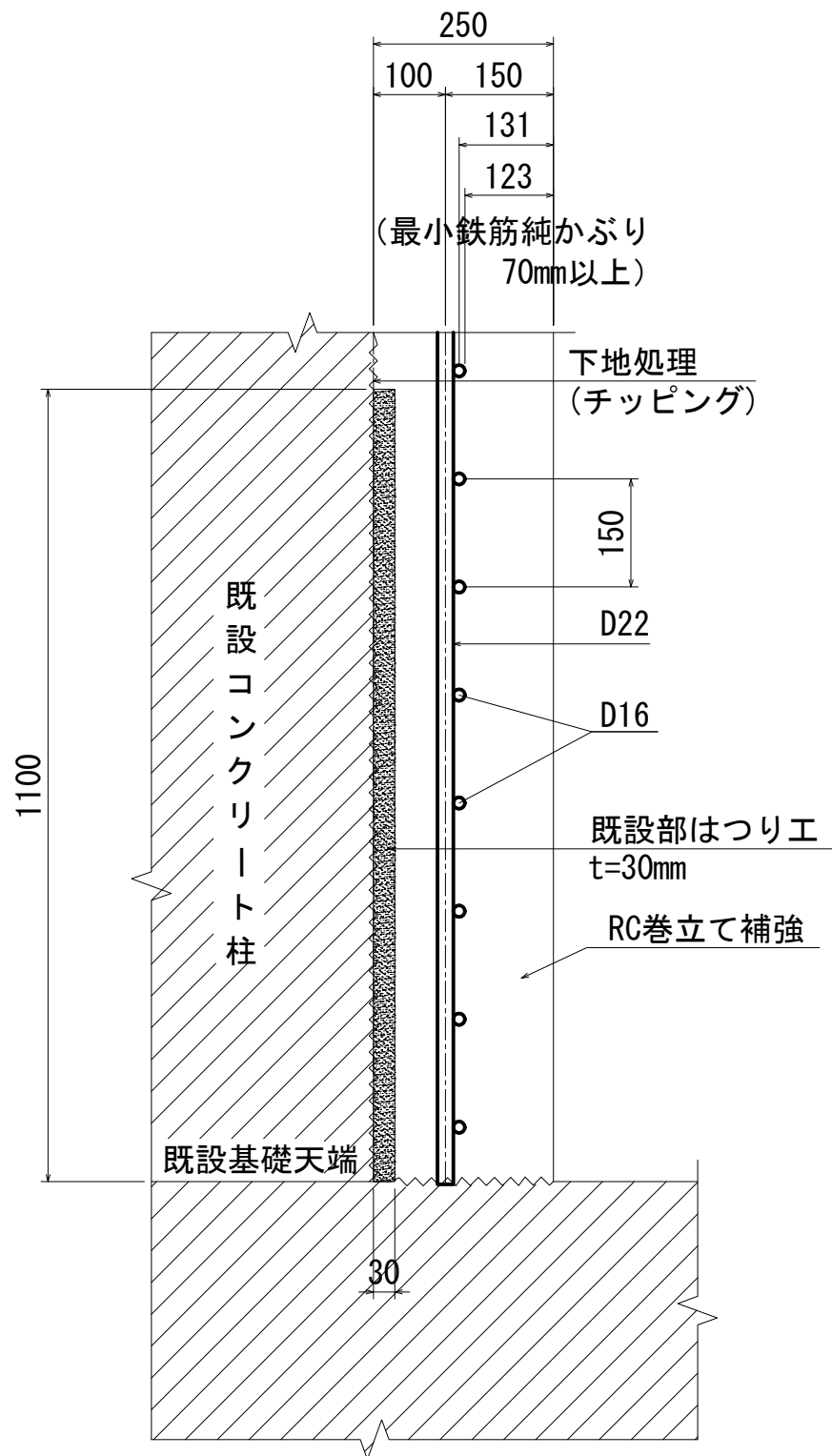


鉄筋表

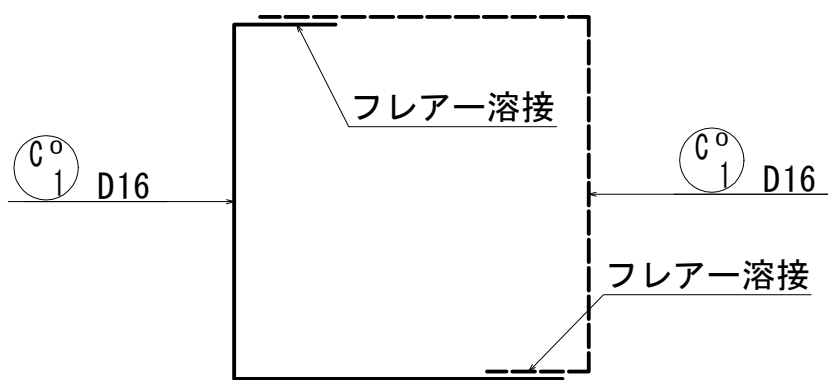
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2380	16	3.04	7.24	116	
C 1	D16	2080	34	1.56	3.24	110	└
						226 kg	
G 1	D13	370	8	0.995	0.37	3	┐
						3 kg	
						D22	116 kg
						D16	110 kg
						D13	3 kg
						合計	229 kg
フレアー溶接箇所数					(D16)	34	箇所
フレアー溶接延長					(D16)	5.4	m

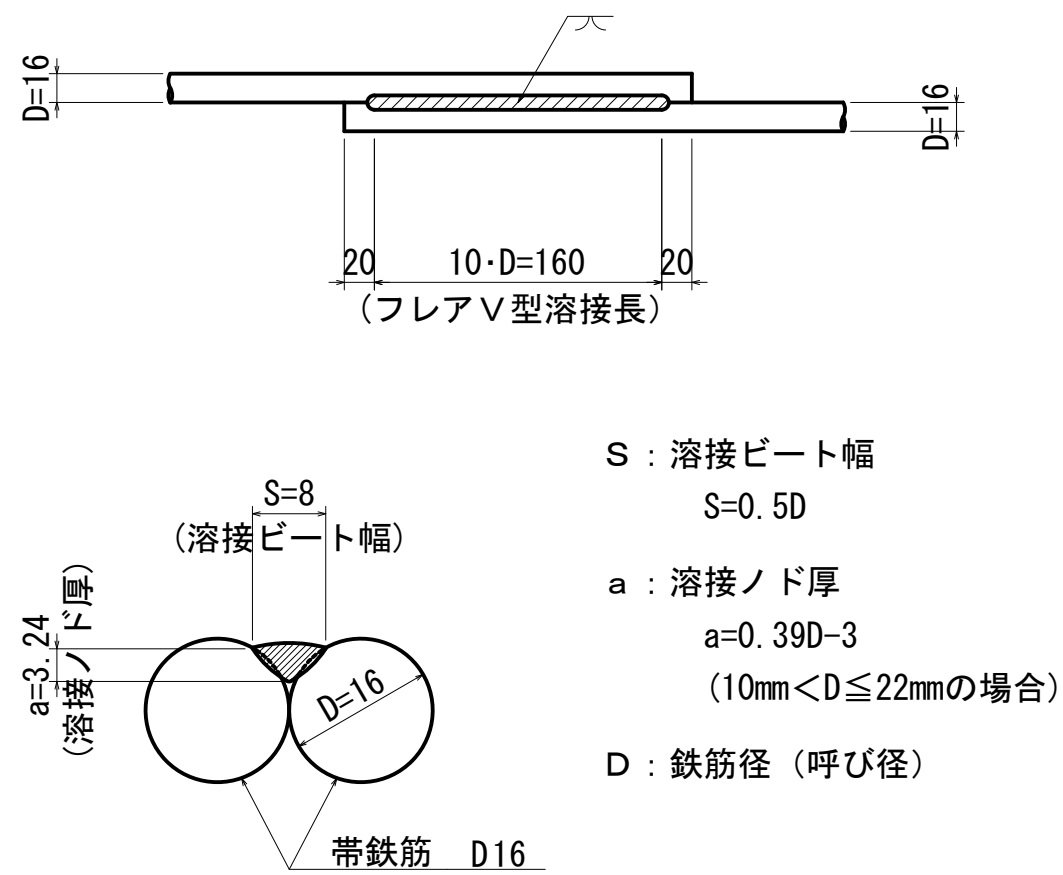
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



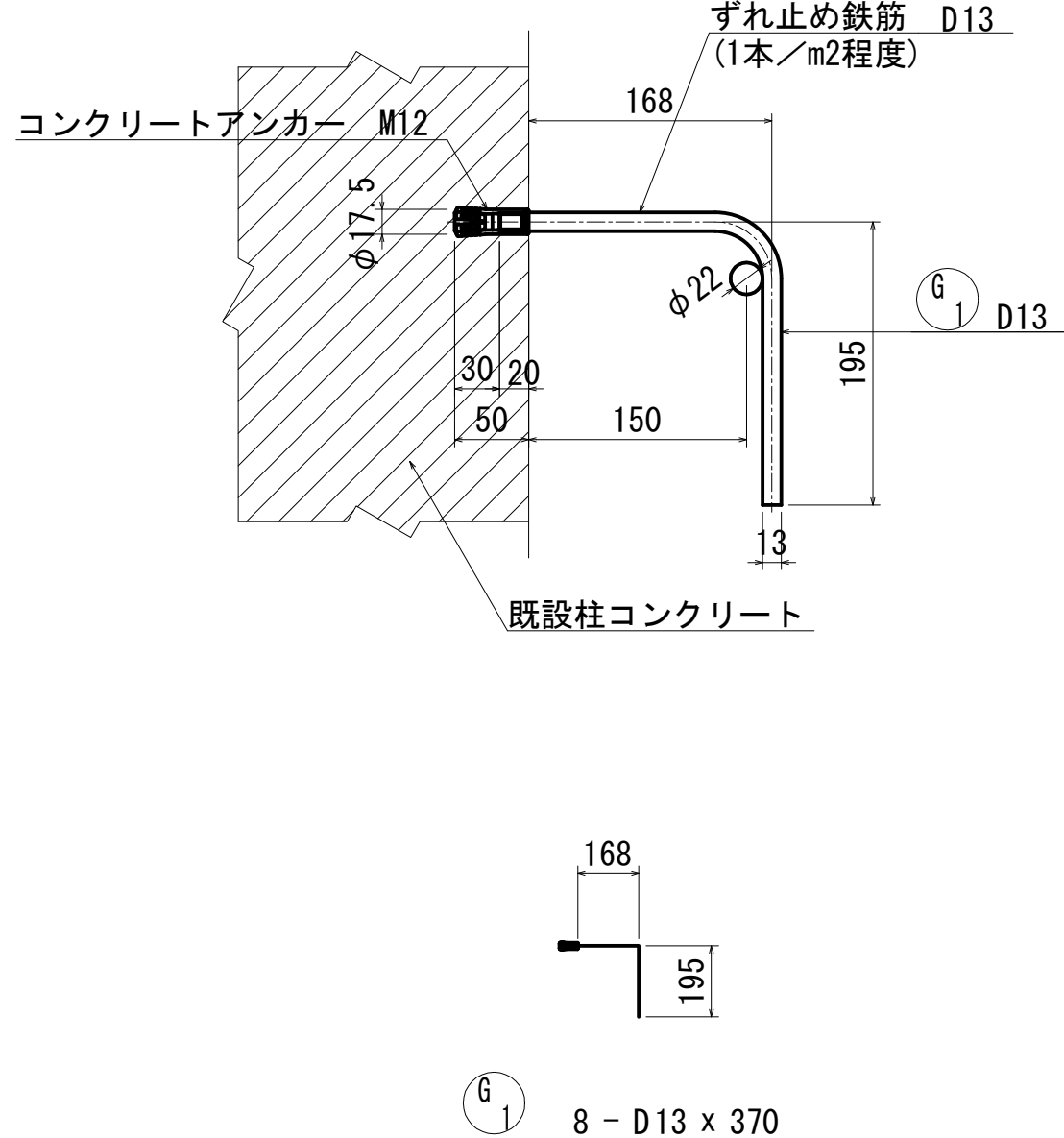
帯鉄筋組立図



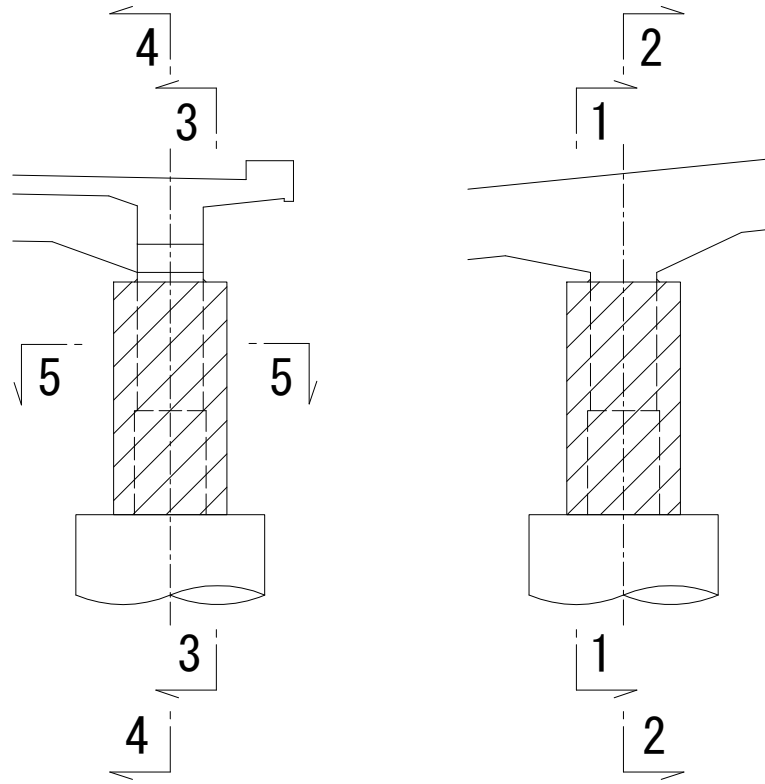
フレアー溶接詳細図 S=1:5



組立て用アンカー詳細図 S=1:5



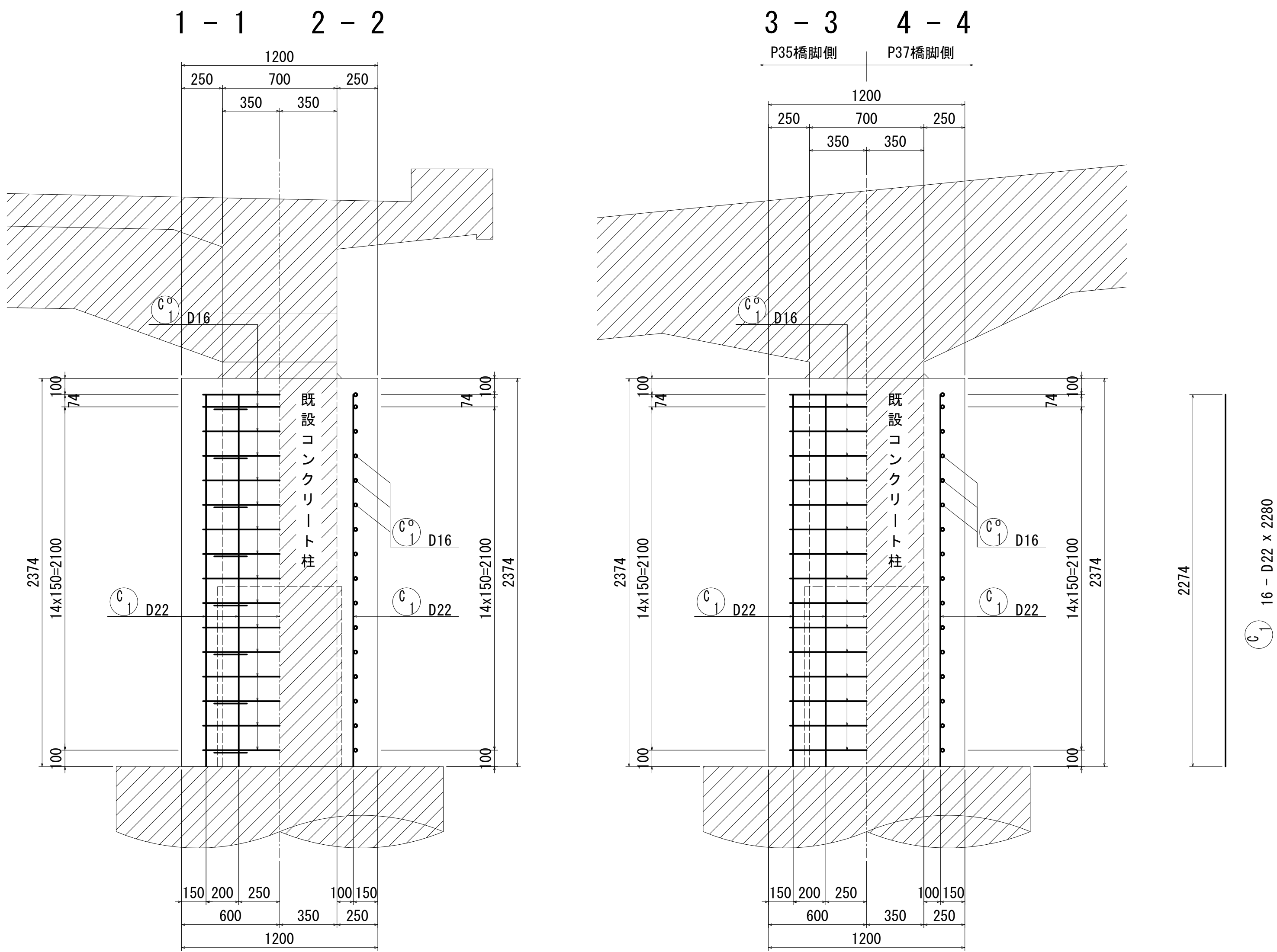
位置図



- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 斜線部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P35橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	76 / 94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P36橋脚補強配筋図 S=1:20

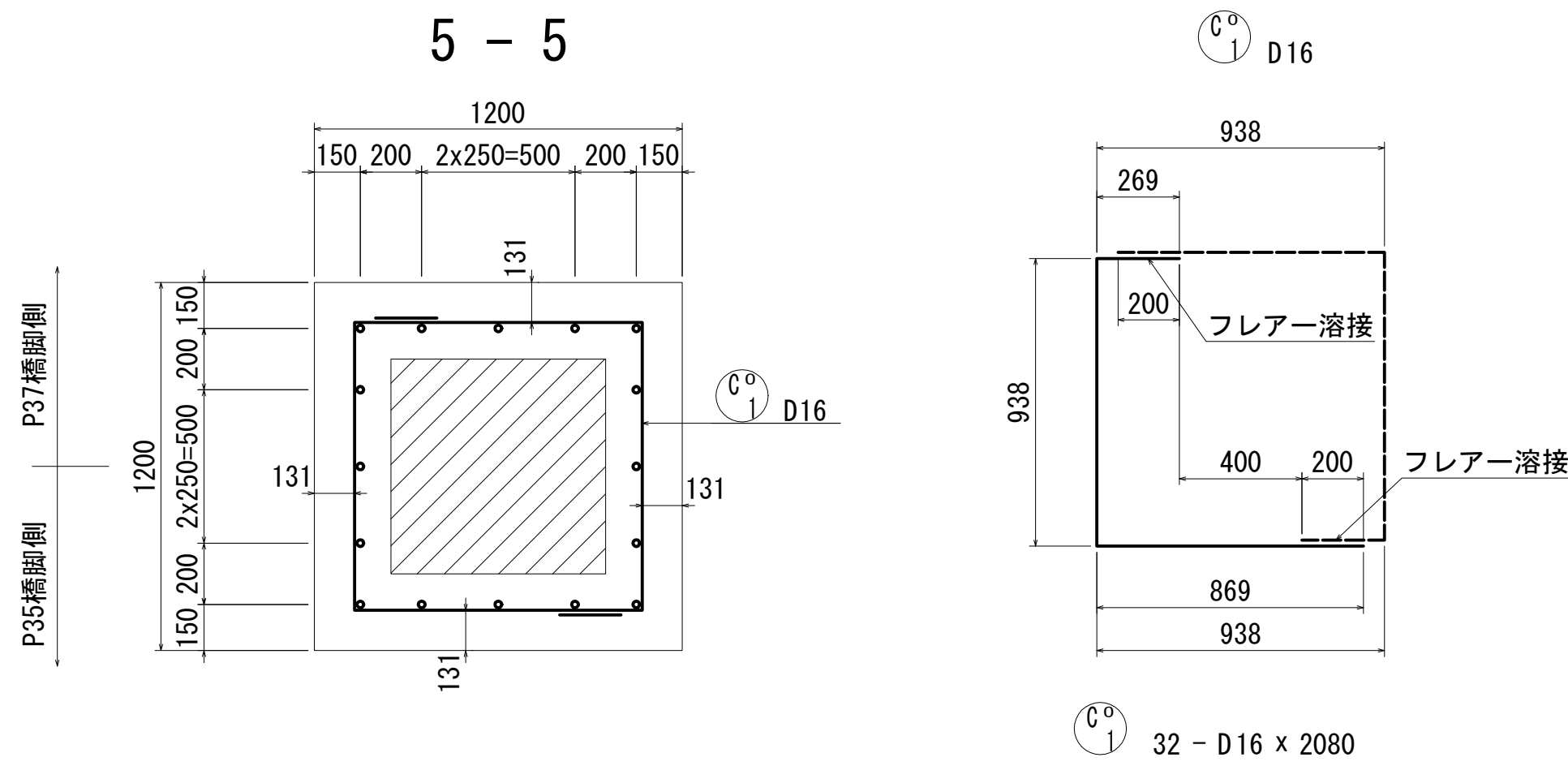
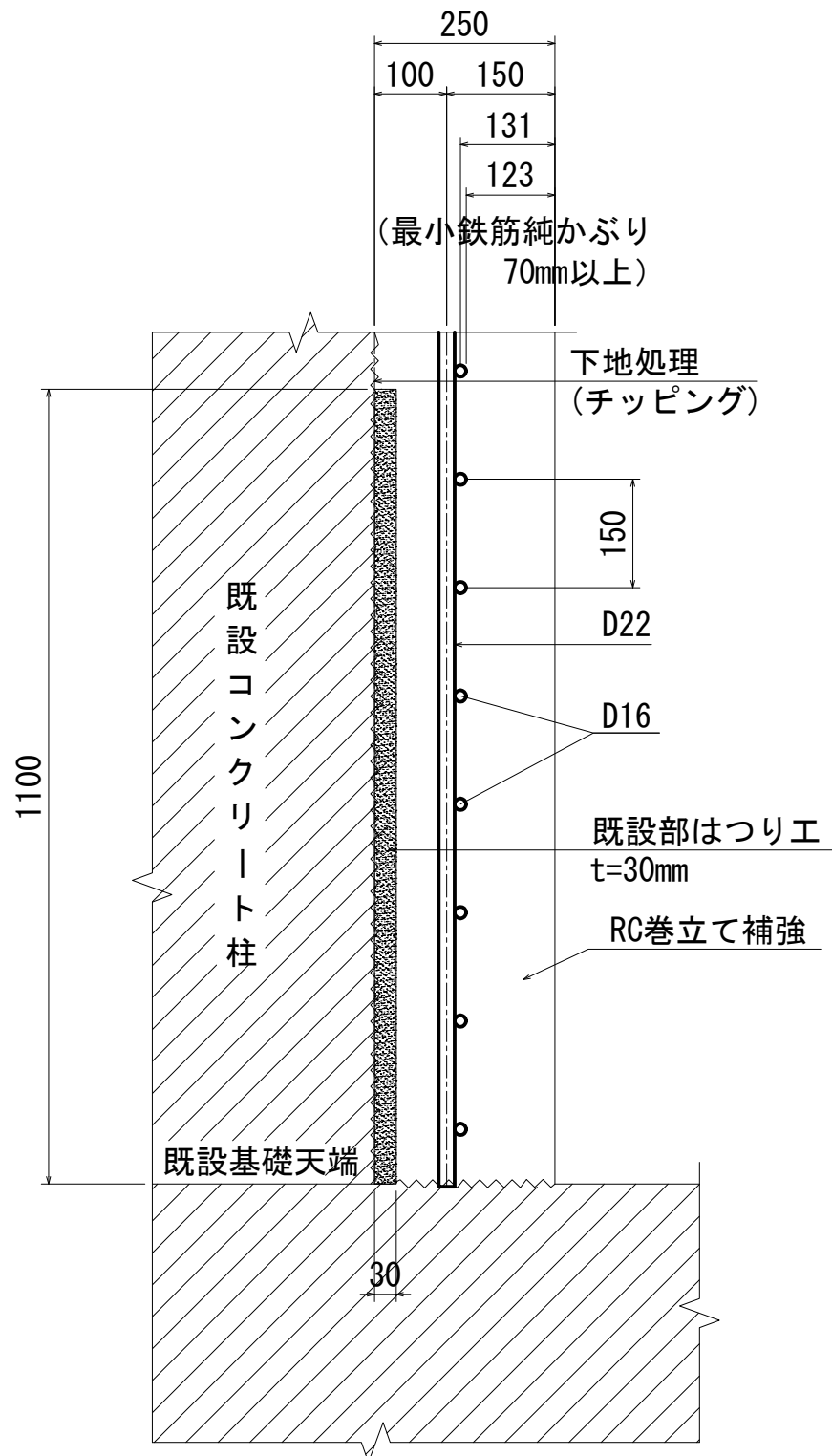


鉄筋表

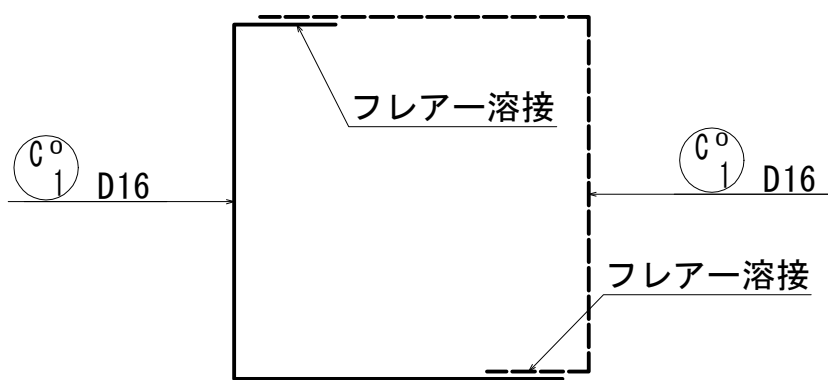
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2280	16	3.04	6.93	111	
C° 1	D16	2080	32	1.56	3.24	104	└
						215 kg	
G 1	D13	370	8	0.995	0.37	3	┐
						3 kg	
						D22	111 kg
						D16	104 kg
						D13	3 kg
						合計	218 kg
フレアー溶接箇所数						(D16)	32 箇所
フレアー溶接延長						(D16)	5.1 m

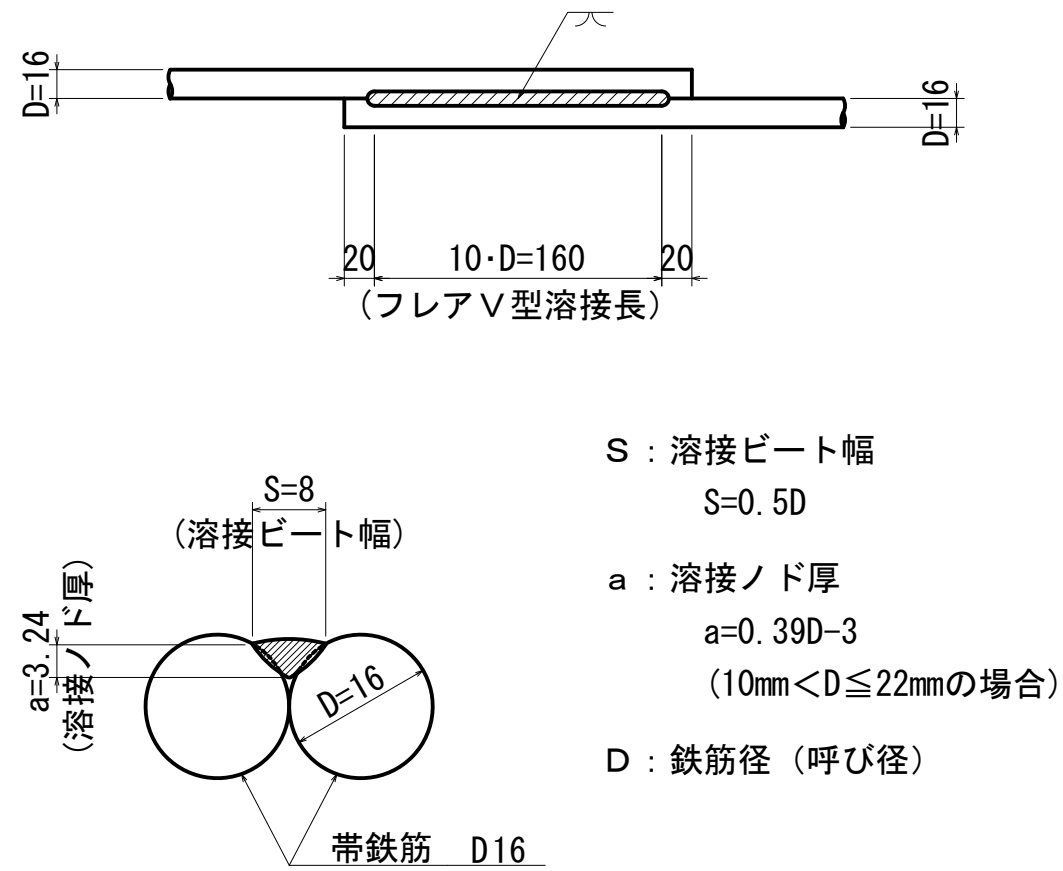
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



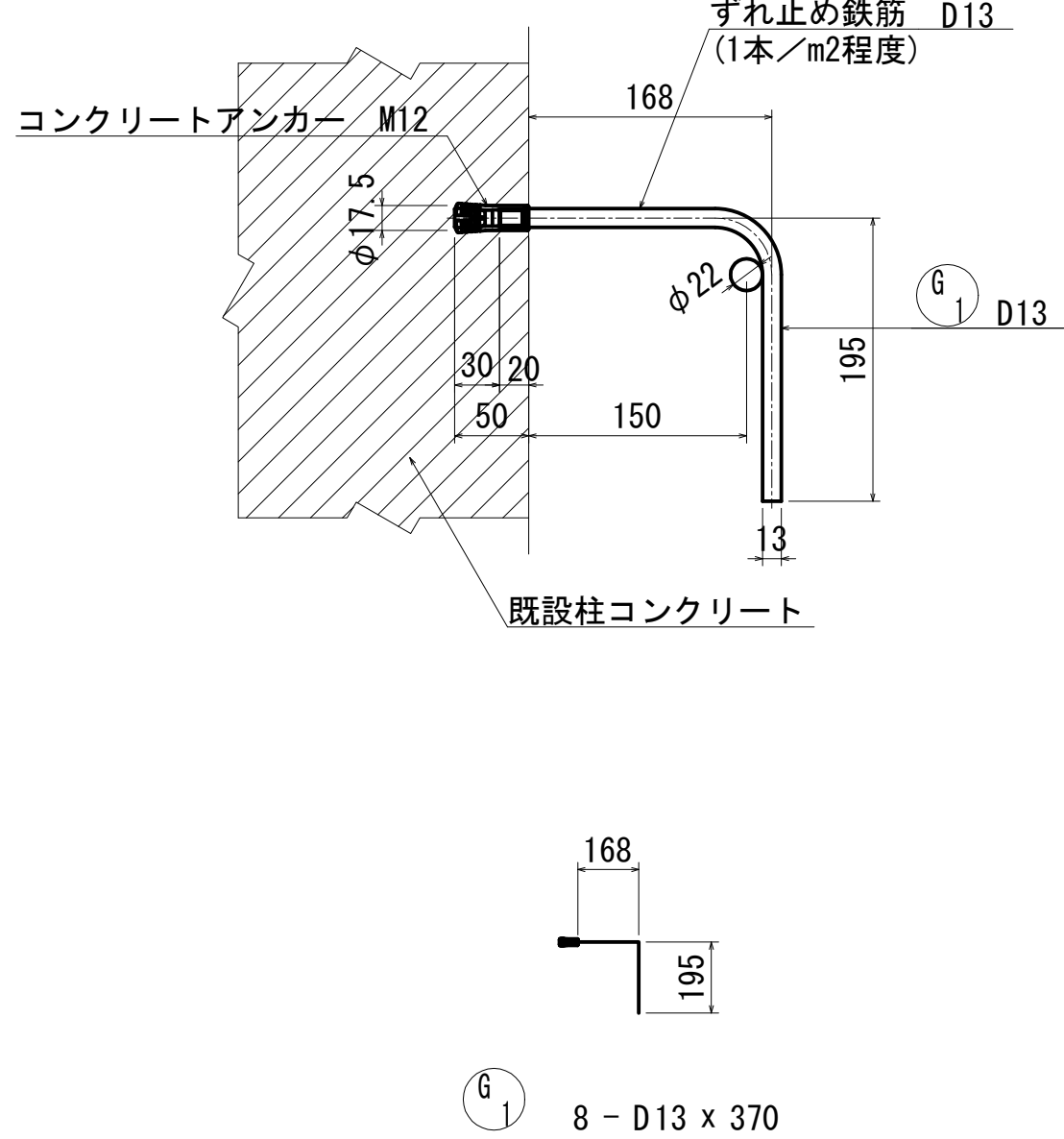
帯鉄筋組立図



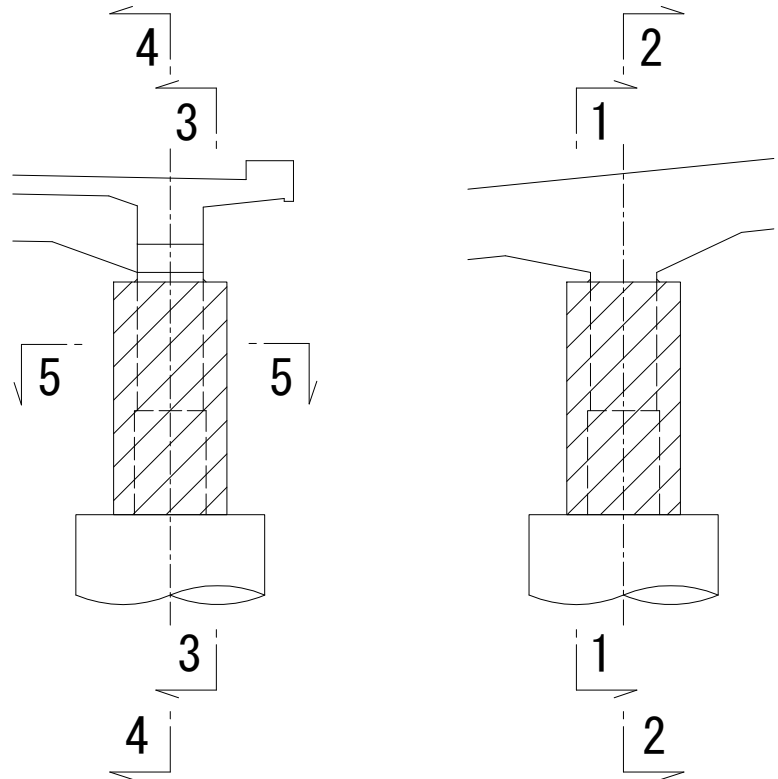
フレアー溶接詳細図 S=1:5



組立て用アンカー詳細図 S=1:5



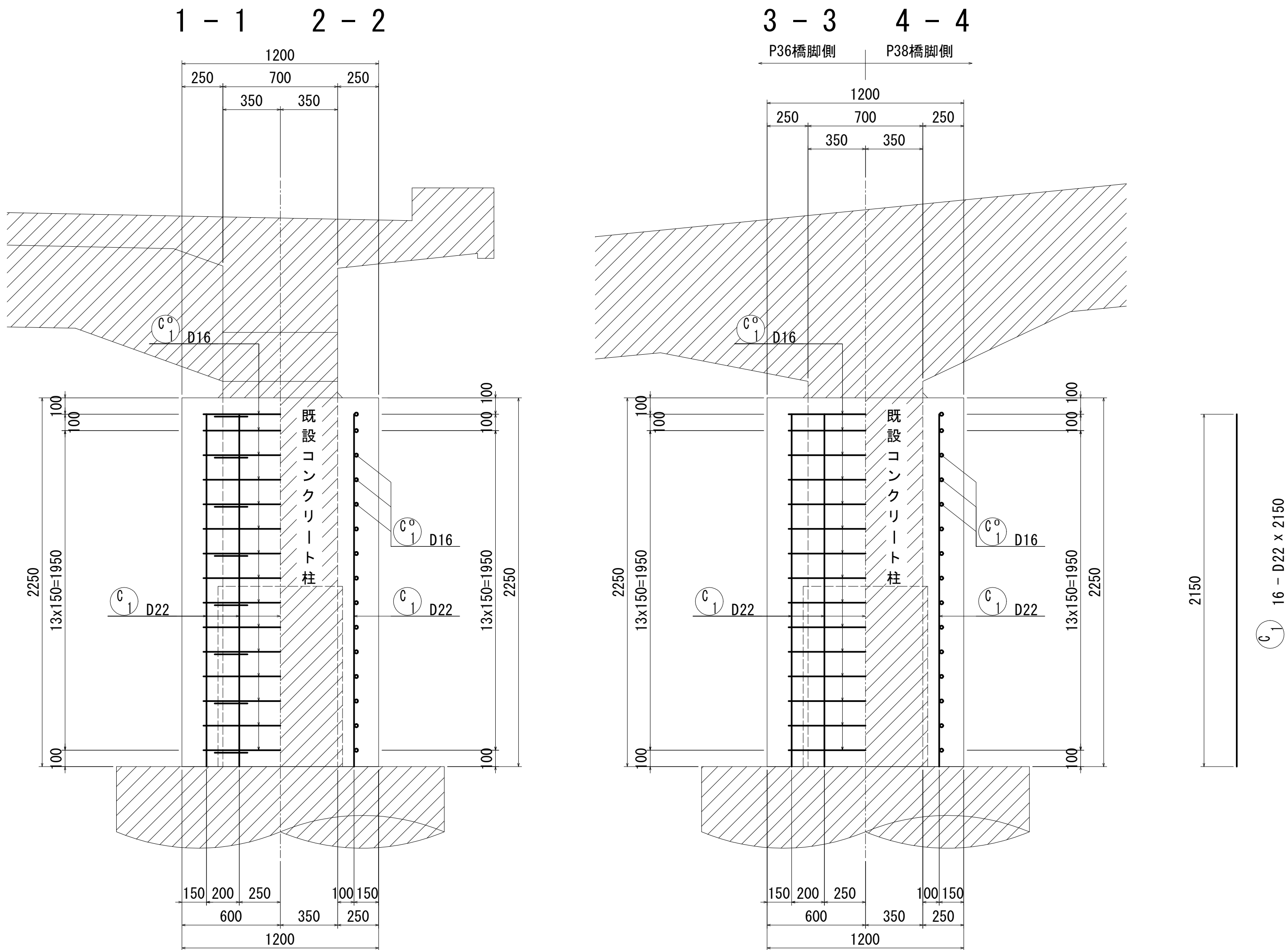
位置図



- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。
施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P36橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	77 / 94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

P37橋脚補強配筋図 S=1:20

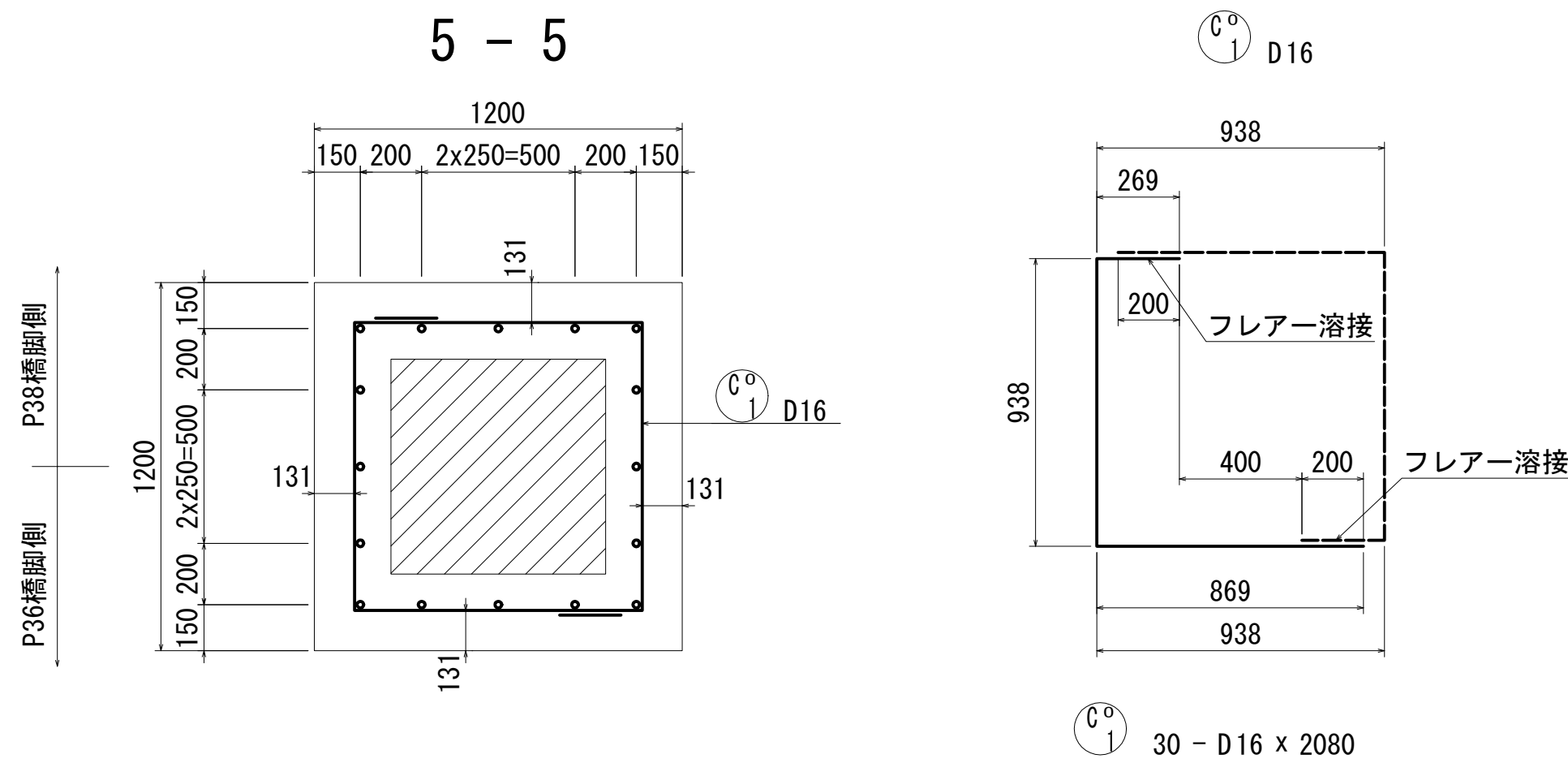
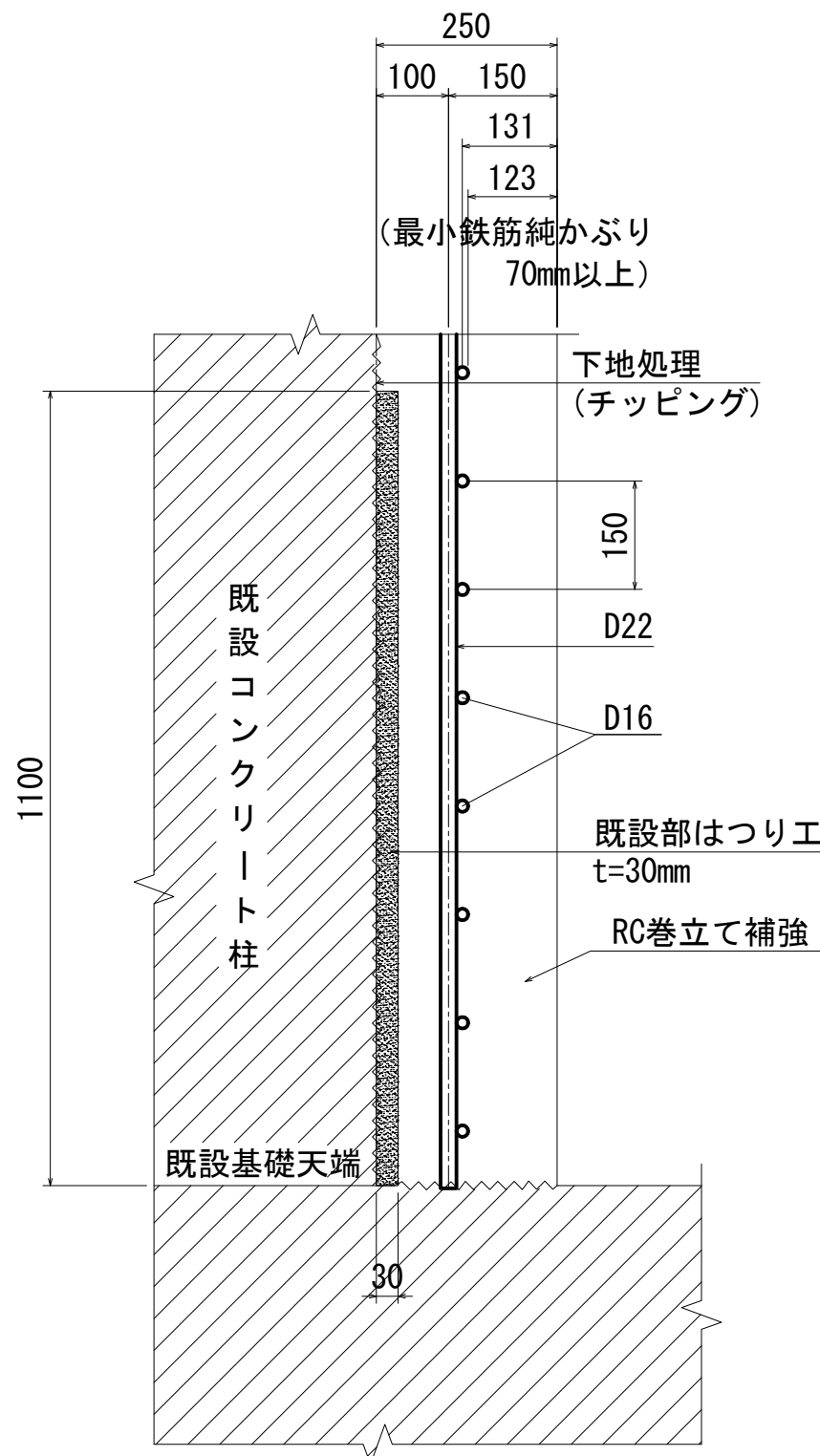


鉄筋表

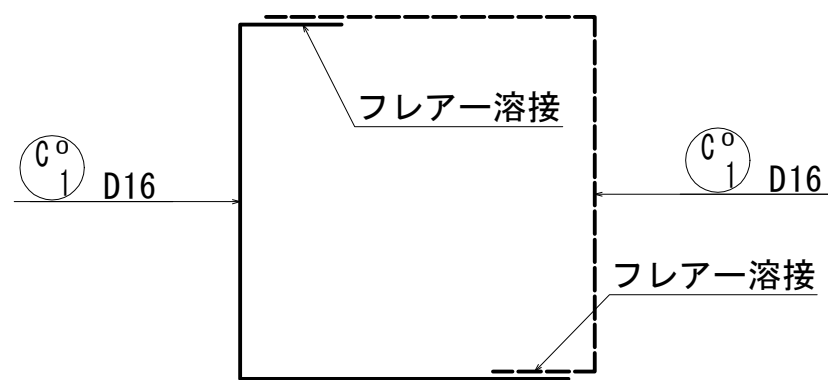
(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D22	2150	16	3.04	6.54	105	└
C° 1	D16	2080	30	1.56	3.24	97	└
						202 kg	
G 1	D13	370	8	0.995	0.37	3	└
						3 kg	
						D22	105 kg
						D16	97 kg
						D13	3 kg
						合計	205 kg
						フレアー溶接箇所数	(D16) 30 箇所
						フレアー溶接延長	(D16) 4.8 m

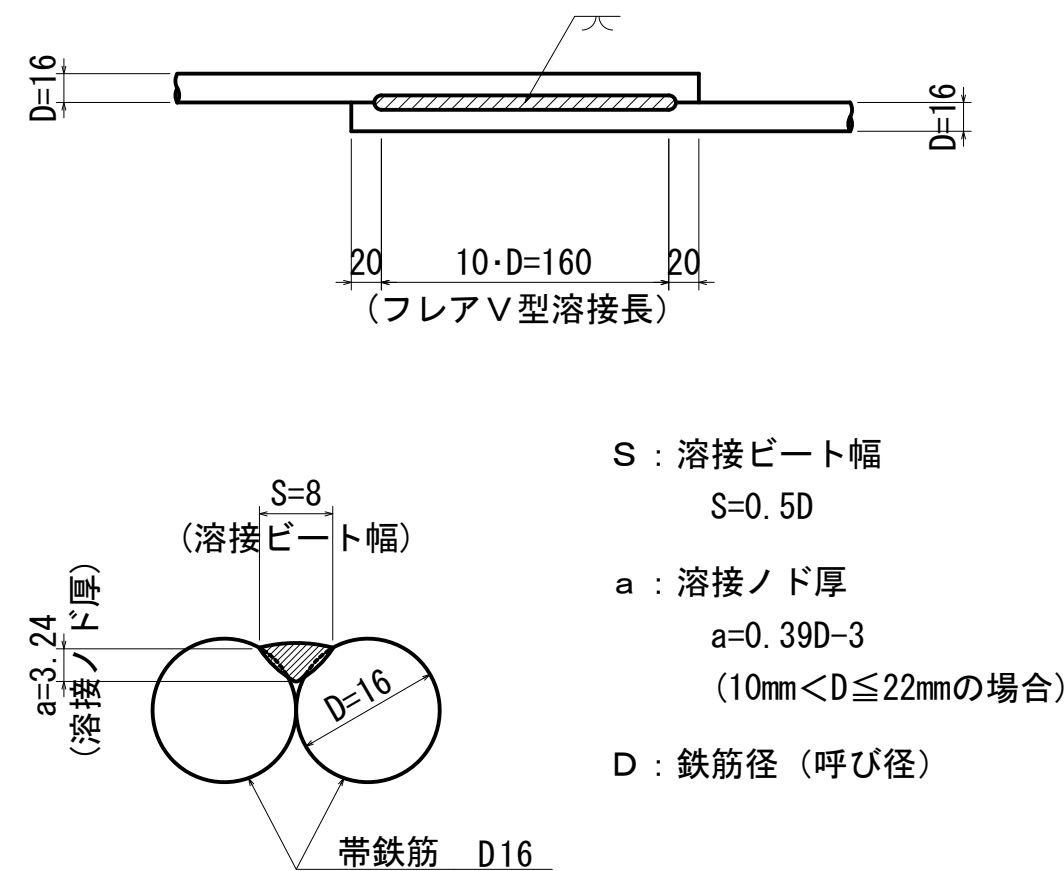
鉄筋かぶり詳細図 S=1:10



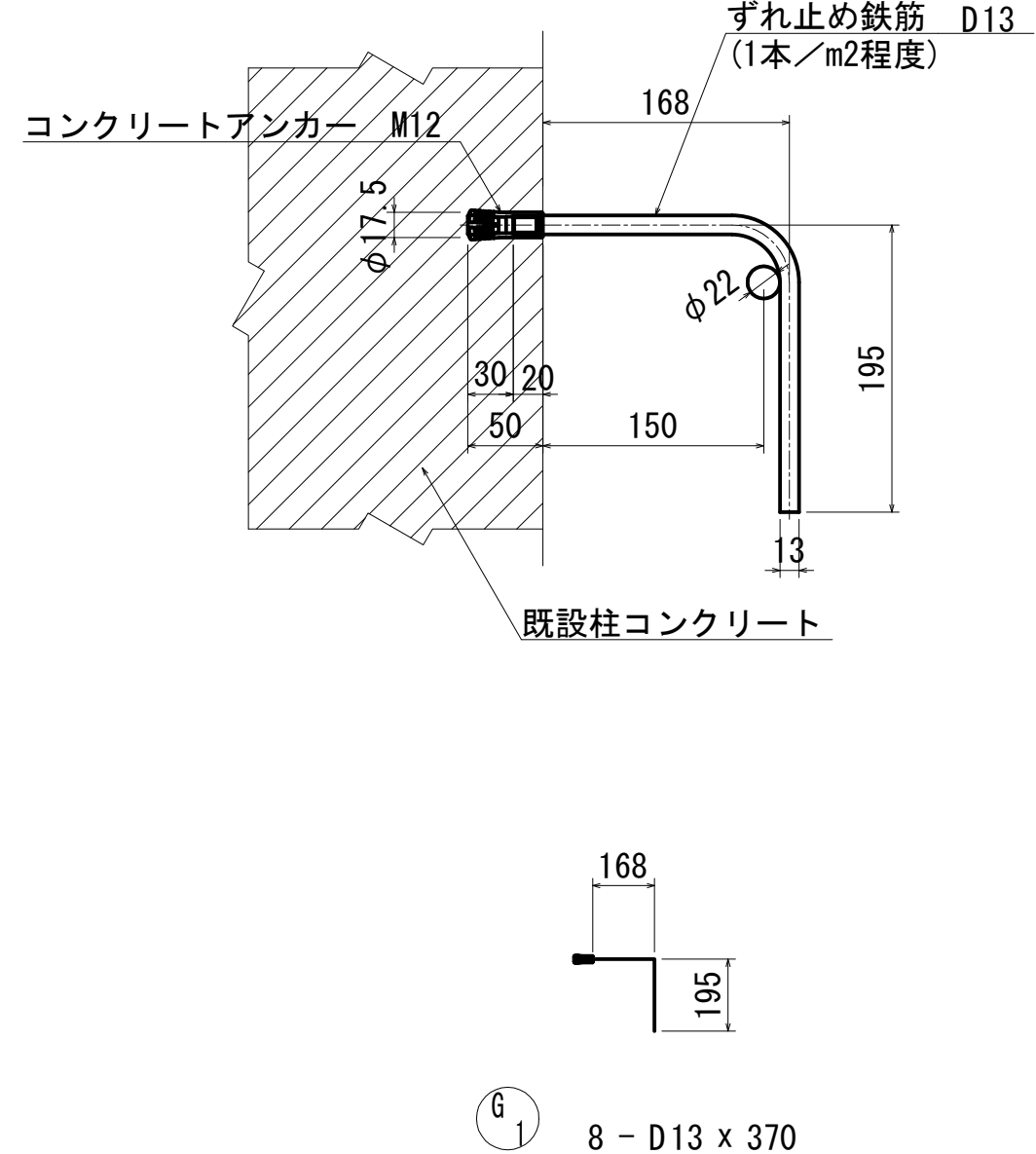
帯鉄筋組立図



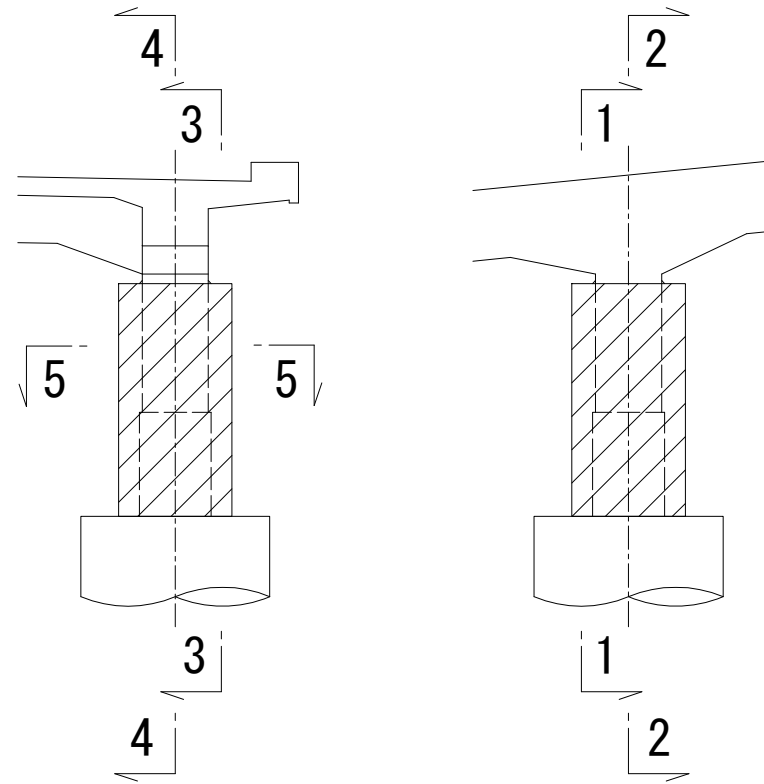
フレアー溶接詳細図 S=1:5



組立て用アンカー詳細図 S=1:5



位置図



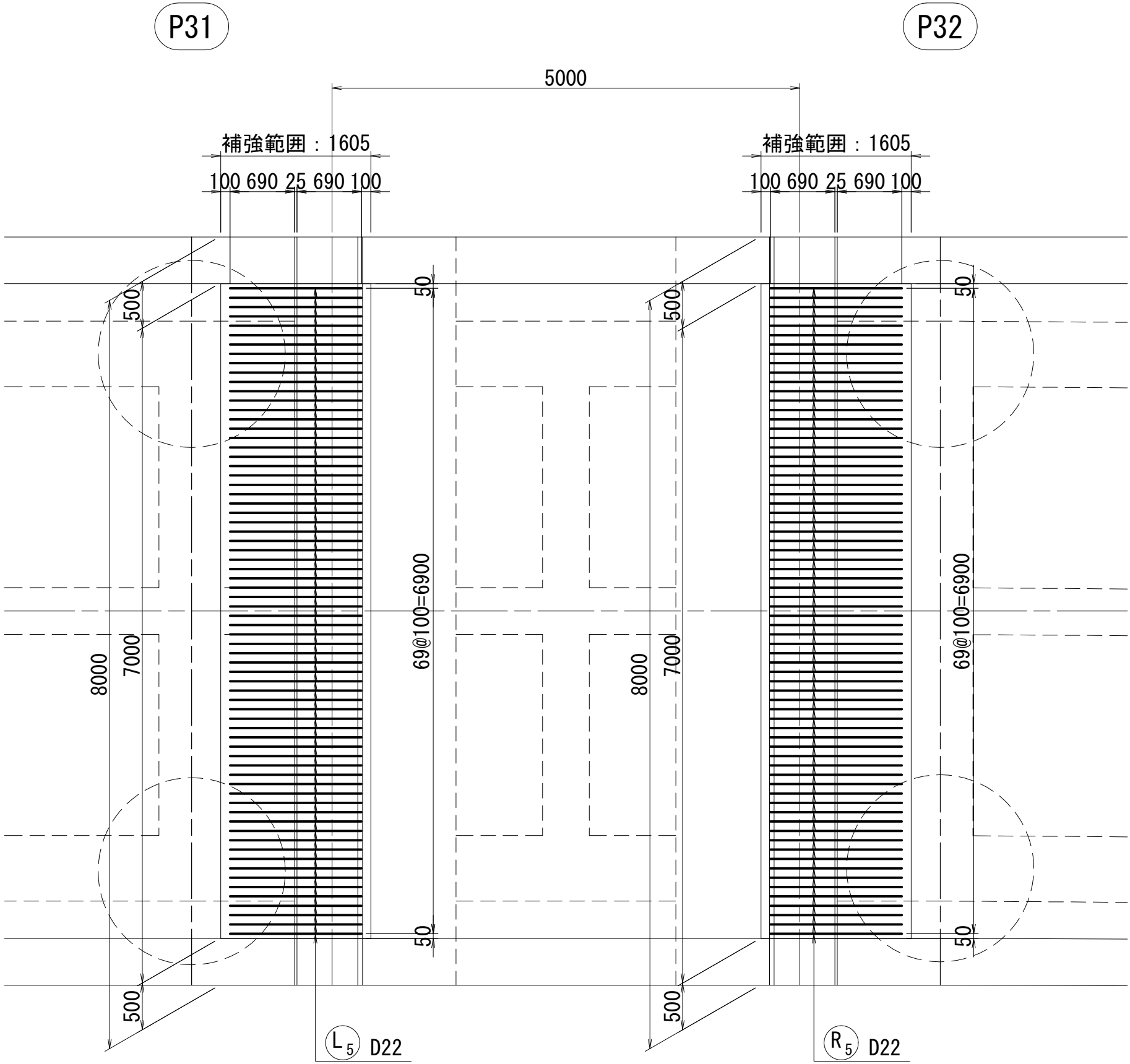
- 注 記 :
- 施工の際は現地検測の上、アンカー削孔位置を決定のこと。
 - 部は既設コンクリートを示す。
 - 隣り合う鉄筋の継手位置は、同じ位置にならないよう、千鳥に配置する。
 - 既設構造物の諸数値については、参考値とする。施工時には、測量を行い照査すること。

工事名	大阪北摂圏 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	P37橋脚補強配筋図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	78 / 94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

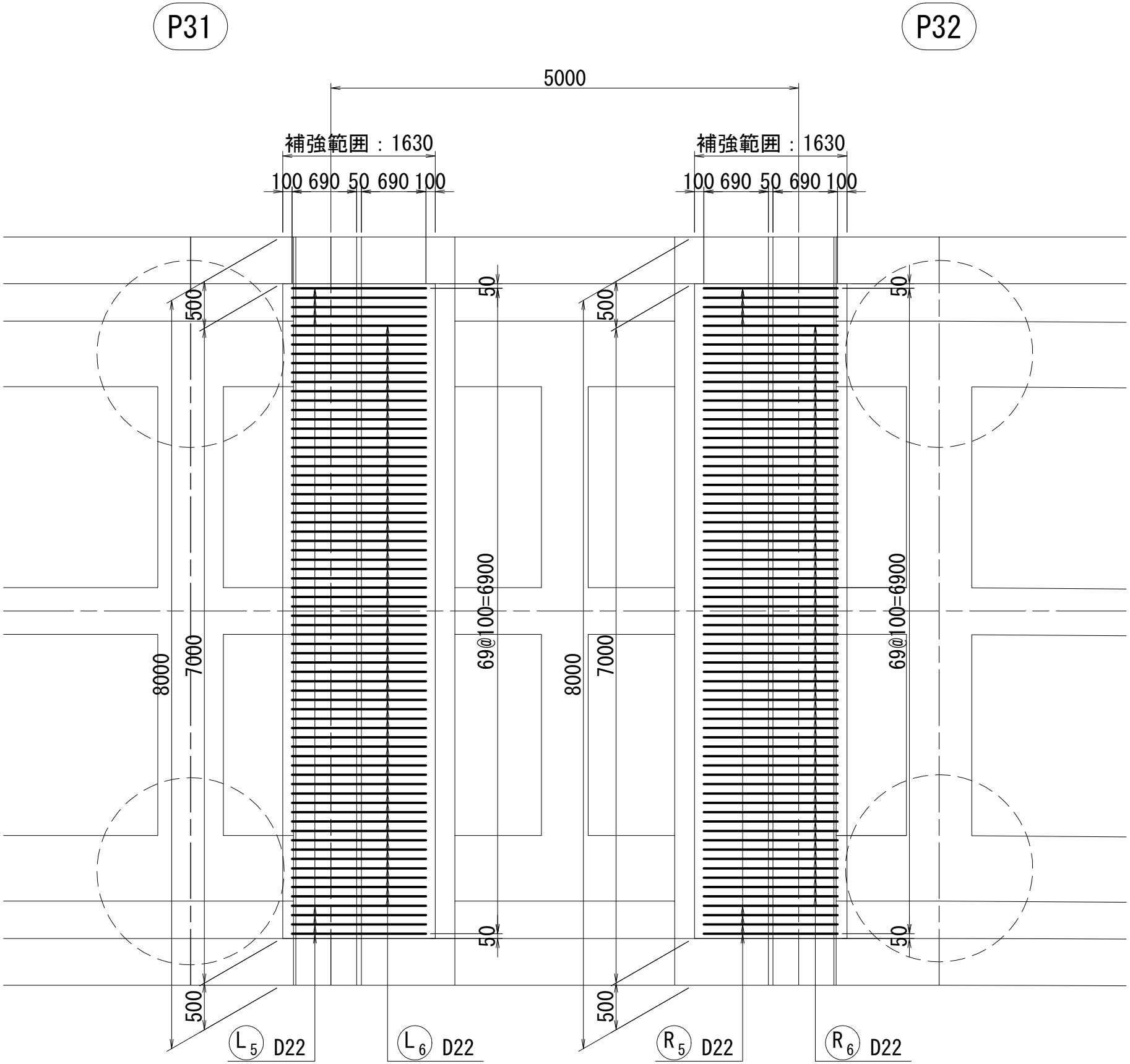
4号橋 (P31～P32) ゲルバー部補強図(その1) S=1:50

断面図

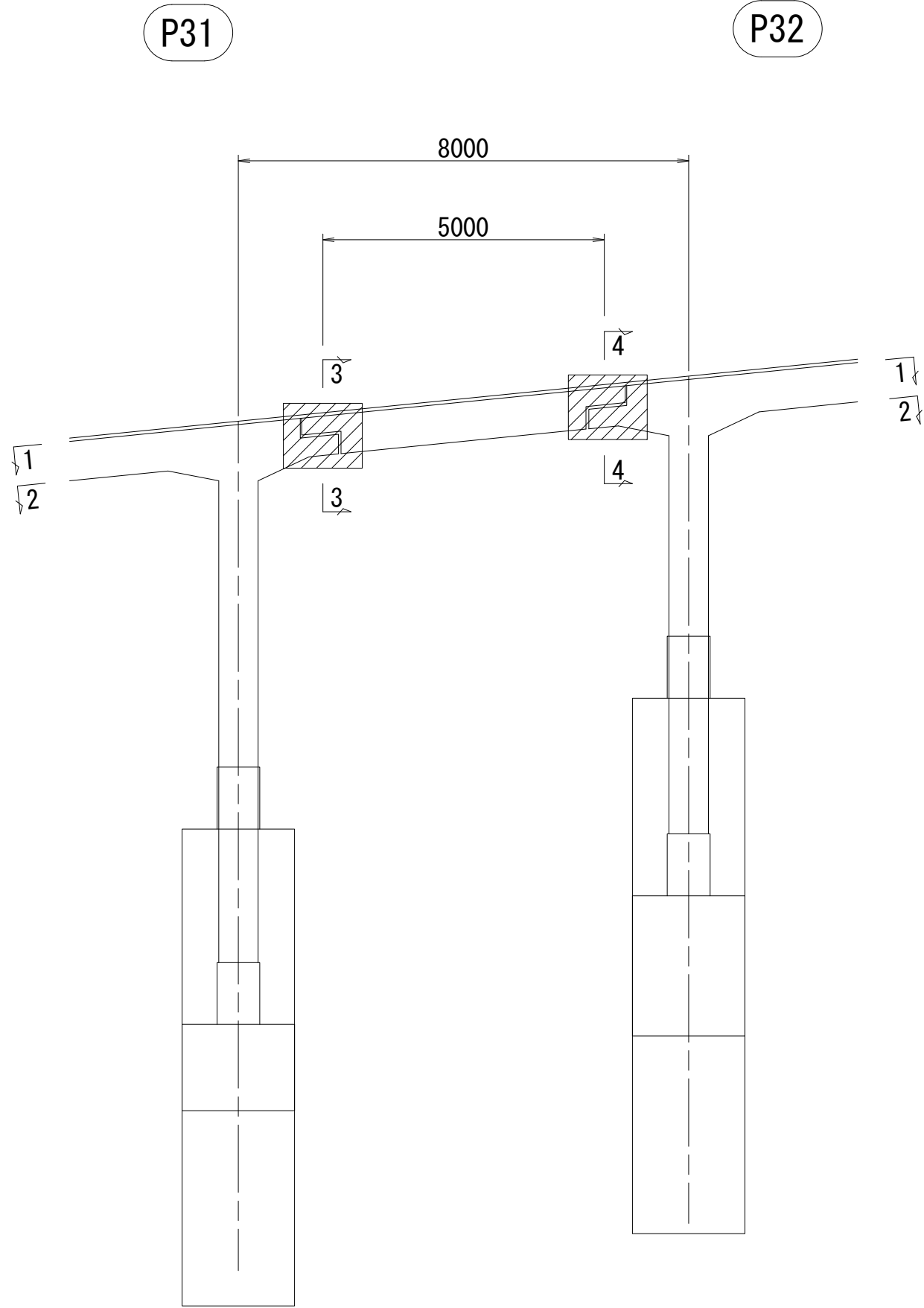
1 - 1
(床版上面)



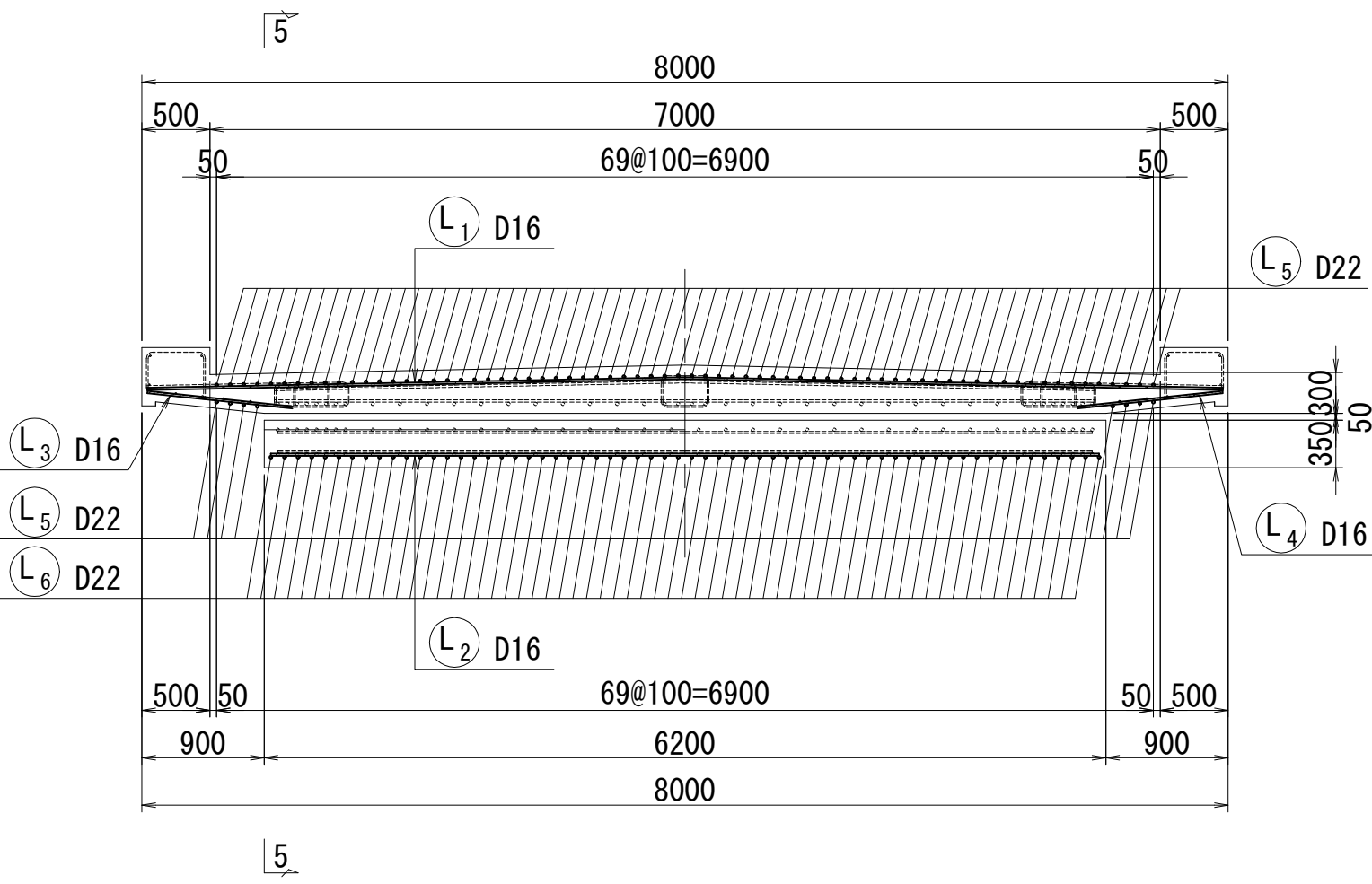
2 - 2
(床版下面)



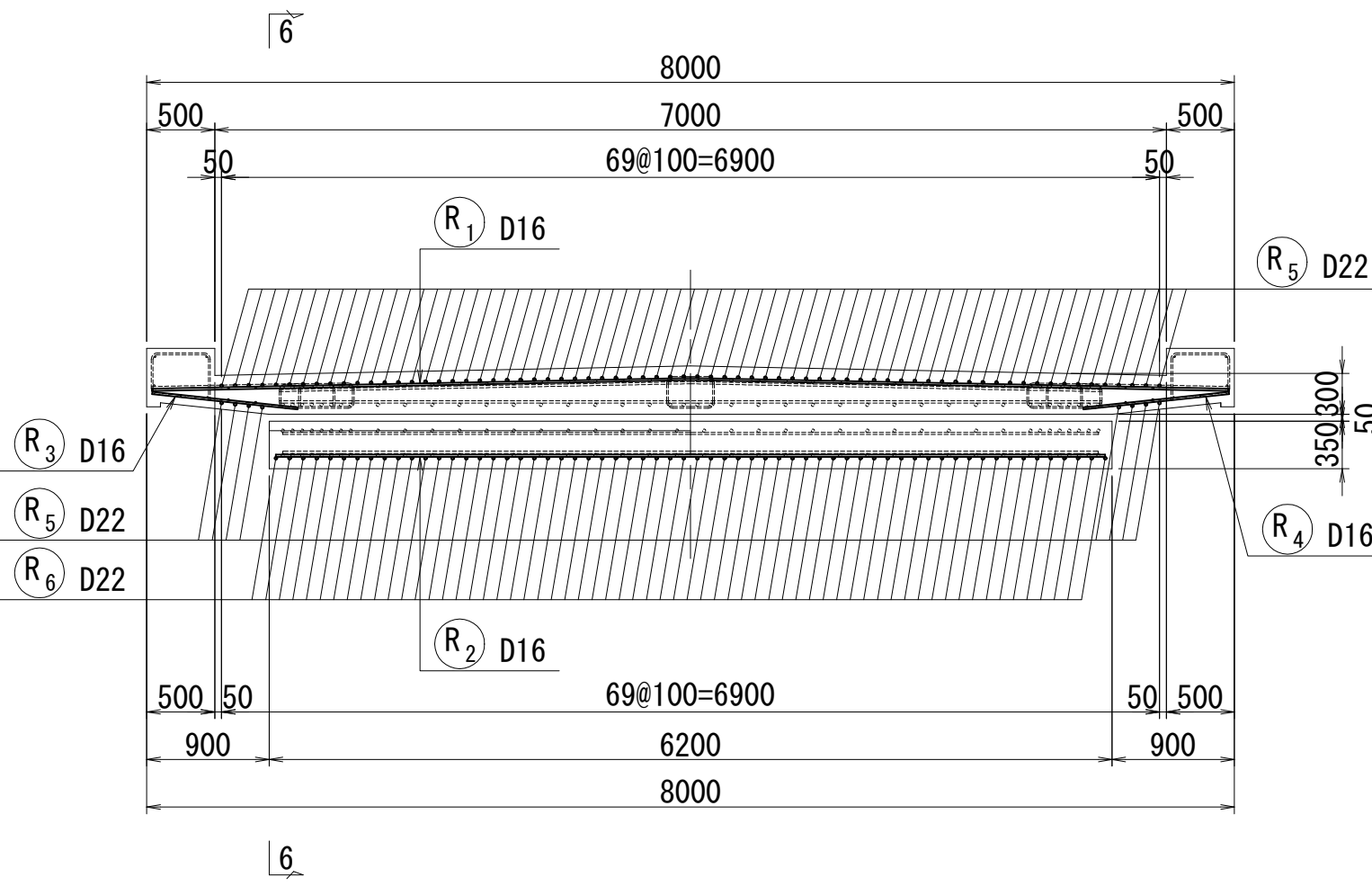
位置図



3 - 3



4 - 4

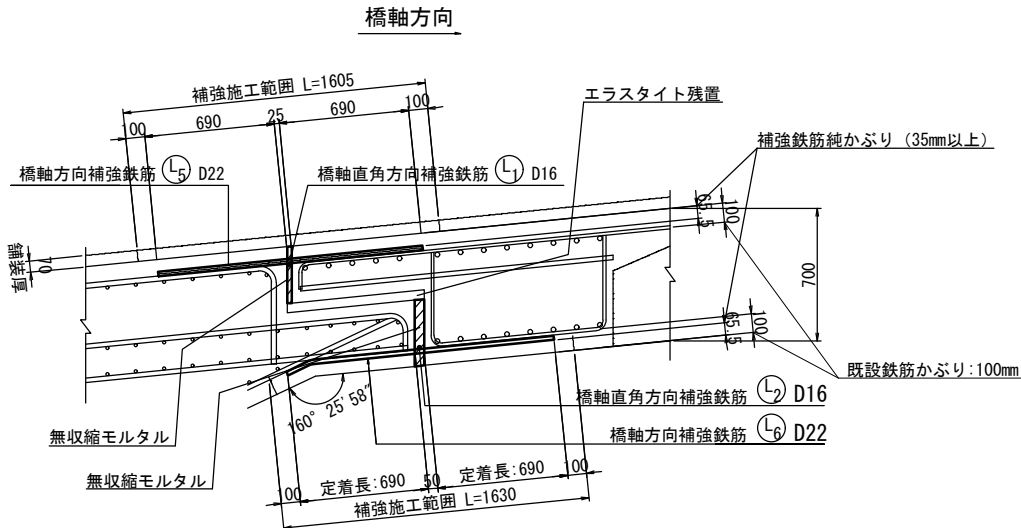


※既設鉄筋かぶり (t=100mm) は、過年度工事実績より想定している

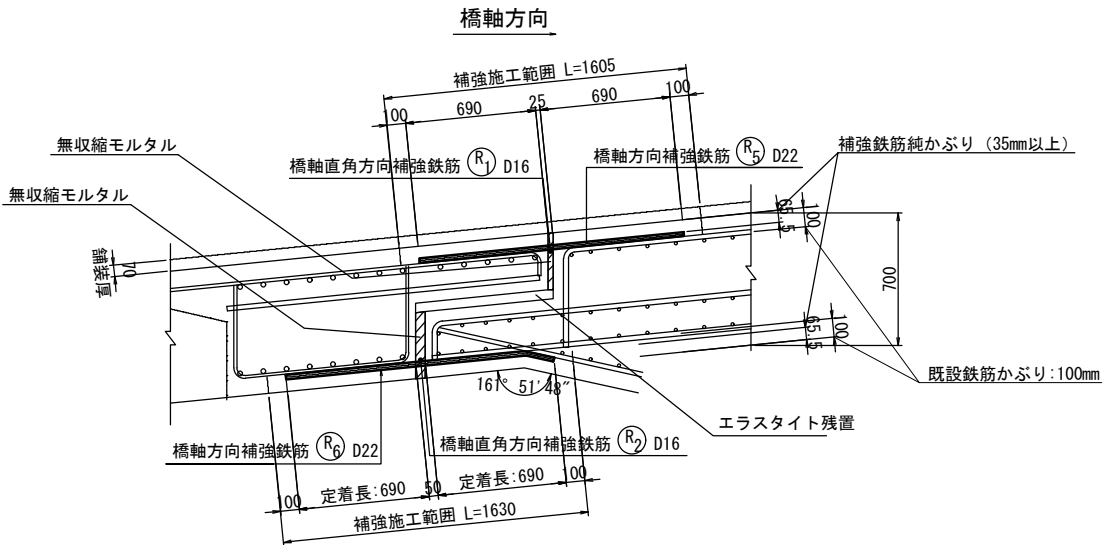
工事名	大阪北摂圏 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 (P31～P32)ゲルバー部補強図(その1)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	79/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 (P31~P32) ゲルバー部補強図(その2) S=1:50

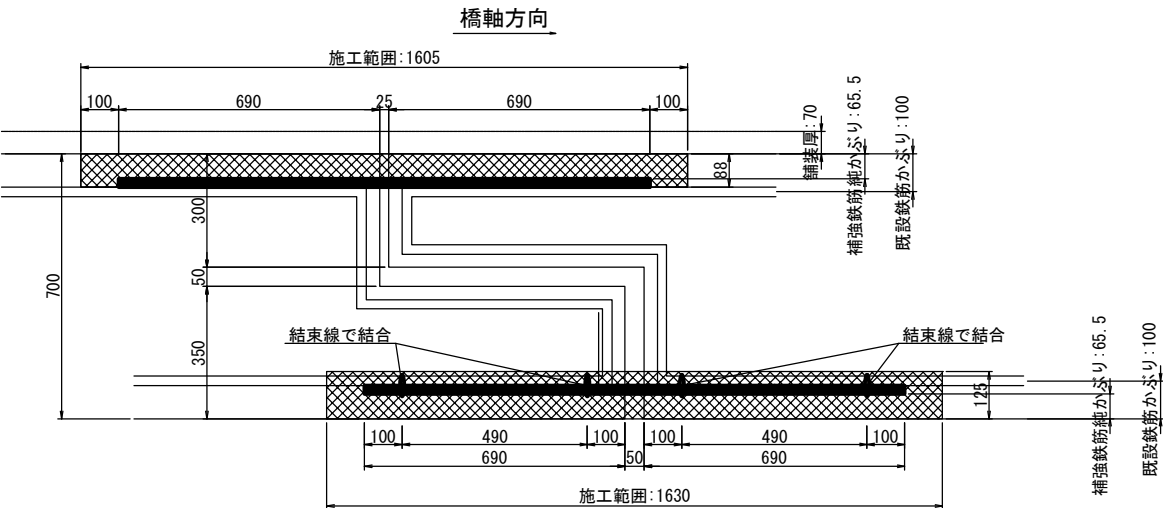
5-5 S=1:20
(かぶり詳細図 ゲルバー部 (P31側))



6-6 S=1:20
(かぶり詳細図 ゲルバー部 (P32側))

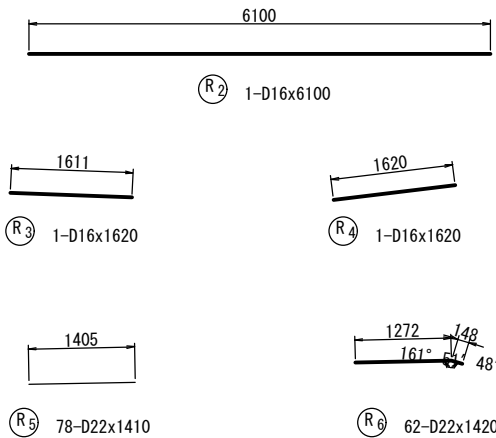
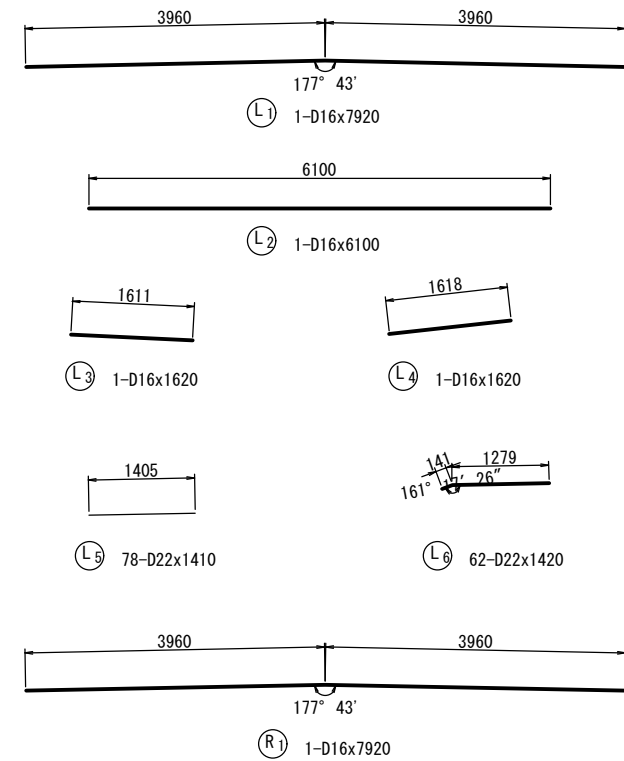
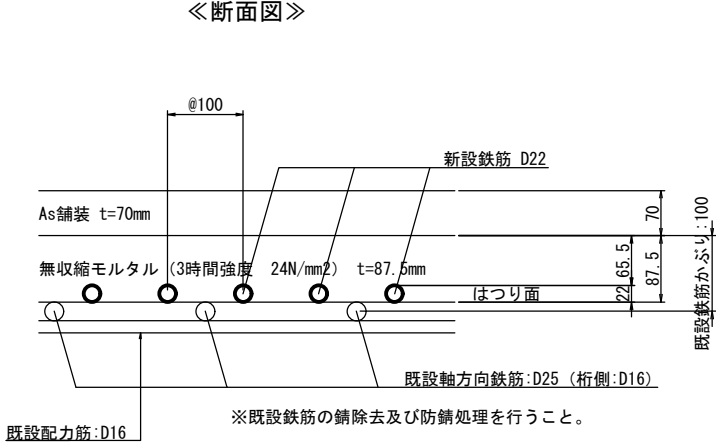


施工要領 側面図 (参考) S=1:10

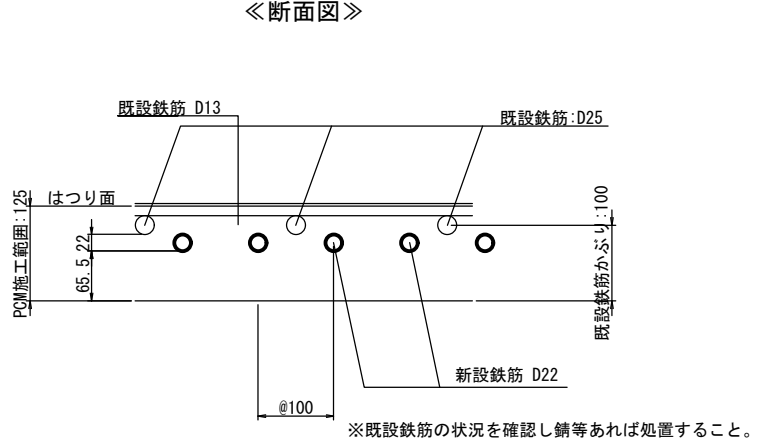


※上面の施工深さは、既設主鉄筋の純かぶり厚程度とする。
下面の施工深さは、既設主鉄筋裏側に結束線が設置できる範囲とする。
既設主鉄筋のかぶりは、1～3号橋の施工状況より推定している。
ゲルバー部に段差が生じている場合は、かぶりコンクリート厚を調整すること。

床版上面鉄筋かぶり詳細図 S=1:5



床版下面鉄筋かぶり詳細図 S=1:5



鉄筋質量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1	D16	7920	1	1.56	12.36	12	—
2	"	6100	1	"	9.52	10	—
3	"	1620	1	"	2.53	3	"
4	"	1620	1	"	2.53	3	"
5	D22	1410	78	3.04	4.29	335	"
6	"	1420	62	"	4.32	268	—
631 kg							
R 1	D16	7920	1	1.56	12.36	12	—
2	"	6100	1	"	9.52	10	—
3	"	1620	1	"	2.53	3	"
4	"	1620	1	"	2.53	3	"
5	D22	1410	78	3.04	4.29	335	"
6	"	1420	62	"	4.32	268	—
631 kg							
鉄筋質量集計							
		鉄筋径	P31側	P32側	総質量		
		D22	603 kg	603 kg	1206 kg		
		D16	28 kg	28 kg	56 kg		
		合計	631 kg	631 kg	1262 kg		

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 (P31~P32)ゲルバー部補強図(その2)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	80/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 (P34~P35) ゲルバー部補強図(その1) S=1:50

断面図

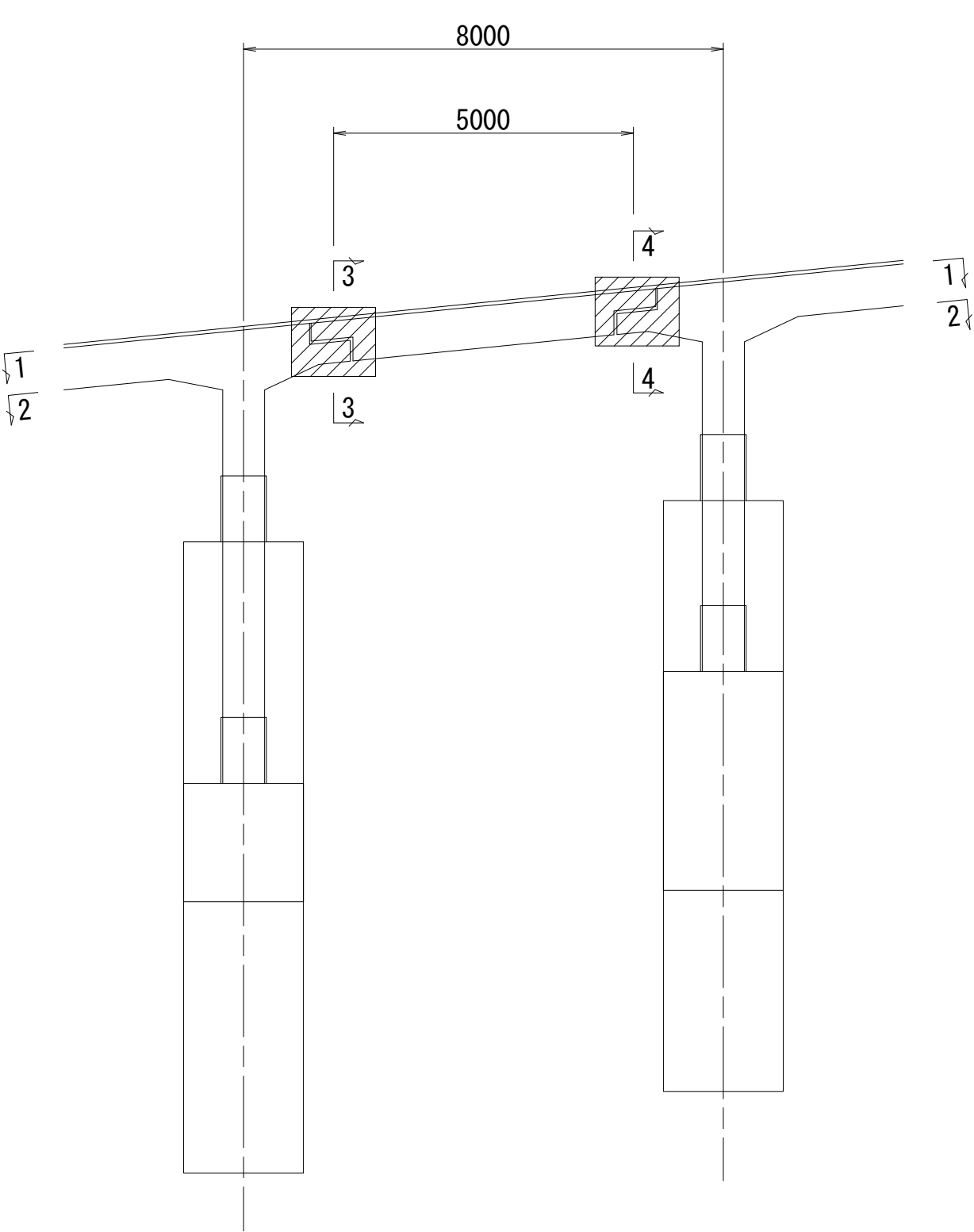
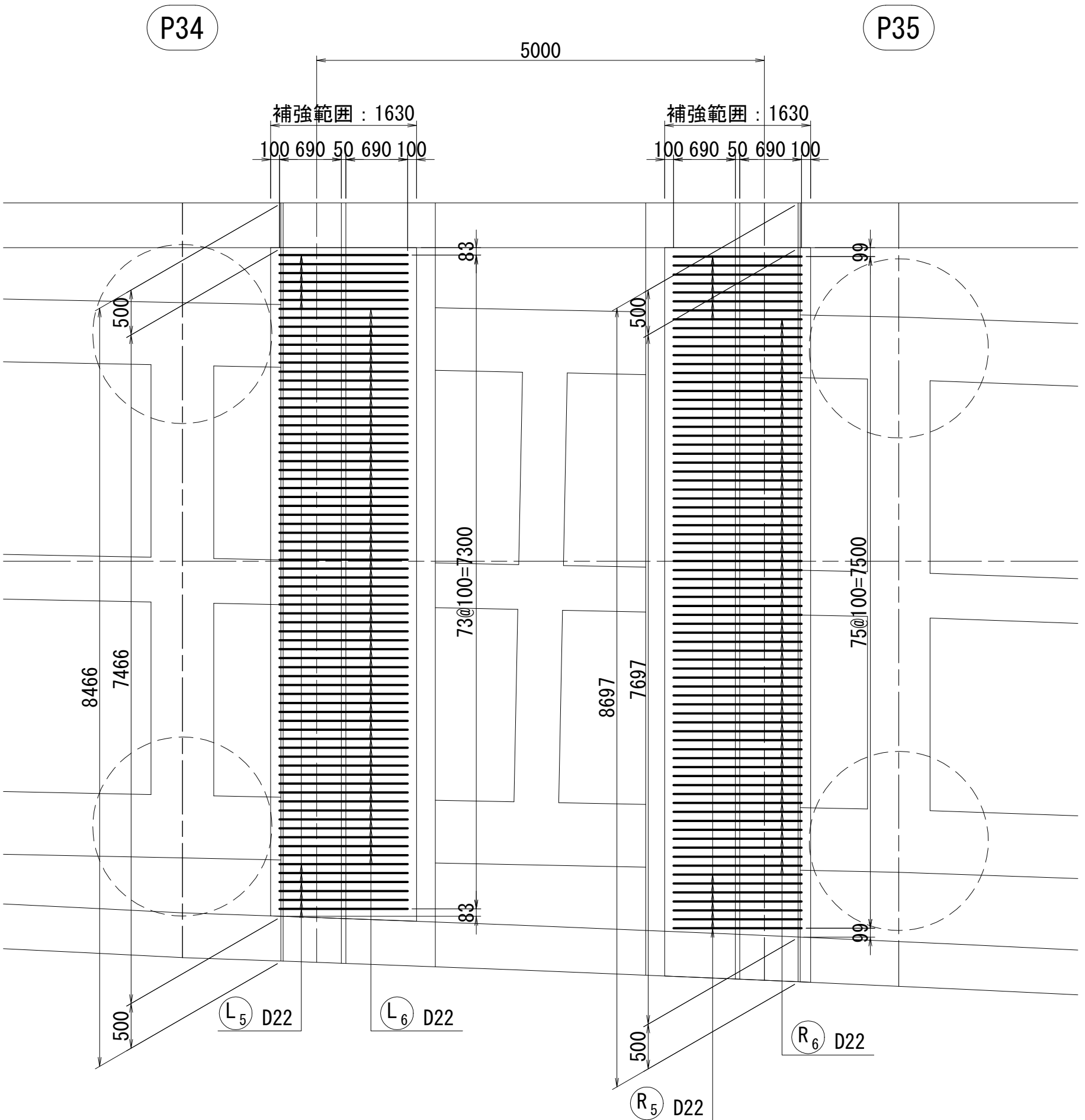
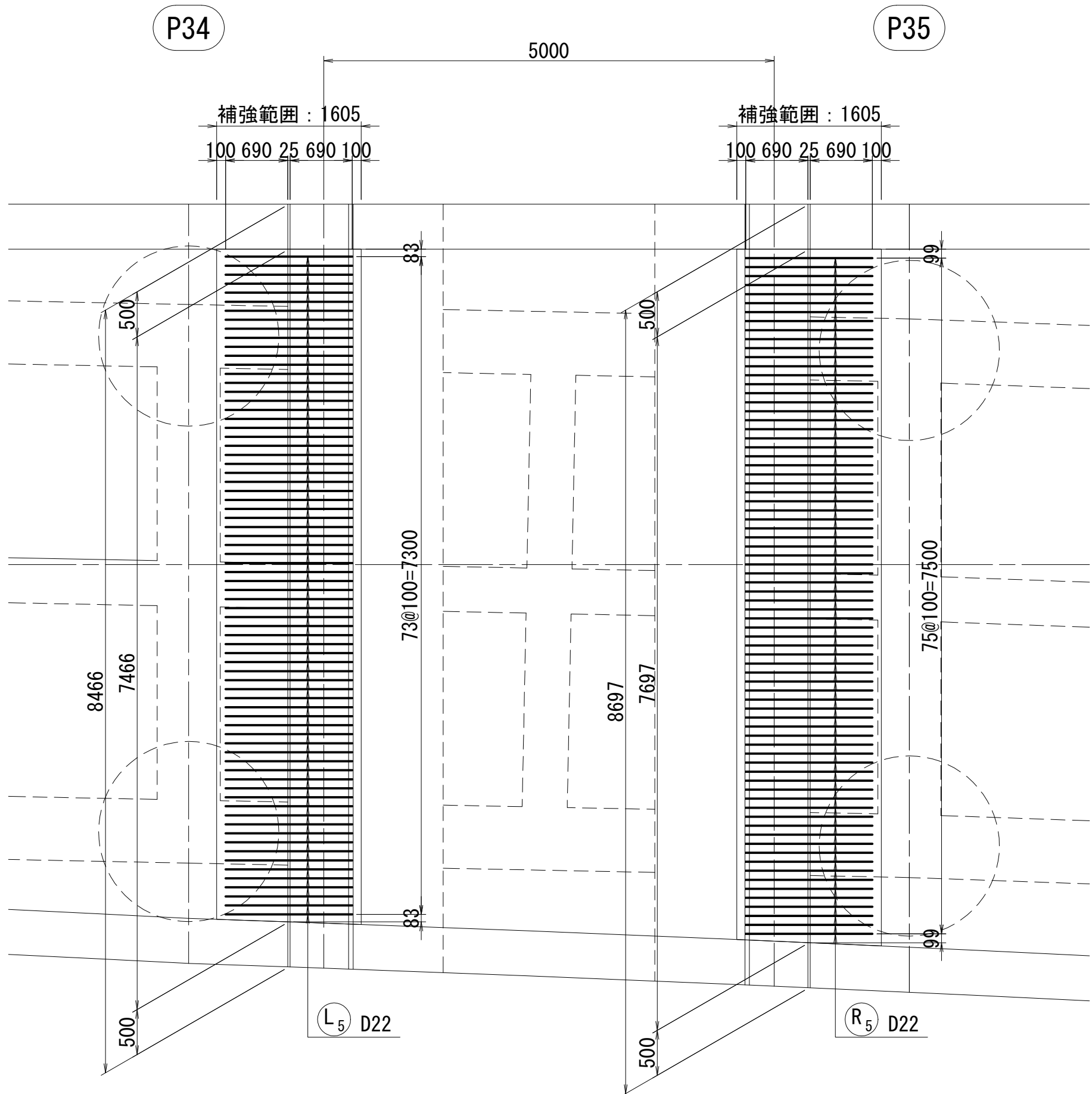
位置図

1 - 1
(床版上面)

2 - 2
(床版下面)

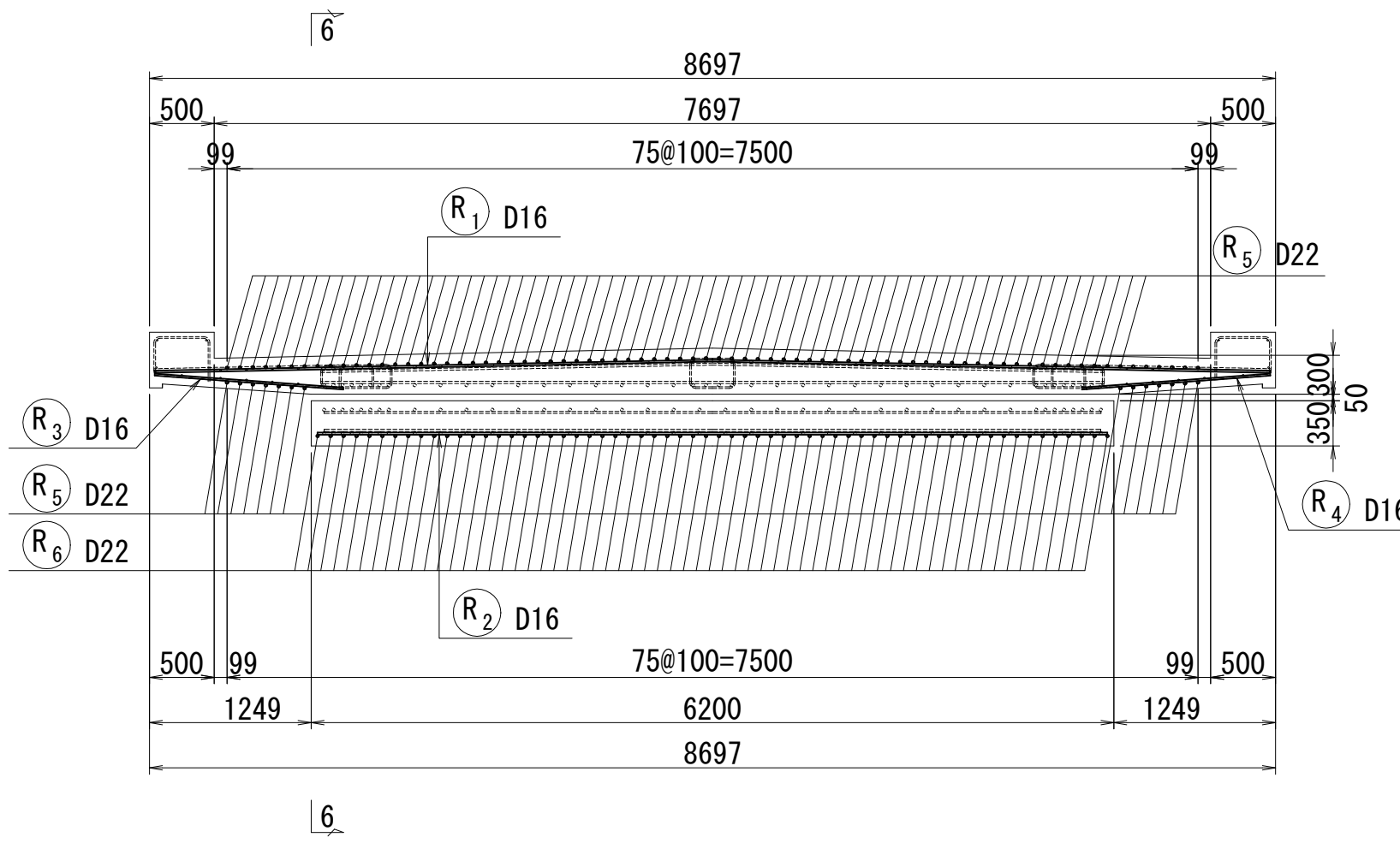
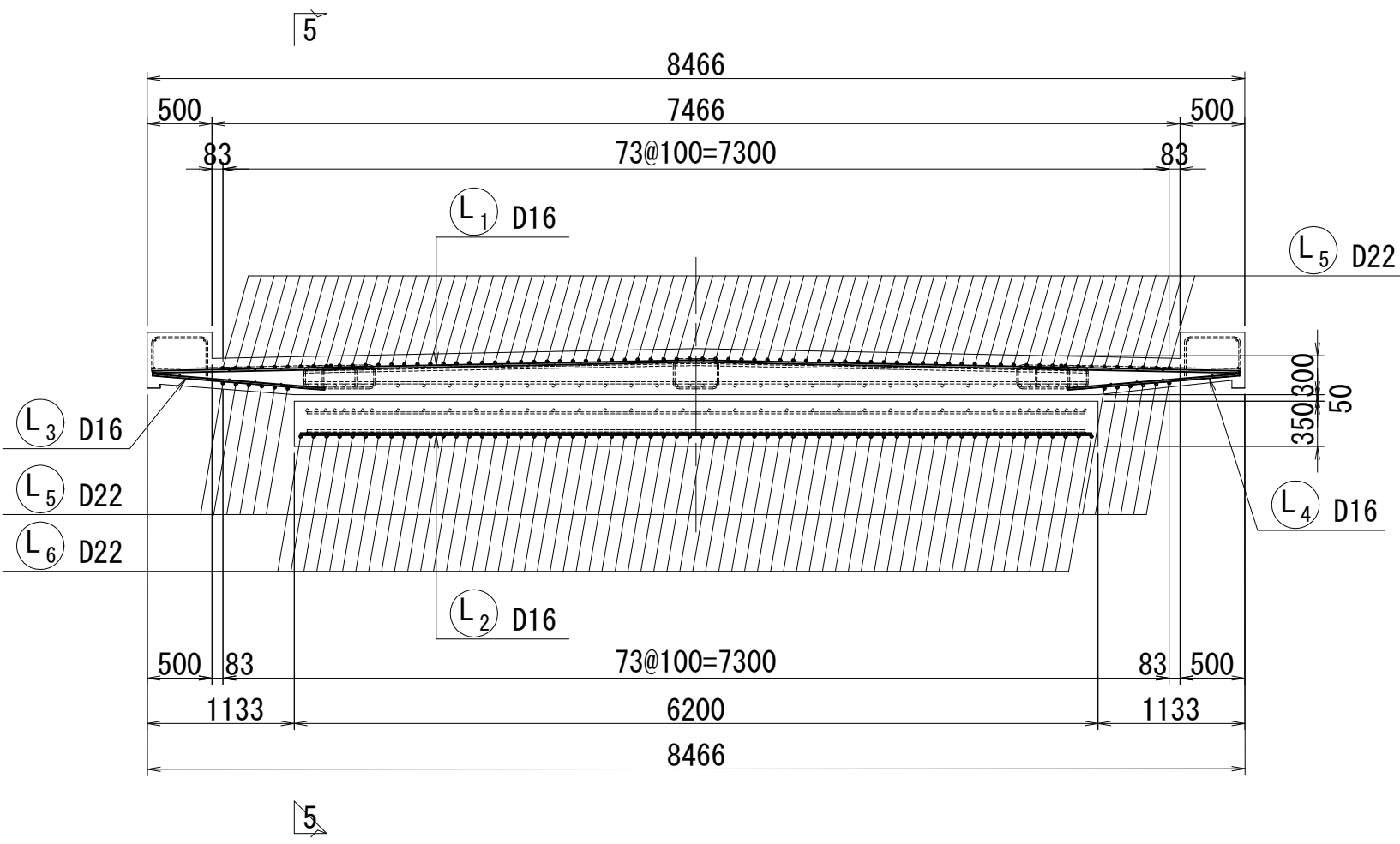
P34

P35



3 - 3

4 - 4

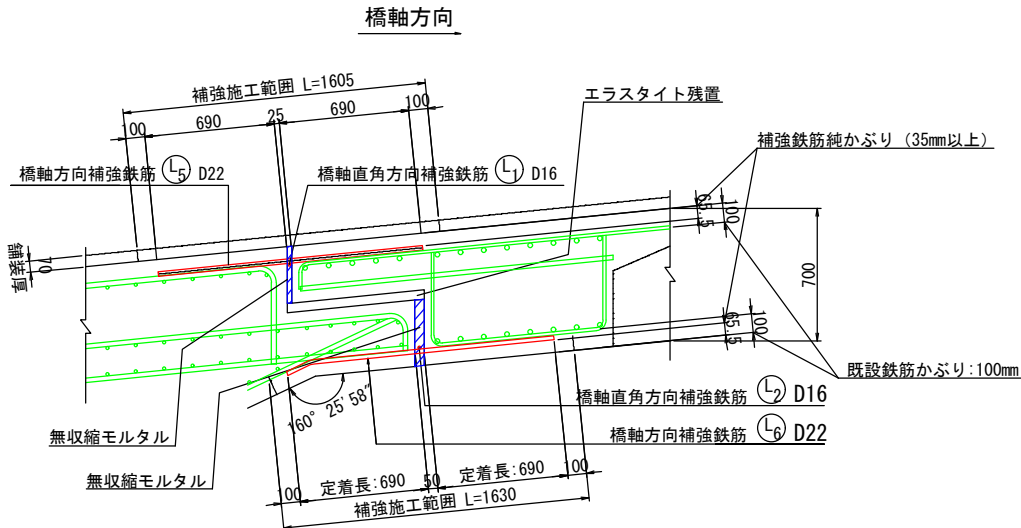


※既設鉄筋かぶり (t=100mm) は、過年度工事実績より想定している

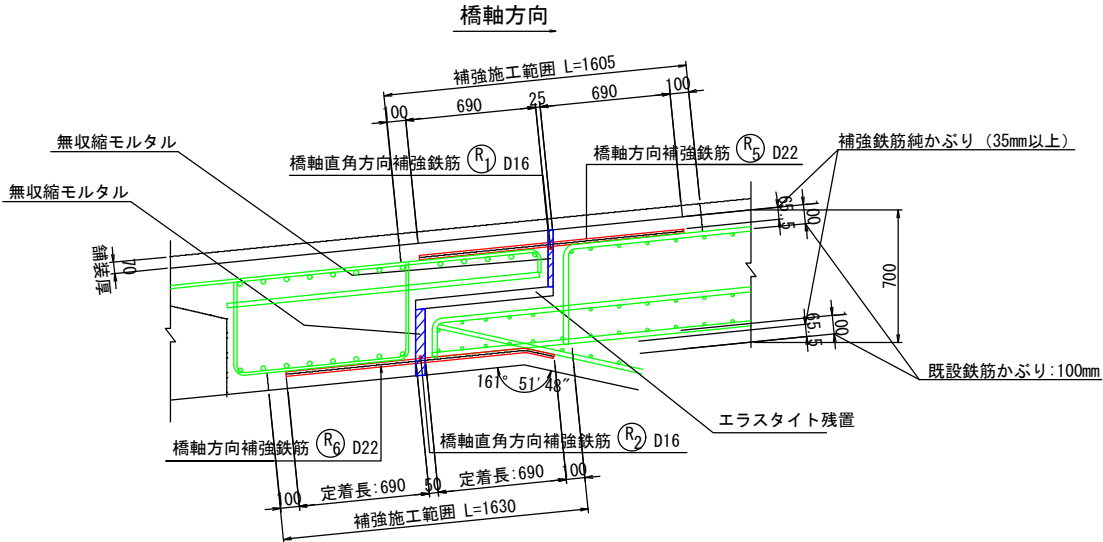
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 (P34~P35)ゲルバー部補強図(その1)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	81/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 (P34~P35) ゲルバー部補強図(その2) S=1:50

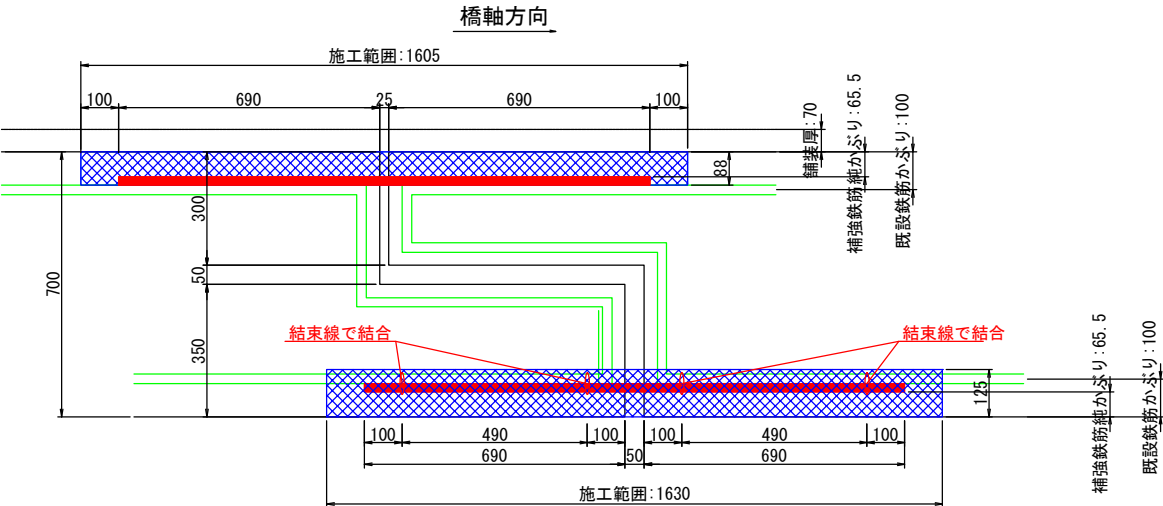
5-5 S=1:20
(かぶり詳細図 ゲルバー部 (P34側))



6-6 S=1:20
(かぶり詳細図 ゲルバー部 (P35側))

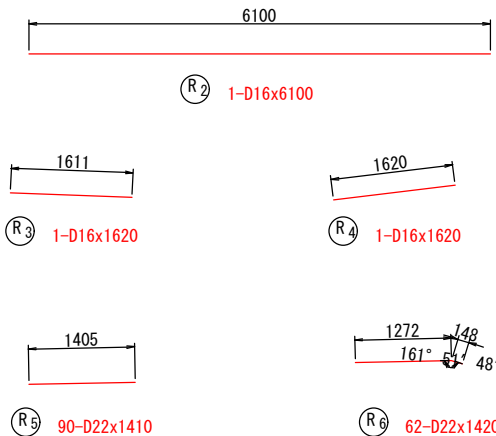
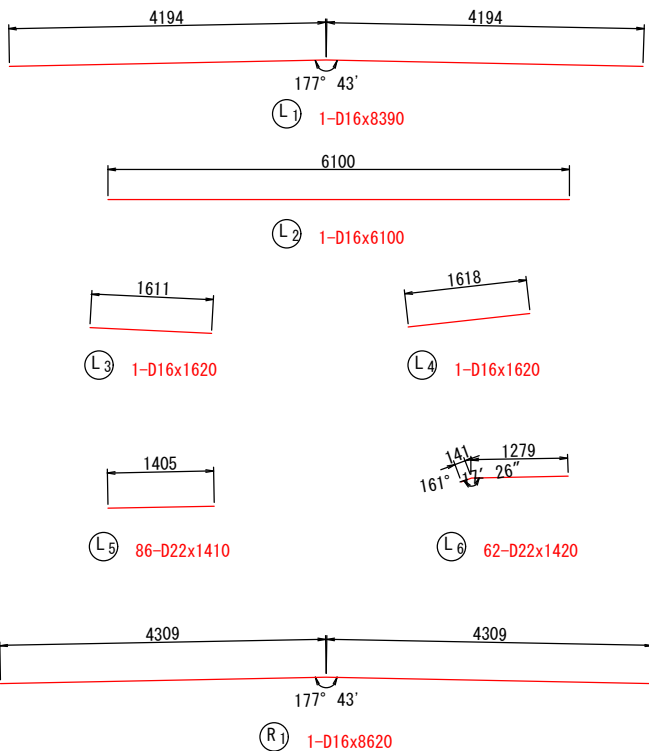
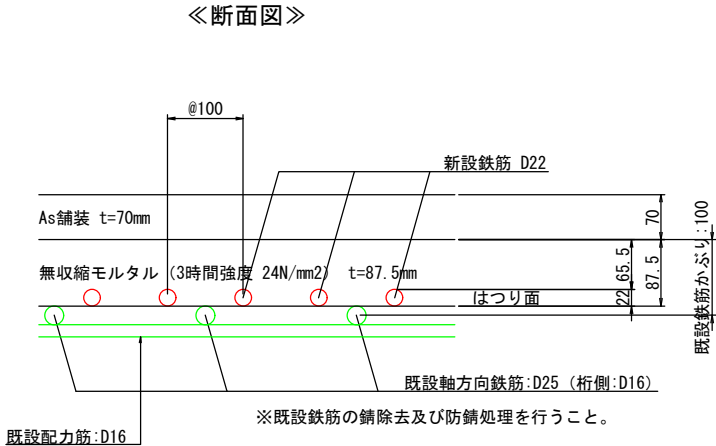


施工要領 側面図 (参考) S=1:10

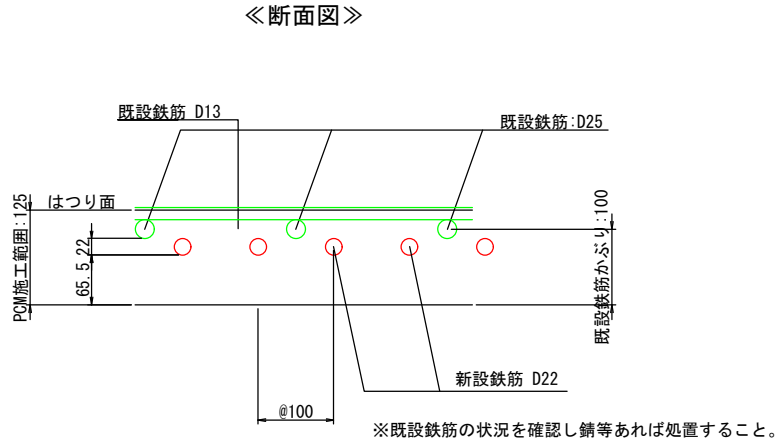


※上面の施工深さは、既設主鉄筋の純かぶり厚程度とする。
下面の施工深さは、既設主鉄筋裏側に結束線が設置できる範囲とする。
既設主鉄筋のかぶりは、1～3号橋の施工状況より推定している。
ゲルバー部に段差が生じている場合は、かぶりコンクリート厚を調整すること。

床版上面鉄筋かぶり詳細図 S=1:5



床版下面鉄筋かぶり詳細図 S=1:5

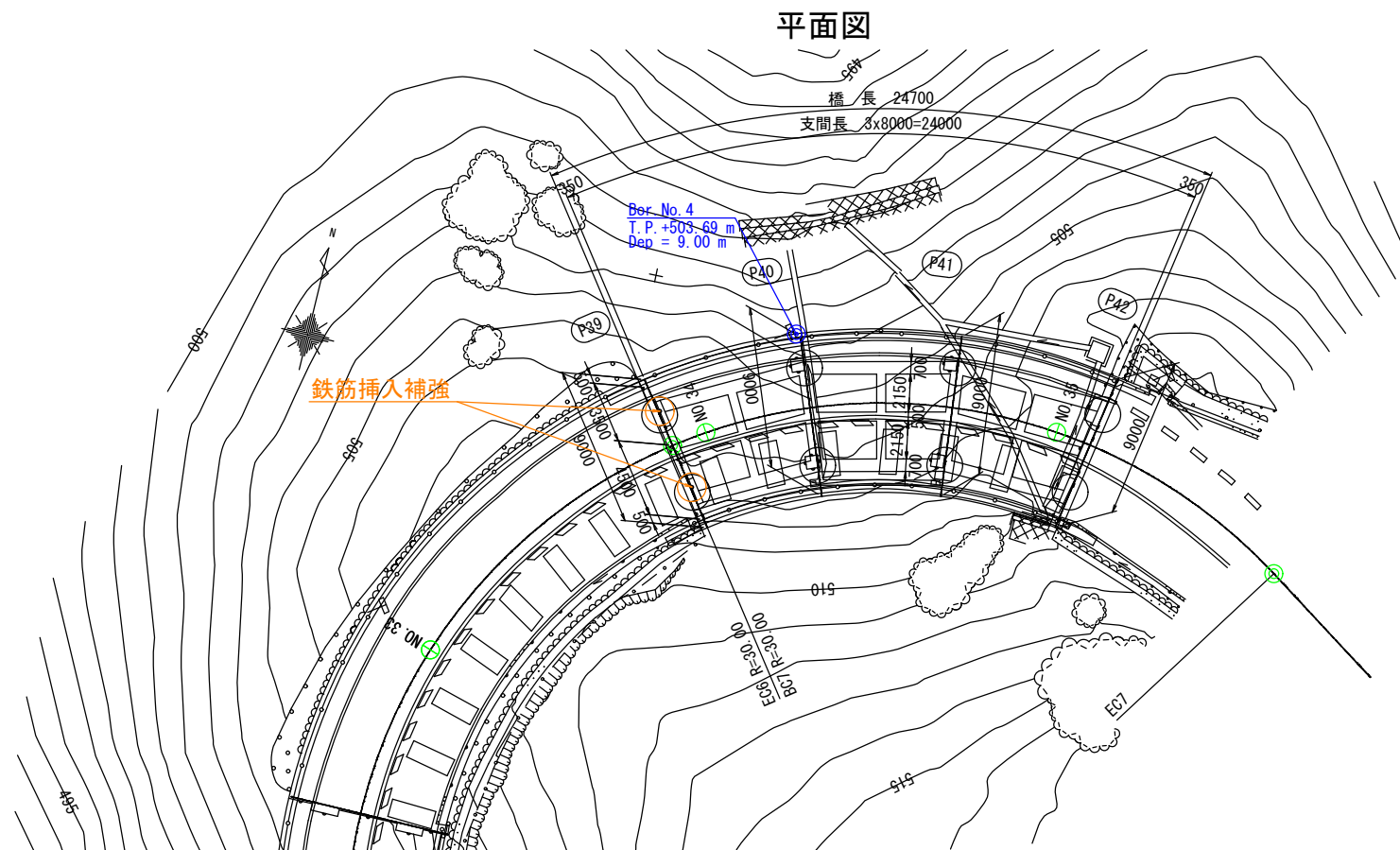
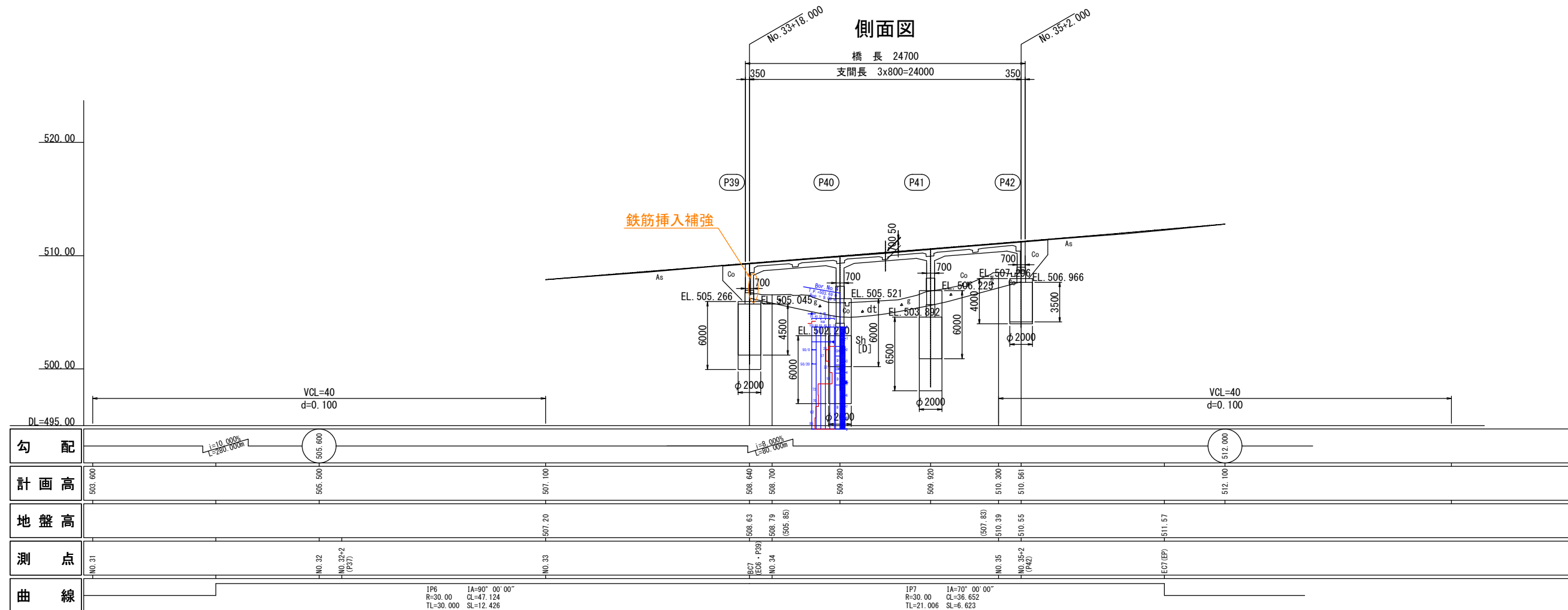


鉄筋質量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1	D16	8390	1	1.56	13.09	13	—
2	"	6100	1	"	9.52	10	—
3	"	1620	1	"	2.53	3	"
4	"	1620	1	"	2.53	3	"
5	D22	1410	86	3.04	4.29	369	"
6	"	1420	62	"	4.32	268	—
666 kg							
R 1	D16	8620	1	1.56	13.45	13	—
2	"	6100	1	"	9.52	10	—
3	"	1620	1	"	2.53	3	"
4	"	1620	1	"	2.53	3	"
5	D22	1410	90	3.04	4.29	386	"
6	"	1420	62	"	4.32	268	—
683 kg							
鉄筋質量集計							
		鉄筋径	P34側	P35側	総質量		
		D22	637 kg	654 kg	1291 kg		
		D16	29 kg	29 kg	58 kg		
		合計	666 kg	683 kg	1349 kg		

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 (P34~P35)ゲルバー部補強図(その2)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	82/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

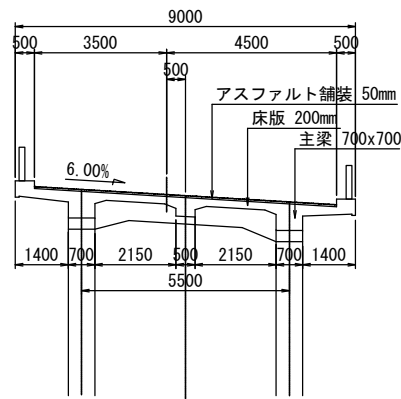
5号橋 耐震補強計画一般図 (その1) S=1:200



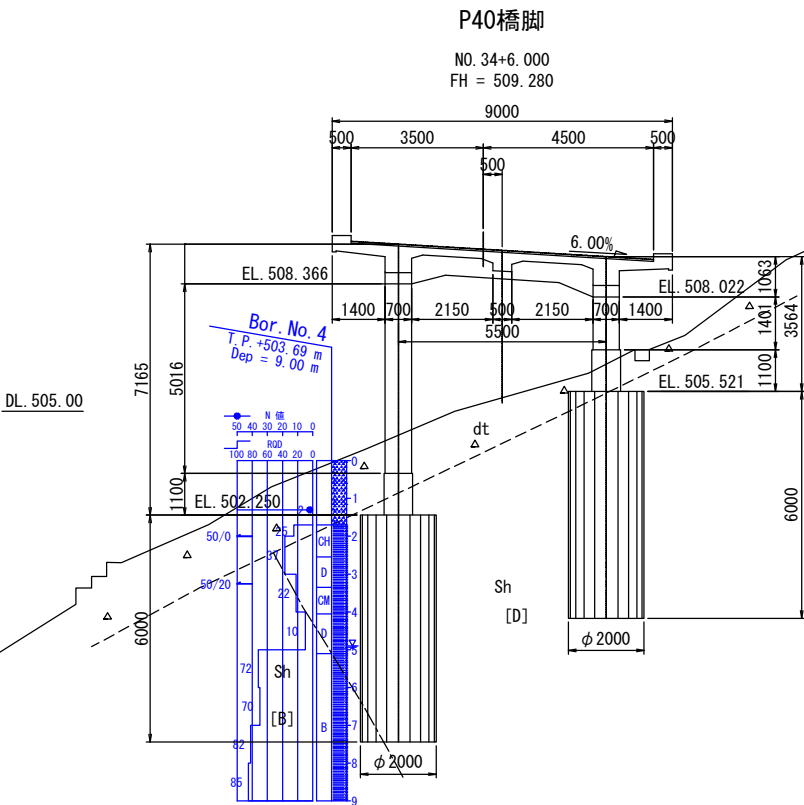
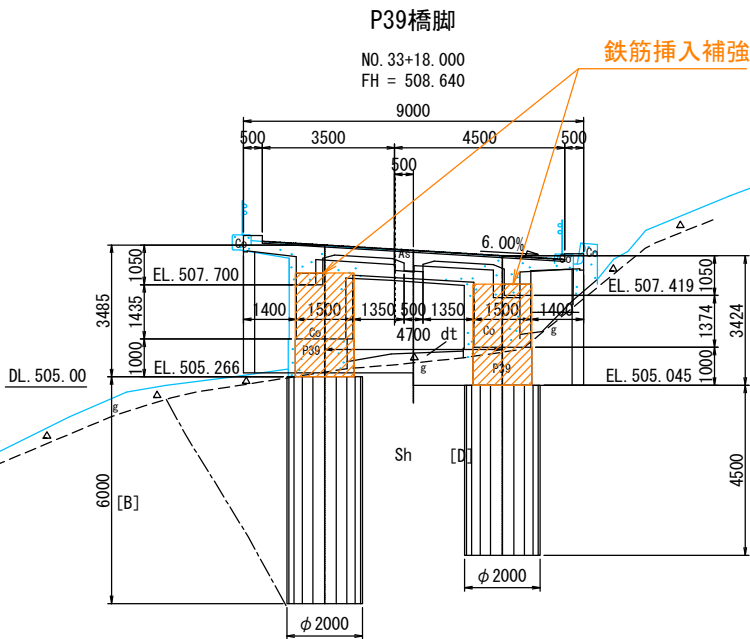
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 耐震補強計画一般図（その1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	83/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 耐震補強計画一般図（その2） S=1:100

標準断面図

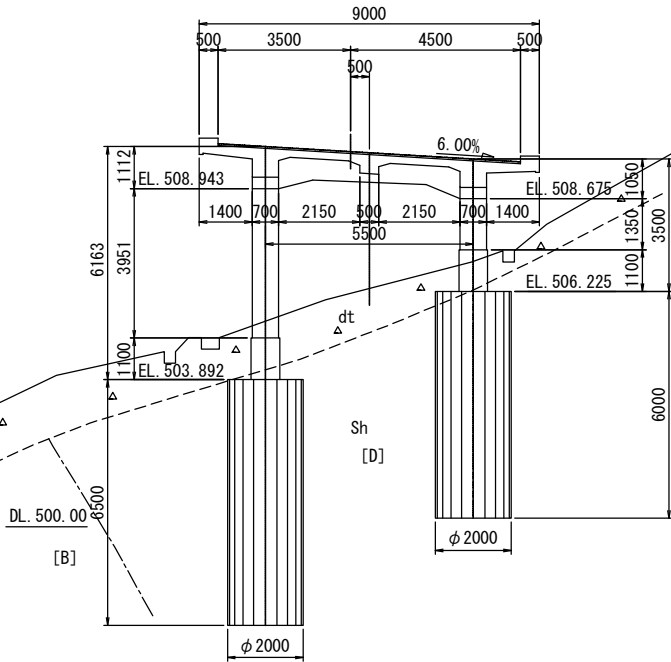


下部工断面図



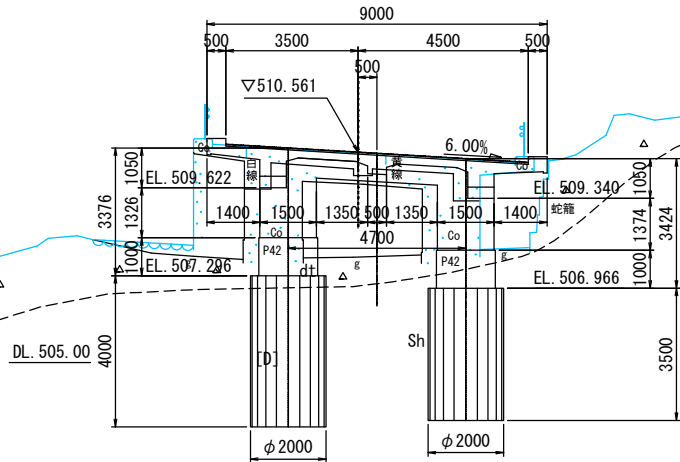
P41橋脚

NO. 34+14.000
FH = 509.920



P42橋脚

NO. 35+2.000
FH = 510.561



設計条件	
形式	3径間連続鉄筋コンクリートラーメン橋
活荷重	TL-20
橋長	24.7 m (道路中心線上)
支間長	3x8.0 m (道路中心線上)
有効幅員	8.0 m
横断勾配	6.00%
地震係数	Kh = 0.20 Kv = 0.10
コンクリート	上部工 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$
	下部工 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$
	深礎 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$
鉄筋	SD30
適用示方書	鉄筋コンクリート標準示方書 土木学会 鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 日本道路協会

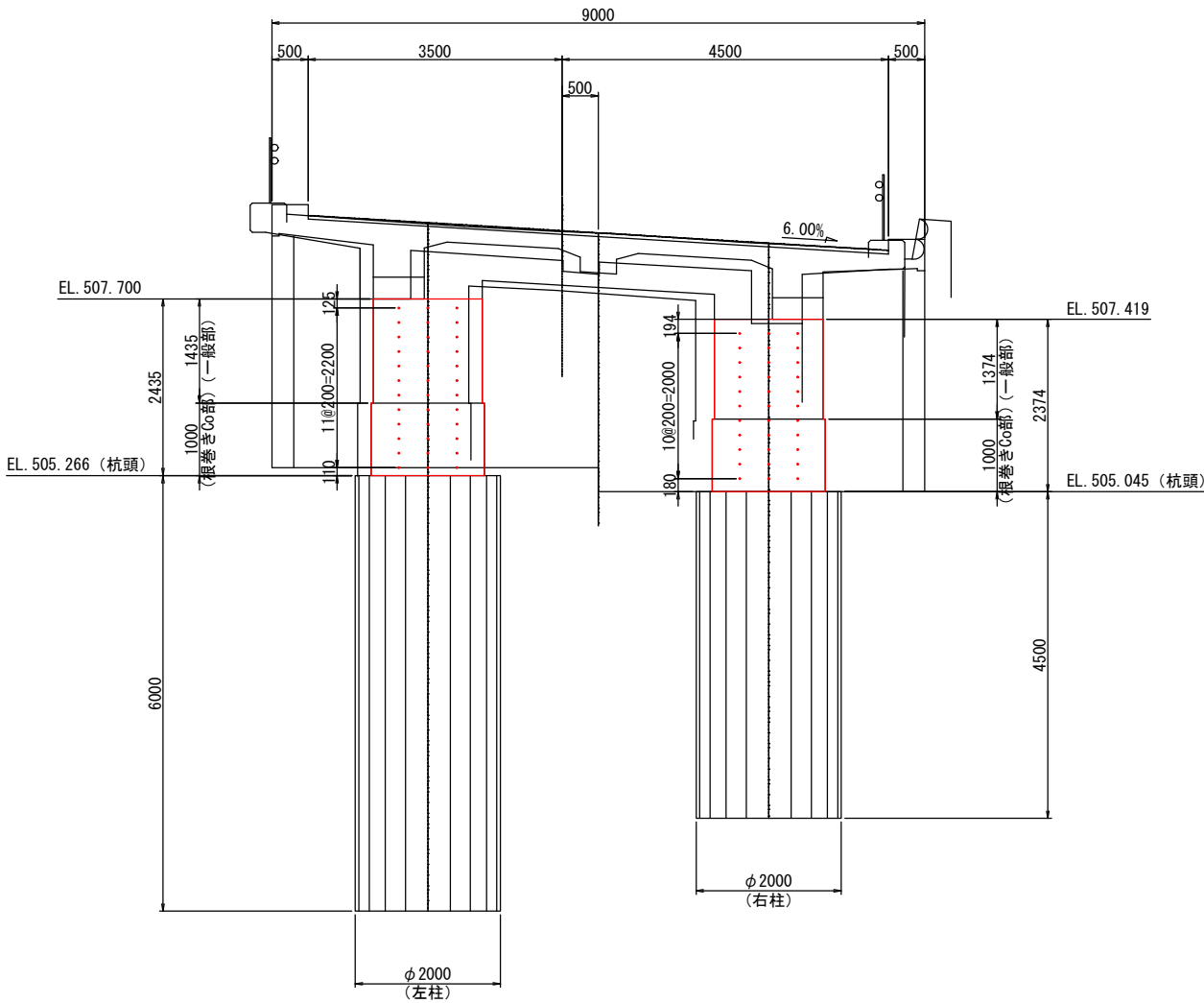
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 耐震補強計画一般図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	84/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 橋台耐震補強詳細図（その1）

S=1:50

適用範囲：P39橋脚（左柱及び右柱）

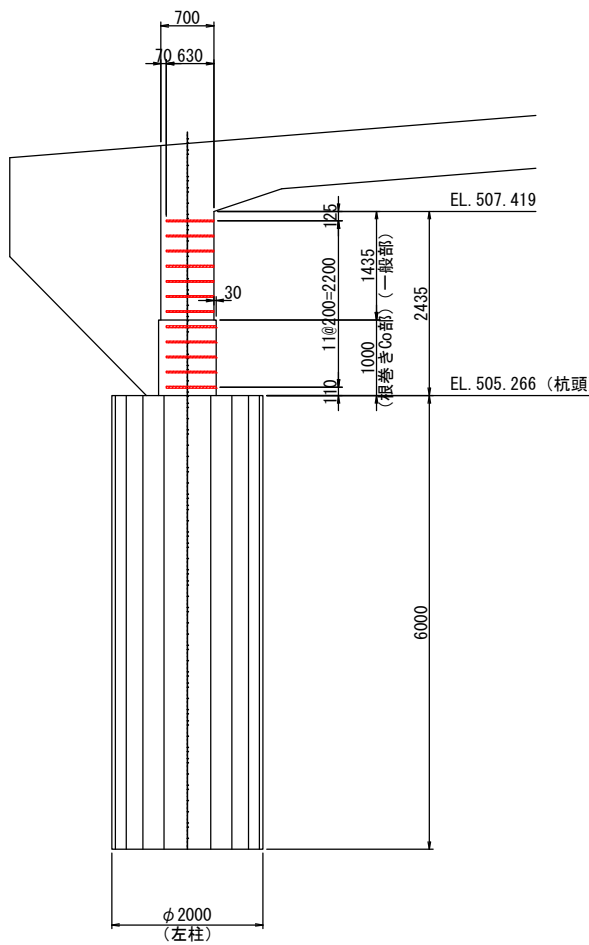
正面図



断面図（一般部）

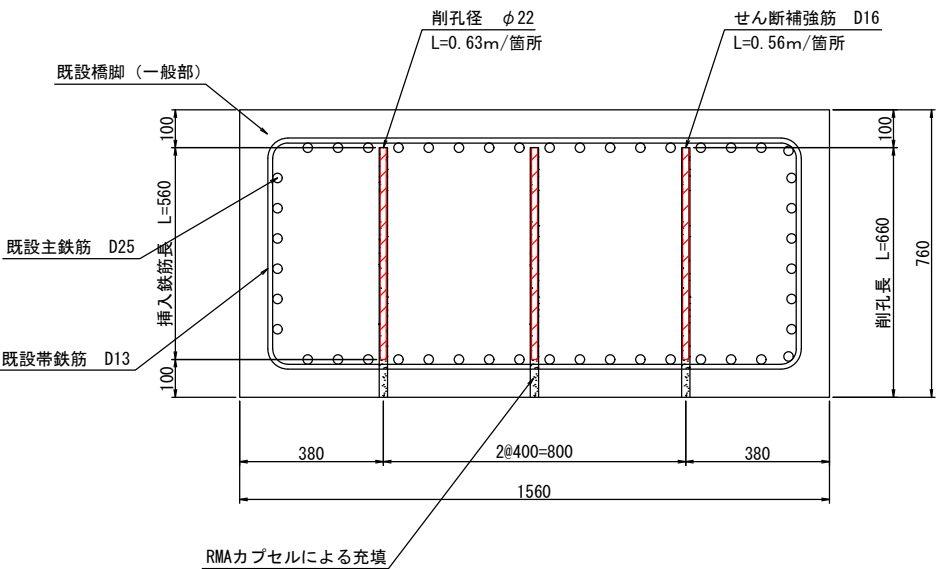
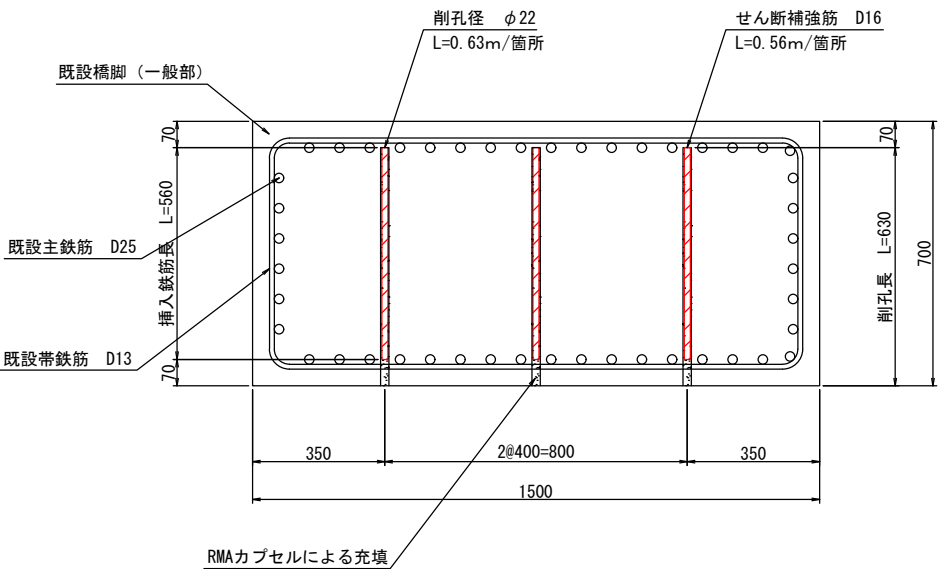
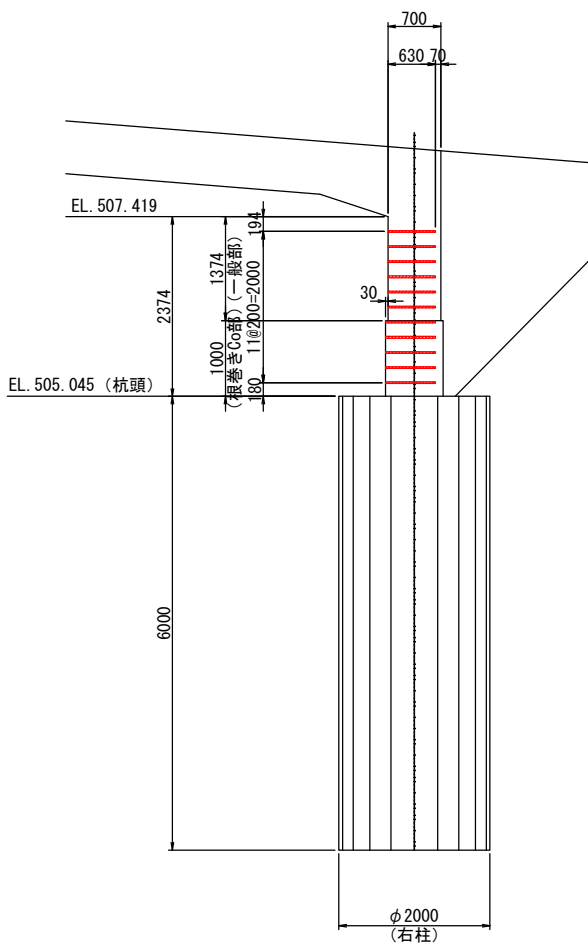
S=1:10

側面図



断面図（根巻きCo部）

S=1:10



鉄筋質量表〈SD345〉（P39左柱及び右柱）

径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
D16	560	36	1.56	0.87	31.32	左柱
D16	560	33	1.56	0.87	28.71	右柱
合計 D16					60.03kg	

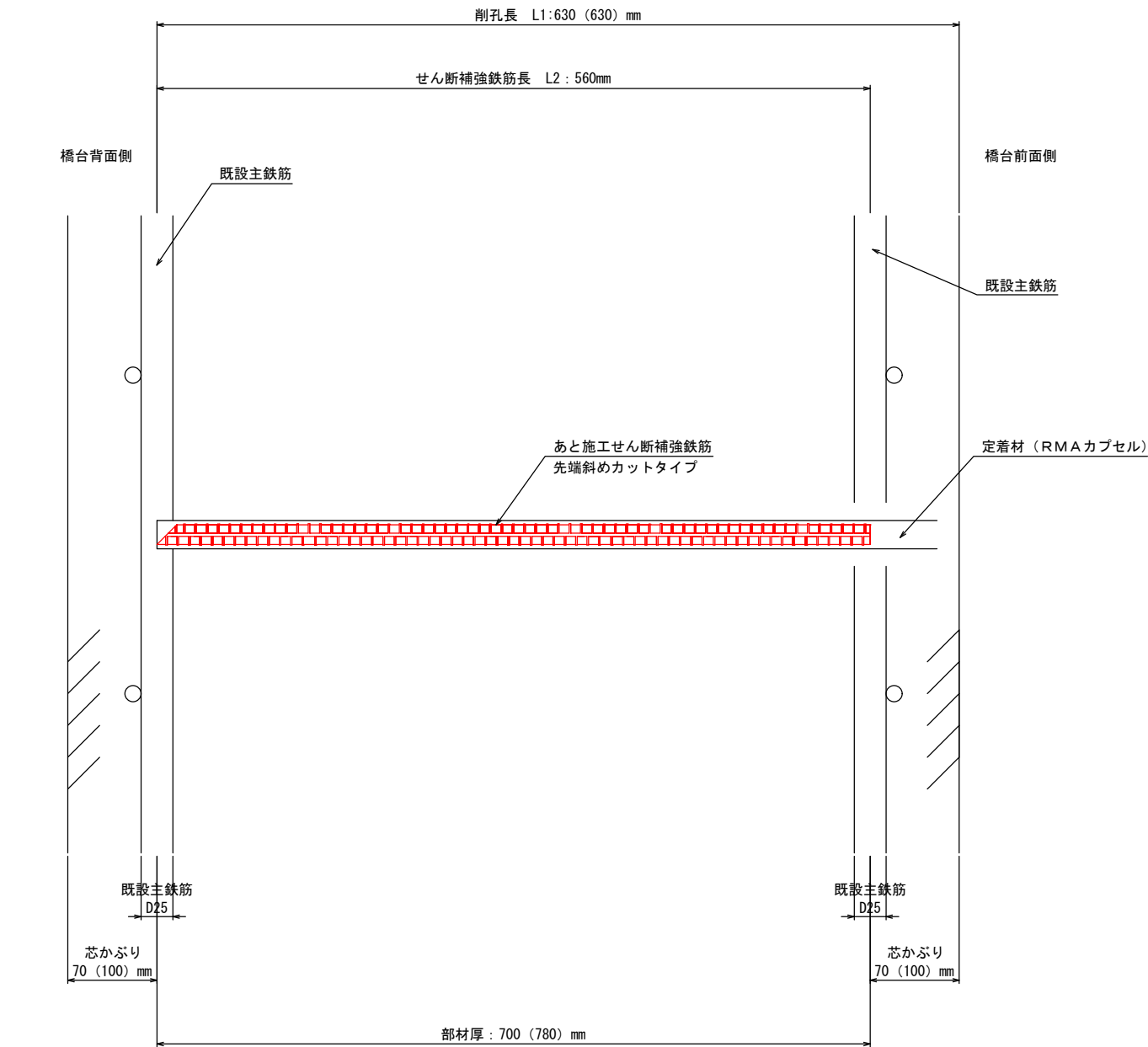
工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 橋台耐震補強詳細図（その1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	85/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 橋台耐震補強詳細図（その2）

適用範囲：P39橋脚（左柱及び右柱）

鉄筋配置詳細図 S=1:2.5

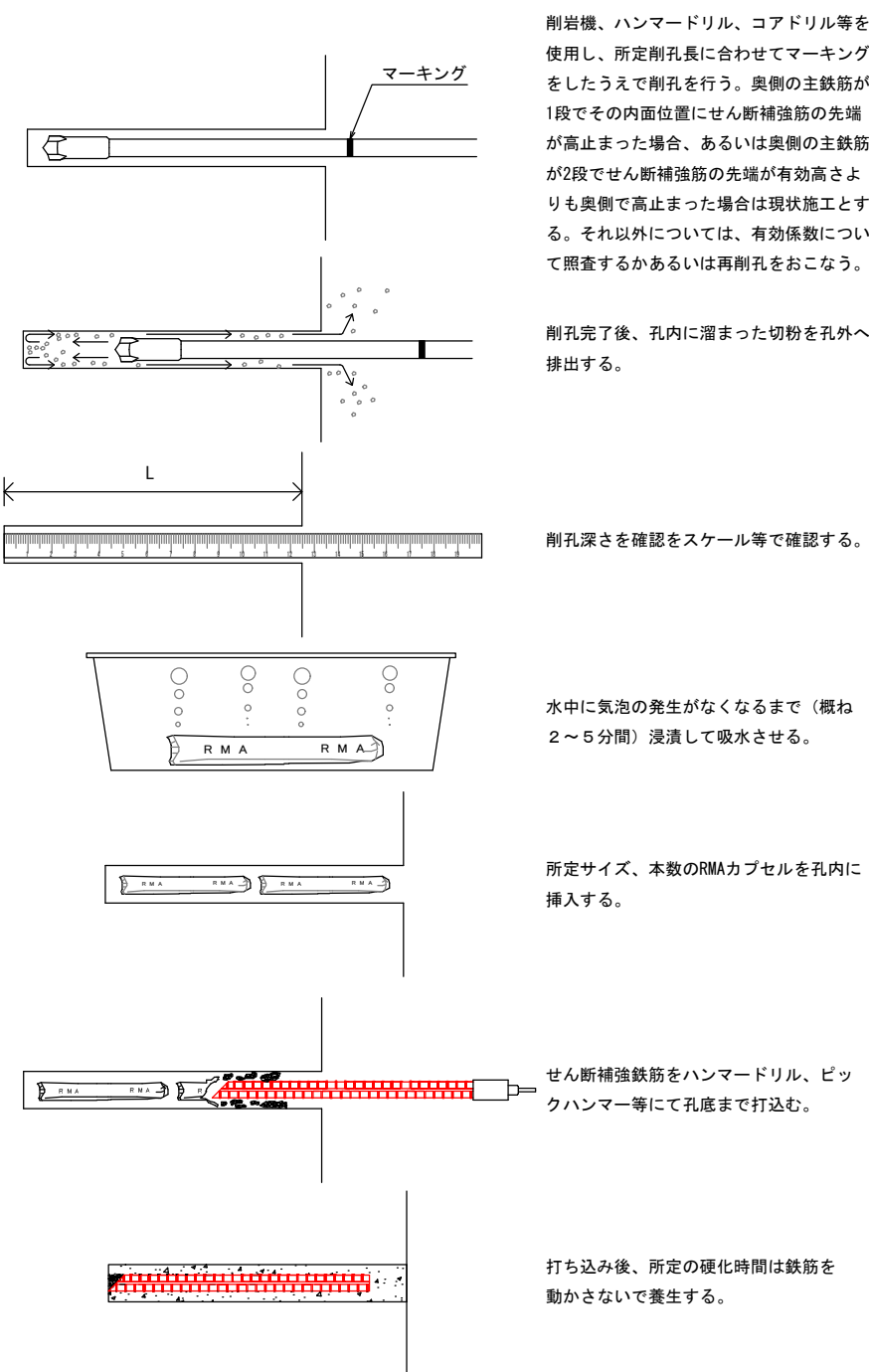
施工手順



せん断補強 鉄筋径 D (mm)	削孔長 (有効高さ) L1 (mm)	せん断補強 鉄筋長 L2 (mm)	部材厚 W (mm)	既設主鉄筋径 (前面側) d1 (mm)	既設主鉄筋径 (背面側) d2 (mm)	芯かぶり (前面側) b1 (mm)	芯かぶり (背面側) b2 (mm)
D16	630 (660)	560	700 (730)	D25	D25	70 (100)	70 (100)

鉄筋質量表〈SD345〉（5号橋集計）

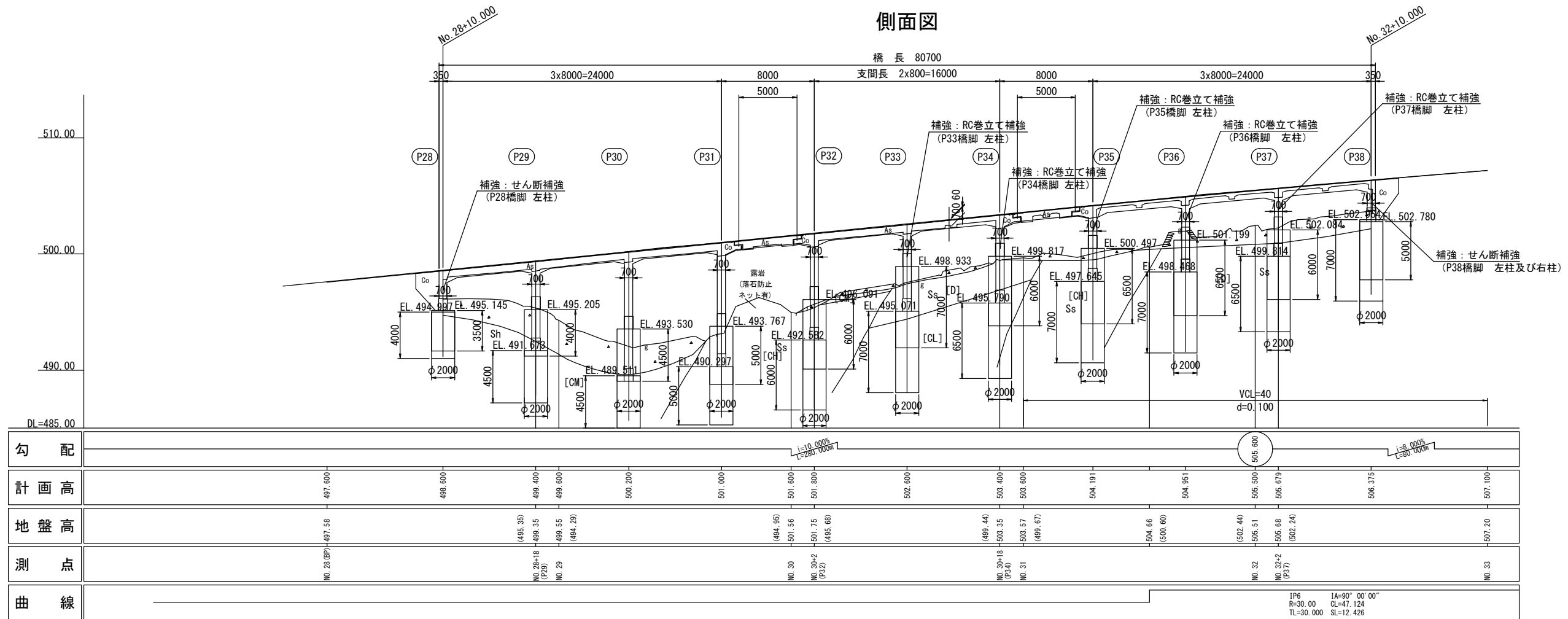
径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
D16	560	36	1.56	0.87	31.32	P39左柱
D16	560	33	1.56	0.87	28.71	P39右柱
合計 D16						60.03kg



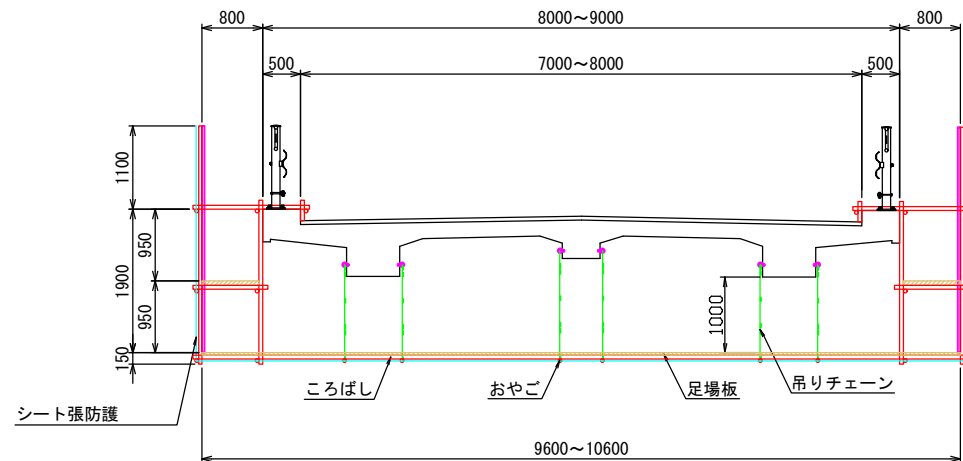
- 適用工法
 - あと施工せん断補強鉄筋工法とする
 - 設計はRMA工法で行っているが、他の工法を使用する場合は（財）土木研究センターの建設技術審査証明を取得しているものの中から、同等以上の根拠となる設計計算書等を提出すること。
- 使用材料
 - あと施工せん断補強鉄筋の種類はSD345とする。特性値fykおよびfukはJIS G 3112 の下限値とする。
 - 定着材（RMAカプセル）の設計基準強度は既設構造物と同強度以上とする。
- 施工時の留意事項
 - 削孔前に既設鉄筋位置を鉄筋探査機等により確認し、既存鉄筋部の損傷を避けること。
 - 施工に際し補強筋の径・長さ・削孔深さ・配置を確認し、補強筋の打ち込み前には孔内の切り粉等を除去すること。
 - 削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更すること。
 - また、使用しない孔については既設構造物と同強度以上のセメントモルタル等を充填すること。

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 橋台耐震補強詳細図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	86/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 仮設計画図（参考図）（その1） S=1:200



吊足場計画断面図 S=1:50



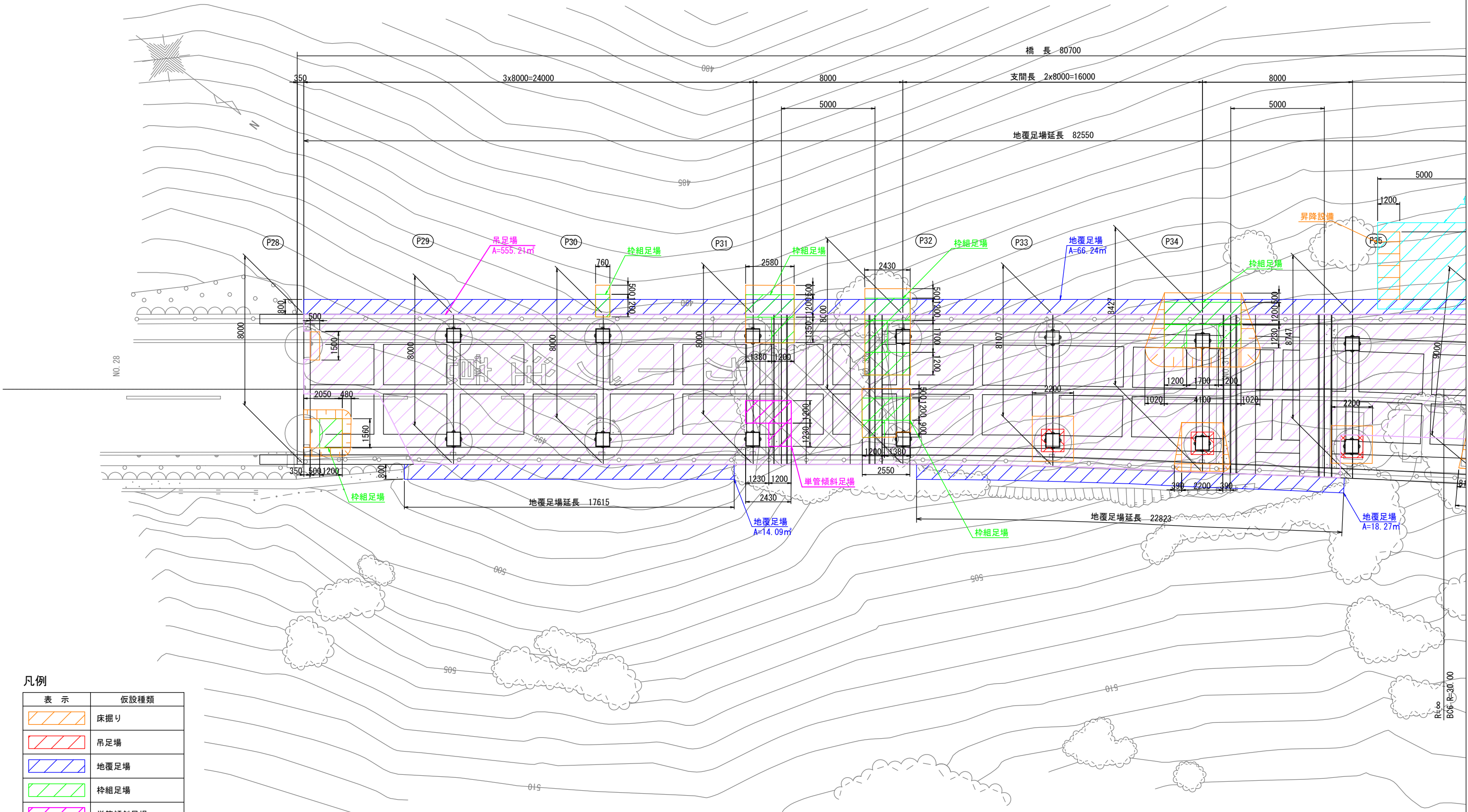
橋梁補修工法一覽表

径 間	対象部位・部材	補修工種	施工方法	径 間	対象部位・部材	補修工種	施工方法
第 1 径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場、地上	第 6 径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場
		断面修復工				断面修復工	
	P28橋脚	ひび割れ補修工	枠組足場、地上	P34橋脚	ひび割れ補修工	吊足場	
		断面修復工			断面修復工		吊足場、枠組足場
	P29橋脚	ひび割れ補修工	吊足場	地覆	ひび割れ補修工	地上	
		断面修復工			地上		
地覆	断面修復工	地上	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場		
第 2 径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工		吊足場	P35橋脚	ひび割れ補修工	吊足場
		断面修復工	断面修復工			吊足場、枠組足場、地上	
	P30橋脚	ひび割れ補修工	吊足場	地覆	断面修復工	地上	
		断面修復工			吊足場、枠組足場		
第 3 径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場	第 8 径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場、地上
		断面修復工				断面修復工	
	P31橋脚	ひび割れ補修工	吊足場	地覆	断面修復工	地上	
		断面修復工			吊足場、枠組足場		
	地覆	ひび割れ補修工	地上	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場、地上	
		断面修復工			地覆足場、地上		
第 4 径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場	第 9 径間	P37橋脚	ひび割れ補修工	吊足場
		断面修復工				断面修復工	
	P32橋脚	断面修復工	吊足場、枠組足場	第10径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場、地上
		断面修復工				地上	
	地覆	断面修復工	地上	P38橋脚	ひび割れ補修工	吊足場、枠組足場	
		目地シール工			地覆足場、地上		
第 5 径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場	全径間	地覆	表面保護工	地覆足場、地上
		断面修復工				橋面	
	P33橋脚	断面修復工	吊足場、地上	防護柵	橋面防水工	地上	
		地覆			ひび割れ補修工		防護柵取替工
	断面修復工	地上					

工事名	大阪北摂雲園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 仮設計計画図(参考図)(その1)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	87/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 仮設計画図（参考図）（その2） S=1:100

平面図（その1）



凡例

表 示	仮設種類
	床掘り
	吊足場
	地覆足場
	枠組足場
	単管傾斜足場
	昇降設備
	作業構台（支保工）

工事名	大阪北摂圏4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 仮設計画図（参考図）（その2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	88/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 仮設計画図（参考図）（その3） S=1:100

平面図（その２）

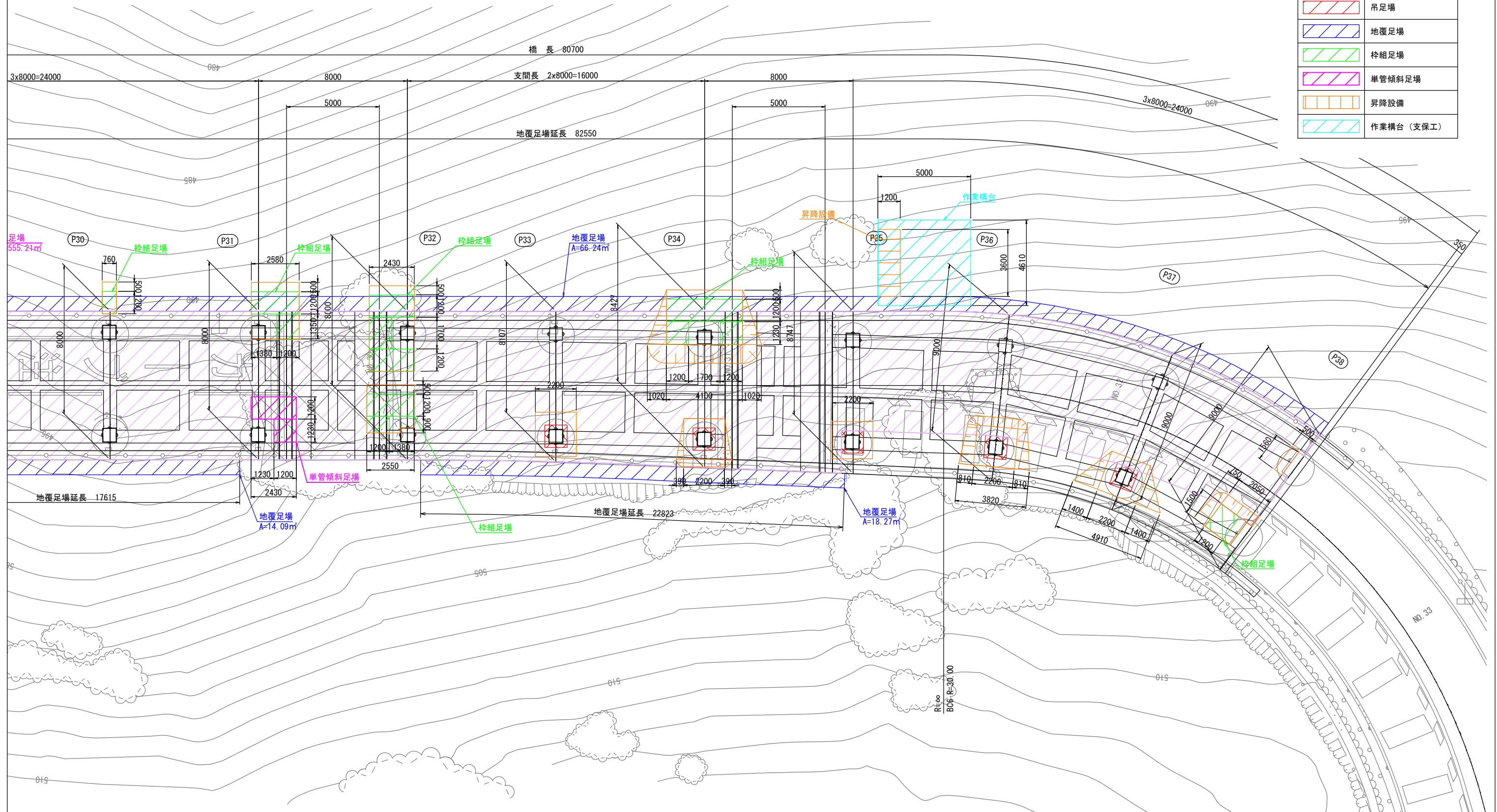









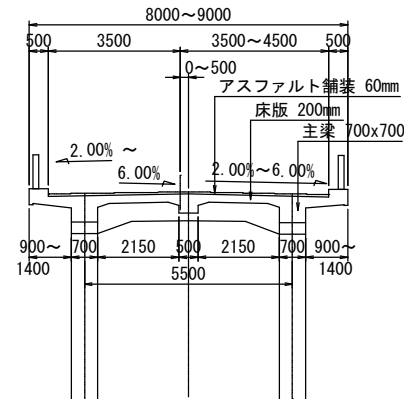
表 示	仮設種類
	床掘り
	吊足場
	地覆足場
	桎組足場
	単管傾斜足場
	昇降設備
	作業構台（支保工）

工事名	大阪北摂室園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 仮設計図面(参考図)(その3)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	89/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

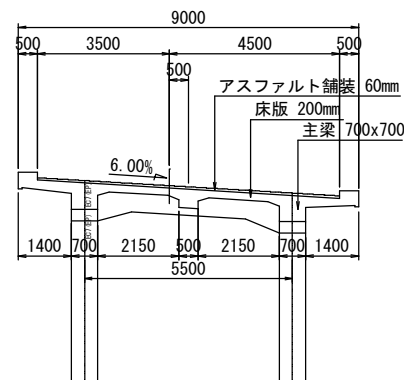
4号橋 仮設計画図（参考図）（その4） S=1:100

標準断面図

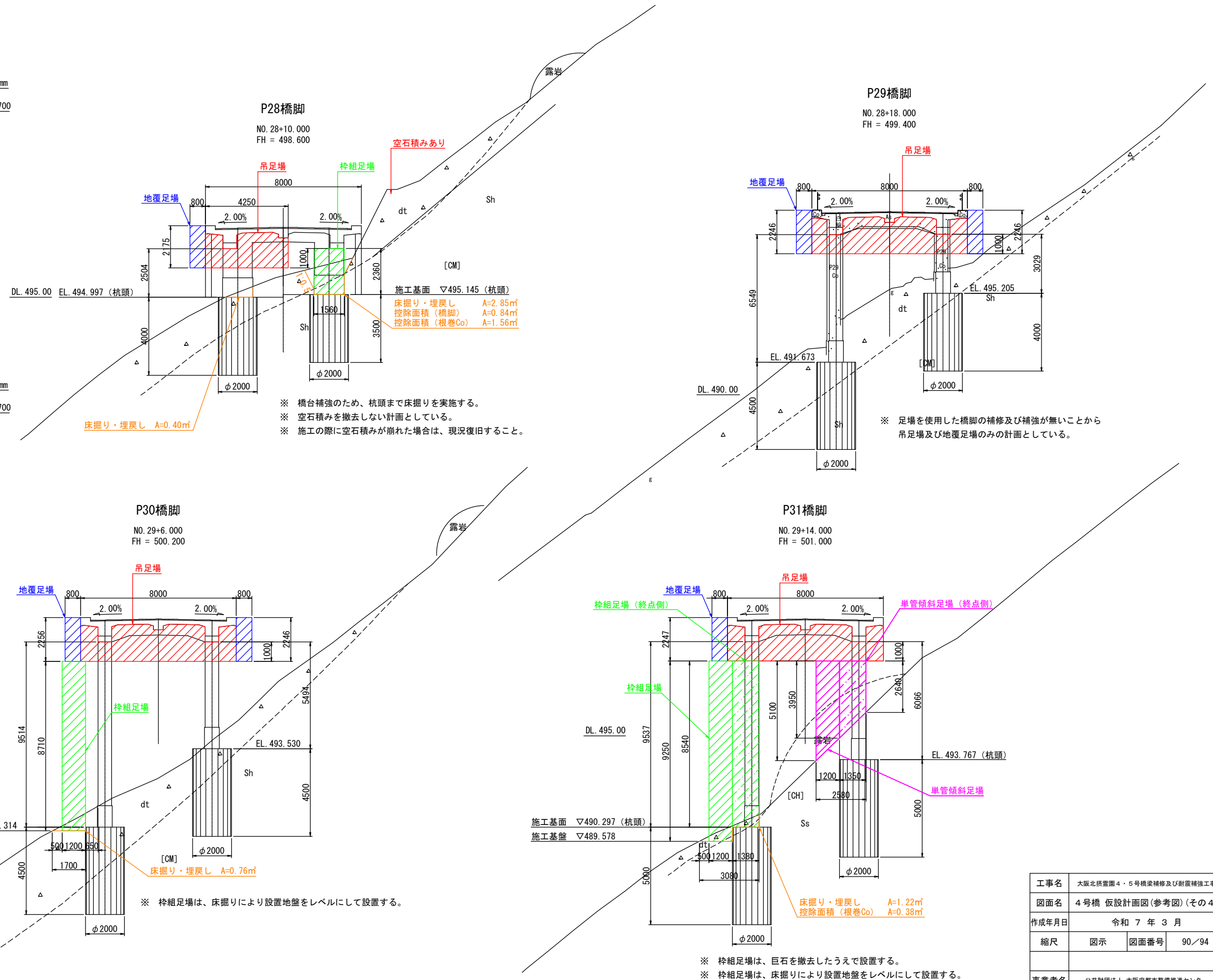
P28~P36



P36~P38



下部工断面図

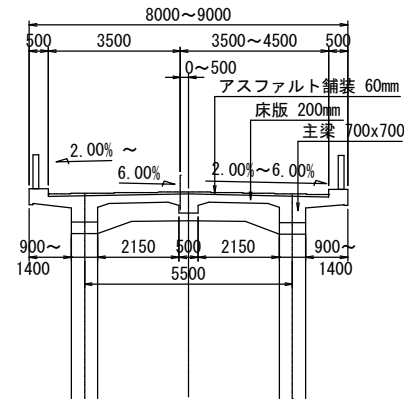


工事名	大阪北摂堂園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 仮設計画図(参考図)(その4)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	90/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

4号橋 仮設計画図（参考図）（その5） S=1:100

標準断面図

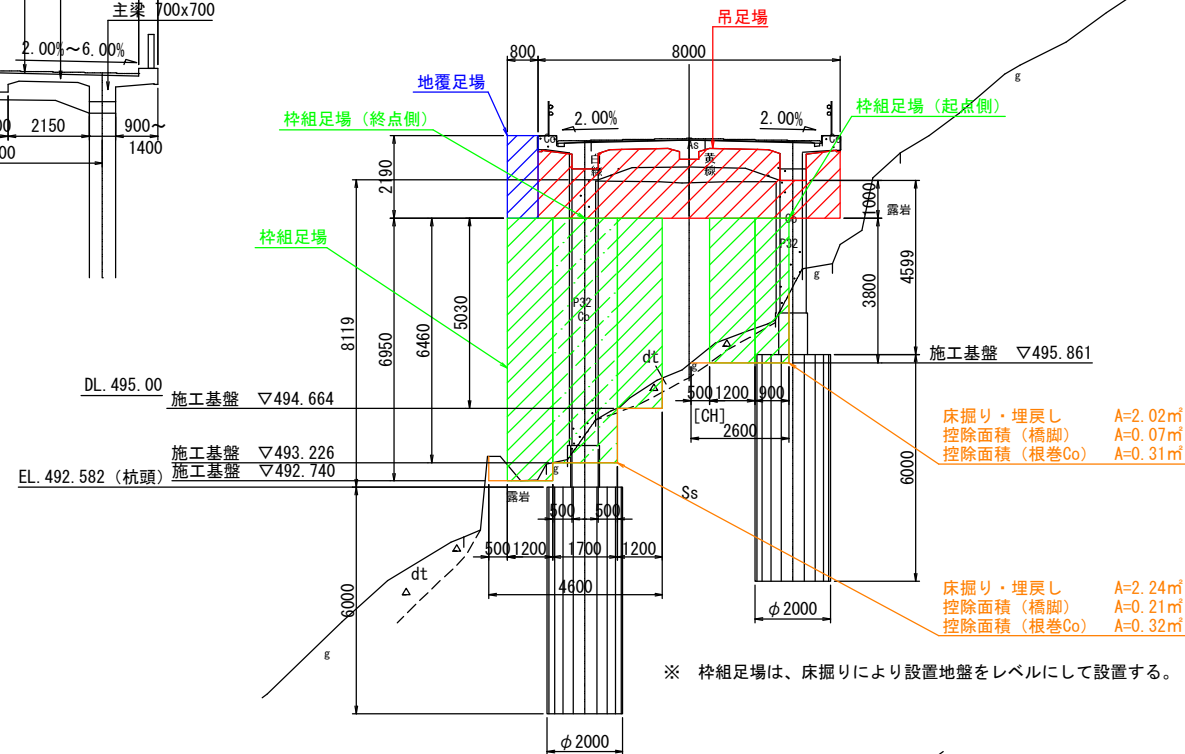
P28~P36



下部工断面図

P32橋脚

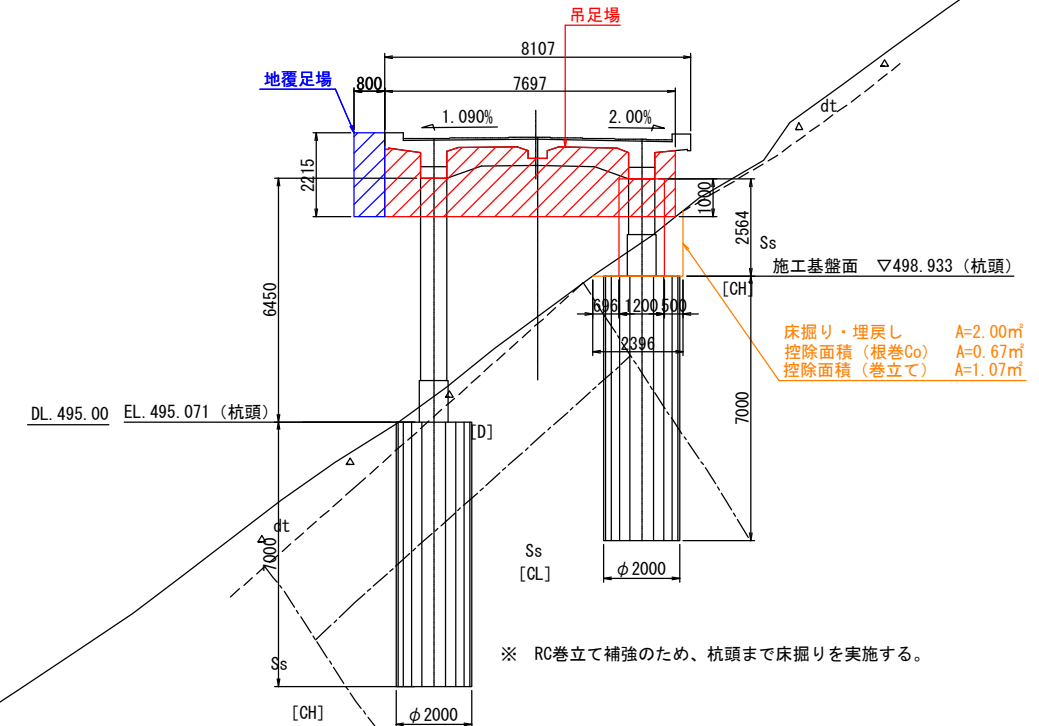
NO. 30+2.000
FH = 501.800



※ 枠組足場は、床掘りにより設置地盤をレベルにして設置する。

P33橋脚

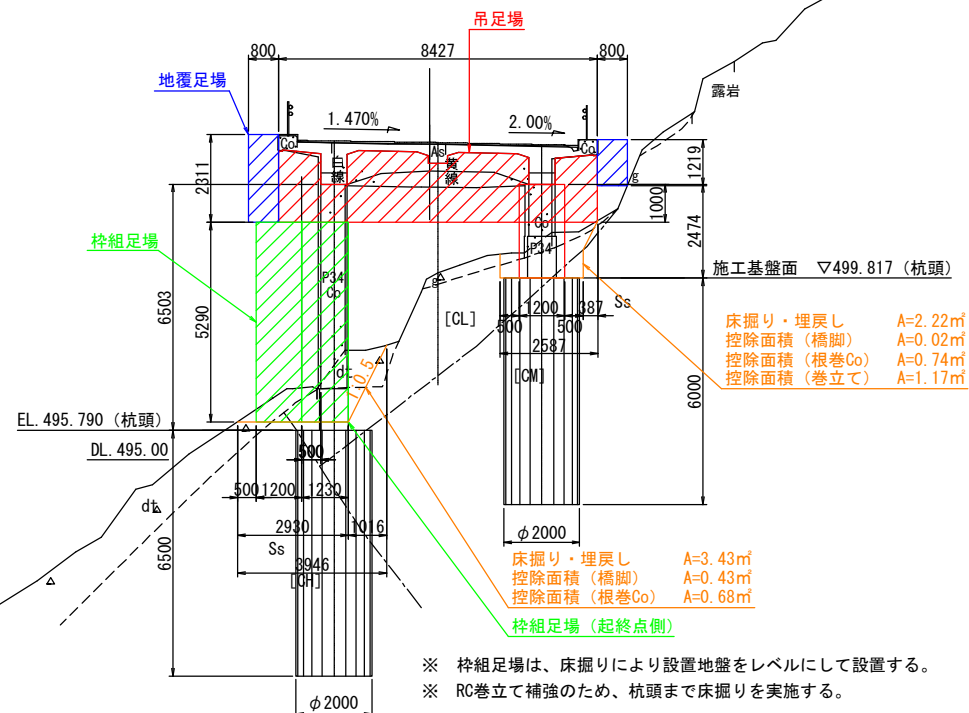
NO. 30+10. 000
FH = 502. 600



※ RC巻立て補強のため、杭頭まで床掘りを実施する。

P34橋脚

NO. 30+18.000
FH = 503.400

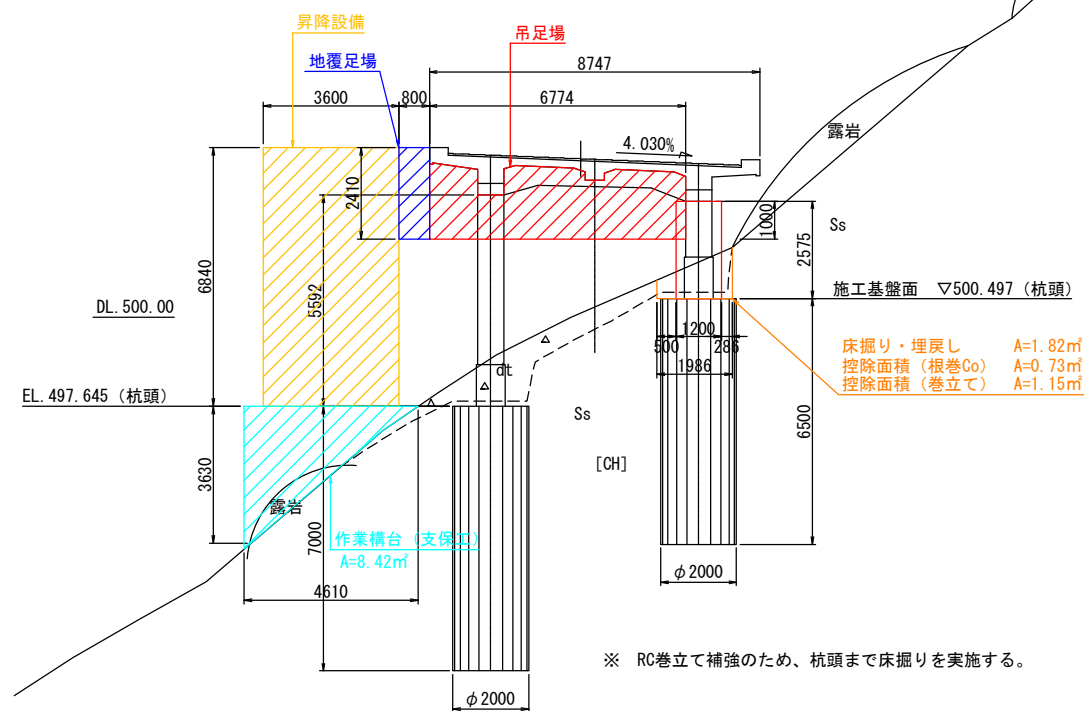


※ 枠組足場は、床掘りにより設置地盤をレベルにして設置する。

※ RC巻立て補強のため、杭頭まで床掘りを実施する。

P35橋脚

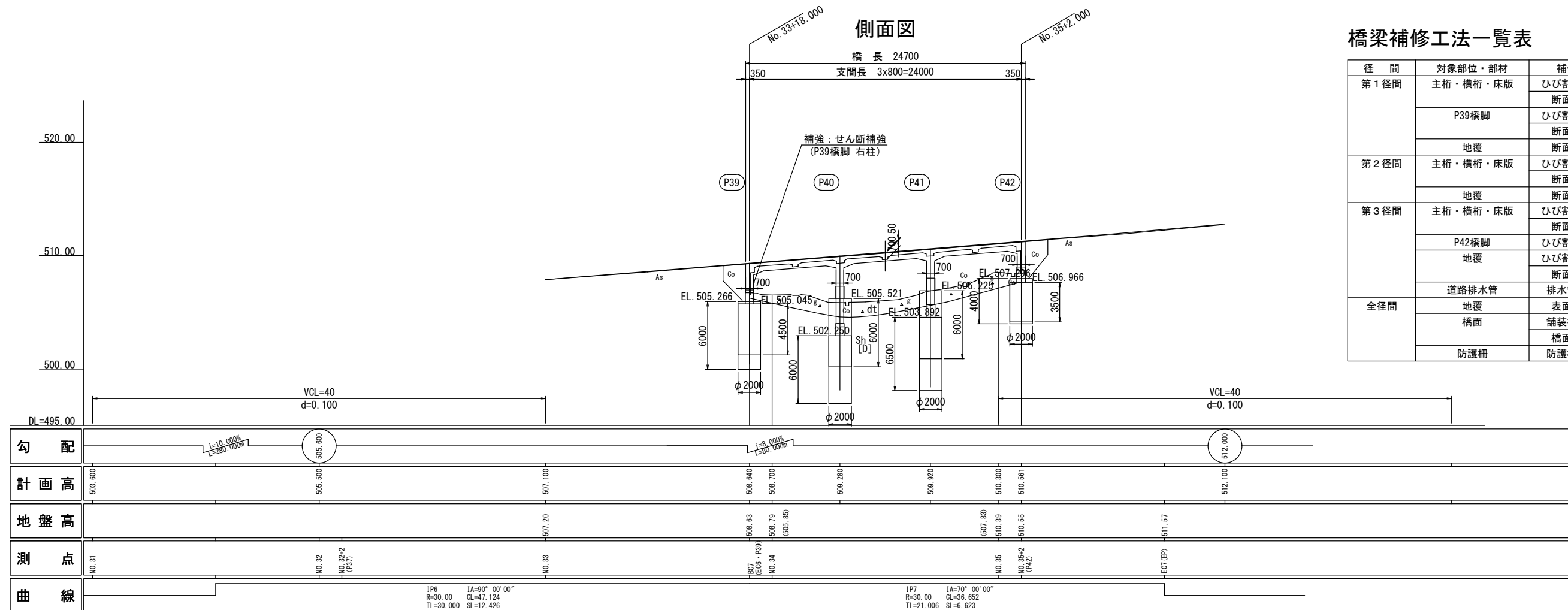
NO. 31+6.000
FH = 504.191



※ RC巻立て補強のため、杭頭まで床掘りを実施する。

工事名	大阪北摂堂園4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	4号橋 仮設計画図(参考図)(その5)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	91/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

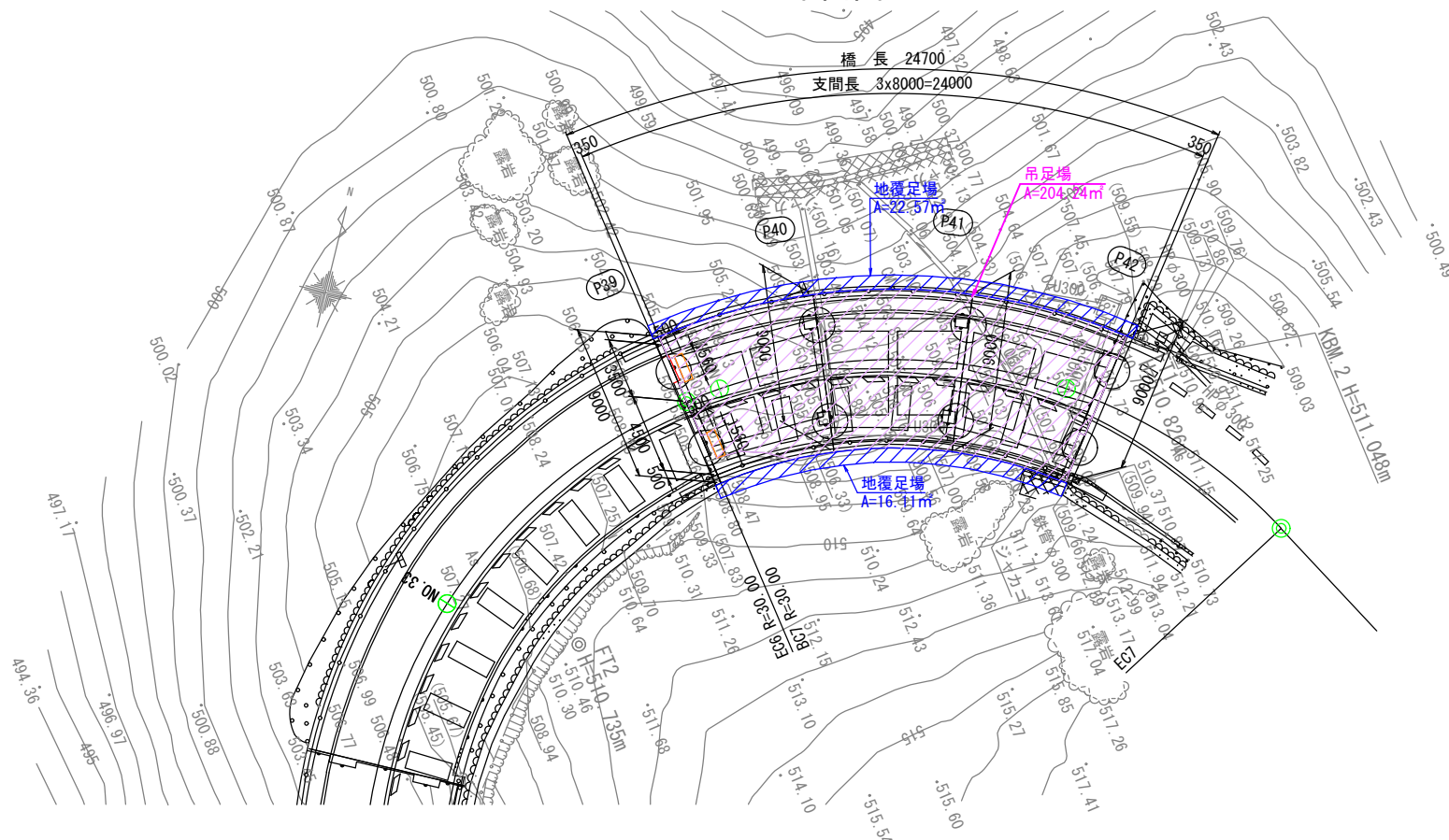
5号橋 仮設計画図（参考図）（その1） S=1:200



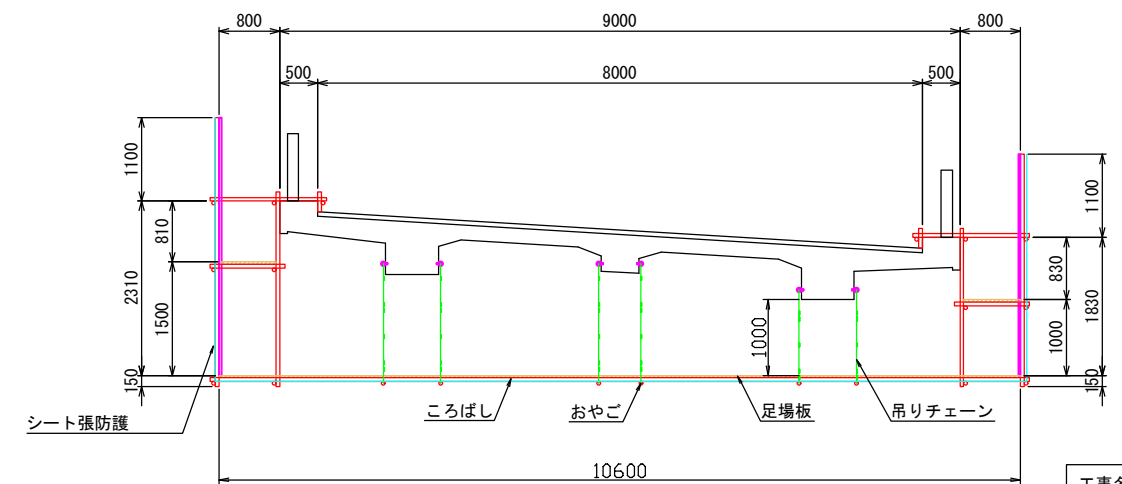
橋梁補修工法一覽表

区 間	対象部位・部材	補修工種	施工方法
第1径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場、地上
		断面修復工	
	P39橋脚	ひび割れ補修工	地上
		断面修復工	
	地覆	断面修復工	地上
第2径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場
		断面修復工	
	地覆	断面修復工	地上
第3径間	主桁・横桁・床版	ひび割れ補修工	吊足場、地上
		断面修復工	
	P42橋脚	ひび割れ補修工	吊足場、地上
		断面修復工	
	道路排水管	排水管取替工	地上
全径間	地覆	表面保護工	地覆足場、地上
	橋面	舗装打換え工	地上
		橋面防水工	
	防護柵	防護柵取替工	地上

平面図



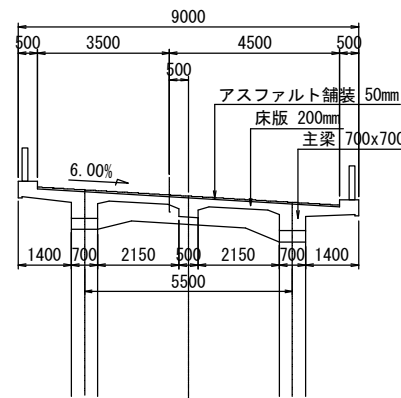
吊足場計画断面図 S=1:50



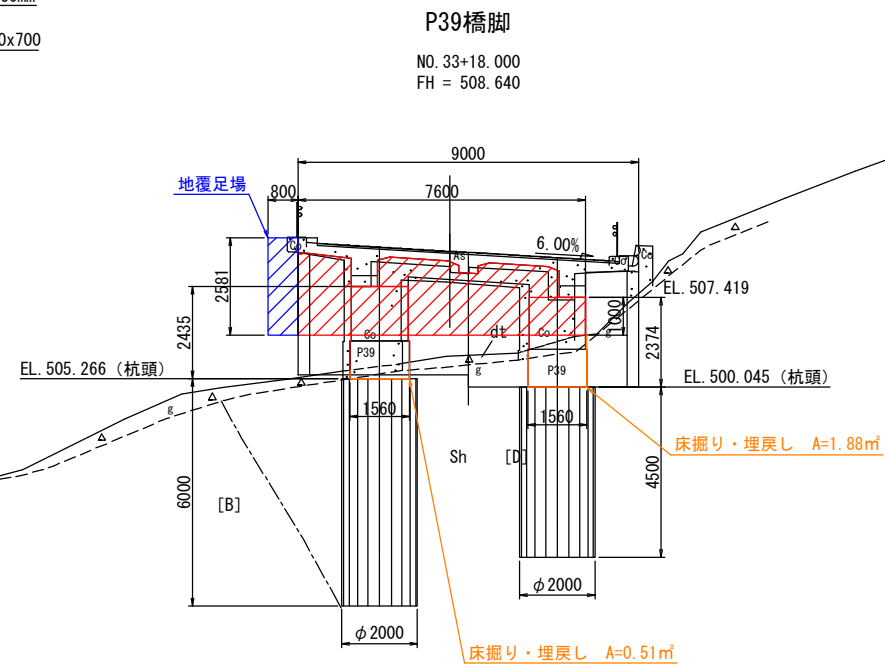
工事名	大阪北摂学園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 橋梁一般図（現況）（その1）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	93/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		

5号橋 仮設計画図（参考図）（その2） S=1:100

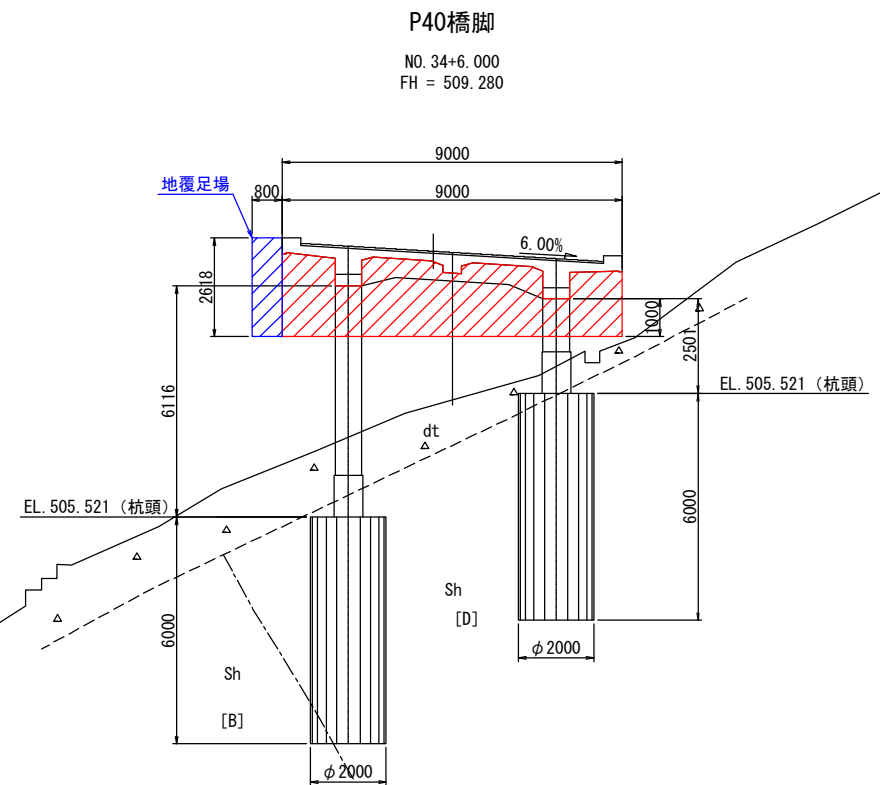
標準断面図



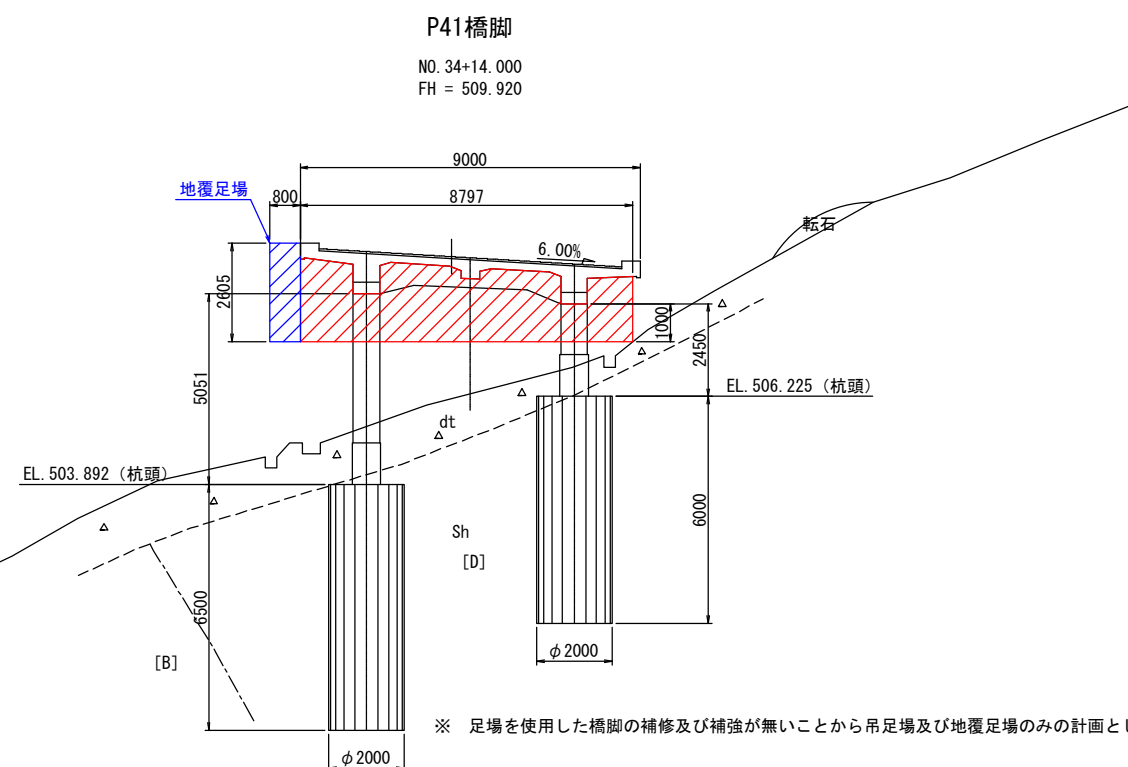
下部工断面図



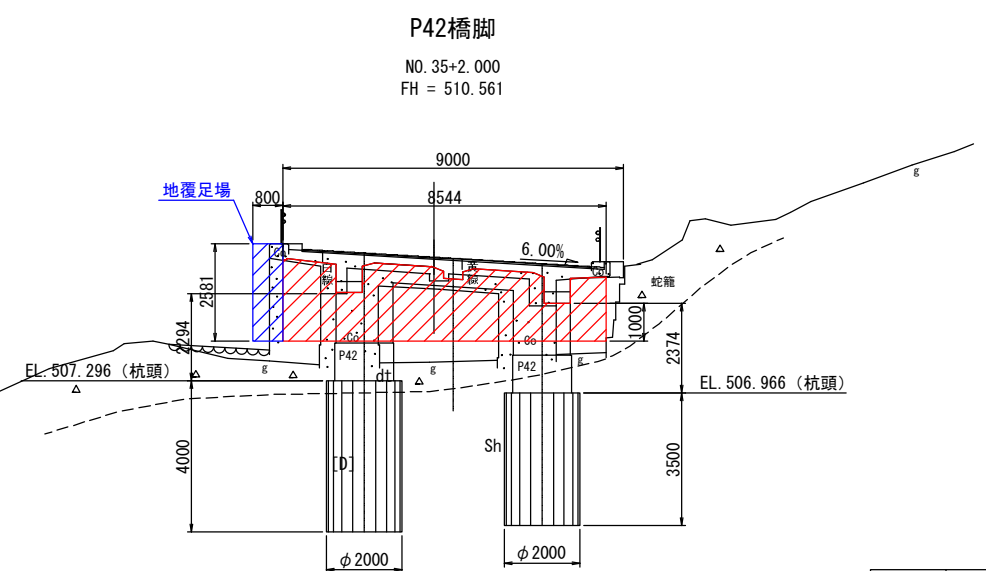
- ※ 橋台補強のため、杭頭まで床掘りを実施する。
- ※ 空石積みを撤去しない計画としている。
- ※ 施工の際に空石積みが崩れた場合は、現況復旧すること。



- ※ 足場を使用した橋脚の補修及び補強が無いことから吊足場及び地覆足場のみの計画としている。



- ※ 足場を使用した橋脚の補修及び補強が無いことから吊足場及び地覆足場のみの計画としている。



- ※ 足場を使用した橋脚の補修及び補強が無いことから吊足場及び地覆足場のみの計画としている。

工事名	大阪北摂雲園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事		
図面名	5号橋 橋梁一般図（現況）（その2）		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	94/94
事業者名	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター		